

静岡県立美術館年報

令和 7 年度

2025

# 静岡県立美術館年報

## 令和 7 年度

ANNUAL REPORT OF

SHIZUOKA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

2025

# 静岡県立美術館年報

## 令和 7 年度

ANNUAL REPORT OF  
SHIZUOKA PREFECTURAL MUSEUM OF ART  
2025



## 目 次

|                                                 |     |
|-------------------------------------------------|-----|
| 自己評価システムの体系                                     | 5   |
| 令和7年度 美術館の評価活動                                  | 6   |
| 【基本方針A】特徴あるコレクションを形成し、効果的に活用します                 |     |
| 【重点目標1】収集方針に従い持続的に作品を収集します                      |     |
| 新収蔵品                                            | 10  |
| 収集品点数一覧                                         | 14  |
| 【重点目標2】コレクションの新たな価値を発見し広く発信するとともに、適切に後世に伝えていきます |     |
| 収蔵品展                                            | 16  |
| 移動美術展                                           | 17  |
| 図書資料の収集・整理                                      | 18  |
| 館蔵品等の貸し出し                                       | 19  |
| 美術作品の補修                                         | 21  |
| 保存活動                                            | 22  |
| 【基本方針B】人々の感性を豊かにし、生活に新たな感動をもたらすような展覧会を開催します     |     |
| 【重点目標1】新たな視点や工夫に基づく企画展を積極的に開催します                |     |
| 展覧会活動 展覧会一覧                                     | 24  |
| 観覧者数一覧                                          | 25  |
| ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト                          | 26  |
| これからの風景                                         |     |
| 一世界と出会いなおす6のテーマ                                 | 28  |
| 金曜ロードショーとジブリ展                                   | 36  |
| 中村宏展 アナクロニズム(時代錯誤)のその先へ                         | 37  |
| 【重点目標2】他の美術館・大学との連携を進め、企画力を強化します                |     |
| (調査研究活動)                                        |     |
| 紀要の発行                                           | 39  |
| 研究活動                                            | 40  |
| 研究会                                             | 41  |
| 各種資料整理                                          | 45  |
| 博物館実習                                           | 46  |
| 【基本方針C】地域や学校教育との連携を深め、質の高い芸術教育と普及活動を展開します       |     |
| 【重点目標1】質の高い芸術教育と普及プログラムを開発します                   |     |
| (一般向け)                                          |     |
| ギャラリーツアー・タッチツアー                                 | 47  |
| 実技・鑑賞講座                                         | 49  |
| (子ども向け)                                         |     |
| 実技・体験                                           | 51  |
| 学校連携普及事業(美術館教室)                                 | 53  |
| 【重点目標2】講座・講演会・シンポジウム・演奏会等を充実します                 |     |
| 講演会                                             | 59  |
| 美術講座                                            | 60  |
| 対外活動                                            | 62  |
| ロダン館展示・イベント                                     | 64  |
| 【重点目標3】地域住民、企業、文化関係団体等と連携した美術館活動を充実します          |     |
| 美術館ボランティア・広報サポーター                               | 66  |
| 友の会活動                                           | 69  |
| 【基本方針D】さらに積極的な広報を工夫し、美術館活動の情報発信に努めます            |     |
| 【重点目標1】広報戦略を策定し、広報の質を高めます                       |     |
| 広報活動(ウェブサイトを含む)                                 | 74  |
| デジタルアーカイブによる情報発信                                | 75  |
| 美術館ニュース「アマリリス」                                  | 77  |
| 【重点目標2】観光業界等と連携した新たな広報チャンネルの開拓に取り組みます           |     |
| 新たな広報チャンネルの開拓                                   | 79  |
| 【基本方針E】環境・施設の整備や運営基盤の強化に努めます                    |     |
| 【重点目標1】館内施設を充実させ、満足度を高めます                       |     |
| 施設利用状況(年度別)                                     | 80  |
| 県民ギャラリー利用状況                                     | 81  |
| 【重点目標2】周辺環境やアクセスの利便を向上させます                      |     |
| アクセス環境の向上                                       | 82  |
| ■付帯資料                                           |     |
| 令和7年度主要記事                                       | 83  |
| (展覧会 出品目録)                                      |     |
| ブルックリン博物館所蔵 特別展                                 |     |
| 古代エジプト                                          | 85  |
| これからの風景                                         |     |
| 一世界と出会いなおす6のテーマ                                 | 92  |
| 中村宏展 アナクロニズム(時代錯誤)のその先へ                         | 98  |
| 収蔵品展                                            | 110 |
| 移動美術展「富士と水のある眺め」                                | 112 |
| (管理運営)                                          |     |
| 関連法規                                            | 114 |
| 組織・名簿                                           | 124 |
| 歳入・歳出決算                                         | 125 |
| 建築・設備概要                                         | 126 |
| 利用案内                                            | 131 |
| 奥付                                              |     |



# 自己評価システムの体系

## 使 命

静岡県立美術館は、創造的で多様性に富んだ社会を実現していくために存在します。そのために、人々が多種多様な美術表現を体験し、新たな価値と出会い、考え、理解し合う場を提供するとともに、学校や地域社会との連携を積極的にめざします。その活動の基盤にコレクションを位置づけ、成長させ、未来へと伝えます。

| 運営基本方針 |                                      | 重点目標 |                                          | 評価指標 |                                      |
|--------|--------------------------------------|------|------------------------------------------|------|--------------------------------------|
| A      | 特徴あるコレクションを形成し、効果的に活用します             | 1    | 収集方針に従い持続的に作品を収集します                      | 1    | 作品購入件数・価格                            |
|        |                                      | 2    | コレクションの新たな価値を発見し広く発信するとともに、適切に後世に伝えていきます | 2    | 作品寄贈件数・価格                            |
| B      | 人々の感性を豊かにし、生活に新たな感動をもたらすような展覧会を開催します | 1    | 新たな視点や工夫に基づく企画展を積極的に開催します                | 3    | 収蔵品の公開件数                             |
|        |                                      | 2    | 他の美術館・大学との連携を進め、企画力を強化します                | 4    | 収蔵品展のみの観覧者数                          |
| C      | 地域や学校教育との連携を深め、質の高い芸術教育と普及活動を展開します   | 1    | 質の高い芸術教育と普及のプログラムを開発します                  | 5    | ロダン館の観覧者数                            |
|        |                                      | 2    | 講座・講演会・シンポジウム・演奏会等を充実します                 | 6    | 収蔵品に関する調査研究の発表回数                     |
|        |                                      | 3    | 地域住民、企業、文化関係団体等と連携した美術館活動を充実します          | 7    | コレクションを活用した教育普及プログラム数                |
| D      | さらに積極的な広報を工夫し、美術館活動の情報発信に努めます        | 1    | 広報戦略を策定し、広報の質を高めます                       | 8    | 修復したコレクションの件数・費用                     |
|        |                                      | 2    | 観光業界等と連携した新たな広報チャンネルの開拓に取り組みます           | 9    | 公開・貸し出した展覧会における学芸員のレポート【定性】          |
| E      | 環境・施設の整備や運営基盤の強化に努めます                | 1    | 館内施設を充実させ、満足度を高めます                       | 10   | 展覧会の来館者数                             |
|        |                                      | 2    | 周辺環境やアクセスの利便を向上させます                      | 11   | 自主企画・企画参加型の展覧会の回数                    |
|        |                                      | 3    | 運営基盤を強化します                               | 12   | 作品やテーマに興味を持った人の割合                    |
|        |                                      |      |                                          | 13   | 展覧会に対する外部評価【定性】                      |
|        |                                      |      |                                          | 14   | 調査研究の発表回数                            |
|        |                                      |      |                                          | 15   | 内部セミナー・研究会・研修の回数                     |
|        |                                      |      |                                          | 16   | 他の美術館や大学と連携した取組件数                    |
|        |                                      |      |                                          | 17   | 調査研究に関する外部評価【定性】                     |
|        |                                      |      |                                          | 18   | 学校教育と連携した取り組み数 うち特別支援学校と連携した取り組み数    |
|        |                                      |      |                                          | 19   | 鑑賞系プログラム数                            |
|        |                                      |      |                                          | 20   | webを活用したプログラム数                       |
|        |                                      |      |                                          | 21   | 普及・教育プログラムに関する美術館職員のレポート【定性】         |
|        |                                      |      |                                          | 22   | 講演会等の開催件数                            |
|        |                                      |      |                                          | 23   | 学芸員のフロアレクチャー等の数                      |
|        |                                      |      |                                          | 24   | 館内空間を生かした催事の件数・参加者数                  |
|        |                                      |      |                                          | 25   | 地域住民等と連携した取組数                        |
|        |                                      |      |                                          | 26   | 地域住民、企業、文化関係団体等と連携した取組に関する職員レポート【定性】 |
|        |                                      |      |                                          | 27   | 美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合            |
|        |                                      |      |                                          | 28   | デジタルアーカイブによる情報発信件数                   |
|        |                                      |      |                                          | 29   | ホームページのアクセス件数                        |
|        |                                      |      |                                          | 30   | facebook、インスタグラム、Xの発信数/ビュー数          |
|        |                                      |      |                                          | 31   | facebook、インスタグラム、Xのエンゲージメント等の件数      |
|        |                                      |      |                                          | 32   | 観光業界や他のイベントとの広報連携の取組数                |
|        |                                      |      |                                          | 33   | 教育機関への情報発信数                          |
|        |                                      |      |                                          | 34   | 広報手法における新たな取組状況に関しての美術館職員のレポート【定性】   |
|        |                                      |      |                                          | 35   | 美術館利用者数                              |
|        |                                      |      |                                          | 36   | 鑑賞環境に対する満足度                          |
|        |                                      |      |                                          | 37   | レストランに対する満足度                         |
|        |                                      |      |                                          | 38   | ミュージアムショップに対する満足度                    |
|        |                                      |      |                                          | 39   | 来館者のアクセス満足度                          |
|        |                                      |      |                                          | 40   | 運営基盤の強化等に関する職員レポート【定性】               |

## 令和7年度 美術館の評価活動

### ■ 美術館自己評価 総括

#### A 特徴あるコレクションを形成し、効果的に活用します

##### 【成果】

- ・少額ではあるものの購入予算が確保され、既収蔵品と関連の深い写真作品2件を購入することができた。
- ・作品・資料39件の寄贈を受け、コレクションを充実させた。
- ・美術館活動の基盤にコレクションを位置付けることを基本理念で明確にしたことによって、コレクション研究に基づく展覧会や普及事業の開催について意欲的な取り組みが進んでいる。
- ・コレクションによる企画展「これからの風景」展を通して、当館の風景画コレクションに新たな角度から光を当て、今日的な視座から風景画の魅力を示した。
- ・「古代エジプト」展、「金曜ロードショーとジブリ展」の開催によりロダン館の観覧者数は大きく伸び、新たな利用者層を開拓した。
- ・毎月開催する学芸課研究会および翌年に控えた開館40周年記念展の準備の段階で、コレクションの検証に努めている。

##### 【課題】

- ・収集方針に則った継続的な収集活動のために購入予算の確保は切実な課題である。あわせて、少額であっても予算額に応じた最善の作品購入ができるよう、日頃の情報収集がますます重要となる。
- ・「金曜ロードショーとジブリ展」では企画展スペースの拡張により収蔵品展を開催することができなかった。また上述のとおりロダン館の観覧者数は伸びたものの、全体から見た割合でいえばロダン館に足を向けてくれた観覧者は多いとはいえない。大型展開催時はやむを得ず平常時と異なる運営がなされることがあるが、新規来館者の継続的な美術館利用につなげるためにも、コレクションを中心とした館の魅力発信の工夫についてとりわけ丁寧に取り組んでいく必要がある。
- ・コレクションをより良い状態で後世へ伝えていくためには修復予算の確保が必要であり、助成獲得などの努力を続けていきたい。同時に、日常的な作品保存の対策もますます重要になっていることから、職員の研修機会の確保や情報の収集についても積極的に取り組む必要がある。

#### B 人々の感性を豊かにし、生活に新たな感動をもたらすような展覧会を開催します

##### 【成果】

- ・大型展2本（「古代エジプト」展、「金曜ロードショーとジブリ展」）と自主企画展2本（「これからの風景」展、「中村宏展」）を組み合わせ、めりはりのある構成で企画展を組み立てた。
- ・古代エジプト文明をテーマとする企画展は過去複数回の開催実績があるが、今回の「古代エジプト」展では過去展の経験を生かした会場構成や来場者誘導により安定した運営を行い、良好な鑑賞環境を提供した。監修者のキャラクターを前面に出した映像や音声を組み合わせた丁寧で親しみやすい構成は、観覧者の満足度も高く、来場者数は見込みを上回った。
- ・「金曜ロードショーとジブリ展」において過去最高の観覧者数を記録した。円滑な運営に向けて会期中不断的な努力を重ねたことにより、建物のキャパシティを超える来場者を迎えつつもどうにか無事運営することができた。
- ・自主企画展の定性評価においていずれも高い評価を得た。ジブリ展の観覧者数が注目される年となったが、学芸員の研究の蓄積にもとづく静岡県立美術館らしい自主企画展をこの年に開催できた意義は大きい。
- ・コレクションによる企画展「これからの風景」展は、「現代的な新しい視座と普及的側面を重視しつつ、鑑賞者に開かれた展示を組み立てた意欲的な企画」として評価された。観覧者数は10,775人・対見込89.8%と目標に届かなかったものの、普段よりも10代、20代の来場者の割合が多かった点に特徴がある。
- ・「中村宏展」は、浜松市出身で戦後日本を代表する作家である中村宏の結果的に生前最後の個展となり、県立の美術館としての大きな責務を果たしたものといえる。内容面でもこれまで各地で開催されてきた中村宏展のなかで「最も充実した内容」であるとの大変高い評価を得た。11,331人・対見込み141.6%の観覧者を迎え、図録は完売した。

##### 【課題】

- ・かつてない来場者を迎えることが想定された「金曜ロードショーとジブリ展」の開催はひとつの挑戦であったが、なんとか無事運営することができた。来場者数も見込みを大きく上回り大きな成果として評価できる一方で、会期中は企画展の運営で手一杯となり、この機に当館の魅力を伝え継続的な来館につなげる工夫までは至らなかった。また会期中の職員

や施設への負担は予想以上のものがあり、目に見えない部分での美術館活動への影響も大きかったと思われる。この規模の展覧会開催の経験は財産となったが、この経験を今後に生かしていくためには丁寧な分析と対策の検討が必要不可欠である。

- 学芸員が1名減の状態であることを考慮しても、調査研究の発表回数は大きく減少したといえる。落ち着いて研究に取り組む環境を整えることが必要である。

## C 地域や学校教育との連携を深め、質の高い芸術教育と普及活動を展開します

### 【成果】

- 特別支援学校を含む学校教育との連携は順調に進展している。「ボランティアスタッフとの鑑賞」や「出張美術講座」の依頼数が伸びている。
- ロダン館での作品鑑賞と実技室でのねんど教室を組み合わせたワークショップを試験的に実施した。
- ロダン館を含む館内外でのスタチューパフォーマンス（彫刻のふりをする大道芸）、ロダン館ナイトミュージアムなど、新たなイベントを実施した。特殊な空間を生かした内容が来場者に好評を博した。
- Vtuberを起用したロダン館や収蔵品展、中村宏展の音声ガイドは大きな反響を呼んだ。これまでのユーザーではない層にもアピールできたものと考えられ、新たな教育普及イベントの取り組みとして特筆される。
- 「これからの風景」展では、「鑑賞」をテーマとした1章を設け、触図の設置や音と声による描かれた風景の再現など視覚以外の感覚による風景画へのアプローチを提案し、視覚障害者にも風景画を楽しんでいただける工夫を展示に組み込んだ。会場構成やイベント開催、アクセシビリティの対応（館長講座における手話通訳、視覚障害者と晴眼者による対話型鑑賞会、託児等）において外部の機関・専門家の協力を仰ぎ、多面的な新たな取り組みにより独自性・先駆性を示した。

### 【課題】

- コレクション鑑賞と実技を連携させた美術館ならではの实技室プログラムの開発について、今後とも取り組んでいきたい。
- ウェブを活用したプログラムは停滞気味であり、今後の展開に向けて体制を整える必要がある。
- 講座における手話通訳や視覚障害者と晴眼者の対話型鑑賞といった新たな試みを、一過性のものにとどめず日常的な運営に落とし込んでいくことが必要である。個別の対応に加えて、全館的な意識向上のための取り組みが求められる。

## D さらに積極的な広報を工夫し、美術館活動の情報発信に努めます

### 【成果】

- ホームページのアクセス数やSNSの各数値は目標を大きく超える増加を見せた。前者は「金曜ロードショーとジブリ展」開催、後者はVtuberの起用が要因と考えられる。特にジブリ展会期中は臨時情報の発信においてSNS投稿が有用であることが確認された。
- 2026年1～3月の展示（「中村宏展」、ロダン館等）では、美術館と親和性が高いVtuber・儒烏風亭らでんを起用した音声ガイドを取り入れることで、県外の20～40代を中心とした新たな層への広報・集客に繋がった。
- Vtuber・儒烏風亭らでんとのコラボでは、展示案内に加えて静岡県の観光情報等の投稿をらでん氏のYouTube及びX等から発信していただくことで、美術館×地方観光という分野横断的な広報となった。この取り組みでは、公立美術館に経済性・利益性が求められる中で、観覧料収入等の美術館単体での収益だけではなく、地域経済にも美術館が大きく貢献していることも、来館者アンケートから確認された。

### 【課題】

- 今期のホームページアクセス数やSNSの各数値の伸びは外部コンテンツの圧倒的な人気による結果であったといえる。一時的な現象を当館自体の活動やコレクションへの長期的な支持や来館者の増加に繋げる一層の工夫が求められる。
- 近年は複数のSNSを運用して情報発信を行っているが、職員間で取り組みに格差があるため、職員誰でも情報発信が出来る体制を整備することが求められる。
- 地域連携及び観光業界との連携を模索し、来館者増加に向けた県立美術館の知名度向上と魅力発信をさらに高める必要がある。

## E 環境・施設の整備や運営基盤の強化に努めます。

### 【成果】

- 美術館利用者数は、「古代エジプト」展に加え観覧者数が過去最高を記録した「金曜ロードショーとジブリ展」により目標を大きく上回る結果となった。
- 「金曜ロードショーとジブリ展」では電子チケット及び一部日時指定制を導入したことにより、券売所での渋滞が緩和でき、館内の混雑や周辺道路の渋滞等も緩和することができた。
- アクセスの利便性の向上については、抜本的な解決は難しいが、混雑時の周辺駐車場の借用や来場者目線に立った対策により利便性を向上を図り、満足度は向上した。
- 開館40周年となる令和8年度に向けて、年間を通じて県立美術館の運営を支援する「静岡県立美術館開

館40周年企業サポーター」制度を創設した。美術館の役割が多様化・高度化する社会において地元企業との連携をもとに美術館の使命を果たそうとするものであり、前年度の企画展「無言館と、かつてありし信濃デッサン館」展における企業協賛の実績を踏まえ、40周年を機に制度化を実現できた意義は大きい。6企業からの寄附金5,100,000円の内諾を得ることができた。

#### 【課題】

- ・「金曜ロードショーとジブリ展」では電子チケット及び一部日時指定制の導入により来場者の分散を図ることができたが、時間帯によっては過剰な混雑が見られ、鑑賞環境の満足度低下につながった。今後の大規模展開に向けて今回の反省を生かしたい。
- ・開館から39年が経過し、施設の老朽化が進行しており、中期維持保全計画による改修を先延ばしすることなく計画に基づき確実に進めていく必要がある。
- ・レストラン、ミュージアムショップともに利用者の満足度を向上させるため、運営事業者と連携し利用者のニーズの把握に努めなければならない。
- ・運営基盤強化に向けて、開館40周年企業サポーターとの連携体制が来年度以降も継続され、さらに拡大するよう、企業とのコミュニケーションを密にし、積極的な働きかけを行う必要がある。

## ■ 前史

平成13年度より館内にワーキンググループを設け、佐々木亨氏（北海道大学大学院教授）の助言のもと、ベンチマークス（評価指標）の策定に取り組み、あわせて利用者の満足度調査を行った。翌年度は、ベンチマークスの改訂作業を進めるとともに、利用者アンケート調査等を行い、指標の現状値を把握したうえで業務改善に取り組んだ。

これらの成果を踏まえ、平成15年度には「静岡県立美術館評価委員会」が設置された。2年間にわたる美術館・県庁との共同作業を経て、平成17年3月に評価委員会による最終報告「提言：評価と経営の確立に向けて」が出された。これを受けて、同年4月よりミュージアム・ナビ（使命・戦略計画の達成度を指標で測定し、改善を行うツール）の運用を始め、平成18年度には、前年度の活動に関する自己評価をとりまとめ、第三者評価委員会の総括を受けるシステムが稼働し始めた。

使命－基本方針－重点目標の達成度を指標（定量的・定性的）によって測定して自己点検を行い、業務改善につなげる仕組みであり、調整を加えながら現在まで継続して取り組んでいる。

## ■ 令和7年度の活動

- ・評価シートにもとづく自己点検評価および外部評価  
引き続き、自己評価システムに基づいて自己点検評

価を行い、設置者による取組みとあわせて第三者評価委員会による評価を受けた。

令和7年度静岡県立美術館第三者評価委員会

7月31日 当館講座室

県立美術館の令和7年度自己評価結果について

設置者の取組みについて

令和6年度第三者評価委員会での主な意見と対応状況について

### ・研究活動評価

展覧会および学芸員の調査研究に関する定性的な評価を行うため、研究活動評価委員会を設置しており、利用者アンケートでは把握しきれない学術面での達成について、下記の委員から評価を受けた。

#### (1) 研究活動評価委員

金原宏行【日本画・日本洋画】／名都美術館学芸参与  
(令和7年5月31日まで)

潮江宏三【西洋絵画・現代美術】／京都市立芸術大学  
名誉教授

榊原 悟【日本画】／岡崎市美術博物館・おかざき世界  
子ども美術博物館特任館長、群馬県立女子大  
学名誉教授

山梨 絵美子【日本洋画】／千葉市美術館館長、日本博  
物館協会会長

栗田秀法【西洋絵画】／跡見学園女子大学教授

光田由里【現代美術】／多摩美術大学アートアーカイ  
ヴセンター教授（令和7年6月1日から）

古田 亮【日本画・日本洋画】／東京藝術大学大学美術  
館教授（令和7年6月1日から）

#### (2) 活動記録

①委員会開催 5月20日 当館講座室

令和6年度 研究活動評価について

令和7年度 研究活動評価について

今後の研究活動についての意見交換

②「これからの風景」展の視察と評価・提言 9月9日

評価委員：山梨委員、栗田委員

③「中村宏展」の視察と展覧会および図録に対する評価・提言 2月19日、3月8日

評価委員：光田委員、山梨委員

④『静岡県立美術館紀要』第41号掲載論文の評価

評価委員：（新田論文）潮江委員、栗田委員

（浦澤論文）榊原委員、古田委員

（薄田論文）榊原委員、古田委員

### （参考）静岡県立美術館研究活動評価委員会設置要綱

#### （設置）

第1条 静岡県立美術館（以下「美術館」という。）の展覧会事業及び専門分野に関わる刊行物等の評価を行うため、静岡県立美術館研究活動評価委員（以下「委員」という。）を置く。

(職務)

第2条 委員は次に掲げる事項について別紙評価の基準により、様式1の業務評価書を作成する。

- (1) 美術館が行う展覧会事業及び普及事業
- (2) 学芸員が執筆する専門分野に関する論文及び刊行物
- (3) その他美術及び教育普及に関する専門的事項

(組織)

第3条 委員は8名以内とする。

- 2 特別の事項を調査する必要があるときは、館長は臨時委員を委嘱することができる。

(委嘱)

第4条 委員は美術及び教育普及に関する専門的知識を有する者の中から館長が委嘱する。

(任期)

第5条 委員の任期は2年とする。

- 2 委員は再任することができる。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員に関し必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成15年5月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和7年4月1日から施行する。

## 令和7年度 新収蔵品

当館における作品収集の主要な方針は以下のとおりである。

- ①17世紀以降、日本と西洋で制作された風景画
- ②ロダンを中心とする国内外の近代以降の彫刻
- ③20世紀以降の美術動向を示す作品
- ④静岡県ゆかりの作家、作品
- ⑤富士山をモチーフとした作品

| No.  | 作者名                               | 作品名                               | 制作年            | 材質                             | 寸法 (cm)               | 取得方法                  |
|------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1    | 石川欽一郎                             | 河畔                                | 1920年代後半（昭和初期） | 絹本着色                           | 78.5×49.5             | 松延尚氏寄贈                |
| 2    | 黒田清輝                              | 湘南風景                              | 1898（明治31）年頃   | 板、油彩                           | 24.5×32.5             | 榎本恵美子氏寄贈（熊本石造氏旧蔵）     |
| 3    | 黒田清輝                              | 稲村ヶ崎                              | 不詳             | 厚紙、油彩                          | 14.0×18.0             | 榎本恵美子氏寄贈（熊本石造氏旧蔵）     |
| 4    | 和田三造                              | 《牧場の晩帰》下絵                         | 1904（明治37）年    | キャンヴァス、油彩                      | 67.5×43.5             | 榎本恵美子氏寄贈（熊本石造氏旧蔵）     |
| 5    | 山下新太郎                             | 大嶋より眺めたる富士                        | 不詳             | キャンヴァス、油彩                      | 25.6×33.3             | 榎本恵美子氏寄贈（熊本石造氏旧蔵）     |
| 6    | 横井弘三                              | 花籠もてる子供                           | 1923（大正12）年    | キャンヴァス、油彩                      | 77.0×96.3             | 静岡県立中央図書館より管理換（葵文庫旧蔵） |
| 7    | 栗原忠二                              | 白壁の家のある風景                         | 1923（大正12）年    | 水彩、紙                           | 44.5×67.0             | 中島直文氏寄贈               |
| 8    | オーギュスト・ドラー<br>トル                  | 月の出                               | 1867年          | 紙、ドライポイント                      | 9.2×14.5              | 井坂喜久夫氏寄贈              |
| 9    | シャルル＝エミール・<br>ジャック                | 風景                                | 1879年          | 紙、エッチング                        | 16.1×21.4             | 井坂喜久夫氏寄贈              |
| 10   | ケーテ・コルヴィッツ                        | 子どもをめぐって争う<br>死と女                 | 1911年          | 紙、エッチング、ド<br>ライポイント、アク<br>アチント | 23.3×62.0             | 井坂喜久夫氏寄贈              |
| 11   | フランク・ブランギ<br>ン（原画）、漆原由次郎<br>（彫・摺） | 『木版画十選』                           | 1924（大正13）年    | 紙、多色木版                         | 32.4×26.6×<br>1.7（書籍） | 井坂喜久夫氏寄贈              |
| 11-1 | フランク・ブランギ<br>ン（原画）、漆原由次郎<br>（彫・摺） | 漁船（エスコール河口）<br>（『木版画十選』より）        | 1924（大正13）年    | 紙、多色木版                         | 17.1×21.4             |                       |
| 11-2 | フランク・ブランギ<br>ン（原画）、漆原由次郎<br>（彫・摺） | イブン・トゥールー<br>ンのモスク（『木版画十<br>選』より） | 1924（大正13）年    | 紙、多色木版                         | 16.5×21.4             |                       |
| 11-3 | フランク・ブランギ<br>ン（原画）、漆原由次郎<br>（彫・摺） | 墓地（スクタリ）<br>（『木版画十選』より）           | 1924（大正13）年    | 紙、多色木版                         | 17.1×21.5             |                       |
| 11-4 | フランク・ブランギ<br>ン（原画）、漆原由次郎<br>（彫・摺） | 風車（ディクスマイデ）<br>（『木版画十選』より）        | 1924（大正13）年    | 紙、多色木版                         | 21.5×17.0             |                       |
| 11-5 | フランク・ブランギ<br>ン（原画）、漆原由次郎<br>（彫・摺） | 思い出のモスクの中庭<br>（『木版画十選』より）         | 1924（大正13）年    | 紙、多色木版                         | 16.4×21.5             |                       |
| 11-6 | フランク・ブランギ<br>ン（原画）、漆原由次郎<br>（彫・摺） | 羊番（『木版画十選』<br>より）                 | 1924（大正13）年    | 紙、多色木版                         | 13.8×17.7             |                       |
| 11-7 | フランク・ブランギ<br>ン（原画）、漆原由次郎<br>（彫・摺） | 樹々（モントルイユ）<br>（『木版画十選』より）         | 1924（大正13）年    | 紙、多色木版                         | 17.5×21.5             |                       |
| 11-8 | フランク・ブランギ<br>ン（原画）、漆原由次郎<br>（彫・摺） | 埠頭にて（『木版画十<br>選』より）               | 1924（大正13）年    | 紙、多色木版                         | 17.4×21.4             |                       |

| No.   | 作者名                          | 作品名                                                                                        | 制作年           | 材質            | 寸法 (cm)    | 取得方法           |
|-------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------|------------|----------------|
| 11-9  | フランク・ブラングィン (原画)、漆原由次郎 (彫・摺) | 金角湾 (『木版画十選』より)                                                                            | 1924 (大正13) 年 | 紙、多色木版        | 16.6×21.7  |                |
| 11-10 | フランク・ブラングィン (原画)、漆原由次郎 (彫・摺) | フランドルの郊外 (『木版画十選』より)                                                                       | 1924 (大正13) 年 | 紙、多色木版        | 14.5×21.5  |                |
| 12    | フランク・ブラングィン (原画)、漆原由次郎 (彫・摺) | 羊番 (『木版画十選』より)                                                                             | 1924 (大正13) 年 | 紙、多色木版        | 13.9×17.6  | 井坂喜久夫氏寄贈       |
| 13    | フランク・ブラングィン                  | オールド・キュー・ブリッジ                                                                              | 1899年頃        | 紙、エッチング (亜鉛版) | 32.8×39.1  | 井坂喜久夫氏寄贈       |
| 14    | フランク・ブラングィン                  | ブリュージュ、回転木馬                                                                                | 1910年         | 紙、エッチング (亜鉛版) | 19.7×20.7  | 井坂喜久夫氏寄贈       |
| 15    | フランク・ブラングィン                  | アルカンタラの橋                                                                                   | 1910年         | 紙、エッチング (亜鉛版) | 32.9×42.7  | 井坂喜久夫氏寄贈       |
| 16    | フランク・ブラングィン                  | サン・シル、熊の親方                                                                                 | 1911年         | 紙、エッチング (亜鉛版) | 27.2×36.0  | 井坂喜久夫氏寄贈       |
| 17    | エレナ・トゥタッチコワ                  | たねの季節：クレマチス #1 (クレマチスガーデン、2022年3月)                                                         | 2022 (令和4) 年  | Cプリント         | 90.5×110.0 | 購入             |
| 18    | エレナ・トゥタッチコワ                  | たねの季節：クレマチス #2 (クレマチスガーデン、2022年3月)                                                         | 2022 (令和4) 年  | Cプリント         | 60.0×49.6  | 購入             |
| 19    | 太田三郎                         | SEED PROJECT from SHIMIZU アレチヌスビトハギ・Desmodium paniculatum DC. 2002年11月11日清水市三保 ed. 1/3     | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子         | 21.0×11.7  | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 20    | 太田三郎                         | SEED PROJECT from SHIMIZU イタドリ・Polygnum cuspidatum Sieb. et Zucc. 2002年11月10日清水市草薙 ed. 1/3 | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子         | 21.0×11.7  | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 21    | 太田三郎                         | SEED PROJECT from SHIMIZU イヌホオズキ・Solanum nigrum L. 2002年11月11日清水市三保 ed. 1/3                | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子         | 21.0×11.7  | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 22    | 太田三郎                         | SEED PROJECT from SHIMIZU オニドコロ・Dioscorea tokoro Makino 2002年11月10日清水市草薙 ed. 1/3           | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子         | 21.0×11.7  | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 23    | 太田三郎                         | SEED PROJECT from SHIMIZU クロガネモチ・Ilex rotunda Thunb. 2002年11月10日清水市馬走 ed. 1/3              | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子         | 21.0×11.7  | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 24    | 太田三郎                         | SEED PROJECT from SHIMIZU コマツヨイグサ・Oenothera laciniata Hill. 2002年11月11日清水市三保 ed. 1/2       | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子         | 21.0×11.7  | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 25    | 太田三郎                         | SEED PROJECT from SHIMIZU サワラ・Chamaecyparis pisifera Endl. 2002年11月10日清水市馬走 ed. 1/3        | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子         | 21.0×11.7  | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |

| No. 作者名 | 作品名                                                                                                | 制作年           | 材質             | 寸法 (cm)   | 取得方法           |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------|-----------|----------------|
| 26 太田三郎 | SEED PROJECT from SHIMIZU ススキ・ <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss. 2002年11月10日清水市草薙 ed. 1/3        | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子          | 21.0×11.7 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 27 太田三郎 | SEED PROJECT from SHIMIZU セイヨウタンポポ・ <i>Taraxacum officinale</i> Weber 2002年11月10日清水市草薙 ed. 1/1     | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子          | 21.0×11.7 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 28 太田三郎 | SEED PROJECT from SHIMIZU センダングサ・ <i>Bidens biternata</i> Merr. et Sherff 2002年11月11日清水市三保 ed. 1/3 | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子          | 21.0×11.7 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 29 太田三郎 | SEED PROJECT from SHIMIZU センニンソウ・ <i>Clematis terniflora</i> DC. 2002年11月10日清水市草薙 ed. 1/2          | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子          | 21.0×11.7 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 30 太田三郎 | SEED PROJECT from SHIMIZU チカラシバ・ <i>Pennisetum alopecuroides</i> Spreng. 2002年11月10日清水市草薙 ed. 1/3  | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子          | 21.0×11.7 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 31 太田三郎 | SEED PROJECT from SHIMIZU ツクサ・ <i>Commelina communis</i> L. 2002年11月11日清水市三保 ed. 1/2               | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子          | 21.0×11.7 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 32 太田三郎 | SEED PROJECT from SHIMIZU ヌカキビ・ <i>Panicum bisulcatum</i> Nees 2002年11月10日清水市馬走 ed. 1/3            | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子          | 21.0×11.7 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 33 太田三郎 | SEED PROJECT from SHIMIZU ヒヨドリジョウゴ・ <i>Solanum lyratum</i> Thunb. 2002年11月10日清水市村松 ed. 1/3         | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子          | 21.0×11.7 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 34 太田三郎 | SEED PROJECT from SHIMIZU ミズヒキ・ <i>Polygonum filiforme</i> Thunb. 2002年11月10日清水市村松 ed. 1/2         | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子          | 21.0×11.7 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 35 太田三郎 | SEED PROJECT from SHIMIZU メドハギ・ <i>Lespedeza cuneata</i> G. Don 2002年11月11日清水市三保 ed. 1/3           | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子          | 21.0×11.7 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 36 太田三郎 | SEED PROJECT from SHIMIZU ヤマノイモ・ <i>Dioscorea japonica</i> Thunb. 2002年11月10日清水市草薙 ed. 1/3         | 2002 (平成14) 年 | 和紙、種子          | 21.0×11.7 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 37 太田三郎 | ニホンチャ・ <i>Thea</i> var. <i>bohea</i> Koch 2002年11月10日静岡県清水市村松 ed. 1/20                             | 2002 (平成14) 年 | 紙、レーザープリン<br>ト | 24.7×17.2 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |

| No. 作者名 | 作品名                                             | 制作年                    | 材質             | 寸法 (cm)        | 取得方法           |
|---------|-------------------------------------------------|------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 38 太田三郎 | Green tea leaves 2002年11月10日静岡県清水市有度本町 ed. 1/20 | 2002 (平成14) 年          | 紙、レーザープリン<br>ト | 24.7×17.2      | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 39 太田三郎 | Beach Sands 2002年7月21日静岡県清水市三保 ed. 1/20         | 2002 (平成14) 年          | 紙、レーザープリン<br>ト | 24.7×17.2      | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 40 太田三郎 | Beach stone 2002年11月11日静岡県清水市三保 ed. 1/20        | 2002 (平成14) 年          | 紙、レーザープリン<br>ト | 24.7×17.2      | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 41 太田三郎 | Stamp-map of Shimizu 31 March 2003              | 2003-2024 (平成15-令和6) 年 | ミクストメディア       | 112.0×74.0×4.6 | 本阿弥清 (本波潔) 氏寄贈 |
| 資料      |                                                 |                        |                |                |                |
| 42 駒井哲郎 | 駒井哲郎より二見彰一宛書簡 1969年12月7日 (消印)                   | 1969 (昭和44) 年          | 紙、インク          | 25.7×36.4      | 新田建史氏寄贈        |

# ■収集品点数一覧（令和 7 年度末現在）

購入作品数

（百万円）

| 年度   | 日本画 | 油彩画   | 水彩画   | 素描  | 版画  | 書     | 彫刻 | 工芸    | 写真 | その他 | 合計  |       |
|------|-----|-------|-------|-----|-----|-------|----|-------|----|-----|-----|-------|
|      |     |       |       |     |     |       |    |       |    |     | 点数  | 金額    |
| 昭和55 |     |       |       |     |     | 5     |    |       |    |     | 5   | 74    |
| 56   | 14  | 14    | 4     | 7   | 58  |       | 3  | 1     |    |     | 101 | 287   |
| 57   | 9   | 5     | 3     |     | 3   | 2     |    |       |    |     | 22  | 563   |
| 58   | 10  | 6     | 2     | 1   | 60  |       | 1  |       |    |     | 80  | 483   |
| 59   | 3   | 10    |       |     | 27  |       | 2  |       |    |     | 42  | 597   |
| 60   | 7   | 10    | 2     |     | 5   |       | 11 |       |    |     | 35  | 669   |
| 61   | 4   | 4     | 1     |     | 16  |       | 2  |       |    |     | 27  | 240   |
| 62   | 3   | 6     |       |     | 85  |       | 2  |       |    |     | 96  | 242   |
| 63   | 5   | 3     |       |     | 1   |       | 7  |       |    |     | 16  | 499   |
| 平成元  | 5   | 2     |       |     | 3   |       | 3  |       | 33 |     | 46  | 392   |
| 2    | 2   | 1     |       | 3   | 43  |       | 5  |       | 13 |     | 67  | 598   |
| 3    | 1   | 8     | 2     |     | 268 |       | 9  |       |    |     | 288 | 675   |
| 4    | 3   | 4     |       |     | 4   |       | 12 |       |    |     | 23  | 768   |
| 5    | 5   | 3     | 2     |     | 68  |       | 13 |       |    | 3   | 94  | 557   |
| 6    | 8   | 8     | 1     |     | 27  |       | 1  |       |    | 4   | 49  | 395   |
| 7    | 4   | 8     | 1     | 1   | 152 |       |    |       |    |     | 166 | 397   |
| 8    | 3   | 2     | 4     |     |     |       |    |       |    | 4   | 13  | 137   |
| 9    | 5   | 4     | 1     |     | 2   |       |    |       |    |     | 12  | 146   |
| 10   | 5   | 4     | 1     |     | 52  |       |    |       |    |     | 62  | 120   |
| 11   | 4   | 3     | 2     |     | 37  |       |    |       |    |     | 46  | 88    |
| 12   | 1   | 3     | 2     |     |     |       |    |       |    | 1   | 7   | 46    |
| 13   | 2   | 1     | 1     |     | 9   |       | 1  |       |    |     | 14  | 39    |
| 14   | 3   | 4     | 1     |     | 9   |       |    |       |    |     | 17  | 45    |
| 15   | 7   | 2     |       |     |     |       |    |       |    |     | 9   | 52    |
| 16   | 3   | 2     |       |     | 60  |       | 1  |       |    |     | 66  | 56    |
| 17   | 2   |       |       |     | 22  |       |    |       |    | 7   | 31  | 41    |
| 18   |     |       | 2     |     |     |       | 2  |       |    |     | 4   | 6     |
| 19   |     | 1     |       |     |     |       |    |       |    | 1   | 2   | 30    |
| 20   | 1   | 1     |       |     | 1   |       |    |       |    |     | 3   | 13    |
| 21   | 1   |       |       |     |     |       |    |       |    |     | 1   | 20    |
| 22   | 1   | 1     |       |     | 1   |       |    |       |    |     | 3   | 12    |
| 23   | 1   |       |       |     |     |       |    |       |    |     | 1   | 5     |
| 24   |     | 1     |       |     | 1   |       |    |       |    |     | 2   | 5     |
| 25   |     |       |       |     |     |       |    |       |    |     | 0   | 0     |
| 26   | 1   |       |       |     |     |       |    |       |    |     | 1   | 16    |
| 27   |     |       |       |     |     |       |    |       |    |     | 0   | 0     |
| 28   |     |       |       |     | 2   |       |    |       |    |     | 2   | 3     |
| 29   |     | 1     |       |     | 1   |       |    |       |    |     | 2   | 0     |
| 30   | 1   | 1     |       |     | 2   |       |    |       |    |     | 4   | 10    |
| 令和元  | 1   | 2     |       |     |     |       |    |       |    |     | 3   | 10    |
| 2    | 4   |       |       |     |     |       |    |       |    |     | 4   | 10    |
| 3    | 2   | 1     |       |     | 2   |       |    |       |    |     | 5   | 10    |
| 4    |     |       |       |     |     |       |    |       |    |     | 0   | 0     |
| 5    |     | 2     |       |     |     |       |    |       |    |     | 2   | 1     |
| 6    | 1   | 1     |       |     |     |       |    |       |    |     | 2   | 1     |
| 7    |     |       |       |     |     |       |    |       | 2  |     | 2   | 1     |
| 合計   | 点数  | 132   | 129   | 32  | 12  | 1,021 | 7  | 75    | 1  | 48  | 20  | 1,477 |
|      | 金額  | 1,721 | 2,843 | 311 | 68  | 371   | 80 | 2,811 | 3  | 9   | 142 | 8,359 |

寄贈作品数

| 年度   | 日本画 | 油彩画 | 水彩画 | 素描  | 版画  | 書   | 彫刻 | 工芸 | 写真 | その他 | 合計    |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-------|
| 昭和55 | 71  |     |     |     |     | 271 |    |    |    |     | 342   |
| 56   |     | 19  | 1   | 50  |     |     |    |    |    |     | 70    |
| 57   | 2   | 1   |     | 10  |     | 62  | 1  |    |    |     | 76    |
| 58   | 17  | 8   | 1   | 9   | 176 | 1   |    |    |    |     | 212   |
| 59   |     |     |     |     | 1   |     |    |    |    |     | 1     |
| 60   | 4   | 1   |     |     |     | 6   |    | 2  |    |     | 13    |
| 61   |     | 6   |     | 2   | 16  |     | 1  | 5  |    |     | 30    |
| 62   | 75  | 1   |     |     | 1   |     |    | 1  |    |     | 78    |
| 63   | 4   | 1   | 1   |     |     |     |    |    |    |     | 6     |
| 平成元  | 1   | 1   |     | 3   |     |     |    |    |    |     | 5     |
| 2    | 1   | 1   | 1   |     | 2   |     | 1  |    | 10 |     | 16    |
| 3    | 3   |     | 1   |     | 3   |     | 2  |    |    |     | 9     |
| 4    | 2   |     | 2   | 1   | 1   |     |    |    |    |     | 6     |
| 5    |     |     |     |     |     |     |    |    |    |     | 0     |
| 6    |     |     |     |     | 1   |     |    |    |    |     | 1     |
| 7    |     |     |     |     |     |     |    |    |    |     | 0     |
| 8    | 3   |     |     | 1   | 1   |     |    |    |    |     | 5     |
| 9    | 3   | 5   |     |     | 4   |     |    |    |    |     | 12    |
| 10   |     |     | 4   |     | 17  |     |    |    |    |     | 21    |
| 11   |     | 2   |     |     | 1   |     |    |    |    |     | 3     |
| 12   | 1   |     |     | 15  |     |     |    |    |    | 38  | 54    |
| 13   |     | 5   |     |     |     |     |    |    |    |     | 5     |
| 14   | 2   |     |     |     | 6   |     |    |    |    |     | 8     |
| 15   |     | 1   | 7   |     |     |     |    |    |    |     | 8     |
| 16   |     |     |     |     |     |     |    |    |    |     | 0     |
| 17   |     | 3   |     |     |     |     |    |    |    |     | 3     |
| 18   | 9   |     |     |     | 1   |     |    |    |    |     | 10    |
| 19   |     | 23  |     |     |     |     |    |    |    |     | 23    |
| 20   | 3   | 7   | 1   | 2   | 4   |     |    |    | 1  | 14  | 32    |
| 21   |     | 5   |     |     | 11  |     | 3  |    |    | 1   | 20    |
| 22   | 1   | 1   |     |     |     |     |    |    |    |     | 2     |
| 23   | 1   | 10  |     |     | 22  |     | 2  |    |    | 1   | 36    |
| 24   | 3   |     |     |     | 13  |     |    |    |    | 1   | 17    |
| 25   | 2   | 10  |     |     |     |     |    |    | 2  |     | 14    |
| 26   | 4   | 8   |     |     | 24  |     | 3  |    |    | 2   | 41    |
| 27   |     | 1   |     |     | 2   |     |    |    |    |     | 3     |
| 28   | 6   | 4   |     |     | 23  |     | 1  |    |    | 4   | 38    |
| 29   |     | 1   |     |     |     |     |    |    | 5  | 1   | 7     |
| 30   | 3   | 1   |     |     |     |     |    |    |    | 3   | 7     |
| 令和元  |     | 1   |     |     | 10  |     |    |    |    | 5   | 16    |
| 2    |     | 2   |     |     |     |     |    |    |    | 1   | 3     |
| 3    |     | 3   | 1   |     | 4   |     |    |    |    | 1   | 9     |
| 4    | 2   | 13  | 3   | 13  | 38  |     |    |    |    | 7   | 76    |
| 5    | 1   | 12  |     |     | 5   |     |    |    |    |     | 18    |
| 6    | 4   | 7   | 4   | 3   | 16  | 1   | 7  |    | 28 | 32  | 102   |
| 7    | 1   | 5   | 1   |     | 9   |     |    |    |    | 24  | 40    |
| 計    | 229 | 169 | 28  | 109 | 412 | 341 | 21 | 8  | 46 | 135 | 1,498 |

## 収蔵品展

第7展示室において当館の収蔵品・寄託品を中心に収蔵品展を開催し、下記4つのテーマ立てにより計85点の作品を展示した。

無料でご観覧いただける本館1階エントランスの名品コーナーにおいても、常時3点の作品を展示し、多くの方に鑑賞いただいた。

### ■収蔵品展スケジュール

令和7年4月9日(水)～6月15日(日)

新収蔵品展



令和7年7月1日(火)～8月17日(日)

本館竣工40周年記念 たてもの探訪



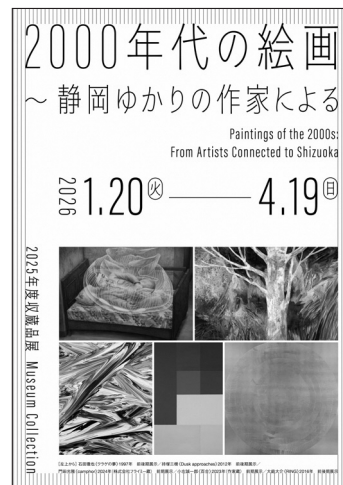
令和7年8月19日(火)～9月28日(日)

絵から読む物語



令和8年1月20日(火)～4月19日(日)

2000年代の絵画 静岡ゆかりの作家による



### ■デザイン

上記収蔵品展のウェブ用バナー、アイコン、出入口看板のデザイン：齋藤智仁 (summit)

### ■出品目録

pp.110-111参照

## 移動美術展 「富士と水のある眺め」

主 催：静岡県立美術館、公益財団法人富士市文化振興財団  
後 援：富士市、富士市教育委員会、富士宮市教育委員会  
会 場：富士市文化会館 ロゼシアター 展示室  
会 期：令和7年9月19日（金）～9月28日（日）

### ■概要

静岡県立美術館移動美術展は、東西に広い静岡県で、各地域の皆さまに当館のコレクションを広くご紹介するため、開館3年目の1988（昭和63）年から継続している事業である。本年は水の豊かな富士にちなんで、富士と水のある眺めを集め、霊峰富士の姿に始まり、日本や海外の水辺、人の心の中にある水辺の風景等、清らかな景色をお楽しみいただいた。

### ■関連事業

- ・学芸員によるフロアレクチャー

日時：9月21日（日）11：00、14：00

9月27日（土）13：00、15：00

各日30分程度

- ・静岡県立美術館ボランティアによるギャラリートour

日時：9月20日（土）13：30、14：30

### ■出品目録

pp.112-113参照



### ▲チラシ

## 図書資料の収集・整理

### ■収集

令和7年度の新たな受入により、当館蔵書は109,275冊となった。その累計内訳は、刊行図書 48,072冊、美術雑誌25,183冊、美術館等刊行物36,020冊である。

### ■分類・整理

令和7年度に行った作業は、以下のとおりである。

#### ①図書・定期刊行物の受入

収集図書および定期刊行物を分類表に則って分類した後、データベースに入力、配架した。令和7年度は、各方面から随時受入れている紀要や図録に加えて、県内外の歴史や美術動向、博物館活動に関する貴重な資料363冊の寄贈を2カ所より受け入れた。

#### ②図書目録の公開

令和3年度以降、図書目録をデジタルアーカイブへ移行し、校正を加えたのちインターネットで公開している。逐次刊行物については、データの校正が完了していないため、未公開となっている。

#### ③書庫整理

令和6年度より行っている図録の整理を継続した。同一タイトルで複数冊収蔵されている図録の2冊目以降を、地方ごと、美術館ごとに箱詰め・ラベリングして図書閲覧室の空いたスペースに保管した。会計年度任用職員とボランティアの尽力により、令和6、7年度を通じて1,243冊分の作業を終え、その分のスペースを書棚に確保した。

### ■閲覧

当館には、来館者の図書利用のための閲覧室があり、1,800冊以上の美術図書および美術雑誌、当館刊行物等が自由に閲覧できるようになっている。受付は当館ボランティアが行っている。閲覧室のパソコンから収蔵図書の検索が可能となっており、利用者は、閲覧希望図書をパソコンで検索し、申込用紙に必要事項を記入して受付に提示すれば、閉架図書も閲覧することができる。令和6年度までは、「桐」(データベース作成ソフト)をオフラインで検索していただいていたが、令和6年度末に検索用の端末を更新して、インターネットを介して最新のアーカイブを検索いただけるようにした。未公開の逐次刊行物については、主要なタイトルをリスト化して配置し、閲覧できるようにしている。そのうち、企画展ごとに関連する図書を閉架書庫より選択し、カウンター前のスペースへ展示するとともに閲覧可能とした。

### ■その他

8月2日(土)、3日(日)に開催されたワークショップ「風景画からはじまるあなたの物語」に関連して、講師を務めた林左和子氏(静岡文化芸術大学)が静岡県立中央図書館にて実施した小学生向けのワークショップの成果作品を、当館図書閲覧室カウンター前のスペースで展示した。

## 館蔵品等の貸し出し

| No. | 作者名           | 作品名                | 貸出先                                                      | 展覧会名                       | 会期                      | 会場                          | 貸出期間                     |
|-----|---------------|--------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------|-------------------------|-----------------------------|--------------------------|
| 1   | 草間彌生          | 無題 (No.White A.Z.) | ビクトリア国立美術館 (オーストラリア)                                     | Yayoi Kusama               | 2024/12/15<br>2025/4/21 | メルボルン・オーストラリア<br>ビクトリア国立美術館 | 2024/11/15-<br>2025/5/9  |
| 2   | パウル・クレー       | ホールC.エントランスR2      | 静岡市美術館                                                   | パウル・クレー<br>創造をめぐる星座        | 2025/6/7<br>2025/8/3    | 静岡市美術館                      | 2025/5/29<br>2025/8/8    |
| 3   | 藤田嗣治          | モンルージュ、パリ          | 東京ステーションギャラリー・<br>名古屋市美術館・茨城県近代美術館・札幌芸術の森美術館・株式会社キュレーターズ | 藤田嗣治 絵画と写真                 | 2025/9/13<br>2026/6/28  | 名古屋市美術館・茨城県近代美術館・札幌芸術の森美術館  | 2025/8/21-<br>2026/7/21  |
| 4   | 塩川文鱗          | 琵琶湖八景図             | MIHO MUSEUM 京都新聞                                         | 近江の名所                      | 2025/9/20<br>2025/12/14 | MIHO MUSEUM                 | 2025/8/20-<br>2025/12/31 |
| 5   | 円山応挙          | 木賊兎図               | 三井記念美術館                                                  | 円山応挙 革新者から巨匠へ              | 2025/9/26<br>2025/11/24 | 三井記念美術館                     | 2025/8/26-<br>2025/12/21 |
| 6   | 円山応挙          | 竹雀図屏風              | 三井記念美術館                                                  | 円山応挙 革新者から巨匠へ              | 2025/9/26<br>2025/11/24 | 三井記念美術館                     | 2025/8/26-<br>2025/12/21 |
| 7   | 谷文晁           | 富士山図屏風             | 静岡県富士山世界遺産センター                                           | 江戸文化の中の富士山<br>8 大御所時代      | 2025/10/4<br>2025/11/9  | 富士山世界遺産センター                 | 2025/9/24-<br>2025/11/21 |
| 8   | 柳澤紀子          | 水邊の庭 I             | 神戸市立小磯記念美術館                                              | 時をかける版画 小磯良平の版画と藝大版画研究室の人々 | 2025/10/4<br>2025/12/14 | 神戸市立小磯記念美術館                 | 2025/8/19-<br>2025/12/26 |
| 9   | 柳澤紀子          | 水邊の庭 III           | 神戸市立小磯記念美術館                                              | 時をかける版画 小磯良平の版画と藝大版画研究室の人々 | 2025/10/4<br>2025/12/14 | 神戸市立小磯記念美術館                 | 2025/8/19-<br>2025/12/26 |
| 10  | 柳澤紀子          | 水邊の庭 V             | 神戸市立小磯記念美術館                                              | 時をかける版画 小磯良平の版画と藝大版画研究室の人々 | 2025/10/4<br>2025/12/14 | 神戸市立小磯記念美術館                 | 2025/8/19-<br>2025/12/26 |
| 11  | 草間彌生          | 無題 (No.White A.Z.) | バイエラー財団 (スイス)                                            | Yayoi Kusama               | 2025/10/12<br>2026/1/25 | バイエラー財団                     | 2025/9/12-<br>2026/3/14  |
| 12  | オーギュスト・ロダン    | 《ラ・フランス》習作         | 宇都宮美術館・三重県立美術館・下野新聞社                                     | ライシテからみるフランス美術 信仰の光と理性の光   | 2025/10/12<br>2026/3/22 | 宇都宮美術館・三重県立美術館              | 2025/9/28-<br>2026/4/5   |
| 13  | エメ＝ジュール・ダル＝   | 乳を与えるパリの女          | 宇都宮美術館・三重県立美術館・下野新聞社                                     | ライシテからみるフランス美術 信仰の光と理性の光   | 2025/10/12<br>2026/3/22 | 宇都宮美術館・三重県立美術館              | 2025/9/28-<br>2026/4/5   |
| 14  | アシル＝エトナ・ミシャロン | 廃墟となった墓を見つめる羊飼ひ    | ひろしま美術館                                                  | 白の魔法 ーモネ、大観も使った最強の色ー       | 2025/12/13<br>2026/3/22 | ひろしま美術館                     | 2025/11/13-<br>2026/4/22 |
| 15  | 浅井忠           | 雲                  | ひろしま美術館                                                  | 白の魔法 ーモネ、大観も使った最強の色ー       | 2025/12/13<br>2026/3/22 | ひろしま美術館                     | 2025/11/13-<br>2026/4/22 |
| 16  | 黒田清輝          | 富士之図 (1)           | ひろしま美術館                                                  | 白の魔法 ーモネ、大観も使った最強の色ー       | 2025/12/13<br>2026/3/22 | ひろしま美術館                     | 2025/11/13-<br>2026/4/22 |
| 17  | 黒田清輝          | 富士之図 (3)           | ひろしま美術館                                                  | 白の魔法 ーモネ、大観も使った最強の色ー       | 2025/12/13<br>2026/3/22 | ひろしま美術館                     | 2025/11/13-<br>2026/4/22 |
| 18  | 黒田清輝          | 富士之図 (5)           | ひろしま美術館                                                  | 白の魔法 ーモネ、大観も使った最強の色ー       | 2025/12/13<br>2026/3/22 | ひろしま美術館                     | 2025/11/13-<br>2026/4/22 |
| 19  | 小出檣重          | 静物                 | ひろしま美術館                                                  | 白の魔法 ーモネ、大観も使った最強の色ー       | 2025/12/13<br>2026/3/22 | ひろしま美術館                     | 2025/11/13-<br>2026/4/22 |
| 20  | 佐分真           | 雪のグリュンデルワルド        | ひろしま美術館                                                  | 白の魔法 ーモネ、大観も使った最強の色ー       | 2025/12/13<br>2026/3/22 | ひろしま美術館                     | 2025/11/13-<br>2026/4/22 |
| 21  | チャールズ・ワーグマン   | 富士遠望図              | ポーラ美術館                                                   | SPRING わきあがる鼓動             | 2025/12/13<br>2026/5/31 | ポーラ美術館                      | 2025/11/15-<br>2026/6/15 |

| No. | 作者名        | 作品名                | 貸出先                                 | 展覧会名           | 会期                      | 会場                   | 貸出期間                     |
|-----|------------|--------------------|-------------------------------------|----------------|-------------------------|----------------------|--------------------------|
| 22  | 平木政次       | 富士                 | ポーラ美術館                              | SPRING わきあがる鼓動 | 2025/12/13<br>2026/5/31 | ポーラ美術館               | 2025/11/15-<br>2026/6/15 |
| 23  | ドナルド・ジャッド  | 無題                 | ワタリウム美術館                            | ジャッド   マーファ展   | 2026/2/15<br>2026/6/7   | ワタリウム美術館             | 2026/2/1-<br>2026/6/14   |
| 24  | 草間彌生       | 無題 (No.White A.Z.) | ルートヴィヒ美術館 (ドイツ)                     | Yayoi Kusama   | 2026/3/14<br>2026/8/2   | ルートヴィヒ美術館            | 2026/2/20-<br>2026/9/12  |
| 25  | 下村観山       | 日・月蓬萊山図<br>対幅の内一幅  | 東京国立近代美術館・和歌山県立近代美術館・日本経済新聞社        | 下村観山           | 2026/3/17<br>2026/7/20  | 東京国立近代美術館・和歌山県立近代美術館 | 2026/2/15-<br>2026/8/31  |
| 26  | ポール・セザンヌ   | ジャ・ド・ブーファンの大樹      | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館・NHK・NHKプロモーション | NHK日曜美術館50年展   | 2026/3/28<br>2026/12/20 | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館 | 2026/2/28-<br>2027/2/20  |
| 27  | オーギュスト・ロダン | 裸のバルザック            | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館・NHK・NHKプロモーション | NHK日曜美術館50年展   | 2026/3/28<br>2026/12/20 | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館 | 2026/2/28-<br>2027/2/20  |
| 28  | オーギュスト・ロダン | 考える人               | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館・NHK・NHKプロモーション | NHK日曜美術館50年展   | 2026/3/28<br>2026/12/20 | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館 | 2026/2/28-<br>2027/2/20  |
| 29  | エドヴァルド・ムンク | ヴァンパイア             | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館・NHK・NHKプロモーション | NHK日曜美術館50年展   | 2026/3/28<br>2026/12/20 | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館 | 2026/2/28-<br>2027/2/20  |
| 30  | 石田徹也       | 飛べなくなった人           | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館・NHK・NHKプロモーション | NHK日曜美術館50年展   | 2026/3/28<br>2026/12/20 | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館 | 2026/2/28-<br>2027/2/20  |
| 31  | 石田徹也       | 社長の傘の下             | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館・NHK・NHKプロモーション | NHK日曜美術館50年展   | 2026/3/28<br>2026/12/20 | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館 | 2026/2/28-<br>2027/2/20  |
| 32  | 熊谷守一       | ほたるぶくろ             | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館・NHK・NHKプロモーション | NHK日曜美術館50年展   | 2026/3/28<br>2026/12/20 | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館 | 2026/2/28-<br>2027/2/20  |
| 33  | 李禹煥        | 照応                 | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館・NHK・NHKプロモーション | NHK日曜美術館50年展   | 2026/3/28<br>2026/12/20 | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館 | 2026/2/28-<br>2027/2/20  |
| 34  | 李禹煥        | 照応                 | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館・NHK・NHKプロモーション | NHK日曜美術館50年展   | 2026/3/28<br>2026/12/20 | 東京藝術大学大学美術館・大阪中之島美術館 | 2026/2/28-<br>2027/2/20  |

## 美術作品の補修

### ■令和7年度の修復作品等

- ・小泉癸巳男《冬の猿橋》マット装
- ・中川雄太郎《百姓家のせど》マット装
- ・中川雄太郎《工場へ行く道》マット装
- ・中川雄太郎《静清国道にて》マット装
- ・中川雄太郎《興津川畔》マット装
- ・中川雄太郎《(風景)》マット装
- ・平塚運一《築地聖路加病院跡(東京震災跡風景)》マット装
- ・ケル＝グザヴィエ・ルーセル《サン＝トロペの海景》カビ清掃、額装
- ・ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ《マルケルス劇場》旧ヒンジ除去、再マット装
- ・プロムナード彫刻メンテナンス（ジョージ・リッキー《四つの旋回する斜線 菱形Ⅱ》、掛井五郎《蝶》、佐藤忠良《みどり》、舟越保武《杏》、柳原義達《道標・鳩》）
- ・ロダン館及びブリッジ・ギャラリー彫刻清拭

## 保存活動

美術作品の保存と公開とを両立させる、作品の保全活動は、美術館の持つ重要な役割の一つである。しかしながら、老朽化による不具合が建物の各所に生じ、この機能への障害がしばしば生じている。防水、配管、電気等の基本的な設備が、思いがけない故障によって脅かされ、緊急の対応によって事なきを得ることが多くなった。

下水や雑排水の配管は、劣化すると様々な害虫の発生原因になるが、天井裏や床下のピットにある配管の確認や応急処置は、しばしば困難を伴う。

### ■展示室等殺虫

展示室、荷解室、県民ギャラリー等のゴキブリを対象とした防虫処理をミラクンGXを用いて行なった。当館の場合、展示室や執務室への文化財害虫の侵入を食い止めるよう、幾つかの措置を講じてはいるが、全面的な害虫の遮断は、現状では不可能であり、ここからさらなる収蔵庫等への害虫侵入の可能性を考えれば、薬剤使用はやむを得ないと判断されるためである。

環境や人体への影響が少ない殺虫処理方法である窒素置換法による低酸素濃度殺虫は、必要となる事態が無かったため、今年度の実績は無かった。

収蔵庫等で虫菌害が発生した場合、当該箇所全域を大規模燻蒸することは、極力避ける方針を継続してきたが、酸化エチレン製剤の製造が終わり、そもそも大規模燻蒸の実施は不可能になりつつある。殺菌仕様での燻蒸に使えるのは、今や酸化プロピレン製剤のみとなり、殺虫のみを考えるならフッ化スルフルル製剤も用いることが出来るが、今後のサステナビリティという点で、状況は不透明である。代替薬品は今のところ存在しない。医療分野や海外での食品衛生分野で実用化されている放射線照射による滅菌、殺菌は、文化財への応用が検討されているかどうか、不明である。

館内でカビが発生してしまった場合、環境の改善が無い限り、殺菌燻蒸が無意味であるのは当然だが、天災等による水損資料等の一時的な受け入れを検討する際、どのような処置が考え得るのか、今後の判断は一層困難になっている。

### ■環境調査、環境改善

有害生物管理には、環境の調査が非常に重要である。当館では平成12（2000）年度より外部の委託業者による施設の環境調査を、年3～4回行なってきた。今年度も4回のトラップ調査、浮遊菌、付着菌、空気環境等の館内調査を行なった。

また「ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト」

「金曜ロードショーとジブリ展」等では極めて多くのお客様をお迎えしたことから、虫菌害の懸念される個所で個別のトラップ調査を複数回行なった。

館内の作品収蔵環境は、必ずしも望ましい状態ではなくなりつつある。点数が増え、収蔵場所が無くなっていくことで、通気を確保し難くなり、取り扱いに必要な空間の確保も難しくなりかねない。作品の収集は美術館本来の機能であり、これを維持していくためにも、収蔵庫機能の改善は、必須の課題である。

ロダン館収蔵庫内に棚を設けることが出来たため、一部の整理は進んだが、根本的な解決には至っていない。

### ■普及活動

環境維持のためには、施設に携わる者全員の参加が欠かせない。環境をチェックする目が多い程、より多くの情報を集積することが出来るからである。館内職員に対しては、研修等の機会に保存活動への協力を呼び掛けている。また博物館実習の中に「作品の保全について」や「収蔵庫内実習」を組み込むことで、当館の環境保全への努力について、美術館外部にも理解を求める試みが行なわれている。

### ■防災

静岡県博物館協会事務局として、台風等の天災での被害が懸念される場合での、防災用連絡網を運用している。また、防災についての講習会を、今年度も開催することが出来た。

全国美術館会議東海ブロックでは、愛知、三重、岐阜の各県と共に、防災についての協議を継続しており、今年度から2年間、岐阜県美術館が幹事館である。

### ■主な保存活動の経過

6月2日（月）～9日（月）

外部業者による館内外生物環境及び空気環境調査第1回目

6月21日（土）～23日（月）

ミラクンGXによる展示室等防虫業務

8月18日（月）～23日（土）

エキヒュームSによる作品の殺菌燻蒸実施

8月25日（月）～9月1日（月）

外部業者による館内外生物環境及び空気環境調査第2回目

9月下旬

台風15号の後、静岡県博物館協会事務局として、会員館園の安否確認を実施。結果は会員専用掲示板にアッ

---

プ

12月8日（月）～15日（月）  
外部業者による館内外生物環境及び空気環境調査第3回  
目

3月2日（月）～9日（月）  
外部業者による館内外生物環境及び空気環境調査第4回  
目

3月11日（水）  
全国美術館会議東海ブロックで防災のための情報伝達  
訓練実施

## 展覧会活動 展覧会一覧

| 企 画 展          |                                                               |   |   |   |   |   | 収蔵品展                                                           |
|----------------|---------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---|----------------------------------------------------------------|
| 1              | 2                                                             | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |                                                                |
| 4<br>APRIL     | 2025/4/19(土)～2025/6/15(日)<br><br>ブルックリン博物館所蔵<br>特別展 古代エジプト    |   |   |   |   |   | 2025/2/18(火)～2025/4/6(日)<br>絢爛たる花鳥画                            |
| 5<br>MAY       |                                                               |   |   |   |   |   | 2025/4/9(水)～2025/6/15(日)<br><br>新収蔵品展                          |
| 6<br>JUNE      |                                                               |   |   |   |   |   |                                                                |
| 7<br>JULY      | 2025/7/5(土)～2025/9/23(火・祝)<br><br>これからの風景<br>世界と出会いなおす6のテーマ   |   |   |   |   |   | 2025/7/1(火)～2025/8/17(日)<br>本館竣工40周年記念<br>たてもの探訪               |
| 8<br>AUGUST    |                                                               |   |   |   |   |   | 2025/8/19(火)～2025/9/28(日)<br><br>絵から読む物語                       |
| 9<br>SEPTEMBER |                                                               |   |   |   |   |   |                                                                |
| 10<br>OCTOBER  | 2025/10/11(土)～2026/1/4(日)<br><br>金曜ロードショーとジブリ展                |   |   |   |   |   |                                                                |
| 11<br>NOVEMBER |                                                               |   |   |   |   |   |                                                                |
| 12<br>DECEMBER |                                                               |   |   |   |   |   |                                                                |
| 1<br>JANUARY   | 2026/1/20(火)～2026/3/15(日)<br><br>中村宏展 アナクロニズム (時代錯誤)<br>のその先へ |   |   |   |   |   | 2026/1/20(火)～2026/4/19(日)<br><br>2000年代の絵画<br>～静岡ゆかりの<br>作家による |
| 2<br>FEBRUARY  |                                                               |   |   |   |   |   |                                                                |
| 3<br>MARCH     |                                                               |   |   |   |   |   |                                                                |

## 観覧者数一覧

| 展 覧 会       |                           | 会 期       |     | 観覧者<br>見込数 | 観 覧 者 数 |        |        |        |       |        |        |         |       |
|-------------|---------------------------|-----------|-----|------------|---------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|---------|-------|
|             |                           | 期 間       | 日数  |            | 一 般     | 高校・大学  | 小・中学   | 70歳以上  | しずGo! | 未就学児   | 招待・減免  | 実績数     | 対見込   |
| 企<br>画<br>展 | ブルックリン博物館所蔵<br>特別展 古代エジプト | 4/19～6/15 | 51  | 61,000     | 40,649  | 2,508  | 5,720  | 6,580  | —     | 989    | 9,663  | 66,109  | 108.4 |
|             | これからの風景                   | 7/5～9/23  | 69  | 12,000     | 4,667   | 1,229  | 825    | 839    | —     | 245    | 2,970  | 10,775  | 89.8  |
|             | 金曜ロードショーと<br>ジブリ展         | 10/11～1/4 | 75  | 180,000    | 165,802 | 13,338 | 21,261 | 5,299  | —     | 16,713 | 20,048 | 242,461 | 134.7 |
|             | 中村宏展                      | 1/20～3/15 | 48  | 8,000      | 6,116   | 1,029  | 459    | 773    | 11    | 107    | 2,836  | 11,331  | 141.6 |
|             | 小 計                       |           | 243 | 261,000    | 217,234 | 18,104 | 28,265 | 13,491 | 11    | 18,054 | 35,517 | 330,676 | 126.7 |
| 収蔵品展        |                           | 4/1～3/31  | 280 | 10,000     | 7,928   | 1,174  | 937    | 1,365  | 2     | 231    | 2,423  | 14,060  | 140.6 |
| 合 計         |                           |           | 531 | 271,000    | 225,162 | 19,278 | 29,202 | 14,856 | 13    | 18,285 | 37,940 | 344,736 | 127.2 |
| 移動美術展       | 富士市                       | 9/19～9/28 | 14  | 2,000      | -       | -      | -      | -      | -     | -      | -      | 2,726   | 136.3 |

### ■年度別観覧者数

(単位：人)

| 年 度     | 観覧者数    | 年 度     | 観覧者数      |
|---------|---------|---------|-----------|
| 昭和61年度  | 345,746 | 平成18年度  | 222,608   |
| 昭和62年度  | 174,031 | 平成19年度  | 184,535   |
| 昭和63年度  | 214,156 | 平成20年度  | 190,669   |
| 平成元年度   | 229,258 | 平成21年度  | 101,792   |
| 平成 2 年度 | 233,904 | 平成22年度  | 264,207   |
| 平成 3 年度 | 190,361 | 平成23年度  | 126,626   |
| 平成 4 年度 | 173,665 | 平成24年度  | 163,533   |
| 平成 5 年度 | 218,921 | 平成25年度  | 139,428   |
| 平成 6 年度 | 410,182 | 平成26年度  | 94,664    |
| 平成 7 年度 | 245,028 | 平成27年度  | 110,310   |
| 平成 8 年度 | 178,701 | 平成28年度  | 146,498   |
| 平成 9 年度 | 127,299 | 平成29年度  | 157,323   |
| 平成10年度  | 153,099 | 平成30年度  | 73,452    |
| 平成11年度  | 107,977 | 令和元年度   | 113,362   |
| 平成12年度  | 146,833 | 令和 2 年度 | 137,276   |
| 平成13年度  | 207,340 | 令和 3 年度 | 45,109    |
| 平成14年度  | 170,390 | 令和 4 年度 | 97,490    |
| 平成15年度  | 184,095 | 令和 5 年度 | 52,846    |
| 平成16年度  | 146,706 | 令和 6 年度 | 104,345   |
| 平成17年度  | 129,768 | 令和 7 年度 | 344,736   |
|         |         | 累 計     | 6,858,269 |

# ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト

**主催：**ブルックリン博物館、静岡県立美術館、Daiichi-TV  
**企画協力：**朝日新聞社、東映、日本テレビ  
**協力：**名古屋大学、日本航空、一般社団法人Platoo、ヤマト運輸、World Scan Project  
**協賛：**DNP大日本印刷  
**静岡会場特別協賛：**セキスイハイム東海  
**監修：**エカテリーナ・バーバッシュ氏（ブルックリン博物館エジプト・古典・古代近東美術キュレーター）、モーガン・モロニー氏（ブルックリン博物館古典・古代近東美術アシスタント・キュレーター）、河江肖剰氏（名古屋大学高等研究院教授）  
**会期：**令和7年4月19日（土）～6月15日（日）

## ■概要

本展では、ニューヨークのブルックリン博物館から、石碑、宝飾品やパピルス、棺、そして人間や猫のミイラなど、選りすぐりの作品約150点を展示した。これらの作品を通じ、古代エジプト人の暮らしや信仰や、ピラミッドがなぜ、どのように建設されたのか？ミイラはどのように作られたのか？知っているようで知らなかった古代エジプト文明の謎に親しんで頂いた。

会場でご紹介したピラミッドやその内部の映像は、名古屋大学とワールドスキャンプロジェクトの共同調査による、普段は見ることの出来ない貴重なものであった。

また最終章「死後の世界の門をたたけ！」では、世界最古の葬送文書と呼ばれる「死者の書」の発音を再現、古代エジプトの声を聴きながら、作品をご覧頂いた。

## ■関連事業

- ・河江肖剰プレミアムナイト  
日時：4月19日（土） 18：00～20：15
- ・館長美術講座  
日時：5月25日（日） 14：00～  
会場：当館講堂  
講師：木下直之（当館館長）
- ・学芸員によるフロアレクチャー（展示解説）  
日時：5月10日（土）、14日（水）、各日14：00～14：30  
場所：企画展示室  
講師：新田建史（当館上席学芸員）

## ■図録

**監修：**エカテリーナ・バーバッシュ（ブルックリン博物館 エジプト・古典・古代近東美術キュレーター）  
モーガン・モロニー（同エジプト・古典・古代近東美術アシスタント・キュレーター）  
河江肖剰（名古屋大学高等研究院 准教授）  
**編集：**朝日新聞社  
小川智史  
**執筆：**エカテリーナ・バーバッシュ  
モーガン・モロニー  
河江肖剰  
野中亜紀（愛知文教大学 非常勤講師）  
有村元春（早稲田大学 曾津一記念博物館助手）  
宮川創（筑波大学 准教授）  
清水麻里奈（名古屋大学大学院 博士後期課程）

**英語翻訳：**渡邊真理

野中亜紀

河江肖剰

**古代エジプト語翻訳・監修：**宮川創

**撮影：**パウラ・アブレウ・ピタ

**追加撮影：**ギャヴィン・アシュワース

サラ・デサンティス

ジョナサン・ドラド

**デザイン：**佐藤大介（sato design.）

**校正：**朝日新聞総合サービス出版校閲部

田宮宣保

アーニャ・シキツカ（ブルックリン博物館）

**印刷・製本：**大日本印刷

**発行：**朝日新聞社

東映

日本テレビ放送網

**仕様：**24.6×18.0cm 248 頁

**エッセー「古代エジプトの謎に挑んだ200年！」河江肖剰**

1st stage 古代エジプト人の謎を解け！

1：文明の予兆

2：書記になれ！

3：大いなるナイルの恵み

4：古代エジプトにおける夢

**コラム：**古代エジプト飯 河江肖剰

5：美しさと善良さ

6：女性イシスにおける母性愛

**コラム：**女性の婚姻と出産／服装と化粧 野中亜紀

2nd Stage ファラオの実像を解明せよ！

1：ピラミッドとは？

2：神の館

3：ファラオの象徴

4：1500柱の神々

5：太陽信仰と宗教改革

6：ファラオの「仕事」

エッセー「ピラミッド研究調査の歴史」河江肖剰

Final Stage 死後の世界の門をたたけ！

1：神聖な動物たち

2：多彩な副葬品

コラム：古代エジプトの国際交易 有村元春

3：オシリス信仰

4：ミイラ作り

コラム：古代エジプト語 宮川創

コラム：古代エジプトの動物崇拝：ネコ 清水麻里奈

古代エジプト王朝年表

用語解説

古代エジプト地図

エッセー「ブルックリン博物館の古代エジプト美術」エ

カテリーナ・バーバッシュ

作品リスト

主要参考文献

## ■出品目録

pp.85-91を参照



▲チラシ

## これからの風景 世界と出会いなおす6のテーマ

主 催：静岡県立美術館  
助 成：公益財団法人 花王・芸術科学財団  
会 期：令和7年7月5日(土)～9月23日(火・祝)

### ■概要

当館が約40年にわたって収集してきた、さまざまな風景画・風景表現を、これまでとは少し違った切り口で紹介した展覧会。当館の風景画コレクションを、これまで収集の指針としてきた「美術史的体系化」（『静岡県立美術館コレクション選』1996年など）から一旦置き放ち、異なる時代やジャンルの作品を織り交ぜながら、6つのテーマで捉えなおすことを試みた。

展覧会は、現代の私たちにも親しみ深い観点や今日的な課題に通じる「記憶／鑑賞／観光／場所／環境／対話」の6つのテーマで構成された。第1章「記憶」では、谷川俊太郎の詩「思い出の風景」を手がかりに、過去に描かれた風景画が、世界の様々な事象に美を感じる感性を育ててきたことを、代表的な所蔵品とともにたどった。「鑑賞」をテーマとした第2章では、視覚以外の感覚で風景画の魅力にアプローチする方法を提案するとともに、視覚障害者にも風景画を楽しんでいただけるよう様々な工夫を試みた（pp.30～35に詳細を報告）。明治以降の日本の風景画を主に展示した第3章「観光」では、価値観の変化が新たな観光地や見るべき風景を見出し、画家の表現にも影響を与えたことを振り返った。第4章「場所」では、近代化する国土における風景そのものの物理的な変化を、第5章「環境」では、地質学的な規模での風景の変化を感じさせる一連の作品を展示し、風景画を、固定化されたイメージとしてではなく、世界をつねに変化のなかにある動的なものとして捉えるための入り口として提示した。最後の6章では、水(地)平線が構図の主役となっている風景画ばかりを展示し、鑑賞カードを通して、他者同士が文字通り「対話」するコーナーとした。

本展では、第2章「鑑賞」や第6章「対話」を中心に、通常の展覧会とは異なる要素を展示するため、建築家による会場構成を取り入れた。エントランスホールに会場内と同じ仕器を設置して、来場者の動線を作りだしたり、床のタイルを張り替え、仕器にアクセントとなる色を取り入れたりすることで、異なるテーマに分かれた展示室に統一感を与え、居心地よく洗練された空間を作り出すように努めた。

会場には、小学校高学年の子どもを想定した、簡単な言葉による解説や問いかけを記したパネルを掲出し、無料配布のジュニアガイドを用意することで、夏休み中の子どもたちが楽しく観覧できるように工夫した。また、

実技室によって、「子ども創作週間」が初めて企画され、出品作品と関連付けたミニ創作コーナー（フロクタージュ）を設けた。

会期中は、関連イベントを多数開催した。とくに、美術史の枠を超えて風景画を捉え直すという展覧会の目的を補完するために他分野のゲストを招いて実施した「ゲスト・トーク・シリーズ」ならびに「地球家族会議」では、風景を捉える多様な視点を来場者に提供できた（当館美術館ニュース『アマリス』Vol.159にレポートを記載）。

小中学生の来場者数が、例年の夏休み開催の展覧会と比較しても少なかったのが残念だが、アンケート結果によると、10代、20代の来場者が多く足を運んでおり、該当の世代への遡及を意識した広報物のデザインが効果を示したことが分かった。

### ■関連事業

- ・学芸員によるフロアレクチャー(展示解説)

日時：7月12日(土)、9月21日(日)

各日14：00～14：40

場所：企画展示室

講師：貴家映子（当館上席学芸員）

- ・対話でつながる風景鑑賞会

日時：7月20日(日) 14：00～15：00

会場：当館講座室、企画展示室

講師：貴家映子

- ・ゲスト・トーク・シリーズ

日程／ゲスト／会場：

7月26日（土）／桂川大氏（建築家/STUDIO大・おどり場主宰）／企画展入口

8月23日(土)／青田麻未氏（環境美学/上智大学助教）／当館講座室

8月31日(日)／小林淳氏（火山学/静岡県富士山世界遺産センター教授）／当館講座室

9月7日(日)／内海佐和子氏（都市計画・建築計画/静岡県立大学教授）当館講座室

時間：各日程とも14：00～15：00

- ・実技講座「風景画からはじまるあなたの物語」

日時：8月2日(土)、3日(日) 各日10：00～16：00

場所：当館実技室

講師：林左和子氏（静岡文化芸術大学教授）

・親と子のための鑑賞会

日時：8月9日(土) 10:30~11:30 (未就学児向け)  
13:30~14:30 (小学生向け)

会場：企画展示室、実技室

講師：石上充代(当館学芸課長)、貴家映子

・館長美術講座「なぜ絵は四角いのだろう」

日時：8月10日(日) 14:00~15:30

会場：当館講堂

講師：木下直之(当館館長)

※手話通訳つきで実施

・こども創作週間

日時：8月7日(木)~9日(土)、  
11日(月・祝) 10:00~16:00

場所：当館実技室

・地球家族会議@静岡県美

日時：8月17日(日) 14:00~15:00

会場：当館講座室

講師：早川宗志氏(ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授)

・ギャラリーツアー p.47参照

■託児サービス

コロナ以降中止していた託児サービスを会期中の一部週末で実施した。

事前申込制/定員に満たない場合は当日受入可

実施日：8月17日(日)、8月23日(土)、8月31日(日)、  
9月7日(日)、9月20日(土)、9月21日(日)

時間：13:00~16:00(うち2時間を上限とする)

■ジュニアガイド

編集：貴家映子、石上充代、古家満葉(当館主任学芸員)

発行：静岡県立美術館

仕様：A5判 観音開き 横書き 8頁

デザイン：綱島卓也

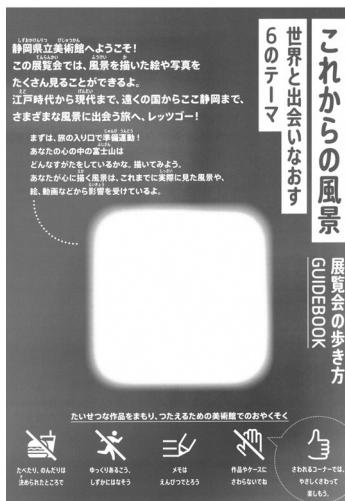
印刷：株式会社グラフィック

■出品目録

pp.92-97を参照



▲チラシ



▲ジュニアガイド表紙



▲鑑賞カード

## ■第2章「鑑賞-ふれる風景、きく風景」展示詳細

### ・趣旨

西洋で風景画がジャンルとして確立した背景には、自然を自己と切り離された客体として認識するようになったことが挙げられる。その意味で、風景画は、「近代の理性的な主体が、視覚を通じて認識した世界の表象」とも言い換えうる。では、視覚で世界を認識していない人々には風景画を享受することができないのだろうか。そのような疑問をきっかけにして、「これからの風景」展では、触覚や聴覚を用いて風景画を鑑賞するための様々なアプローチを試みた。風景画は、奥行きや光の表現などがその評価において重視されてきたため、絵画のなかでも、鑑賞における視覚への依存がとりわけ顕著なジャンルと言える。本展での試みを、風景画をコレクションの柱の一つとする当館が、障害の有無にかかわらず、あらゆる人にひらかれた美術館となるための、さらなる一步と位置付けたい。

### ・概要

対象となる主な作品は、長らく西洋の風景画の模範とされてきた画家クロード・ロランによる《笛を吹く人物のいる牧歌的風景》とした。そして、この作品の鑑賞の要点(見どころ)を、聴覚や触覚、あるいは空間で知覚可能な媒体へと置き換えることを目指した。具体的には、テキスタイルによる空間展示(インスタレーション)、音と声、触図(絵の輪郭などを触知できるようにした図)が、作品への具体的なアプローチとして用意された。また、3Dプリンターによる額縁の複製や、作品のサイズが体感できるフレームなどによって、絵の実在感を伝えることも試みた。さらに、クロード・ロランの作品と比較するために、ロランを模範とした作例(グザヴィエ・ビドー)と、ロランとの相違が顕著な作例(ギュスターヴ・クールベ)について、触図やさわれるツールを用意し、鑑賞の助けとした。

なお、クロード・ロランの作品を選出した理由は次のとおりである。事前の調査にて、長年、視覚障害者教育に携わってきた大内進氏から、視覚障害者が触覚を用いて体系的に美術を学ぶことができる教材は希少だというお話をうかがった。当館の風景画コレクションは、17世紀のクロード・ロランを起点とする風景画の系譜がある程度たどれるように構成されているため、触図やさわれる鑑賞ツールを、今後他の作品でも制作することで、視覚障害者が様々な風景画を比較鑑賞し、その歴史を体系的に知る助けとなれるのではないかという展望を持った。

### ・事前調査

近年、様々な美術館で、アクセシビリティの向上を目的の一つとした多感覚鑑賞の試みが行われている。本展の実施にむけては、三重県立美術館の「美術にアクセス！—多感覚鑑賞のすすめ」展(2021)、滋賀県立美術館の「みかたの多い美術館」展と「さわるSMoAコレクション」(ともに2023)、京都国立近代美術館を中心に実施されるプログラム「感覚をひらく」(2017~2023)、ギャラリーA4の「点字にふれる」展(2024)、そして日本点字図書館のふれる博物館の実践を調査した。「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」のメンバーを講師として茨城県近代美術館で開催された鑑賞会では、当館で同趣旨のイベントを実施するためのヒントを得た。

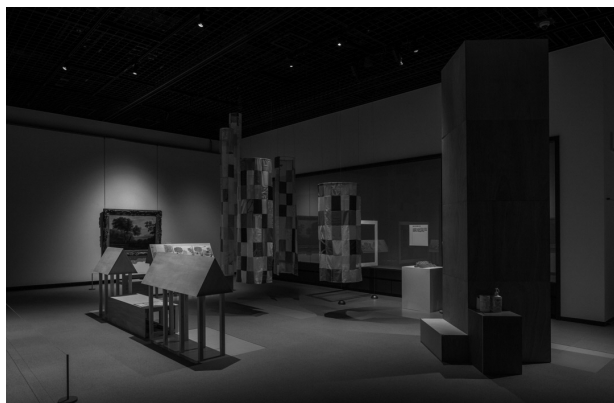
また、国立民族学博物館の広瀬浩二郎氏、手と目idemる教材ライブラリーの大内進氏、そして、静岡県視覚障害者情報支援センターの皆様にも貴重なお時間をいただき、企画への助言をいただいた。

### ・【空間構成】—風景にはっていく

展覧会の概要にも記した通り、今回は、展示空間の設計を建築家の桂川大氏に依頼した。触図や奥行と光を再現する仕掛けなど、様々な要素を統一的な展示空間にまとめあげるためである。エントランスから共通して設置した什器のデザインや、第6室に設置した鑑賞カードの記入台、掲出方法などは、桂川氏とデザイナーの綱島卓也氏のアイディアによる。

企画展示室入口からアクセスしやすいことから、第3室を第2章の会場とした。

作品を展示しない壁面部分のガラスケースをあえて見せることで、空間に開放感を作り出した。スピーカーを組み込みつつ、章解説パネルなどを貼りつけた巨大な角柱は、第6室の中ほどにそびえたつ大きな柱に呼応したものであった。視覚障害者用の誘導ブロックに替わる役割を意図して、触ることのできる展示品や解説パネルの床面をリノリウムシートに貼り換えたことは、足元の感覚で触ることのできる展示物の位置を知らせるだけでなく、視覚的なアクセントにもなっていた。



#### ・【音と声による風景の再現】

##### 一言葉と音から風景を想像してみる

会場では、ロランの作品に聴覚からもアプローチできるように、SPAC（静岡県舞台芸術センター）の協力を得て特別に制作した音と声を再生した。

制作にあたっては、SPACの音楽監督である棚川寛子氏、俳優の鈴木真理子氏、吉見亮氏ならびに音響スタッフが直接美術館を訪れ、対象となるロランの作品を鑑賞する機会をもった。それを受けて、出来る限り抽象的な音で作品のイメージを表現するとともに、音だけではどうしても伝わらないモチーフやイメージだけは断片的な言葉で補足するという方針を立てた。

録音は、1日かけてSPACのリハーサルルームにて行われた。まず、棚川氏の指揮の下、鈴木氏、吉見氏、音響スタッフならびに筆者が演奏する様々な楽器の音を組み合わせ一つ一つの抽象的な音楽を作り出していった。音楽の構成においては、人物と動物たちの存在が示す牧歌性、廃墟が示唆する儚さ、画面の奥にむかって続く空間の広がりや空の光のグラデーションに注目した。そして、描かれているモチーフの存在が、絵のなかの空間の手前から奥にむかって表れるかのように、そのモチーフを連想させる音を順に並べていった。最後に、音だけでは表現しきれない要素に絞り込んでモチーフや情景を示す言

葉を選択し、それを鈴木真理子氏、吉見亮氏が朗読した声を録音した。後日、音響スタッフがそれらを合成し、いくつかの効果音を加えられて、音源が完成した。

会場では、2つのスピーカーから音声を再生したが、事前に決めていた会場の構成上、スピーカーの1台は展示壁の中へ、もう1台は展示室奥というようにやや前後するかたちで配置せざるを得なかったため、ステレオの効果を感じにくい状況になってしまった。また、静かに鑑賞したい方も意識してボリュームを絞っていたため、会場にノイズが多いと言葉が聞き取りにくいことがあった。

絵のなかの情景をより具体的な言葉で説明したバージョンの朗読音源を用意し、YouTubeへアップロードした。YouTubeのURLは二次元コードに変換して会場に掲出した。

アンケートでは、「音声が自由な鑑賞の妨げになる」という意見もあったが、視覚以外の感覚で絵を感じてみるという意図を明確にするため、苦情を恐れずに割り切って大きな音量で再生してしまっても良かったかもしれない。アンケート回答者が当たり前に享受している「自由な鑑賞」から排除されている人たちのことを意識してもらうことも企画意図の一つであった。

#### ・【3Dプリンターによる額縁の複製】

##### 一風景画がどのように大切にされてきたのかを知る

聞こえてくる音声に耳を傾けながら、第2章に足を踏み入れたところに、作品を枠取っている額縁の一部（上辺中央部）を複製した模型を設置した。

複製模型を制作した理由は、絵の存在を触って実感できる手がかりを少しでも増やしたいという思いから、絵画に付属する立体物である額縁であれば、3Dデータを計測して、出力できるのではないかと考えたためである。

過去に当館のロダン作品を3D計測したことがある静岡県工業技術研究所に相談を持ち掛けたが、同所の機材では、完全非接触で額縁のスキャンを実行することができなかった。そのため、3Dスキャンを様々な分野で活用する技術者たちのコミュニティに協力を呼び掛けていただいたところ、「3D. Lab Hitoyado base」の協力を得ることができた。

収蔵庫にて該当作品の額縁を藤田吉臣氏がスキャンし、「3D. Lab Hitoyado base」にて、藤田氏とスタッフがデータ処理をして出力した。紫外線によって硬化するレジン素材とする3Dプリンターが用いられた。今回複製した50.0×18.0×11.0cmというサイズは、一括で出力不可能であったため、8つに分割して出力された。出力後は、サポート部分を切り落としたのち、バリをやすりで

削って完成となった。展示台の上では接合したが、観覧後は、分割して保管している。

当館のロラン作品の額縁は複雑な装飾がほどこされており、そのボリュームや華やかさを平面図や言葉で伝えることは難しい。風景画の奥行や光の表現を伝えることが主たる目的であった今回の展示では、額縁の複製はやや補足的な存在であったかもしれないが、別の機会には、古い西洋の絵画がどのように飾られてきたのかを、視覚障害者が具体的に知るための有効なツールとなるだろう。また、今回の制作過程は、さわって全体を把握することが難しい大きな彫刻作品の複製にも応用できる。プロムナードの彫刻や、ロダンの大型の作品が複製できれば、タッチツアーの幅も広がるかもしれない。



#### ・【絵と同サイズの木枠】—絵の大きさを体感してみる

額縁の模型に隣り合うようにして、木のフレームを設置した。ロラン作品のキャンヴァスサイズにあわせて作られており、絵の大きさを体感してもらうことを意図した。フレームは、桂川氏と相談して、展示室の奥に飾られたロランの実作品とレイヤーをなすように、平行して設置することとした。空間に浮遊せざるを得ないため、比較的しっかりとした木材を使用し、ワイヤーで吊るして、床に置いた重しと結びつけた。大きな木のフレームは、保管にスペースを必要とする。視覚障害者との鑑賞会などでは、もっと簡易的にヒモなどで作品サイズが表されることもあるため、次回以降は、別の方法も検討出来るだろう。

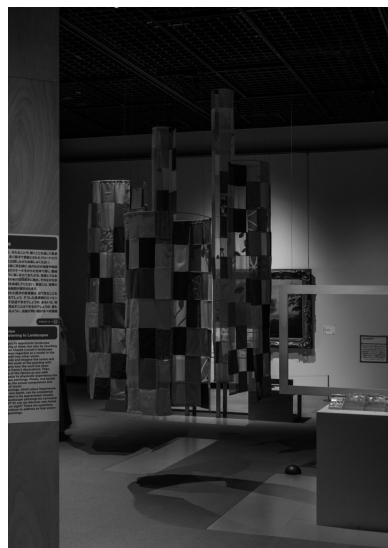


#### ・【テキスタイル】—奥行と光にふれてみる

空間構成を担当した桂川氏と検討を重ねた結果、テキスタイルデザイナーの庄司はるか氏に、光と奥行を質感と空間インスタレーションで再現するためのテキスタイルの監修、制作を依頼した。

庄司氏に作品の要点と展示の意図を説明し、相談を重ねた結果、カーテンの余り生地をパッチワークして制作した5つの円筒を、触図へいたる導線上に吊り下げることであった。5つの円筒は、手前から奥に向かって徐々に径が小さくなっており、同時に、手前の太い円筒では、ごわごわ、ざらざらといった質感の布が多く使用され、奥の細い円筒では、ほとんどの部分が、軽く薄い透明感のある布で作られた。これらを手前から奥に向かって抱きかかえるように触ることで、手前のほうでは、絵の前景で存在感を持つ土や植物の存在を具体的に感じつつ、奥のほうでは、木々のうしろへと収束していく空間に光が充満していく様子を体感してもらうことを意図した。

全盲の視覚障害者は、空間全体を一時に把握することができない。そして、位置や方向を変えることで、自らとともに空間を把握するための起点も移動する。ゆえに、空間上に手前から奥へ配置された、徐々に小さく、軽くなっていく物体を順に触っていても、最終的に、その触覚の記憶を、手前から奥へと俯瞰して再構成することが難しい。そのため、今回の取り組みでは、実際に奥行や光を実感するのは極めて困難だっただろう。



事前の調査を通じて、ほとんど見えていない視覚障害者が絵画の空間を理解するには、3次元に置き換えて、それを触覚で確認できることが最も効果的であることが分かっていた。そのため、計画途上では、描かれた風景を3次元の石膏模型に置き換える試みを検討したが、実現には至らなかった。鑑賞の入口でこの模型を触察して

モチーフの位置関係を理解することが出来ていれば、テキスタイルによる奥行と光の再現が、それを補足する鑑賞ツールとして上手く機能したのではないかと推測する。

#### ・【触図】－風景画の構図を触知する

展示室の奥で、実作品の正面に触図を配置した。

触図とは、輪郭線や面を凸状に浮きあがらせたり、手触りを変化させたりして、イメージを触覚で伝えるツールである。今回は、感熱性発泡紙による立体コピーの触図を用意した。制作は、岡山県立美術館や滋賀県立美術館などで様々な触図を制作してきた小川真美子氏による。

制作にあたっては、事前に、小川氏とともに実際に作品を鑑賞し、鑑賞における要点を確認した。触図の制作においては、作品の画像データをそのまま出力しても、情報量が多すぎて、さわって認識できる図にはならない。そのため、作品の鑑賞において重要な要素だけにしぼって、シンプルな線や面に絵を置き換える作業が必要になる。また、モチーフの数や面積も描かれている通りに再現するのではなく、言葉で補うことを前提として分かりやすいように省略する。そのようなつもりで作品を観察すると、実際は何であるのか分からないモチーフや空間における位置関係が明瞭ではない細部に気が付く。そうした部分は、同じ作者の別の作品と見比べるなどして判明させるを試みたが、ある程度、推測による解釈を反映させざるを得ないところもあった。

メインとなるクロード・ロラン作品は、一つの画面を2枚の触図に分割して再現することとした。1枚目は、背景を省略し、人物や動物のモチーフにややフォーカスするかたちで周りをトリミングした前景部分、2枚目は、前景部分を含む全体図である。2枚目の背景部分では、右手に湖と遠くの橋、左手には崖があり、空には傾いた陽がグラデーションをつくる様子を表現した。1枚目、2枚目と順に触ってもらうことで、絵画の奥行を体験してもらうことを意図した。



撮影：当館職員

途中、小川氏から提出された図案を担当者が確認し、解釈が異なっているところや、省略の多寡を指摘して、修正を依頼した。その後、実際に出力したものを監修者の藤下直美氏が触察し、視覚障害者の立場からより分かりやすい触図となるように調整が加えられて完成へ至った。

展示に向けては、印刷された紙の触図を、MDFボード(木材が樹脂で固められているため棘などが無い)に貼りつけてから台に固定した。そして、触図越しに作品を見ることが、作品に近づいて細部を確認することもできるように、触図を設置した台と作品のあいだに十分な空間を設けた。視覚障害者が絵画の構図やモチーフを理解するためには、触図だけでは十分ではなく、付添者が対象や細部、絵から受ける印象を言葉で補う必要がある。そのためにも、実際の作品が見える位置に触図を配置することが重要である。

展示室では、他に2点の作品を触図とともに紹介した。ジャン＝ジョセフ＝グザビエ・ビドーの《山に見える牧歌的風景》は、クロード・ロランを模範とする理想的風景画の系譜に位置づけられる作品で、家畜とその番をする人物、水辺など、ロランの作品と同様のモチーフが確認できるような触図を用意した。もう1点は、ロランの模範を離れて制作したギュスターヴ・クールベの《ピュイ・ノワールの溪流》を選択した。画面の大部分を岩と葉叢が占め、奥行感のない構図となっていることが分かる触図を制作し、ロランやビドーの作品と比較して、その違いを実感してもらうことを意図した。

触図は、60度の角度がついた三角形の台に据え付けた。これは、事前調査で、絵画を再現したレリーフなどは、60度の傾斜が触りやすいと知ったためである。しかし、ほぼ平面である触図を、実際に視覚障害者が触てみると、絵の下部にむかって手首を曲げる度合いが大きくなり、触りにくいということだった。



触図には、それぞれ何をどのような触感に置き換え、どのように配置されているかが分かるような解説を添えた。

途中で失明した視覚障害者で、触図自体が分かりにくいという感想を漏らす方がいた一方で、別の先天的に全盲の方は、触図を手掛かりに熱心に鑑賞していた。

#### ・【質感再現キャンヴァス】

##### ークールベらしい質感を知る

クールベの風景画は、ロランの作品と比較して奥行感の少ない構図であるだけでなく、その表面が表情豊かな質感で覆われているところも大きな特徴である。クールベは、パレットナイフで直接絵の具を画面に塗り付けたことでも知られる。その特徴をさわって実感していただくため、本物の油絵具を用いて質感を再現したキャンヴァスを用意した。制作を依頼した画家の鈴木健司氏は、実際に収蔵庫でクールベの作品を熟覧した上で、再現にあたった。多様な質感が触知しやすいように、パレットナイフを用いてつつつとした質感で描かれた岸壁と、細かな筆のタッチで小さな凹凸が並んだ葉叢が隣り合った部分を選択して、再現してもらった。



撮影：当館職員

#### ・【点字の解説、音声の解説】

第2章の解説にはすべて点字を用意した。点字翻訳は、触図を制作した小川真美子氏による。点字のシートは、原則、墨字の隣に点字を貼付けたが、一部で、高い位置や、垂直の壁面に貼付けることとなり、触読しにくい箇所も生じてしまった。これは、空間構成と解説パネルの位置や枚数の擦り合わせと、点字シートのサイズの想定が事前に十分なされていなかったことが要因である。座ってじっくり読むこともできるように、点字シートをすべて1冊にまとめたファイルも用意した。

また、スマートフォンの音声認識を用いて、音声でも解説が聞けるように、各章の解説テキストは、Google

ドキュメントを利用してウェブ上に掲載し、そのURLを二次元コード化して、該当の解説の横に掲示した。小川氏のアイディアで、コードの横には、家具などの衝撃吸収などに使われる透明なゴムクッションを貼りつけて、読み込む際の手掛かりとした。

#### ・関連イベント「対話でつながる風景鑑賞会」

会期中の7月20日(日)に、目の見えない、見えにくい人と、晴眼者が、それぞれの見方、感じ方を伝えあうことで、風景画の鑑賞を深めることを目的とした「対話でつながる風景鑑賞会」を実施した。

プログラムは全体で90分とし、講座室でのアイスブレイキングの後、会場へと移動した。約6名のグループを4つ作り、美術館で指定したジャンルの異なる3作品を順に鑑賞してもらった。最後の作品は、2点の作品から1点を選べるようにした。また、1点目か2点目で、触図を鑑賞に取り入れられるロランかクールベの作品を鑑賞するようコースを設定した。そこには、触って構図を知ること、見える人と見えない人が共通の土台に立つことができるようにという意図による。最後に講座室へと戻り、振り返りを行った。

ギャラリツアーグループやタッチツアーグループのボランティアにも、一部参加者として協力いただいたが、プログラムの目的を十分に達成するためには、対話による鑑賞に慣れているか、視覚障害者に絵画を説明することに慣れているファシリテータが必要だと実感した。それは、必ずしも晴眼者である必要はない。ファシリテータの確保が難しい場合に、どのようにプログラムを組み立てるかは、今後の検討課題である。

実施後、視覚障害を持つ当事者が、発言を特別視されているのではないかと感じた感想を漏らしたのが印象的だった。また、途中で弱視となった方が、先天的に全盲の方に対して、遠慮をされるという場面も見られた。



撮影：当館職員

互いの特性を認め合い、活かしあって、鑑賞を深めるといふ活動においては、「違い」に対する引け目や偏見を取り払うことが必要だが、それは、障害の有無に関わらず難しいことなのかもしれない。

#### ・展覧会を終えて

ここに記した全ての試みは、事前調査で得た情報や助言、協力者からいただいた知見やアイディアに基づいて実施したものである。

計画当初は、近年、さまざまな美術館や博物館で行われているインクルーシブなプロジェクトを意識して、視覚障害者と晴眼者のいずれもが、聴覚や触覚を研ぎ澄まし、それぞれがその特性を活かしながら風景画の魅力とともに迫ることのできる展示を目指した。調査を進めるにつれて、視覚障害者の立場を意識した工夫や試みは増えて行ったが、それを当初の目的に統合するには至らず、どっちつかずのまま会期を終えてしまった。

要因は、最後まで展示の「見栄え」へのこだわりが捨てきれなかったことに加えて、視覚障害を持つ当事者の意見を聞き、協働するための機会を十分に確保しなかったことに尽きる。当館がコレクションする風景画の魅力は、まだまだ色々な方向からアプローチする可能性があるはずなので、今後も、細く長く続けていきたい。

(報告：貴家映子)

本展示にご協力いただいた個人、団体は次の通りです。事前調査などにご協力いただいた方々をはじめ、ここにお名前を記せなかった皆様にも、心より感謝申し上げます。

協力：アイセイ株式会社

株式会社遠藤照明

東リ株式会社

会場設計：桂川大（STUDIO大、おどり場） 小出一葉（おどり場）

デザイン：綱島卓也

テキスタイル：庄司はるか

音と声：棚川寛子、鈴木真理子、吉見亮（SPAC-静岡県舞台芸術センター）

録音・編集：竹島知里、大拙実莉、近藤侑羽（SPAC-静岡県舞台芸術センター）

額縁複製光造形：藤田吉臣、加藤まや、田中優歩（3D. Lab Hitoyado base）

油彩マチエール再現：鈴木健司

触図制作・点訳：小川真美子（点字・触図工房BJ）

触図監修：藤下直美（（社福）名古屋ライトハウス日々のくらし相談室）

設営：ミラクルファクトリー

パネル出力・アクリル制作：株式会社プロスパー

印刷：株式会社サンエムカラー [チラシ、ポスター]

株式会社グラフィック [ジュニアガイド]



▲谷川俊太郎の詩を掲げた展示室入口



▲第6展示室

特別に記載のない写真の撮影は、中村マユ（ToLoLo studio）による。

## 金曜ロードショーとジブリ展

主催：静岡県立美術館、Daiichi-TV

共催：日本テレビ

特別協賛：au（KDDI株式会社）

協賛：TOPPANクロレ

展示協力：アトリエロジウラ、ア・ファクトリー

特別協力：スタジオジブリ

静岡展協賛：新静岡セノバ

会期：令和7年10月11日（土）～令和8年1月4日（日）

夜間開館：毎週土曜日、10月12日（日）、11月2日（日）、  
23日（日）、1月2日（金）～4日（日）※20時  
まで開館。

### ■概要

日本テレビの映画番組「金曜ロードショー」で放映されたことが、スタジオジブリ作品が支持されるきっかけの一つになったことに着目し、両者の歩みをたどることをテーマとした展覧会。2023年の東京会場以降、全国を巡回し、当館は9か所目。会場前半では年代順にスタジオジブリ各作品のあらすじパネルや場面写真を展示したほか、「金曜ロードショー」におけるジブリ作品の放映記録、関連する様々なエピソードを紹介。併せて同時期の事件や流行などにも触れ、時代を振り返ることができる内容となっていた。会場後半には、「風の谷のナウシカ」に登場する「腐海」を表現した「風の谷のナウシカ 王蟲の世界」や、各作品のポスターを撮影セットに仕立てた「ポスタースタジオ」など、大掛かりな体験型の展示物が設置された。会場最後にはショップが設けられ、来場者限定で様々なグッズが購入できた。また、エントランスホールには静岡会場だけの展示物として「ゲド戦記」の巨大なポスタースタジオが設置され、耳目を集めた。

チケット販売はアソビュー！、ローソンチケット等に限定し、館内での販売は一切行わなかった。土日祝および会期末を日時指定予約制とし、あらかじめ定めた枠数内で販売した。平日の入場は予約不要としたが、同じく事前購入制を導入した。一方、チケットを必要としない、小学生以下の児童、障害者手帳や特定医療費（指定難病）受給者証等の保持者と付添者1名までは予約不要とした。

初日から4,000人を超える来場があり、展示室の入場や駐車場の待機に長蛇の列ができた。その後、入場枠数の調整、駐車場警備の増員等の改善を続け、多くの来場者を受け入れられる体制を整えていった。最終的に来場者は24万人を超え、当館での最高記録となった。

### ■関連事業

・スタンプラリー

期間：10月11日（土）～10月31日（金）

会場：新静岡セノバ、静岡鉄道新静岡駅、同県立美術館前駅、当館エントランスホール

・館長美術講座「乗物考一人は絵の中でどのように移動してきたか」

日時：11月24日（月・祝）14：00

会場：当館講堂

講師：木下直之（当館館長）

### ■図録

監修：スタジオジブリ

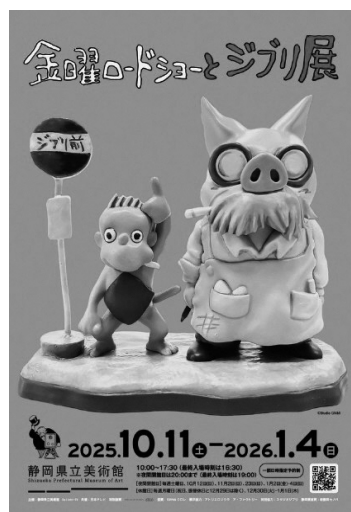
新潮社（『火垂るの墓』）

発行：株式会社 講談社

発売：日本テレビ放送網株式会社

印刷所：TOPPANクロレ株式会社

製本所：大口製本印刷株式会社



### ▲チラシ

## 中村宏展 アナクロニズム（時代錯誤）のその先へ

**主 催：**静岡県立美術館、静岡新聞社・静岡放送  
**特別協力：**東京都現代美術館、名古屋市美術館、練馬区立美術館、浜松市美術館、宮城県美術館  
**助 成：**芸術文化振興基金助成事業  
**会 期：**令和8年1月20日（火）～3月15日（日）

### ■概要

浜松市出身で日本の戦後美術を代表する画家、中村宏を包括的に紹介する大規模回顧展として開催した。作家が会期直前の2026年1月8日に93歳で逝去されたことから、図らずも追悼の意を帯びるものとなった。

中村は1960年代以降、みずからの在り方を「アナクロニズム（時代錯誤）」と呼び、絵画表現を通じてモダニズムに逆行する姿勢を貫いてきた。絵画にとどまり続けた中村は、「アナクロニズム（時代錯誤）」という言葉にいかなる意図を込め、その先に何を見据えて70年にわたり制作を続けたのだろうか。本展ではこの問いに回答すべく、「第1章 社会へのまなざし」、「第2章 記憶の中の風景」、「第3章 セーラー服と蒸気機関車」、「第4章 絵画と観賞者」、「第5章 同時代芸術家との交流」の5章構成により、その軌跡と現在の意義を検証した。会期中、バーチャルYouTuber儒烏風亭らでんによる音声ガイドを無料で提供したことで、これまで中村宏を知らなかった幅広い世代の来場者に関心と呼ぶ契機となり、結果的に入場者の増加にもつながった。

「ゲスト・トーク」では、同時期に開催した収蔵品展「2000年代の絵画～静岡ゆかりの作家による」に出品する、地域にゆかりのある画家4名をゲストに招いたトークイベントを実施し、中村宏の魅力について語り合う機会を設けた。さらに清水南高等学校(100名)、横内小学校(4年生約160名)を対象とした出張講座を行い、展覧会や作家の普及活動にも努めた。

### ■関連事業

- ・伴奏付き無声映画上映会 セルゲイ・エイゼンシュテイン「戦艦ポチョムキン」  
日時：2月1日（日）14：00～16：00  
場所：当館講堂  
出演：[ピアノ伴奏] 鳥飼りょう氏、[アフタートーク] 畠山宗明氏（映画学）
- ・ゲスト・トーク  
日時：2月8日（日）14：00～16：00  
場所：当館講堂  
出演：大庭大介氏、小左誠一郎氏、門田光雅氏、持塚

三樹氏（五十音順）

- ・実技講座「切り絵ワークショップ 切ってつくるモンタージュの世界」  
日時：2月14日（土）、15日（日）各日13：00～16：00  
場所：当館実技室  
講師：福井利佐氏（切り絵アーティスト）
- ・わくわくアトリエ「絵を描こう、物事を観よう」  
日時：3月1日（日）10：00～16：00  
場所：当館実技室  
講師：小左誠一郎氏  
対象：小学生、中学生
- ・担当学芸員との鑑賞会（対話形式）  
日時：1月31日（土）、2月28日（土）  
各日11：00～12：00  
場所：展示室
- ・学芸員によるフロアレクチャー（展示解説）  
日時：1月31日（土）、2月28日（土）  
各日14：00～15：00  
場所：展示室
- ・館長美術講座「セーラー服と機関車」  
日時：3月8日（日）14：00～15：30  
場所：当館講堂  
講師：木下直之（当館館長）

### ■図録

- 執筆：川谷承子（当館上席学芸員）  
足立元（美術史・社会史）  
嶋田美子（アーティスト、60年代研究）  
木下直之（当館館長）  
服部千春（浜松学芸中学校・高等学校副理事長）  
鎮西芳美（東京都現代美術館学芸員）  
大塚英志（まんが原作者）  
岩本憲児（早稲田大学名誉教授／映画史・映像論）  
植松篤（当館上席学芸員）  
柿沼裕朋（ディレクター）  
高橋孝次（日本近代文学）  
長崎裕起子（ギャラリー58代表）

- 書誌編集：橘川英規  
編集：黒川典是  
デザイン：大溝裕（Glanz）  
印刷：山田写真製版所

仕様：A4変形版 292頁

■出品目録

pp.98-109を参照



▲チラシ



## 紀要の発行

当館は、美術館建設準備室時代の1983（昭和58）年に紀要を創刊し、以後毎年1回のペースで刊行を続けてきた。

その目的は、美術館活動の基礎となる学芸員の調査・研究成果を広く公開し、館蔵品を中心とした美術作品の研究の進展に寄与することである。従って研究テーマは主に館蔵品であるが、各学芸員の研究意欲に基づき、広く美術および美術館を取り巻く諸問題まで取り扱う。成果品は、例年のように、全国の研究機関および研究者に配布した。

### 第41号

■判 型 29.7×21.0cm

■頁 数 54頁

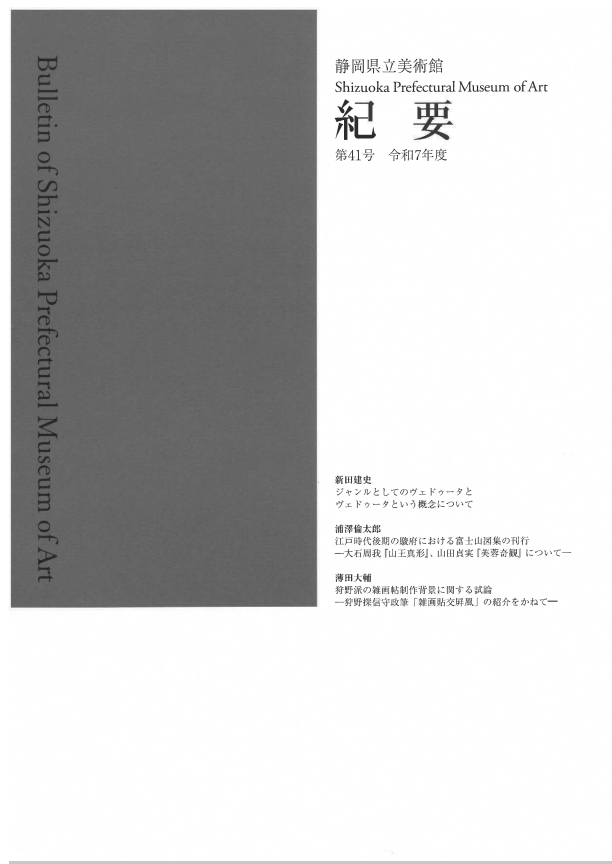
■発行日 2026（令和8）年3月31日

■内 容

☐ カラー 4 頁

☐ 論文

- ・新田建史「ジャンルとしてのヴェドゥータとヴェドゥータという概念について」
- ・浦澤倫太郎「江戸時代後期の駿府における富士山図集の刊行―大石周我『山王真形』、山田貞実『芙蓉奇観』について―」
- ・薄田大輔「狩野派の雑画帖制作背景に関する試論―狩野探信守政筆「雑画貼交屏風」の紹介をかねて―」



## 研究活動

各学芸員の研究活動のうち、その成果が発表されたもの（論文・書籍執筆・口頭発表等）を記載する。ただし、一般の新聞・ニュースレターへの寄稿や、一般向け講演、館内研究会、図録の作品解説等は除いている。

### ■石上充代

・論文「尾竹竹坡《乳供養》について」（『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第158号、令和7年7月）

### ■新田建史

・論文「ジャンルとしてのヴェドゥータとヴェドゥータという概念について」（『静岡県立美術館紀要』第41号、令和8年3月）

### ■喜多孝臣

・論文「横井弘三《花籠持てる子供》とその県立葵文庫への収蔵経緯について」（『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第160号、令和8年1月）

### ■薄田大輔

・論文「狩野派による雑画帖の制作背景に関する試論―狩野探信守政筆「雑画貼交屏風」の紹介をかねて―」（『静岡県立美術館紀要』第41号、令和8年3月）

・論文「狩野探幽筆「一ノ谷合戦・二度之懸図屏風」にみる狩野派合戦図の特質」（『戦国合戦図屏風・絵巻を読む』勉誠出版、令和8年3月）

### ■古家満葉

・論文「一九二〇・三〇年代アメリカにおける新版画受容とコレクション形成の一断面」（『近代画説』第34号、令和7年12月）

・論文「松澤宥アーカイブに残された海外通信について」（『かみ派の美術 諏訪に集った前衛たち』水声社、令和8年2月）

・論文「第五福竜丸を刻んだ版画―上野誠の作例から」（『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第161号、令和8年3月）

### ■植松篤

・論文「沼津美術研究所について」（『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第159号、令和7年10月）

・論文「中村宏作品における時間、運動」（『中村宏アナクロニズム（時代錯誤）のその先へ』図録、令和8年3月）

### ■川谷承子

・論文「ルポルタージュ絵画から観念主義リアリズムへ 文章と絵画から読み解く」（『中村宏アナクロニズム（時代錯誤）のその先へ』図録、令和8年3月）

### ■浦澤倫太郎

・論文「掛川藩御抱絵師・村松以弘「伊豆沿海真景」について」（『鹿島美術財団年報』第42号別冊、令和7年11月）

・論文「江戸時代後期の駿府における富士山図集の刊行―大石周我『山王真形』、山田貞実『芙蓉奇観』について―」（『静岡県立美術館紀要』第41号、令和8年3月）

## 研究会

令和7年度に開催された研究会の題目と要旨は以下のとおりである。この研究会は準備室時代から始まり、現在まで継続している。発表者は学芸課職員だが、今年度も館長みずからが率先して発表を行い、その研究姿勢を示した。発表内容は、原則的には自由だが、担当する展覧会企画や館蔵品にかかわるものも多い。発表時間は発表後の質疑応答も含め、約1時間である。

### 4月

#### 開館40周年に向けて2 美術館をどのように「ひらく」のか 木下直之

タイトルが「静岡県立美術館をひらく」と決まった開館40周年記念展覧会のねらいについて、「過去を踏まえる」と「未来を展望する」のふたつの観点から論じた。30周年を機に『静岡県立美術館の30年』というコンパクトな記念誌が刊行されたものの、当館はいわゆる「年史」というものを持たずにきた。まして開館までの「前史」はきちんと語られてこなかった。一次資料というべき関係文書が保存されておらず、たまたま残った断片的な記録から「前史」を編むしかない。そもそも「前史」はいつから語るべきなのかという、当館の本質に迫る問題もある。この発表は2年ほどかけて行ってきた作業の中間報告であり、次の4つの問題に整理した。① なぜ、1986年に、この地に誕生したのか。② なぜ、美術館と美術博物館の間を揺れ動いたのか。③ どのようにコレクションを築いてきたのか。④ 彫刻プロムナードの建設。静岡県議会開設100周年の記念事業として、1979年に当館（その時点では美術博物館）の建設が決定したが、少なくとも1963年の静岡県文化センター構想から考えるべきことを指摘した。また、開館までに5年間に、およそ26億円を費やした収集（279点の美術品を購入）がどのような判断でどのようなプロセスで収集されたかについて、検証すべき道筋を示した。こうした「過去を踏まえる」作業なくして、「未来を展望する」こと、すなわち「ひらく」ことはできないと考えるからだ。

### 5月

#### 中村宏の「呪物」に関する考察

#### 井上武吉《慰霊之泉》に対する解釈を入り口にして

#### 川谷承子

中村宏は1964年頃から「呪物」という言葉を使って自作モチーフについて語り、『呪物記』（1973年、大和書房）と題する著書を刊行している。本発表では、1967年に中村が執筆した、彫刻家・井上武吉の《慰霊の泉》についての論考を通して、中村の「呪物」概念の理解を試みた。

同論考で中村は《慰霊の泉》を「悪しき象徴性とアレゴリーを造形的に表現しただけで、観念性がない」と評する一方で、同モニュメントの背後に並んだ戦場から運ばれた自然石「戦跡の石」に、観念性を見出している。さらに中村は、蒸気機関車、セーラー服など自分にとって主観的な「呪物」を、パブリックなものにすりかえる行為こそが表現であり、そこに観念性と「魂の場」が成立すると論じる。すなわち中村の「呪物」とは、単なる象徴やアレゴリーではなく、観賞者との観念的・精神的な交歓を可能にする「物質」である。1960年代に中村が描いた風景画および蒸気機関車、セーラー服をモチーフとする一連の絵画は、この「呪物」をパブリックな位相へと移行させる実践の場として位置づけられる。

### 7月

#### 谷口香嶠《平等院春景・修学院離宮秋景図》（仮称）に見る明治後期の京名所

#### 石上充代

標題の作品（個人蔵）は、歴史画家として名をはせた谷口香嶠には珍しい京名所を主題とした屏風で、右隻に平等院、左隻に修学院離宮を描く。落款の書体から制作年代は明治38～43年頃と推定される。明治になり京都という都市の価値が相対的に減退したことへの危機感から、千年の歴史を有し日本固有の文化が花開いた古都、という京都イメージを打ち出すことが重視されていたこの頃、創建当初の姿をとどめる平等院は国風文化を象徴する建造物として注目を集めるようになっていた。一方の修学院離宮は、明治以降、本屏風にも描かれる千歳橋の特異な造形を元に認識されるようになった新しい京名所だが、天皇の離宮という歴史と伝統に加え、美的な普遍性を持つという近代的な評価軸においても高く評価されていた。本屏風における主題選択の背景には、伝統に裏打ちされた日本固有の文化を今に伝え、かつ新しい時代の美的な価値基準においても評価される貴重な歴史的所産を有する都市、としての京都イメージを打ち出す意図があったものと考えられる。

穏やかで情感豊かな風景表現は四条派風といえるが、合理的な空間表現や空気遠近法の利用、木立の立体感の表出などには、西洋絵画の学習の跡を見て取ることができる。明治後期という時代背景を踏まえて選択された京名所を新鮮な描法で表した作品として評価される。

7月

## 沼津美術研究所について

植松篤

静岡県東部の沼津市にて、美術家の青木一香（洋子）により1968年に設立された沼津美術研究所について発表した。本発表により、当県東部における美術環境の一端を明らかにすることを意図した。沼津美術研究所は、青木と浜松出身の洋画家・鈴木康雄が講師を務め、指導を終了する2010年までに約1,200人に上る修了生を輩出した。

沼津美術研究所は美大受験予備校ではあるが、そのあり方については、青木が学んだ現代美術研究所から影響を受け、研究所的な側面を有していた。すなわち、受験専門のいわゆる美術予備校とは異なる点があった。現代美術研究所は、評論家の植村鷹千代が所長となり、東京都港区田村町に設立されたもので、講師には川口軌崖をはじめ、そうそうたる芸術家の名前が並んだ。現代美術研究所は、当初受験生を受け入れておらず、新人の育成を目的としていた。研究生は、ただ指導を受けるのみではなく、自由な制作も行い、展覧会で発表する機会もあった。沼津美術研究所においても、同じように自由な制作や発表の機会が研究生に与えられていた。修了生からは、県内で美術研究所を開設する者や、アートのスペースを運営する者も出ており、沼津美術研究所は静岡県の美術環境の充実に寄与した存在と言えるだろう。

9月

## 横井弘三《花籠持てる子供》とその県立葵文庫への収蔵経緯について

喜多孝臣

本発表は、静岡県立中央図書館から当館へ管理替される洋画家・横井弘三（1889－1965）の油彩画《花籠持てる子供》（1923年作）について、その伝来経緯を明らかにするものである。

本作は1928年、旧県立葵文庫に収蔵され、児童室に掲げられて当時の子供たちに親しまれた。収蔵の端緒は小笠郡日坂村長・伊藤文一郎の「幹旋」による寄贈であったが、その背景には横井が当時情熱を注いでいた「贈る絵」事業がある。

独学の画家である横井は、ポスト印象派の影響を受けた画風で二科賞を受賞するなど、大正期の洋画界で独自の地位を築いた。1923年の火災で自作を焼失したことを機に、彼は作品を私蔵せず公共空間で公開することを理想とし、特に関東大震災後は被災した児童の心を癒やすため、小学校などへ作品を寄贈する活動を本格化させた。この活動は、既存の展覧会制度（鑑査）への疑義や、後のアンデパンダ

ン展組織へと繋がる横井の芸術思想の根幹をなすものであった。

初期二科展出品作のうち現存する数少ない遺例である本作の葵文庫への寄贈は、おそらく横井弘三によるこの活動の一環と思われる。美術館のない時代に本作が静岡で果たしてきた公共のなかの美術としての役割を確認し、美術館への移管後もその意義を提示していきたい。

10月

## 雑画帖の制作背景に関する試論―新収蔵品の紹介をかねて― 薄田大輔

近年、狩野派の雑画帖研究の重要性は増してきている。そこで、2025年度の新収蔵品である狩野探信筆「雑画帖交屏風」の紹介を行うとともに、狩野派の雑画帖が抱える問題について考察を行った。

まず、雑画帖には、絵師本人が制作したとは考え難い図が含まれていることに注目し、各図の絵画様式を比較した結果それらが、弟子や周辺絵師などの工房作であることを指摘した。これは、複数の雑画帖で異なる絵画様式が確認できても、絵師の絵画様式が変化したのか、あるいは工房内の手の違いなのか、慎重に判断する必要があることを意味する。

次に、工房作が含まれる雑画帖の性格を考察し、雑画帖は幕府・大名などの重要な儀礼の際に飾られる御道具であったと指摘した。飾り道具として第一の意義がある雑画帖には、鑑賞性は最も重要ではなかったと推察される。それゆえ、雑画帖には工房作品が多く含まれ、絵画表現も定型化していったと推測した。しかし、工房作品が多く含まれる雑画帖は、画家の作域の幅を確認することができ、今後、作品の真贋判定などにも大きく役に立つことを論じた。

11月

## 静岡県立美術館の西洋風景画コレクションの形成について 貴家映子

開館40周年記念展「静岡県立美術館をひらく 7つの扉」（令和8年度開催）では、一章を割いて当館の西洋風景画コレクションの形成を振り返る予定である。これにむけて、開館前後の資料を調査し、収集方針決定の経緯やその後の方針の変遷、購入の実際について整理した。当館が美術博物館として計画されていた準備室時代の最初の収集方針では、現在のコレクションを特色づけている「風景画」への言及はなく、西洋美術については「外国の美術」という記載にのみ読み取れる。その後、富士山や駿河湾を有する土地柄と、当時社会的にも必要性が議論

されていた国際性を加味して、日本美術と西洋美術が共有しうるテーマとして「風景画」が収集方針の柱となる。その決定時期は、これまで公式に記されていた1981年5月よりも数ヶ月遅く、1982年2月だった。また、当初の収集対象は近代美術に焦点が当てられおり、西洋美術の収集方針に限れば地方公立美術館で最も古い「17世紀以降」という上限は、作品購入が始まってから数年後に定められていた。一方、「美術史を体系的に示しうる作品」という収集の基準が、「風景画」という方針が定められる以前から重視されており、ときに優先されてきたことが、刊行資料だけでなく、初期の収集や開館数年後の収集方針の修正などに実際に確認できた。

## 12月

### ヴェドゥータについて

#### 新田建史

都市や遺構を精密に描き出したヴェドゥータ（景観画）は、18世紀のイタリア、特にヴェネツィア、ローマ、ナポリ等で、グランドツアーの客に非常な人気を博した。だが当時、壺や建築の断面図を描いた作品にも、「ヴェドゥータ」という語を用いることがしばしばあった。昨年からの継続研究である本発表では、この言葉を14世紀まで遡って確認した。そして「ヴェドゥータ」は本来、視座の自由な設定を含む視覚のフォーマットであり、ジャンルとしてのヴェドゥータという呼称には、この特殊な視覚に基づく景観表現という含意のあったことを明らかにした。

## 1月

### 令和7年度 教育普及事業の実践報告と今後に向けて

#### 山本勇実

今年度の教育普及事業で実践したことを中心に、美術館教室の評価や価値、今後に向けての課題等をまとめた。昨年度の反省で「県中部の園や学校の来館は多いが、西東部の学校については参加が限られており、来館を促すためのアプローチが必要ではないか」「特別支援学級も含めた幅広い層が参加できるプログラムがあるとよい」といった意見が挙がっていたため、今回の研究で、実際に西東部の学校が占める割合を明らかにし、今後、考えられる学校へのアプローチ方法を提案した。また、ねんど・えのぐ教室で特別支援学級が来館した際に行ったプログラムについて紹介し、配慮事項や効果があった支援方法などをまとめた。特別支援学級の生徒は自分なりの表現やこだわりを持った児童・生徒が多いため、個で楽しむ時間や作品と向き合う時間を長くとり、といったプログラム構成が効果的であった。研究の締めでは今後に向け

ての課題や方向性について考えを述べた。具体的には「鑑賞と体験の結びつきを強化すること」「子供の主体性を育むための体験を一層取り入れていくこと」などである。また、ただ活動するだけでなく、そこに学びがあることが望ましい。そのために改めて美術館教室の目的を明確にし、そのためにどんな体験をしてもらうべきか、どんな体験であればより主体性が生まれるかを検証していくことが必要である。

## 2月

### 江戸時代の絵画に表された笠雲について

#### 浦澤倫太郎

江戸時代の絵画に表された富士山の笠雲について、その展開と意義について述べた。18世紀後半、河村岷雪『百富士』をはじめとして、笠雲を頂いた富士山の姿を表す例が、いくつかの連作富士山図の中に見られるようになる。いずれも、新奇で多様な富士山図を追究する中で、笠雲の持つ特異な形状が、目を引く富士山の姿を示すものとして題材に選ばれたと考えられる。そして、19世紀前半の駿府において刊行された、大石周我『山王真形』、山田貞実『芙蓉奇観』という版本にも笠雲を表す図が含まれている。この2種の版本の各図は、いずれも定点観測に基づき、同じ構図で四季や天候によって変化する富士山の姿が表されており、その中に笠雲図が登場する。両者とも、定点観測という富士山の「お膝元」ならではの独自性を基盤に据えながら、同時代の富士山図の潮流を汲んだ表現として位置付けられる。このうち、特に『山王真形』の笠雲表現は、山体に落ちる影を伴っており、日本絵画において物体の影を明確に表した先駆的な例であることを指摘した。また、その図像や賛文が歌川広重の「国尽張交図会」に影響を与えた可能性にも言及した。さらにドイツのナウマンなど海外の学者にも取り上げられたことを紹介し、駿府で観測され、在住の画家によって形成された笠雲のイメージが、その珍しさゆえに江戸や海外においても注目を集めたと結んだ。なお、本発表の内容は、当時執筆中の紀要論文の一部を抜粋し、改変したものである。

## 3月

### 2025年度教育普及事業—学校連携を中心に

#### 南美幸

学校連携を中心とする当館の今年度教育普及事業に関する発表。初めに主要な実績報告を行い、次に学校対象のプログラムである「美術館教室」に関する現状分析を紹介し、最後に今後の展望について述べた。

まず主な実績については、第一に情報収集を元にした館外での当館教育普及事業に関する広報活動を、第二に館内外における収蔵品をテーマにしたプログラムの改善、発案と企画、実施を中心に報告した。次に「美術館教室」に関する現状について、以下の分析結果を報告した。第一に、制作、鑑賞、アウトリーチにまたがる本プログラムの内容が他館と比較しても充実している一方で、開始した当初から今年度まで大きい変化はなく改善の余地が大きいこと、第二に2018年度から2024年度の美術館教室の利用実績（コロナ禍の2020、2021年度を除く）から、延べ人数は多いものの校数は多くはないことを指摘し、第三にこの利用実績を県内の地域および校種別に分析した結果と、これまでの当館教育普及担当者に行なったアンケート結果（「美術館教室」の利用度、美術館との連携に関する考え、など）を概括して紹介した。最後に今後の展望については、鈴木雅道氏の論文（2012. 「学校と美術館の連携について」）を元に、学校との関係性を構築することが目的ではなく、「学校の要望に合わせた臨機応変な姿勢」や「教員とともにプログラムをアレンジする方向性」を重視しながら、具体案を形成することが必要である点を指摘した。

### 3月

#### 「第五福竜丸」を刻んだ版画－上野誠の作例から

古家満葉

本発表では、1954年にビキニ環礁で被災した第五福竜丸を題材にした木版画から、上野誠（1909－80）が手がけた二つの作品を比較し、同作の特徴と位置付けを確認した。被災と同年に制作された上野の《第五福竜丸》は、焼津港に繫留された第五福竜丸を捉えることでドキュメント的役割を果たすと共に、不穏さが強調されたモノクロームの表現によって上野が当時抱いていた水爆への怒りを暗示させる。そのためか事件から数年経った後にも、不穏さを感じさせるイメージとして雑誌や映画広告の中でも使用された。1970年に制作された《廃船・第五福竜丸》は、朽ちていく船体をクローズアップで捉えることで第五福竜丸を象徴的に解釈し、水爆への恐怖を残そうとする保存運動と共鳴するイメージといえる。社会主義リアリズムを基軸とする姿勢自体は継続しながらも、現代性のある主題を風化させないため象徴的表現に昇華させていく上野の作風の変化を示す作例だろう。今後の研究課題として上野の版画の特徴である「彫り」への姿勢や、静岡所縁の版画家・海野光弘への影響を、上野の著作『生活版画』（明治図書出版、1956年）内の記述等を参照し紹介した。

## 各種資料整理

### ■作品・作家資料の作成整理

開館前より作品写真および作家文献の収集・作成・整理が行なわれており、写真カードや調書、文献コピー等がキャビネットに収められている。

- (1) 作家（現代）人名別ファイル
- (2) 館蔵品資料
- (3) 出品作家資料
- (4) 館蔵品収集に関わる資料

これらは各種の調査・展示活動や教育普及活動の基礎資料として活用されている。

### ■館蔵品等のフィルム・デジタル画像作成整理

- (1) 館蔵品のデジタル画像

新収蔵品については、美術品写真の専門家による写真撮影を、年度内にまとめて行なっている。撮影データは課内で共有され、研究、各種刊行物・広報物の作成、講演会や研究会等に活用されている。

- (2) 館蔵品のフィルム

4×5インチまたはブローニー判のカラーポジフィルムを写真原板として、受入番号順にフォルダに入れ、整理収納している。開館以来、新収蔵品を中心にフィルム撮影を続けてきたが、近年は予算等の都合からデジタル撮影のみを行っている。

- (3) その他

館蔵品の他、寄託品などについても、様々な形で撮影され、個別に整理されている。

### ■美術情報の整理

開館以来、展覧会活動などの基礎資料として、各種の美術情報を収集している。

図書資料以外の美術情報資料（美術館宛の個展案内状など）については、ボランティアの資料整理グループが整理を行ってきた。これらは作家ごとに分類・保存され学芸員の研究などに活用されている。

平成26年度からは、案内状に記されている作家名や会場名、会期などの基本データを入力し、作業日毎に保管場所を作り、管理してきた。

令和3年度には、このエクセルに入力されてきたデータをI.B.Museum SaaSに移行し、「現代美術関連資料」としてウェブ上で一部の公開を始めた。

更に、令和3年度後半の休館期間中より、平成25年度以前に収集された資料のデータについても入力を開始し、令和4年度から作業が完了したものから順に公開を始めた。現在は、「現代美術関連資料」閲覧・編集用権限に限定したアカウントを用いて、ボランティアが直接IBMS

に入力作業を行う体制をとっている。

「デジタルアーカイブ」(pp.75-76)も参照のこと。

### ■展覧会資料の整理

企画展等の文書及び資料については、企画展毎に整理収納されている。

### ■コンピューターによる各種データ管理

館蔵品や図書などのデータベース作成には、かつて市販のデータベースソフト「桐」を使用していたが、令和3年度末よりI.B.Museum SaaSへ移行した。詳細は「デジタルアーカイブ」(pp.75-76)も参照のこと。

## 博物館実習

開館当初より、当館は博物館実習の場と機会を提供してきた。

実習生の受入条件については、下記の通りとし、10大学12名の学生を受け入れた。

- (1) 県内出身もしくは県内の大学に在籍していること。
- (2) 美学・美術史学、または美術教育・制作、アートマネジメント等を専攻し、美術館で実習を行う合理的な理由があること。
- (3) 大学の推薦を受けられること。

実施期間は、8月4日（月）から8日（金）までの5日間であり、各日6時限目までカリキュラムを設定した。時間帯は基本的には後述の通りだが、実習の内容により、前後する場合もある。

その内容は、当館の学芸課職員による講義・見学・実習などからなる。今年度は、新たにクラウドファンディングの講義や、SNS文章作成など、新たなカリキュラムを取り込んだ。

このほか、「地方社会における美術館の役割」というテーマで、実習前のレポートの提出と発表、そして実習を踏まえた実習後のレポートの提出を組み込んだ。博物館実習を通じて、それぞれが博物館活動についてより理解を深めたことがうかがえた。

### ■カリキュラム

- 1時限目 9:30～10:25
- 2時限目 10:30～11:25
- 3時限目 11:30～12:25
- 4時限目 13:30～14:25
- 5時限目 14:30～15:25
- 6時限目 15:30～16:25

8月4日（月）

- 1、2時限 オリエンテーション  
【演習】課題発表（薄田）
- 3時限 【講義】美術館の概要（石上）
- 4、5時限 【見学】美術館見学（植松、薄田）
- 6時限 振り返りとノート記入

8月5日（火）

- 1時限 【講義】美術館の広報（浦澤）
- 2時限 【講義】美術品の情報管理とデジタルアーカイブ（浦澤）
- 3時限 【講義】コレクションについて（喜寿）
- 4時限 【講義】クラウドファンディングとプロムナード見学（植松）

- 5時限 【講義】ボランティアについて（薄田）
- 6時限 振り返りとノート記入

8月6日（水）

- 1時限 【講義】美術品の保存（新田）
- 2、3時限 収蔵庫内実習（新田、古家、薄田）
- 4時限 【講義】美術品の購入と寄贈について（川谷）
- 5時限 【講義】展覧会の準備（薄田）
- 6時限 振り返りとノート記入

8月7日（木）

- 1、2時限 【演習】作品の取り扱い（喜寿、古家、石上、薄田、浦澤）
- 3時限 【講義】教育普及プログラム（山本）
- 4時限 【講義】展覧会ができるまで（貴家）
- 5時限 【講義】SNSの活用について（貴家）
- 6時限 振り返りとノート記入

8月8日（金）

- 1、2時限 Aワークショップ補助（山本）  
B課題制作、講評（薄田）
- 3、4時限 A課題制作、講評（薄田）  
Bワークショップ補助（山本）
- 5時限 ディスカッション
- 6時限 振り返りとノート記入

この日のみ2グループに分け、ワークショップ補助と課題制作を交代制で実施した。

※（ ）内は当館担当者名

## ギャラリーツアー・タッチツアー

### ■ギャラリーツアー

ギャラリーツアーは、ギャラリーツアーグループに所属する当館ボランティア1名がナビゲーター役を務めて、収蔵品展とロダン館の作品を、参加者とともに対話形式で約30分間鑑賞する活動である。

#### ・「ギャラリーツアー」の定義

作品を前にして対話をしながら展示室を案内する。来館者に静岡県立美術館のコレクションの魅力を伝えるとともに、美術作品を鑑賞することのおもしろさや楽しさを分かち合う。

#### ・ギャラリーツアー班の役割

作品の魅力を「伝える」のではなく「分かち合う」ことを目的とする。

#### ・ギャラリーツアー登録ボランティア

17名（令和8年3月31日現在）

#### ・実施日および研修日

##### (1) 実施日

毎月第1土曜日（13:30～、14:30～）

毎月第3土曜日（13:30～、14:30～）

※各回おおよそ30分程度で行い3作品程度を取り上げる。

※13:30の回は収蔵品展、14:30の回はロダン館を扱う。

※休館期間は除く。館内の別のイベントと重なる際も休止となる場合がある。

令和7年度は、企画展「これからの風景」と「中村宏展」でも、会期中の第1、第3土曜日（10:30～、11:30～）にギャラリーツアーを計16回実施し、104人が参加した。

##### (2) 研修日

原則、企画展開幕後の最初の休館日の午後のボランティア内覧会にて収蔵品展について研修を行う。ギャラリーツアー班個別では、2カ月に一回程度、定例会と勉強会を実施している。定例会では、対話型鑑賞についての学芸員による研修や今後の活動計画について話し合いを行う。勉強会では、ツアーの模擬練習などを行っている。

#### ・ギャラリーツアー本番までの流れ

(1) ツアーで取り上げる作品について、文献等で各自自主学习を行う。

- (2) 学芸員による研修会に参加。また実作品を前に、ボランティア同士でディスカッションや予行演習を行う（勉強会）。
- (3) 本番ツアー。ナビゲーター役1名の他、補助に1名つき、参加者の誘導などを行う。終了後は、活動日誌に記入。

#### ・令和7年度 ギャラリーツアー実施実績

|           | 実施回数 | 参加者数 |
|-----------|------|------|
| 絢爛たる花鳥図   | 1    | 3    |
| 新収蔵品展     | 3    | 18   |
| たてもの探訪    | 3    | 18   |
| これからの風景   | 6    | 37   |
| 絵から読む物語   | 2    | 15   |
| 2000年代の絵画 | 5    | 25   |
| 中村宏展      | 10   | 67   |
| ロダン館      | 30   | 241  |
| 彫刻プロムナード  | 6    | 28   |
| 移動展       | 2    | 26   |
| 計         | 68   | 478  |

### ■タッチツアー

タッチツアーは、ロダン館とブリッジギャラリーで、直接彫刻作品を触って鑑賞する、目の不自由な方を対象とした体験プログラムである。平成6年のロダン館開館と同時に開始され、コロナ禍により、令和2年から活動を休止したが、令和5年9月頃に再開した。このプログラムは参加者からの申込による予約制で行われ、日程調整の上、開館日に実施している。案内役となるのは、身体障がい者対応や彫刻鑑賞について研修を積んだ当館のボランティアで、ガイド役およびこれをサポートするアシスタント役がチームを組んで行う。ボランティアの都合がつかない際などは学芸員も行う。

鑑賞可能な作品は、ロダン館およびブリッジギャラリーに常設展示した51点のうち、触れても作品保全上問題ない14点としている。但し、令和7年度は、「考える人」のレプリカや《地獄の門》の簡易的な模型などを試験的に取り入れて、鑑賞の助けとした。また、「これからの風景」展開催期間中に実施したタッチツアーでは、触図を用いた絵画鑑賞の時間を設けることもあった（p.33参照）。

令和6年度までは、参加人数などの条件によっては申請自体を断るケースがあると年報にも記載があったが、令和7年度は合理的配慮や機会の公平性の観点から、申込があればなるべく受け入れるように試みた。また、コ

ロハ禍以前からボランティア研修が長らく行われておらず、対応にあたるボランティアの人数が限られていたことから、団体の受入にあたっては、担当外の学芸員や他ボランティアグループメンバーにもサポートを依頼し、プログラムを実施した。

年度末には、ようやく久しぶりの研修が開催できた。これにあわせて、従来の受付用紙や実施記録用紙の記載項目を整理し、新たに様式（データ）を作成するとともに、ツアーの流れや触察可能な作品のリストなどを明文化し、資料としてボランティアメンバーに共有した。

・令和7年度 タッチツアー実施実績 計7回（ツアー参加者34名、付添35名）

（単位：人）

| 実施日       | 参加者 | 付添 | 対応     |     |
|-----------|-----|----|--------|-----|
|           |     |    | ボランティア | 学芸員 |
| 8月19日(火)  | 1   | 0  | 0      | 1   |
| 8月31日(日)  | 1   | 1  | 3      | 0   |
| 9月19日(金)  | 17  | 19 | 7      | 6   |
| 9月21日(日)  | 1   | 2  | 2      | 1   |
| 10月24日(金) | 1   | 0  | 1      | 1   |
| 11月2日(日)  | 12  | 13 | 6      | 1   |
| 3月3日(火)   | 1   | 0  | 3      | 1   |
| 計         | 34  | 35 | 22     | 11  |

・タッチツアー登録ボランティア

11名（令和8年3月31日現在）

## 実技・鑑賞講座

### ■ちょこっと体験講座

ちょこっと体験講座は来館した方が気軽に参加できる申し込み不要、参加費無料の講座である。エントランスまたはレストラン前の通路にて約15分程度でできる創作体験を行っている。

土曜日と日曜日を含む3日間を基本とし、本年度は館内で3回実施した。5月はエジプト展に合わせてヒエログリフをスクラッチで描く体験を行った。9月はロダンウィークに合わせてロダンの「考える人」をお湯で柔らかくなるプラスチック粘土で制作する体験を行った。3月は手描きかスタンプを押すかのどちらかでつくれる簡単なアニメーションの制作を行った。

| 実施日      | 内 容               | 人数  |
|----------|-------------------|-----|
| 5月3～5日   | ヒエログリフをスクラッチでかこう！ | 366 |
| 9月19～21日 | ミニ考える人づくり         | 276 |
| 3月13～15日 | アニメーション           | 128 |
| 年間9日間実施  |                   | 770 |



### ■実技講座

実技講座は「鑑賞・制作を通して、新たな価値を見つけ、作品への理解を深める」ことを目標とし、できるだけ展覧会に関連づけた講座を実施している。今年度は予算削減の影響により、講座の実施回数が限られてしまい、8月と2月の2回だけの実施となった。

8月は静岡文化芸術大学教授の林左和子氏を講師に招き、「これからの風景」展と絡めた講座を行った。作品から想像した物語を絵に描き起こし、様々な素材を用いて絵本のような作品をつくるワークショップを実施した。

2月は切り絵アーティストの福井利佐氏を講師に招き、「中村宏展」と絡めた講座を実施した。この講座では、中村宏が作品に取り入れた「モンタージュ」と呼ばれる表現技法と切り絵を組み合わせた作品を制作した。参加者

は他者の作品に込められた思いや考えに触れることによって、モンタージュの効果や楽しさを感じていたようであった。

| 実施日          | 内 容<br>＜インストラクター＞                          | 人数 |
|--------------|--------------------------------------------|----|
| 8月2日<br>8月3日 | 風景画からはじまる<br>あなたの物語<br>＜林左和子氏（静岡文化芸術大学教授）＞ | 7  |
| 2月1日<br>2月2日 | 切ってつくる<br>モンタージュの世界<br>＜福井利佐氏（切り絵アーティスト）＞  | 23 |
| 年間4日間実施      |                                            | 30 |



### ■創作週間

創作週間は中学生以上の個人を対象に、実技室および設備、用具を開放することで、利用者の自主的・自発的な創作活動を支援するプログラムである。

参加者はエッチング、リトグラフなど、大型プレス機を使った版画制作、木版画、水彩画、日本画といった様々な制作活動に取り組んでいる。

特に利用者が多い日本画、木版画、銅版画については、曜日固定で講師を招き、利用者への指導、相談、助言をお願いしている。

5月の「創作週間スペシャル」では、アステール総合美術研究所の田村明彦氏を招き、デッサンの講座を行った。道具の使い方や姿勢といったデッサンの基礎を学ぶことを目的とし、ロダン館デッサン会利用者の方々が数多く参加されていた。

| 実施日                            | 内 容                                                        | 人数  |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------|-----|
| 4月～3月                          | 創作週間<br>＜日下文氏（日本画家）＞<br>＜藤田泉氏（木版画家）＞<br>＜柳本一英氏（銅版画家）＞      | 528 |
| 5月11日                          | 創作週間SP ロダン彫刻で<br>デッサンの基礎を学ぶ<br>＜田村明彦氏（アステール総合<br>美術研究所講師）＞ | 22  |
| 年間65日間実施<br>（開室時間：10：00～16：30） |                                                            | 550 |

#### ■その他

例年、移動美術展に合わせてワークショップを実施していたが、今年度については会場の都合上、開催が難しかったため、外部での体験等は行われなかった。



#### ■ロダン館デッサン会

ロダン館デッサン会は、当館所蔵のロダン作品を描きながら鑑賞するプログラムとして、毎月2日間、創作週間を行う週の金・土曜日に実施している。継続して参加されている利用者の方が多い一方で、県外からの来館者や美術を学んでいる学生なども参加されており、幅広い層の方々が熱心に描く姿が見受けられた。

実施日数：24日

実施時間：10：00～16：30

参加者数：356名



## 実技・体験

### ■ねんど開放日

ねんど開放日は、実技室内で1t近い水粘土を用意し、親子で楽しく創作活動や粘土遊びを体験するプログラムである。平成13年度から現在まで続いており、友の会から寄贈された土鍊機を活用して実施している。

親子で楽しみながら参加してもらうため、こちらで細かい指示は出さず、自由に創作してもらうことに重点をおいている。

非常に人気のあるプログラムであり、以前は混雑が発生していたが、令和2年度からふじのくに電子申請サービスを活用した事前予約制に変更したことでスムーズな受け入れが可能になった。午前午後の各回12組（60名程度）で募集しているが、それを超える応募があるため、ほとんどの場合、抽選で参加者を決めている。

コロナ渦では感染症対策を講じて実施していたが、昨年度からは特に制限を設けず従来通り自由に粘土に触れ、創作を楽しんでもらっている。今年度予定していた18回すべて実施することができた。

実施日数：9日（1日2回で18回実施）

実施時間：午前の部 10:00～11:45

午後の部 13:00～14:45

インストラクター：増田洋子氏（美術作家）

場 所：当館実技室

参加者数：882名



### ■えのぐ開放日

えのぐ開放日は、大量の絵の具を使用して屋外テラスの石畳に自由に絵を描くプログラムである。3歳以上の親子を対象としており、平成17年度から現在まで続いている。基本は屋外で実施しているが、高温・雨天時は室内開催としている。

ねんど開放日と同様、ふじのくに電子申請サービスを活用して募集しており、ほとんどの回で定員を超える応募がきている。

コロナ渦では感染症対策のため室内で実施していたが、昨年度からは以前のような屋外での実施が基本となり、参加者は広々とした開放的な場で自由に描くことを楽しんでいた。天候によって場所が変更することはあったが、予定していた10回すべて実施することができた。

実施日数：5日（1日2回で10回実施）

実施時間：午前の部 10:30～12:00

午後の部 13:45～15:15

インストラクター：増田洋子氏（美術作家）

場 所：当館屋外テラスまたは実技室

参加者数：330名



### ■わくわくアトリエ

わくわくアトリエは「いろんな素材をいろんなかたちで！」をテーマに、企画展に関連したワークショップを実施するプログラムである。大人から小学生までを対象としているため、幅広い層が楽しめる内容にしている。平成26年度から始まり、現在まで続いている。企画展とプログラムとのつながりを感じてもらうために、展覧会観覧や学芸員の解説を講座の中に組み込んで実施することがほとんどである。今年度は予算削減の影響により、講座の実施回数が限られてしまい、3月のみの実施となった。

3月の「中村宏展」の際は、画家の小左誠一郎氏を講

師として招き、自身の記憶を頼りにアクリル絵の具で絵を描くというワークショップを行った。参加した子供たちは美術館内やその周辺を散策し、気になる物事を見つけた後、時間をかけてしっかりと観察し、その後の絵画表現に取り入れていた。

| 実施日         | 内 容<br>＜インストラクター＞            | 人数 |
|-------------|------------------------------|----|
| 3月1日        | 絵を描こう、物事を観よう<br>＜小左誠一郎氏（画家）＞ | 11 |
| 年間1日（計1回実施） |                              | 11 |



## ■こども創作週間

7～8月の夏休み期間中に実技室を開放し、子供たちの創作活動の場として自由に使用してもらうプログラムである。今年度より新たな実技室プログラムとして始まった。制作に必要な用具や画材については基本的に持ち込みとしているが、色鉛筆や筆、バケツなど一部の備品は貸出して自由に使えるようにしている。

対象は小学生から高校生までとされていたが、中には小学生に混ざって園児も参加を希望する保護者もいたため、必ず同伴することを条件に適宜受け入れていった。開催期間は5日間となっており、最終日にあたる8月11日が最も参加者数が多い日となった。また、8月10日については特別イベントとして「考える人をつくろう」というワークショップを実施した。実技室スタッフが講師となり、レプリカを見ながらブロンズ粘土で自分だけの考える人をつくるという内容である。こちらも小学生から高校生までを対象としており、予想よりも多くの応募があったため、抽選して参加者を選定した。塑像によって人型をつくるという体験は初めてという子供も多かったため、思うように形にならず苦戦する姿も見られたが、スタッフのアドバイスを受けながら、懸命に制作に励んでいた。

| 実施日             | 内 容                                    | 人数 |
|-----------------|----------------------------------------|----|
| 8月7～9日<br>8月11日 | こども創作週間                                | 23 |
| 8月10日           | 「考える人」をつくろう！<br>＜岡崎あさ乃（エデュケーショナルスタッフ）＞ | 23 |
| 年間5日間実施         |                                        | 46 |



## 学校連携普及事業（美術館教室）

美術館教室は、幼稚園・保育園、学校およびこれらに準ずる施設の児童・生徒を対象とした教育普及プログラムである。実技や鑑賞、探求学習など、美術館で実施できるさまざまな学習活動を、教育普及担当やエデュケーショナルスタッフが支援する事業である。

### ■ねんど教室

「ねんど教室」は、園児、児童、生徒を対象に、水粘土を使用し、体感的活動から個人制作、共同制作へと展開していく造形遊びの要素を取り入れたプログラムである。多くの学校団体から好評であり、申し込み多数となるため抽選で参加校を決めることがほとんどである。

コロナ渦では感染症対策のため実施回数を制限しての開催となったが、昨年度からコロナ前と同様の回数に戻している。今年度についても、以前のように多くの学校団体を受け入れて実施することができた。

プログラム終了後はロダン館や企画展の鑑賞を促し、多くの子供たちが観覧を楽しむ姿が見受けられた。

また、ねんど・えのぐ教室では以前から鑑賞と制作の結び付きが弱いことが課題として挙がっていた。その改善案として制作前にロダン館で鑑賞を行い、そこで見た作品や解説と関連した制作を行うという取り組みを考え、小学校高学年が来館する機会に試験的に実施した。同様のプログラムについては来年度についても実施予定である。

教室終了後は昨年度同様、インストラクター、助手、普及スタッフで振り返りの時間を設け、反省点や改善点、今後のプログラムの実施方法について話し合った。

| 実施日   | 団体名                   | 人数 |
|-------|-----------------------|----|
| 7月2日  | 日本平幼稚園                | 34 |
| 7月2日  | 静岡市立東源台小学校            | 30 |
| 7月3日  | 静岡市立東源台小学校            | 30 |
| 7月4日  | 静岡市立清水浜田小学校           | 19 |
| 7月4日  | 静岡市立東源台小学校            | 31 |
| 7月9日  | 静岡市立西奈南小学校            | 21 |
| 7月9日  | 社会福祉法人 静岡隣人会保育園       | 22 |
| 7月10日 | 幼保連携型認定こども園<br>わらべ幼稚園 | 27 |
| 7月10日 | 相生保育園                 | 13 |
| 7月11日 | 静岡市立千代田小学校            | 40 |
| 7月11日 | 静岡聖母幼稚園               | 28 |
| 9月3日  | 静岡市立清水船越小学校           | 20 |
| 9月3日  | 幼保連携型認定こども園<br>麻華こども園 | 17 |

|        |                        |     |
|--------|------------------------|-----|
| 9月4日   | 藤枝市立朝比奈第一小学校           | 19  |
| 9月4日   | 船原幼稚園                  | 16  |
| 9月5日   | さくら幼稚園                 | 26  |
| 12月3日  | 静岡市立駒越こども園             | 6   |
| 12月3日  | 麻機幼稚園                  | 34  |
| 12月3日  | 幼保連携型認定こども園<br>あいわこども園 | 10  |
| 12月4日  | 静岡市立麻機小学校              | 23  |
| 12月4日  | つくしんぼ保育園               | 9   |
| 12月5日  | 静岡市立清水有度第一小学校          | 13  |
| 12月5日  | 清水りんぼかんこども園            | 24  |
| 12月10日 | 静岡市立清水岡小学校             | 21  |
| 12月10日 | 静岡県立静岡視覚特別支援学校         | 5   |
| 12月11日 | 静岡市立入江こども園             | 25  |
| 12月11日 | 静岡市立中村町こども園            | 20  |
| 12月12日 | 静岡市立由比北小学校             | 14  |
| 12月12日 | 沼津市立金岡中学校              | 13  |
| 1月28日  | 静岡大学教育学部附属幼稚園          | 19  |
| 1月28日  | 有度十七夜山保育園              | 25  |
| 1月29日  | 静岡市立足久保小学校             | 26  |
| 1月29日  | 若草保育園                  | 23  |
| 1月30日  | MEKイングリッシュプリスクール       | 18  |
| 1月30日  | 静岡市立飯田南こども園            | 29  |
| 2月4日   | 清水聖母保育園                | 22  |
| 2月4日   | 静岡市立有度北こども園            | 19  |
| 2月5日   | 曙保育園                   | 34  |
| 2月5日   | 静岡市立由比中央こども園           | 13  |
| 2月6日   | 静岡市立井宮小学校              | 21  |
| 年間日数   | 合計人数                   | 859 |
| 21日    | 団体数                    | 40  |



## ■えのぐ教室

「えのぐ教室」は、園児、児童、生徒を対象に、大量の絵の具を使用して屋外テラスの石畳に絵を描くプログラムである。筆を使って点から線、面へと発展させながら描いたり、手にえのぐを塗ってスタンプして描いたりするなど、全身を使って楽しく描くことを重視している。発達段階に応じ、少しずつ内容を変えて実施しており、学年が上がるにつれて少しずつ難易度を上げている。

ねんど教室同様、プログラム終了後はロダン館や企画展観覧を促し、多くの子供たちに作品を鑑賞する機会をつくることを意識した。

コロナ渦では感染症対策のために室内で実施していたが、昨年度から以前と同様に屋外開催が基本となった。今年度についても屋外開催を中心とし、多くの園児、児童が開放的な場で体全体を使いながら描くことを楽しんでいた。

ねんど教室同様、申し込み多数のため、4月に抽選を行って受け入れを決めている。今年度は午後の枠に若干の空きが発生したが、できる限り多くの学校団体を受け入れるようにした。

| 実施日   | 団体名                    | 人数 |
|-------|------------------------|----|
| 5月21日 | かわはらいづみ幼稚園             | 25 |
| 5月21日 | 学校法人 脇谷学園<br>静岡南幼稚園    | 31 |
| 5月22日 | 常葉大学教育学部附属橘小学校         | 34 |
| 5月22日 | 学校法人 脇谷学園<br>静岡南幼稚園    | 32 |
| 5月23日 | 静岡市立中田こども園             | 36 |
| 5月23日 | 認定こども園東海幼稚園            | 17 |
| 6月10日 | 聖隷クリストファー中学校           | 23 |
| 6月11日 | 幼保連携型認定こども園 蛸ヶ丘保育園     | 19 |
| 6月11日 | なでしこ保育園                | 9  |
| 6月12日 | こまどり幼稚園                | 17 |
| 6月12日 | 幼保連携型認定こども園<br>うど東こども園 | 19 |
| 6月13日 | 社会福祉法人 静岡隣人会保育園        | 24 |
| 6月13日 | 美和保育園                  | 17 |
| 9月10日 | 静岡市立興津北こども園            | 17 |
| 9月10日 | 静岡市立横砂こども園             | 7  |
| 9月10日 | リリー幼稚園                 | 27 |
| 9月11日 | 静岡市立大里東小学校             | 28 |
| 9月11日 | セノバ保育園                 | 2  |
| 9月11日 | ゆりかご保育園                | 16 |

|        |                        |     |
|--------|------------------------|-----|
| 9月12日  | 静岡市立西奈小学校              | 27  |
| 9月12日  | こすもすこども園               | 22  |
| 10月15日 | 清水やぐらこども園              | 15  |
| 10月15日 | 幼保連携型認定こども園<br>矢部こども園  | 16  |
| 10月16日 | 千代田保育園                 | 33  |
| 10月16日 | 一番町保育園                 | 34  |
| 10月17日 | 静岡市立清水高部小学校            | 24  |
| 10月17日 | 静岡市立清水高部小学校            | 25  |
| 11月5日  | 静岡市立中薬科こども園            | 5   |
| 11月5日  | 静岡市立西久保こども園            | 19  |
| 11月5日  | リリー幼稚園                 | 13  |
| 11月6日  | 牧之原市菊川市学校組合立<br>牧之原小学校 | 36  |
| 11月7日  | だきしめこども園               | 22  |
| 11月7日  | 静岡市立上土こども園             | 19  |
| 11月12日 | 静岡市立清水浜田小学校            | 4   |
| 11月13日 | たんぼぼ保育園 年少・年中          | 38  |
| 11月13日 | たんぼぼ保育園 年長             | 17  |
| 11月14日 | 静岡市立清水小学校              | 6   |
| 11月14日 | 幼保連携型認定こども園<br>日吉町保育園  | 30  |
| 年間日数   | 合計人数                   | 805 |
| 19日    | 団体数                    | 38  |



## ■音のかけらワークショップ

当館収蔵品、金沢健一《音のかけら》を用いたワークショップである。

現代アート鑑賞のための重要なコンテンツではあるが、設置場所の確保や運搬時の人手の確保などワークショップ実施にあたり事前準備が必要となり、手軽に実施できる状態でないことが課題として挙げられる。

しかし、対象者を選ばず多くの方が参加することができ、プログラムであるため、インクルーシブの視点から

も今後、活用を増やしていきたいと考えている。

今年度は児童発達支援等を行っている寿陽会ロペが利用しており、様々な児童が作品がつくり出す音の世界に入り込み、楽しんで活動する姿が見られた。

| 実施日   | 団体名   | 人数 |
|-------|-------|----|
| 7月29日 | 寿陽会ロペ | 11 |
| 年間日数  | 合計人数  | 11 |
| 1日    | 団体数   | 1  |

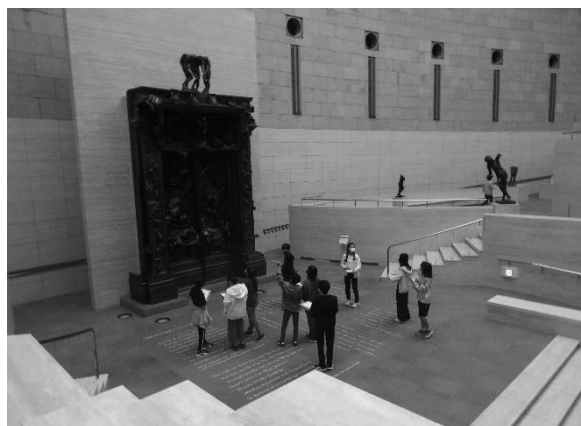


## ■ロダン館ななふしぎ

「ロダン館ななふしぎ」は、ロダン館にてロダン彫刻にまつわるクイズを解きながら鑑賞するプログラムである。鑑賞者には7枚のカード渡し、カードに書かれたクイズを解いてもらいながらロダン彫刻を鑑賞してもらう。終了後は答え合わせをしながら、簡単な作品解説を行う流れとなっている。

答え合わせの際は、彫刻素材のことや鑄造の手法、作品のエピソードなどにも触れるように配慮した。

| 実施日   | 団体名              | 人数  |
|-------|------------------|-----|
| 5月8日  | 静岡市立清水小島中学校      | 29  |
| 7月23日 | 伊東市立南中学校         | 28  |
| 7月31日 | 藤枝市生涯学習センター      | 27  |
| 8月5日  | 寿陽会ロペ            | 10  |
| 8月7日  | 伊豆の国市立韭山中学校      | 36  |
| 11月4日 | 聖隷クリストファー中学校     | 36  |
| 11月5日 | 静岡市立服織小学校        | 46  |
| 11月5日 | 静岡県立静岡中央高等学校通信制  | 58  |
| 1月30日 | 静岡市立川原小学校        | 59  |
| 2月13日 | 静岡大学教育学部附属特別支援学校 | 5   |
| 年間日数  | 合計人数             | 334 |
| 10日   | 団体数              | 10  |



## ■美術館の秘密をさぐれ！

普及スタッフがナビゲーターとなり、美術館の展示の工夫や作品保護に関する話をしながら館内を案内するプログラムである。普段は見ることのできない美術館の裏側、施設の特徴や工夫を紹介することで、美術館が多くの人によって支えられていることを発見できる内容となっている。

今年度は8校の申し込みがあり、美術館にはどのような職業の方が在籍しているのか、どんな仕事をされているのか、ということも踏まえて話をした。

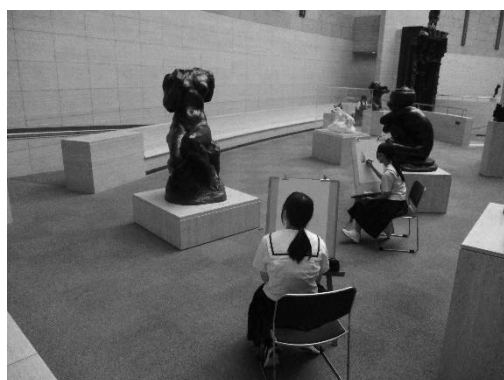
| 実施日    | 団体名              | 人数  |
|--------|------------------|-----|
| 4月24日  | 磐田市立豊田南中学校       | 11  |
| 7月10日  | 静岡市立大川小中学校       | 4   |
| 10月14日 | 静岡市立東源台小学校       | 21  |
| 10月22日 | 静岡サレジオ中学校        | 85  |
| 10月24日 | 静岡県立静岡中央高等学校     | 55  |
| 10月30日 | 静岡市立城北小学校        | 35  |
| 11月18日 | 静岡市立大里中学校        | 11  |
| 2月12日  | 島田市教育センターチャレンジ教室 | 6   |
| 年間日数   | 合計人数             | 228 |
| 8日     | 団体数              | 8   |



## ■ロダン館スケッチ・デッサン

小・中・高等学校を対象とした、ロダン彫刻のスケッチ・デッサン・クロッキーを行うプログラムである。細部を観察して描くことで、通常の鑑賞では気付かないような箇所にも眼を向けることになり、より深い鑑賞体験につながることを狙いとしている。

| 実施日    | 団体名                | 人数  |
|--------|--------------------|-----|
| 4月25日  | 静岡県立大学短期大学部        | 2   |
| 9月28日  | 静岡市立清水第一中学校        | 12  |
| 10月31日 | 静岡聖光学院中学校          | 76  |
| 12月7日  | 静岡県立浜松江之島高等学校      | 19  |
| 3月13日  | 静岡北高等学校            | 30  |
| 3月14日  | 静岡県立沼津西高等学校芸術科美術専攻 | 23  |
| 年間日数   | 合計人数               | 162 |
| 6日     | 団体数                | 6   |



## ■ボランティアスタッフとの鑑賞

園や学校の団体観覧時に、当館ボランティア（学校グループ）が鑑賞のお手伝いをするプログラム。

コロナ前は「ロダン館ななふしぎ」「美術館の秘密をさぐれ」などのプログラムと並行して実施することも多かった。

コロナ渦以降は学校からの依頼が止まっていたが、昨年度から依頼が増え始め、今年度も11校の学校で実施し、ボランティアスタッフとの対話や解説を楽しみながら鑑賞する姿が見受けられた。

| 実施日   | 団体名          | 人数 |
|-------|--------------|----|
| 5月9日  | 静岡県立大学短期大学部  | 2  |
| 5月16日 | 三島市立北上中学校    | 63 |
| 5月16日 | 三島市立北上中学校    | 64 |
| 5月28日 | 富士市立吉原北中学校   | 84 |
| 6月10日 | 聖隷クリストファー中学校 | 26 |

|        |                  |     |
|--------|------------------|-----|
| 7月5日   | 静岡福祉大学           | 22  |
| 7月11日  | NT0707北京海淀外国語学校  | 26  |
| 7月23日  | 伊東市立南中学校         | 28  |
| 10月24日 | 静岡県立静岡中央高等学校     | 55  |
| 2月13日  | 静岡大学教育学部附属特別支援学校 | 5   |
| 3月13日  | 静岡北高等学校          | 22  |
| 年間日数   | 合計人数             | 397 |
| 11日    | 団体数              | 11  |



## ■職場体験

中学校では総合的な学習の時間の一貫として職場体験を行うことがあり、各地域の事業所に体験を依頼している。年間としては数回だが、当館でも職場体験の受け入れを行っている。内容としてはミュージアムスタッフの体験、ミュージアムショップの業務補助、ねんど・えのぐ教室の運営補助など、多岐にわたる業務を体験してもらっている。また、施設内の見学や美術館の役割等の説明も含むため、美術館に関する知識や見識を深めるという教育的な意義のある活動となっている。

今年度は2校の学校を受け入れ、ミュージアムショップの業務補助やねんど・えのぐ教室の運営補助等の体験をしてもらった。

| 実施日       | 団体名         | 人数 |
|-----------|-------------|----|
| 5月14日、15日 | 静岡市立東豊田中学校  | 2  |
| 9月20日、21日 | 島田市立島田第一中学校 | 1  |
| 年間日数      | 合計人数        | 3  |
| 4日        | 団体数         | 2  |

## ■教員研修

初任者研修や複数年経験者研修、自校で粘土ワークショップなどを指導したい教員を対象として、イベント補助や

ねんど教室の参加・見学を受け入れている。また、当館で行う夏季研修会や県内各地区の図工美術科教員の研究会では講師を務めることもある。

今年度も例年通り、県総合教育センター主催の研修会を当館で実施した。

| 実施日     | 団体名         | 人数 |
|---------|-------------|----|
| 8月2日、3日 | 中堅教諭研修      | 1  |
| 8月19日   | 静岡県総合教育センター | 28 |
| 年間日数    | 合計人数        | 29 |
| 3日      | 団体数         | 2  |

### ■出張美術講座

出張美術講座では、普及スタッフと学芸員が学校に出向き、美術館の概要や企画展、収蔵品展、ロダン館の紹介やレプリカ教材（屏風、掛軸、西洋画、考える人など）を使った対話型鑑賞授業などを行っている。今年度は12校の学校を訪問し、レプリカを使用した対話型鑑賞、掛軸の扱いを体験する授業、学校教員と連携した授業などを実施した。内容については例年に比べ西洋画を取り扱う講座が比較的增加え、ヴェルネやモネのレプリカ作品を活用するようになった。

| 実施日    | 団体名             | 人数  |
|--------|-----------------|-----|
| 6月17日  | 静岡県立ふじのくに国際高校   | 10  |
| 6月24日  | 静岡福祉大学          | 21  |
| 8月6日   | 駒越生涯学習交流館       | 19  |
| 9月11日  | 静岡県立御殿場特別支援学校   | 18  |
| 9月16日  | 富士市立大淵中学校       | 16  |
| 9月18日  | 富士市立吉原第一中学校     | 20  |
| 11月21日 | 静岡大学教育学部附属島田中学校 | 36  |
| 11月25日 | 静岡県立清水南高校       | 19  |
| 12月16日 | 静岡県立遠江総合高校      | 10  |
| 1月20日  | 御殿場市立東小学校       | 114 |
| 2月6日   | 静岡県立遠江総合高校      | 22  |
| 2月9日   | 静岡県立遠江総合高校      | 26  |
| 2月25日  | 伊東市立北中学校        | 24  |
| 年間日数   | 合計人数            | 355 |
| 13日    | 団体数             | 11  |



### ■粘土・レプリカ・当館教材の貸出、授業協力

当館のねんど教室に参加できなかった学校や、自校で同様の造形遊び体験を实践したいという学校を対象に、粘土貸出を行っている。

また、その他の貸出教材として、当館の収蔵品のレプリカや、当館で作成したブロンズ彫刻の鋳造工程を解説したDVDなども用意し、学校の図画工作科・美術科の鑑賞分野の教材として活用してもらっている。その他に授業に関する相談も受け付けている。

また、静岡福祉大学への授業協力として教員志望の学生を対象にねんど教室の体験を実施し、教室の意義や教育的効果について伝えた。

| 実施日    | 粘土貸出 団体名         | 人数    |
|--------|------------------|-------|
| 4月11日  | 沼津市日吉子ども会        | 130   |
| 6月6日   | 静岡大学教育学部附属特別支援学校 | 6     |
| 6月15日  | 富士市立天間小学校        | 265   |
| 8月20日  | 放課後等デイサービスVISION | 13    |
| 8月21日  | 富士宮東幼稚園          | 88    |
| 8月28日  | 焼津市立港小学校         | 75    |
| 8月31日  | 静岡県立富士特別支援学校     | 23    |
| 9月11日  | 静岡市立清水高部小学校      | 6     |
| 9月13日  | 静岡県立静岡南部特別支援学校   | 7     |
| 9月28日  | 静岡市立南部小学校        | 173   |
| 10月7日  | エンゼル幼稚園          | 54    |
| 10月20日 | 静岡県立静岡中央高等学校     | 119   |
| 10月25日 | 静岡市立両河内小中学校      | 27    |
| 12月5日  | 静岡市立横内小学校        | 304   |
| 1月13日  | 静岡市立清水第七中学校      | 253   |
| 1月24日  | 三島市立佐野小学校        | 22    |
| 3月5日   | ミナシアFriends      | 9     |
| 年間日数   | 合計人数             | 1,574 |
| 17日    | 団体数              | 17    |

| 貸出日    | レプリカ貸出 団体名       | 人数    |
|--------|------------------|-------|
| 4月5日   | 裾野市立深良中学校        | 123   |
| 5月20日  | 静岡県立大学短期大学部      | 3     |
| 8月31日  | 牧之原市立相良中学校       | 222   |
| 9月13日  | 富士市立丘小学校         | 129   |
| 9月27日  | 静岡大学附属島田中学校      | 37    |
| 10月22日 | 藤枝市立青島小学校        | 161   |
| 11月16日 | 静岡大学教育学部附属島田中学校  | 36    |
| 11月19日 | 富士市立伝法小学校        | 198   |
| 12月23日 | 伊豆市立土肥小中一貫校      | 13    |
| 12月25日 | 静岡県立富士特別支援学校     | 11    |
| 1月6日   | 静岡県立沼津商業高等学校     | 72    |
| 1月20日  | 富士市立東小学校         | 50    |
| 1月28日  | 静岡県立沼津特別支援学校愛鷹分校 | 17    |
| 年間日数   | 合計人数             | 1,072 |
| 13日    | 団体数              | 13    |

| 貸出日   | キット等貸出 団体名       | 人数  |
|-------|------------------|-----|
| 9月13日 | 富士市立丘小学校         | 129 |
| 1月28日 | 静岡県立沼津特別支援学校愛鷹分校 | 17  |
| 年間日数  | 合計人数             | 146 |
| 2日    | 団体数              | 2   |

| 月日   | 授業協力 団体名 | 人数 |
|------|----------|----|
| 7月5日 | 静岡福祉大学   | 22 |
| 年間日数 | 合計人数     | 22 |
| 1日   | 団体数      | 1  |



## ■アートカード貸出

平成27年度より、当館収蔵作品48作品をカードにしたアートカードの貸出を開始した。貸出開始前の平成26年度より教員研修等で実演や紹介を行っていたため、図工・美術科教員の研究授業や実践発表の題材として扱われることが増え、現在は学校現場への認知や利用が浸透している傾向にある。

主な使用目的は当館で団体観覧を行う前の事前学習や鑑賞能力を高めるための補助教材としての活用することである。目的や対象に応じた様々な使い方ができるため、幅広い層が楽しみながら美術作品への興味関心をもつことができるツールとして多くの学校が利用している。

| 実施日  | 団体名         | 人数  |
|------|-------------|-----|
| 5月9日 | 静岡県立大学短期大学部 | 2   |
| 7月6日 | 静岡市立東豊田中学校  | 198 |
| 年間日数 | 合計人数        | 200 |
| 2日   | 団体数         | 2   |



## 講演会

展覧会のテーマ、内容についての理解を深め、鑑賞の視野を広げるために、多様な分野の専門家を招いて講演会を開催した。

### ■特別講演会・シンポジウム

| 開催日   | 演題・内容                                       | 講 師                                         | 場 所 | 参加者数  |
|-------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|-----|-------|
| 4月19日 | 古代エジプト展<br>河江肖剰プレミアムナイト                     | 河江肖剰氏（名古屋大学高等研究院教授）                         | 講堂  | 100 人 |
| 5月31日 | 作品に含まれる複数の時間－竹村京<br>《修復されたC.M.の1916年の睡蓮》を前に | 中村ともえ氏（静岡大学准教授）<br>新藤淳氏（国立西洋美術館主任研究員）       | 講堂  | 130 人 |
| 9月20日 | 「手でふれてみる世界」上映会&トーク                          | 大内進氏（手と目でみる教材ライブラリー）主催<br>貴家映子（当館上席学芸員）     | 講堂  | 50 人  |
| 2月1日  | 伴奏付き無声映画上映会<br>セルゲイ・エイゼンシュテイン「戦艦ポチョムキン」     | 鳥飼りょう氏（ピアノ伴奏）<br>畠山宗明氏（映画学）                 | 講堂  | 122 人 |
| 2月8日  | 中村宏展<br>ゲスト・トーク                             | 大庭大介氏、小左誠一郎氏、門田光雅氏、持塚三樹氏（いずれも2000年代の絵画出品作家） | 講堂  | 69 人  |

## 美術講座

収蔵品の特色や展覧会のテーマ等への理解をはかり、美術に対する関心を高めるため、当館館長、学芸員、外部講師による講座を開催した。

### ■美術講座

| 開催日    | 演題・内容                                           | 講 師                                     | 場 所 | 参加者数  |
|--------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------|-----|-------|
| 5月10日  | 古代エジプト展<br>学芸員レクチャー（友の会向け）                      | 新田建史（当館上席学芸員）                           | 講座室 | 15 人  |
| 5月10日  | 古代エジプト展<br>学芸員レクチャー                             | 新田建史                                    | 講座室 | 35 人  |
| 5月17日  | 古代エジプト展<br>セキスイハイム東海特別鑑賞会（2回）                   | 新田建史                                    | 講堂  | 200 人 |
| 5月25日  | 古代エジプト展<br>館長美術講座「オベリスク考」                       | 木下直之（当館館長）                              | 講堂  | 75 人  |
| 7月26日  | これからの風景展<br>ゲスト・トーク・シリーズ 1                      | 桂川大氏（建築家/STUDIO大・おどり場 主宰）、貴家映子（当館上席学芸員） | 展示室 | 40 人  |
| 8月10日  | これからの風景展<br>館長美術講座「なぜ絵は四角いのだろう」                 | 木下直之                                    | 講堂  | 83 人  |
| 8月17日  | 地球家族会議@静岡県美                                     | 早川宗志氏（ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授）              | 講座室 | 14 人  |
| 8月23日  | これからの風景展<br>ゲスト・トーク・シリーズ 2                      | 青田麻未氏（環境美学/上智大学助教）、貴家映子                 | 講座室 | 20 人  |
| 8月31日  | これからの風景展<br>ゲスト・トーク・シリーズ 3                      | 小林淳氏（火山学/静岡県富士山世界遺産センター教授）、貴家映子         | 講座室 | 14 人  |
| 9月7日   | これからの風景展<br>ゲスト・トーク・シリーズ 4                      | 内海佐和子氏（都市計画・建築計画/静岡県立大学教授）、貴家映子         | 講座室 | 15 人  |
| 11月24日 | 金曜ロードショーとジブリ展<br>館長美術講座「乗物考ー人は絵の中でどのように移動してきたか」 | 木下直之                                    | 講堂  | 15 人  |
| 3月8日   | 中村宏展<br>館長美術講座「セーラー服と機関車」                       | 木下直之                                    | 講堂  | 98 人  |

# ■フロア・レクチャー

展示室で展覧会のみどころや代表作品について当館学芸員が解説した。

また、今年度は、彫刻プロムナードにおいて、作品の解説を行った。

| 開催日   | 演題・内容                        | 講 師                                   | 場 所           | 参加者数 |
|-------|------------------------------|---------------------------------------|---------------|------|
| 4月19日 | プロムナードツアー                    | 木下直之（当館館長）、川谷承子（当館上席学芸員）、植松篤（当館上席学芸員） | 彫刻プロムナード      | 29 人 |
| 4月27日 | 収蔵品展 新収蔵品展                   | 石上充代（当館学芸課長）、川谷承子                     | 展示室           | 6 人  |
| 5月4日  | 収蔵品展 新収蔵品展                   | 植松篤、薄田大輔（当館主任学芸員）                     | 展示室           | 30 人 |
| 5月14日 | 企画展 古代エジプト展                  | 新田建史（当館上席学芸員）                         | 展示室           | 40 人 |
| 7月12日 | 企画展 これからの風景展                 | 貴家映子（当館上席学芸員）                         | 展示室           | 40 人 |
| 9月12日 | 企画展 これからの風景展（友の会向け）          | 貴家映子                                  | 展示室           | 13 人 |
| 9月21日 | 企画展 これからの風景展                 | 貴家映子                                  | 展示室           | 35 人 |
| 7月13日 | 収蔵品展 たてもの探訪                  | 浦澤倫太郎（当館上席学芸員）                        | 展示室           | 10 人 |
| 8月3日  | 収蔵品展 たてもの探訪                  | 浦澤倫太郎                                 | 展示室           | 15 人 |
| 9月21日 | 移動美術展                        | 新田建史                                  | 富士市文化会館ロゼシアター | 38 人 |
| 9月27日 | 移動美術展                        | 古家満葉（当館主任学芸員）                         | 富士市文化会館ロゼシアター | 42 人 |
| 9月13日 | 収蔵品展 絵から読む物語                 | 薄田大輔                                  | 展示室           | 25 人 |
| 9月28日 | 収蔵品展 絵から読む物語                 | 薄田大輔                                  | 展示室           | 28 人 |
| 2月28日 | 企画展 中村宏展（友の会向け）              | 川谷承子                                  | 展示室           | 7 人  |
| 1月31日 | 企画展 中村宏展                     | 川谷承子                                  | 展示室           | 25 人 |
| 2月28日 | 企画展 中村宏展                     | 川谷承子                                  | 展示室           | 25 人 |
| 1月31日 | 収蔵品展 2000年代の絵画 ナイトミュージアム（2回） | 川谷承子                                  | 展示室           | 45 人 |
| 2月14日 | 収蔵品展 2000年代の絵画 ナイトミュージアム（2回） | 川谷承子                                  | 展示室           | 45 人 |
| 2月21日 | 収蔵品展 2000年代の絵画 ナイトミュージアム（2回） | 大庭大介氏、小左誠一郎氏、門田光雅氏、持塚三樹氏              | 展示室           | 45 人 |
| 2月22日 | 収蔵品展 2000年代の絵画               | 大庭大介氏、小左誠一郎氏、門田光雅氏、持塚三樹氏              | 展示室           | 30 人 |
| 1月24日 | ロダン館 ナイトミュージアム（2回）           | 貴家映子                                  | ロダン館          | 45 人 |
| 2月7日  | ロダン館 ナイトミュージアム（2回）           | 新田建史                                  | ロダン館          | 45 人 |
| 2月28日 | ロダン館 ナイトミュージアム（2回）           | 新田建史                                  | ロダン館          | 45 人 |
| 3月7日  | ロダン館 ナイトミュージアム（2回）           | 貴家映子                                  | ロダン館          | 45 人 |

## 対外活動

### ■講座等

新田建史：「能登の文化財レスキューと静岡県」（静岡県博物館協会講習会）【静岡市歴史博物館】9月27日（土）

貴家映子：広域ヨーロッパ研究センター特別講義「県立美術館のコレクションから考える「これからの風景」」【静岡県立大学】7月11日（金）

### ■静岡県博物館協会

当館は同協会の事務局を務め、協会加盟館の協力のもとに以下の事業を行った。

#### 1 役員会・総会の対面及びオンライン開催

日 時：令和7年5月27日（火）

役員会：11:00～12:00

総 会：13:30～15:00

会 場：当館講座室

#### 2 研修会・講習会の実施

##### 2-1 「能登の文化財レスキューと静岡県」

日 時：令和7年9月27日（土） 13:30～16:00

会 場：静岡市歴史博物館

参加者：26人

内 容：能登の震災から2年が経つも、未だ復興への道のりは遠い。本講習会では同地で文化財レスキューに携わるお二人を講師にお招きし、報道では分からない実態について伺った。またクロストークとして、協会事業推進グループのメンバーが講師のお二人と共に登壇し、質疑を行った。なお、本講習会は静岡市歴史博物館と共催した。

講 演：「文化財レスキューの成果と課題 輪島市の事例から」張替清司氏（輪島市教育委員会文化課）

講 演：「能登半島地震における石川県立歴史博物館の文化財レスキュー活動」林亮太氏（石川県立歴史博物館）

クロストーク：「震災と文化財レスキュー」

張替氏、林氏、静岡県博物館協会事業推進グループ

##### 2-2 「静岡市駿河区 博物館・美術館見学会」

日 時：令和7年12月3日（水） 10:00～17:00

会 場：静岡市立芹沢銈介美術館、静岡市立登呂博物館、旧マッケンジー住宅、ふじのくに地球環

境史ミュージアム

参加者：22人

内 容：チャーターしたバスにより、美術工芸・考古・地球環境史と、それぞれ異なる分野を紹介する三つの館と、戦前に建てられた稀少な洋風住宅として知られる旧マッケンジー住宅を見学した。静岡の自然、歴史、文化を多彩な視点から見渡すツアーとなった。

#### 2-3 「デジタルデータでつなぐ文化財の未来 ミュージアム・文化財行政の現場から」

日 時：令和8年3月11日（水） 13:30～17:00

会 場：浜松市地域情報センター

参加者：58人

内 容：デジタル技術を活用した文化財の新たな価値創造と持続可能な運営体制の構築を目指し、デジタルアーカイブの最新動向から、具体的なデータ活用事例、そして組織的なデジタル変革（DX）を推進するための実践的なノウハウを静岡県内のミュージアム、文化財行政の取り組みをもとに紹介した。

講 演：「LEGA-SHIZU×3Dによる新たな魅力発信と活用への展開」田村隆太郎氏（静岡県スポーツ・文化観光部文化財課班長）

講 演：「LEGA-SHIZU×3Dによる仏像鑑賞の新提案—小中学校での教育実践を中心に—」島口直弥（静岡県博物館協会事業推進グループ、浜松市美術館・浜松市教育委員会学芸員兼指導主事）

講 演：「デジタルでつなぐ学校×市民×文化財—袋井市社会科補助資料集デジタル版サイトの活用—」白澤崇（静岡県博物館協会事業推進グループ、袋井市歴史文化館館長）

講 演：「3Dが拓く建築遺産の新たな視点：不可視領域へのアプローチ」村野正景氏（静岡大学情報学部准教授）

#### 3 地域セミナーの開催

- ・公益財団法人佐野美術館「刀職者 職人の技実演」
- ・浜松科学館

「みんなで熱中！ものづくり2025：遠くへ飛ばそう！手作りロケット」

#### 4 静岡県博物館協会研究紀要 第47号の刊行

5 静岡県博物館協会ホームページの保守・運営、リニューアル、会員用動画作成機材貸出

6 防災事業の実施

- ・加盟館園目録等データバックアップ事業：2015（平成27）年3月から継続
- ・災害時連絡網稼働
- ・防災用資材預託事業

7 広報及び情報交換

随時各館園の情報の交換を行い、連絡協調を図った。

8 事業推進グループによる事業の推進

- ・事業推進グループ会合 4回開催  
令和7年7月9日（水）、9月27日（土）、12月3日（水）、令和8年3月11日（水）

#### ■その他

石上充代：・ふじのくに芸術祭企画委員会委員、美術部門美術展審査員

- ・ふじのくに子ども芸術大学実行委員会委員
- ・浜松市美術館協議会委員
- ・博物館登録審査に係る意見書作成 8件

喜多孝臣：・実践女子大学非常勤講師

- ・浜松市美術館美術資料審査員

薄田大輔：・東京大学史料編纂所共同研究員

植松 篤：・ふじのくに芸術祭障害者文化芸術部門審査員

- ・第3回絹谷幸二芸術賞（2025年度）推薦者

川谷承子：・静岡大学非常勤講師

- ・第1回東京国立近代美術館評価委員会美術作品評価員
- ・第2回東京国立近代美術館評価委員会美術作品評価員

貴家映子：・第3回絹谷幸二芸術賞（2025年度）推薦者

## ロダン館展示・イベント

### ■ロダンウィーク2025

平成26年度、ロダン館開設20周年を一層活性化させるためのキックオフ事業として、地域や大学等と連携した「ロダンウィーク」事業を開始した。ロダン作品32体を擁し、国内唯一の常設展示を行う当館の活性化と賑わい作りを目的に、「ロダンウィーク」は例年事業として定着している。期間中はロダン館、収蔵品展の入場料を無料とし、様々なイベントを開催することで、ロダン館への入館者増、知名度の向上を図っている。

なお、ロダンウィークは、例年秋に行っているが、企画展「金曜ロードショーとジブリ展」の開催に伴い、支障が生じることが予想されたため、時期を前倒しして実施した。

日 時：令和7年9月19日（金）～21日（日）、23日（火・祝）

場 所：静岡県立美術館

#### ・実施イベント

##### (1) 「手でふれてみる世界」上映会&トーク

日 時：9月20日（土）13：30～15：30

場 所：講堂

内 容：視覚に障害があるイタリアの夫妻が設立した「国立オメロ触覚美術館」を舞台にしたドキュメンタリー映画を上映。大内進氏（手と目でみる教材ライブラリー）を招いてアフタートークを実施。

参加者：50人

##### (2) 「静岡の名手たち」ロダン賞コンサート

日 時：9月21日（日）15：00～16：00

場 所：ロダン館

出演者：藤井駿（アルト・サクソフォン、第28回「ロダン賞」受賞者）、川岸麻理（ピアノ）

演奏曲：A. グラズノフ：エレジー ト短調 op.44  
F. シューベルト：アルペジョーネ・ソナタ イ短調 D821 ほか

協 力：静岡音楽界AOI

指定管理者（公財）静岡市文化振興財団

入場者：207人

##### (3) 丘の上のロダンマルシェ

日 時：9月23日（火・祝）10：00～16：00

場 所：正面広場ほか

内 容：草薙マルシェ実行委員会によるグルメ、雑貨市20店舗、アートパフォーマンスで

19店舗が出店。

参加者：約5,000人

##### (4) 友の会「友の会ひろば」

日 時：9月23日（火・祝）10：00～15：00

場 所：エントランスホール・実技室

内 容：常葉大学の学生による消しゴムスタンプ・オリジナルうちわ制作指導

参加者：60人

##### (5) 美術館クイズラリー

日 時：9月23日（火・祝）10：00～15：00

場 所：企画展示室

参加費：企画展観覧料

参加者：440人

景 品：オリジナル缶バッジなど

##### (6) スタチュール（彫刻）パフォーマンス

日 時：9月23日（火・祝）10：00～16：00

場 所：ロダン館

出演者：マッシュ&ていの

出会いの像レプリカ

座る男

吉沢かお

協 力：静岡市

入場者：202人

##### (7) ちょっと体験「ミニ考える人づくり」

日 時：9月19日（土）～21日（日）10：00～12：00、13：00～15：30

場 所：エントランスホール

内 容：プラスチック粘土を利用した「ミニ考える人」制作体験

参加者：276人



#### ▲チラシ

#### ■ロダン館 ナイトミュージアム

灯りを落とした夜のロダン館で、懐中電灯を片手に行う彫刻の鑑賞会。参加者自ら光を当てる範囲や角度を調整することで、普段とは違う彫刻作品の見え方を楽しむ。バーチャルYouTuber儒烏風亭らでんによる音声ガイドの提供・広報を行ったことで、県外からの参加者も多数見受けられた。

日 時：令和8年1月24日（土）、31日（土）、2月7日（土）、14日（土）、21日（土）、28日（土）、3月7日（土）、14日（土）18：00～20：00

場 所：ロダン館

参加者：360人

参加費：一般300円、70歳以上・大学生以下無料（ただし、当日の企画展又は収蔵品展の観覧券の半券で再入場可能）

その他：日時指定予約制、定員各回15人

#### ・実施イベント

##### (1) 学芸員によるフロアレクチャー（ロダン館）

日 時：1月24日（土）、2月7日（土）、28日（土）、3月7日（土）18：15、19：15

場 所：ロダン館

内 容：灯りを落としたロダン館で、当館学芸員が行う展示解説会

参加者：180人

##### (2) 学芸員によるフロアレクチャー（収蔵品展）

日 時：1月31日（土）、2月14日（土）18：05、19：05

場 所：収蔵品展示室

内 容：灯りを落とした収蔵品展「2000年代の絵画」で、当館学芸員が行う展示解説会

参加者：90人

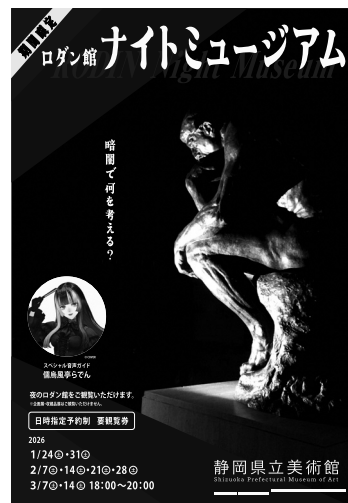
##### (3) 出品作家によるフロアレクチャー（収蔵品展）

日 時：2月21日（土）18：05、19：05

場 所：収蔵品展示室

内 容：灯りを落とした収蔵品展「2000年代の絵画」で、出品作家（大庭大介氏、小左誠一郎氏、門田光雅氏、持塚三樹氏）が行うフロアレクチャー

参加者：45人



#### ▲チラシ

## 美術館ボランティア・広報サポーター

### ■美術館ボランティア

静岡県立美術館ボランティアは、開館前年の昭和60年から募集と研修を始め、昭和61年4月の開館と同時に活動を開始した。以来、美術館と来館者との懸け橋となるべく活動を続けている。平成21年には組織改革と再募集を行い（「静岡県立美術館年報 平成21年度」pp.82～84を参照）、平成22年4月からは、3年の任期制を導入したうえで新体制により活動を行ってきた。令和3年度末も活動任期3年目を迎えたが、コロナ禍でボランティア活動を十全に行えなかった状況を鑑み、新規募集は実施せず、任期を1年延長した継続希望者により令和4年度も引き続き活動を行った。

令和5年度の募集時には参加のハードルを下げることを企図してボランティア体制を一新。任期を1年（更新可能）にすると同時に、資格年齢を20歳から18歳に引き下げ、学生など若年層も参加しやすい体制とし、125名が登録、活動を行った。令和7年度から「柿の木グループ」を加え、8つのグループで募集を行い、選考と研修の結果、147名をボランティアとして登録、令和8年度4月より活動予定である。

#### ・活動目的、方針

美術館ボランティアは、美術館の日々の活動を支え、来館者と美術館、地域と美術館を結ぶ懸け橋として活動する。そのために次の3つを活動方針として定めている。

- (1) 来館者サービス充実
- (2) 美術館運営支援
- (3) 地域連携推進

#### ・活動内容、グループ

##### (1) 全ボランティア共通の活動

当館ボランティアは、それぞれが属する地域、家庭、職場などにおいて、当館の情報を提供することにより、美術館の広報活動の一翼を担うとともに、美術館と地域とを結びつける役割を果たしている。この活動を促進するために、当館では、企画展ごとにその内容を、いち早く知ってもらうためのボランティア向け内覧会を開催している。これは原則として各会期の最初の休館日に、担当学芸員が展覧会概要や作品解説を行うものである。

##### (2) 各グループの活動

令和7年度までは7つのグループに分かれて活動している。図書閲覧室グループと学校グループ(令和6年度より)のみ他グループとの兼任を可としている。

##### ① 図書閲覧室グループ 51名

図書閲覧室の受付や図書の整理が主な活動。閲覧室において利用者の請求に応じて閉架図書の出納業務を行う。また、開催中の企画展に合わせて、関連図書コーナーを閲覧室内に設置している。

##### ② 学校グループ 26名

学校などの団体観覧の際、館内誘導や展示室での子どもたち話し相手などを行う。子どもたちと一緒に展示室をまわり、一緒に観覧することで、子どもたちの見る力を引き出す。

##### ③ 実技室グループ 19名

実技室で行われる様々なイベントの補助を行う。実技室イベントは、絵画のワークショップや粘土開放日など多種多様であり、その画材や材料などの準備と片付けや、イベント終了後の清掃作業など、労務が多い。そのため、ボランティアのマンパワーが大変有益となっている。

##### ④ ギャラリーツアーグループ 22名

展示室において一般来館者と対話しながら作品を鑑賞する。解説形式は当館学芸員の行うフロアレクチャーなど様々な講座があるので、それとは異なり、ボランティアと来館者が会話することによって鑑賞を深めていく形式を採る。

##### ⑤ タッチツアーグループ 11名

目の不自由な方が彫刻を触って鑑賞するプログラム「タッチツアー」のガイド役を行う。身体障がい者対応や彫刻鑑賞についての研修を積み、「タッチツアー」の申込みがあった場合に、参集して活動する。

##### ⑥ 資料整理グループ 32名

美術にまつわる資料整理に関する活動を行う。全国の美術館、博物館などから送付されるポスター・チラシを整理、掲示し、一般来館者へ情報提供を行う。また作家からの個展のダイレクトメールなどを分類の上、専用のキャビネットに保管するとともに、クラウド型のデータベースサービスI.B.MUSEUM SaaSへデータを入力し、貴重なアーカイブを形成している。このアーカイブは、学芸員の研究活動に利用されているとともに、当館ウェブサイトのデジタルアーカイブページにおいても一般公開されている。

# ⑦ 地域連携・草薙ツアーグループ 11名

「地域と美術館を結ぶ」ことを目的として、様々な活動を自ら企画立案、実施する。美術館周辺地域散策「草薙のんびりツアー」や、美術館プロムナードにある「杉山彦三郎記念茶畑」の手入れの補助を行う。またその茶葉を活用して、お茶摘みイベントや、来館者への呈茶サービスなども行う。

## ・規約、ルール

ボランティアは、館が定めた「設置要綱」「活動要綱」「活動基本ルール」（令和7年度更新）に基づいて活動している。ボランティアには、報酬、旅費などの支給はない。ただしボランティア保険については美術館が負担している。ボランティアの自己研修と広報活動のために、展示会は無料で観覧することができる。

## ・組織

グループごとに担当職員を割り当て、職員がボランティアを監督、協働しつつ活動している。ボランティア自身による自主的な組織化は行っておらず、ボランティア会長や代表などは置いていない。

## ・活動頻度

グループごとに活動頻度を定めて募集しており、グループによって頻度や時間は異なる。

## ・ボランティア募集

令和8年度の任期に向けて募集を行った。今回の新規募集はギャラリーツアーグループ以外の7グループで行った。11月上旬に募集要項を県内各所へ配布し、当館ウェブサイトやSNSにおいて告知を行った。締切日の12月19日まで、ふじのくに電子申請サービス、郵送、FAXにて応募を受け付けた。応募は、新規、更新あわせて152名あった。

書類選考および新規応募者を対象とする面接選考を実施の後、2月から3月にかけて、新規応募者を対象とした研修と応募者全員を対象とした研修を全2回行った。来館での参加が難しい応募者に対しては、研修の様子を映像に記録し、インターネットによる限定配信の視聴およびレポートの提出をもって、来館での参加に代えた。研修受講は登録の必須条件とした。最終的に応募者の中から147名を登録した。

## (1) 説明会

日時：12月6日（土）14：00～14：30

場所：当館講座室

## (2) 研修

### 第1回

日時：2月21日（土）または2月25日（水）13：30～16：20（どちらか1日を選択）

場所：当館講堂、館内各所

対象：新規応募者

内容：オリエンテーション（薄田）13：30～14：00

県立美術館について（石上）14：10～14：50

来館者対応について（当館監視スタッフ 小木曾友紀氏）15：00～15：50

施設見学（薄田）16：00～16：20

### 第2回

日時：3月1日（日）または3月10日（火）（どちらか1日を選択）

場所：当館講堂

対象：全応募者

内容：オリエンテーション（薄田）13：30～13：45

美術館とボランティア（薄田）13：50～14：40

各グループで研修（各担当）14：50～15：30

## (3) 結果

ボランティア登録者 147名

|                | 単独  | 兼務  | 合計  |
|----------------|-----|-----|-----|
| 図書閲覧室グループ      | 40名 | 16名 | 56名 |
| 学校グループ         | 9名  | 10名 | 19名 |
| 実技室グループ        | 10名 | 6名  | 16名 |
| タッチツアーグループ     | 8名  | 5名  | 13名 |
| 資料整理グループ       | 31名 | 4名  | 35名 |
| 地域連携・草薙ツアーグループ | 8名  | 0名  | 8名  |
| 柿の木グループ        | 1名  | 4名  | 5名  |
| ギャラリーツアーグループ   | 17名 | 1名  | 18名 |

## ■広報サポーター

平成13年度に発足した広報サポーターは、平成18年度から「地域サポーター」と改称し活動を行ってきたが、平成21年度にボランティアの組織改革が行われたことに伴い、サポーター制度についても見直しを行った。その結果、従来の「地域サポーター」を平成21年度末に一旦解散し、「口コミによる広報活動」をサポーターの主たる役割と位置づけ、平成22年度から名称を「広報サポーター」とし、新たに募集を行った。加えて、近年主要な広報手

---

段が紙媒体からSNSに移りつつあることをふまえ、令和6年度末をもって、広報サポーター制度の変更を行い、広報サポーターをボランティアの枠組みから切り離し、通常の広報物発送先と統合した。

広報サポーターとは、美術館の展覧会や活動にご理解いただいている方々に、当館スタッフの一員として広報をサポートしていただくもので、美術館から随時お送りする展覧会ポスター、チラシ、招待券等を利用し、それぞれの地域社会や職場・学校などに広く美術館の情報を広めていただくことを目的としている。

## 友の会活動

### ■諸会議

- ・理事会・評議員会  
日時：5月29日(木)  
場所：当館講座室  
(1) 役員、職員の異動等  
(2) 令和6年度事業報告、決算報告  
(3) 令和7年度事業計画案、予算案
- ・会長・副会長への事業報告会  
(1) 日時：10月7日(火)  
場所：当館情報発信室  
・事業報告  
・40周年記念年事業について  
・その他  
(2) 日時：3月27日(金)  
場所：当館会議室  
・事業報告  
・令和8年度事業について  
・40周年記念事業について  
・その他
- ・事業委員会  
当館会議室等 12回開催
- ・会報委員会  
当館会議室等 12回開催
- ・友の会40周年記念準備会議  
当館講座室等 5回開催

### ■実技講座

- ・実技講座「糸巻き彫刻 カラフル！」  
日時：11月25日(火)～26日(水)  
場所：当館実技室  
講師：白井嘉尚氏  
参加人数：8名
- ・実技講座「ダンボール織で作品づくり」  
日時：2月14日(土)  
場所：当館講座室  
講師：松谷和子氏  
参加人数：11名

### ■講演会(イベント)等の開催

- ・企画展ごと会員向けレクチャー  
(1) 「ブルックリン博物館所蔵 特別展  
古代エジプト」  
日時：5月10日(土)  
参加人数：16名  
(2) 「これからの風景 世界と出会いなおす6のテーマ」  
日時：9月12日(金)  
参加人数：13名  
(3) 「中村宏展 アナクロニズム(時代錯誤)のその先へ」  
日時：9月27日(金)  
参加人数：7名
- ・木下直之館長講座「静岡県立美術館をひらく」(開館40周年に向けた連続美術講座)  
(1) 「作品とは何かー絵馬と人形を手がかりに」  
日時：7月27日(日)  
参加人数：20名  
(2) 「作者とは誰かー若冲<樹花鳥獣図屏風>を手がかりに」  
日時：9月28日(日)  
参加人数：21名  
(3) 「友の会とは何だろうー美術館を訪れる人について」  
日時：3月22日(日)  
参加人数：17名
- ・「友の会ひろば」一緒にアートで遊ぼう  
(1) 消しゴムスタンプでオリジナルうちわを作ってみよう！  
日時：9月23日(火・祝)  
場所：当館エントランスホール、実技室、正面入り口前  
参加人数：消しゴムスタンプでうちわづくり 60名  
常葉大学造形学部の協力 学生9名  
(2) 県内作家によるワークショップと作品販売  
日時：9月23日(火・祝)  
参加人数：約100名

### ■研修旅行

- ・「箱根路の美術館巡り 日本画にフォーカス」  
日時：5月14日(水)  
場所：成川美術館、岡田美術館

参加人数：33名

- ・「館長と行く秋の美術館巡り」

日時：10月29日（水）～10月30日（木）

場所：東京国立博物館、国立西洋美術館、永青文庫、  
学習院ミュージアム

参加人数：26名

#### ■友の会美術館支援事業

- ・各種実技支援事業

#### ■情報資料の作成と提供

- ・友の会だより「プロムナード」発行（各800部）

- (1) 第111号（4月4日発行）

アトリエ訪問：藁科美穂氏（美術家）

- (2) 第112号（10月2日発行）

アトリエ訪問：ミツハシアユミ氏（彫紙アートアー  
ティスト）

- ・情報の提供

- (1) 美術館ニュース「アマリリス」郵送(年4回)

- (2) 各種催事の情報提供

- (3) 美術館情報コーナー掲示板での情報提供

- (4) 友の会ホームページ

友の会事業関連の講座講師、アトリエ訪問作者等  
の展覧会案内等を掲載

#### ■その他の事業

- ・提携等県内美術館との連携

会員に提携美術館（静岡市美術館、駿府博物館）や他  
の県内美術館（静岡市立芹沢銈介美術館）が開催する企  
画展チラシを配布するとともに、招待状10組を抽選によ  
り提供

## ■静岡県立美術館友の会会則

制定 昭和61年 5月25日  
改正 平成14年 6月16日  
改正 平成20年 2月27日  
改正 平成24年 2月28日  
改正 平成27年 4月1日  
改正 平成29年 4月1日

(名称)

第1条 この会は、「静岡県立美術館友の会」(以下「本会」という。)と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、静岡県立美術館に置く。

(目的)

第3条 本会は、以下を目的として活動する。

- (1) 静岡県立美術館が実施する各種事業への参加を通じて芸術・文化に親しみ、理解を深めながら生活の質を高める。
- (2) 本会が実施する各種事業への参加を通じて会員相互の理解と親睦を深め、地域の芸術・文化振興に貢献する。
- (3) 静岡県立美術館が実施する各種事業において地域社会との架け橋の役割を担い、地域をパートナーとする経営を標榜する県立美術館との協働を行う。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を実施する。

- (1) 展覧会鑑賞プログラム
- (2) 各種講演会・講座・見学会・コンサート・映画会等の開催・後援
- (3) 会員への各種情報提供
- (4) 会員相互交流のためのプログラム
- (5) 静岡県立美術館との事業協働
- (6) 地域住民・団体等との情報交換・事業協働等
- (7) その他必要な事業

(財務)

第5条 本会の経費は、次に掲げるものをもって充てる。

- (1) 会費
- (2) 事業に伴う収入
- (3) その他の収入

(会員の種類及び特典)

第6条 本会の会員は、特別会員、一般会員、親子(キッズ)会員、学生会員、シニア会員、及び賛助会員とする。

- (1) 70歳以上の会員は、特別会員、一般会員のほか、シニア会員を選択することができる。
- (2) 高校生・専門学校生・大学生は、学生会員とする。
- (3) 会員資格の有効期限内における会員種別の変更は、行わない。

2 会員は、所定の方法により本会が別表1に定める特典を受けることができる。

(会員の資格)

第7条 会員とは、本会の目的に賛同し、所定の入会手続きを行って会費を納入した者をいう。

2 会員資格の有効期限は1年間とする。ただし、会員から退会の申し出が無い限り更に1年間延長するものとし、その後も同様とする。

(年会費)

第8条 本会の年会費は、別表2のとおりとする。なお、納入された年会費は、理由の如何を問わず返還しないものとする。

2 各種講座・見学会等に際しては、参加者は必要に応じて別に実費を負担するものとする。

(届出事項)

第9条 会員は、住所、氏名、電話番号、会費引き落とし用口座等の届出事項に変更があった場合は、速やかに事務局に報告し、所定の手続きを行うこととする。

(会員証)

第10条 本会は、会員資格取得者に対し、会員証を発行する。

2 会員は、会員証を第三者に譲渡又は貸与することはできない。

(会員証の紛失、盗難)

第11条 会員は、会員証を紛失又は盗まれたときは、速やかに事務局にとどけるものとする。

2 本会は、会員証の紛失、盗難その他の事由により生じた会員本人の不利益又は損害については、一切の責任を負わない。

(退会)

第12条 会員は、申し出によりいつでも退会することができる。

2 前項の規定により退会する場合は、会員資格有効期限の2ヶ月前までに事務局へ申し出ることとする。

(事業年度)

第13条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第14条 本会の事業計画及び収支予算は、会長が作成し、その事業年度の開始前に理事会の承認を得なければならない。

2 会長は、前項の事業計画又は収支計画を変更しようとするときは、理事会の承認を得なければならない。ただし、軽微な変更については、この限りではない。

(事業報告及び収支決算)

第15条 本会の事業報告、収支決算は、会長が作成し、監事の監査を経て、その事業年度終了後2ヶ月以内に理事会の承認を得なければならない。

(役員)

第16条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
  - (2) 副会長 1人
  - (3) 理事（会長及び副会長を含む）10人以内
  - (4) 評議員 15人以内
  - (5) 監事 2人
- 2 理事及び監事は、評議員会において選任する。
- 3 会長及び副会長は、理事の互選により定める。
- 4 評議員は、理事会において選任する。
- 5 理事及び評議員は、監事を相互に兼ねることができる。

（役員の職務）

第17条 会長は、本会を代表し、事業を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐して事業を掌理し、会長に事故あるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。
- 3 理事は、理事会を構成し、事業の執行を行う。
- 4 評議員は、評議員会を構成する。
- 5 監事は、本会の事業及び会計を監査する。

（役員の任期）

第18条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

（専門委員会）

第19条 必要に応じ、本会の事業に関する具体的な企画等の検討を目的とした専門委員会を置く。

- 2 専門委員会は、理事及び会員によって構成される。

（事務局）

第20条 本会に事務局を置く。

- 2 事務局に事務局長を置くことができる。
- 3 事務局長は、理事の中から会長が任免する。
- 4 事務局に事務職員を置く。

（顧問）

第21条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、理事会の議決を経て、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、本会の事業について助言を行うとともに、理事会に出席して意見を述べることができる。
- 4 顧問の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

（会議）

第22条 本会の会議は、理事会及び評議員会とする。

第23条 理事会は、会長、副会長その他の理事をもって構成する。

- 2 評議員会は、評議員をもって構成する。

（会議の権能）

第24条 理事会は、この会則に別に定めるもののほか、本会の運営に関する重要事項を議決する。

- 2 評議員会は、この会則に別に定めるもののほか、会長の諮問に応じて必要な事項を審議するとともに、必要に応じて本会に関する重要事項に関し、会長に建議することができる。
- 3 理事会において第14条、第15条、第32条及び第33条に規定する事項を議決する場合には、あらかじめ評

議員会の意見を聴かなければならない。

（会議の開催）

第25条 理事会は、次に掲げる場合に開催する。

- (1) 会長が必要と認めたとき。
- (2) 理事の4分の1以上または、監事から開催の請求があったとき。

2 評議員会は、次に掲げる場合に開催する。

- (1) 会長が必要と認めたとき。
- (2) 評議員の4分の1以上から開催の請求があったとき。

（会議の定足数）

第26条 会議は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

（会議の議長）

第27条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

- 2 評議員会の議長は、その評議員会において出席した評議員のうちから選任する。

（会議の議決）

第28条 会議の議決は、会議に出席した構成員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（書面の決議等）

第29条 会議に出席できない理事、または評議員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決することができる。この場合において、前2条及び次条第1項第3号規定の適用については、出席した者とみなす。

第30条 会議の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 会議の日時及び場所
- (2) 構成員の現在数
- (3) 会議に出席した理事または評議員氏名
- (4) 議決事項
- (5) 議決の経過の概要及びその結果
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項

- 2 議事録には、議長のほか、会議に出席した構成員のうちから、当該会議において選任された議事録署名人2人以上が署名押印しなければならない。

（賛助会員）

第31条 この会の目的に賛同するものは、賛助会員になることができる。

- 2 賛助会費その他賛助会員について必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

（会則の変更）

第32条 この会の会則は、理事会において理事の4分の3以上の同意を得なければ、変更することができない。

（解散）

第33条 この会は、理事会において理事の4分の3以上の同意を得たときに解散する。

- 2 解散のときに残存する残余財産は、理事会の議決に

よりその用途を定めるものとする。  
 (雑則)  
 第34条 この会則に定めるもののほか、会の運営等に関して必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

附 則  
 この会則は、昭和61年5月25日より効力を生ずる。

附 則  
 この変更は、平成14年4月1日から施行する。

附 則  
 1 この変更は、平成20年2月27日から施行する。  
 2 この変更後の役員は、第16条第2項、第3項及び4項の規定にかかわらず、変更前の役員が選任されるものとする。ただし、その任期は、第18条の規定にかかわらず、平成20年3月31日までとする。

附 則  
 この変更は、平成24年2月28日から施行する。

附 則  
 この変更は、平成27年4月1日から施行する。

別表1 (第6条第2項関係) 会員の特典

| 特 典 の 種 類                                            | 会 員 の 種 類 |               |       |               |      |
|------------------------------------------------------|-----------|---------------|-------|---------------|------|
|                                                      | 一般会員      | 親子<br>(キッズ会員) | シニア会員 | 特別会員          | 学生会員 |
| 1 県立美術館主催の企画展招待券                                     | 5枚        | 5枚            | 5枚    | 5枚            | 2枚   |
| 2 企画展ごと招待券                                           | 1枚        | 1枚            | 1枚    | 1枚            | 1枚   |
| 3 会員証提示により、収蔵品展・ロダン館が、何度でも観覧可能                       | ○         | ○             | ○     | ○<br>(同伴4名まで) | ○    |
| 4 会員証提示により、県立美術館主催の企画展が、何度でも団体料金で観覧可能                | ○         | ○             | ○     | ○<br>(同伴4名まで) | ○    |
| 5 友の会だより「プロムナード」(年2回)、美術館ニュース「アマリス」(年4回)、その他、各種情報を郵送 | ○         | ○             | ○     | ○             | ○    |
| 6 研修旅行(美術館巡り)、各種講座等、企画展ごとのフロアレクチャー、友の会主催の事業に参加可能     | ○         | ○             | ○     | ○<br>(同伴1名まで) | ○    |
| 7 会員証提示により、県立美術館内レストラン「ロダン・テラス」のランチ料金が会員本人と同伴者1名5%引  | ○         | ○             | ○     | ○             | ○    |
| 8 会員証提示により、県立美術館内のミュージアムショップの利用補助                    | ○         | ○             | ○     | ○             | ○    |
| 9 県立美術館主催の企画展オープニングセレモニーご招待                          |           |               |       | ○<br>(同伴1名まで) |      |

(注) ○印は、特典を受けることができることを示す。

別表2 (第8条関係) 年会費

| 会 員 区 分           | 年 会 費        |
|-------------------|--------------|
| 一般会員              | (1名) 5,000円  |
| 親子(キッズ会員)         | (1名) 3,000円  |
| シニア会員(70才以上)      | (1名) 2,500円  |
| 学生(高校生・専門学校生・大学生) | (1名) 1,000円  |
| 特別会員              | (1口) 10,000円 |
| 賛助会員              | (1口) 50,000円 |

## 広報活動（ウェブサイトを含む）

静岡県立美術館では、開館以来、ポスター・チラシ配布や、各メディアを通じた広報活動を行ってきた。平成8年度には公式ウェブサイトを開設し、その後もリニューアルを繰り返して、展覧会等に関する広報の要となっている。近年ではSNSも複数運用し、幅広い対象に情報発信を行っている。

ここでは、ポスター・チラシなど主要な広報活動とともに、ウェブサイトの運営やSNSの活用について記載する。

### ■主要な広報活動

- ・ポスター・チラシの配布、駅貼り、車内吊り（JR掲示専用のポスターを展覧会ごとに製作）
- ・ウェブサイトへの情報掲載
- ・展覧会ごとにプレスリリースを作成し、各メディアへ提供するとともにウェブサイトに掲載
- ・展覧会ごとの共催社（新聞社・テレビ局）、協賛社（JR東海）との連携
- ・広告掲載、テレビスポット放映
- ・特集紙面、番組への協力
- ・ラジオ番組出演での広報活動（FM-Hiほか）
- ・ボランティア向け内覧会の実施
- ・広報サポーターへの情報提供  
（ポスター・チラシを送付し、口コミでの広報を依頼）
- ・学校に対する学校関係イベント情報の提供

### ■広報委員会

企画総務課、学芸課、文化政策課の担当職員から構成され、不定期に館内で会議を開き、アマリスの編集などを主な業務としてきた。平成29年度に活動内容を大幅に見直し、より戦略的に広報活動を行う方針となった。

現在は、アマリスの編集、各展覧会の広報サポート、次年度年間スケジュールの製作を行っている。これらの他、令和元年度よりロダンウィーク期間に合わせて、開催中の企画展または収蔵品展を題材としたクイズラリーを、広報委員を中心に実施している。これはロダンマルシェ来場者を展示室へ誘導することを目的に始まったものである。現在では、ボランティアの協力も得ながら、ロダンマルシェ当日に開催し、入館者数の増加に一定の効果を見せている。

### ■ホームページ

<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

当館ホームページは、平成8年度末に開設された。平成28年度までの累計アクセス数は4,078,414件であった。

平成28年度末のホームページリニューアルに伴い、アクセス数の集計方法も変更となり、現在はGoogle Analyticsを使用している。

昨年度は各数値が前年度までに比して大幅に増えたが、本年度の伸びはさらに爆発的なものとなった。最大の理由は、金曜ロードショーとジブリ展の開催に伴うアクセス数の増加である。初めて来館する人も多かったと見られ、展覧会概要に加え、来館案内についても表示回数が多かった。

中村宏展の開催時期には、毎週末に「アクティブユーザー当たりの平均エンゲージメント時間」が顕著に増加していた。これは、同期間に実施された「ナイトミュージアム」で、音声ガイドが再生されたことに起因する。

令和7年4月1日～令和8年3月31日の実績

|       |           |
|-------|-----------|
| ユーザー  | 715,409   |
| セッション | 1,061,594 |
| 表示回数  | 2,152,423 |

（参考）

令和6年4月1日～令和7年3月31日の実績

|       |           |
|-------|-----------|
| ユーザー  | 449,636   |
| セッション | 679,659   |
| 表示回数  | 1,495,743 |

令和5年4月1日～令和6年3月31日の実績

|       |           |
|-------|-----------|
| ユーザー  | 320,115   |
| セッション | 455,141   |
| 表示回数  | 1,062,287 |

令和4年4月1日～令和5年3月31日の実績

|         |           |
|---------|-----------|
| ユーザー    | 356,791   |
| セッション   | 530,544   |
| ページビュー数 | 1,240,277 |

### ■SNS

現在、3種のSNSを運用中である。展覧会広報のため、展示の見どころや作品の紹介、ワークショップの記事を投稿している。

- ・Facebook  
<https://www.facebook.com/shizuokakenbi/>
- ・Instagram  
<https://www.instagram.com/shizuokakenbi/>
- ・X（旧Twitter）  
<https://x.com/shizuokakenbi>

## デジタルアーカイブによる情報発信

デジタルアーカイブとは当館ウェブサイト上で公開している収蔵品、蔵書、現代美術関連資料を対象とした検索システム、および高精細画像、ヴァーチャルリアリティ（以下VR）、動画などの総称である。令和3年度に製作し、同年度末に公開した。製作に至るまでの経緯、製作過程、担当者などは令和3年度年報を参照のこと。

### ■デジタルアーカイブ・ポータルページ

<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/archive/>

各コンテンツを集約した、デジタルアーカイブの中心となるウェブページ。

### ■収蔵品等検索システム

<https://jmapps.ne.jp/spmoa/>

クラウド型のI. B. Museum SaaSを導入。収蔵品、蔵書、現代美術関連資料等のデータを管理するとともに、その一部をインターネット上で公開している。

#### ・収蔵品

当館の所蔵品に関するデータベース。公開以降も随時登録済みデータを修正している。

#### ・図書

当館の蔵書に関するデータベース。公開対象は、全蔵書のうち、美術関連の単行本や展覧会図録が中心。新規に受け入れた図書は随時、登録・公開している。

#### ・現代美術関連資料

現代美術作家の画廊等での展示記録に関するデータベース。当館ボランティアによって入力作業が行われている。全国各地の画廊や作家などから当館宛に送付された展示案内などのダイレクトメールからデータを抽出している。

### ■高精細画像

[https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/digital\\_archive/taiga/](https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/digital_archive/taiga/)  
池大雅《蘭亭曲水・龍山勝会図屏風》（重要文化財）の任意の場所を自由に拡大して閲覧することができる。

### ■VR

[https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/digital\\_archive/robin/](https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/digital_archive/robin/)  
オーギュスト・ロダン《地獄の門》のVRコンテンツ。  
実際の展示空間では不可能な角度や高度を含む、様々な視点からの観察を疑似体験させるとともに、モデルの各所に部分解説を付けることで、作品理解の補助となるツールと位置付けている。

### ■高精細画像・三次元計測画像

[https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/digital\\_archive/jakuchu/](https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/digital_archive/jakuchu/)

伊藤若冲《樹花鳥獣図屏風》の高精細画像、および三次元計測画像の任意の場所を自由に拡大して閲覧することができる。令和7年度を通じて製作を行い、同8年度当初に公開した。

### ■オンライン教育鑑賞プログラム

前年度にデジタルアーカイブの一部として製作した池大雅《蘭亭曲水・龍山勝会図屏風》の高解像度画像とオーギュスト・ロダン《地獄の門》のVRを用いた、学校で利用されることを想定した鑑賞教育プログラム。ふじのくに文化教育プログラム推進事業費により、今年度後半より本格的に製作に着手した。《蘭亭曲水・龍山勝会図屏風》は小学生向け、《地獄の門》は中学生向けとして開発を進め、館内で検討するなかで、児童・生徒が既存のコンテンツをタブレットで閲覧する形式とした。更に教員からの意見聴取、小中学校での試行を経て、プログラムの内容と手順を示した教員向け利用ガイドと、児童・生徒向けワークシートを完成させた。令和5年度4月より公開した。

### ■コレクション選

以前からホームページ内に存在した収蔵品に関するページを、デジタルアーカイブの中に再構成した。

#### ・風景の交響楽

<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/archive/symphony/>

平成18（2006）年に発行した収蔵品をテーマ別に紹介する名品集を、ウェブページ化したコンテンツ。今年度は作品画像を追加するなどの微調整を行った。

#### ・ロダン館

<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/exhibition/robin/>

かつて当館ホームページ本体とは異なる独自のフォーマットで製作されたロダン館特設ページを改装したもの。ロダン館やブリッジギャラリーに設置されている彫刻作品を紹介。

#### ・プロムナード

<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/exhibition/outdoor/>

当館敷地内にある彫刻プロムナードに設置された作品を紹介。

#### ・伊藤若冲《樹花鳥獣図屏風》

<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/archive/jakuchu/>

人気の高い同作について、基本情報や直近の展示情報を紹介するページ。Google Artにて公開中の高精細画像へのリンクも掲載。

#### ■スペシャル動画

デジタルアーカイブの公開に合わせて制作・準備された映像。所蔵作家へのインタビューなど。詳細は令和3年度年報を参照のこと。

#### ■観光デジタル情報プラットフォームへの対応

県の観光振興課が推進するプラットフォームを利用し、当館周辺の観光スポットを表示させる機能を、デジタルアーカイブ内「風景の交響楽」や「プロムナード」に実装している。

## 美術館ニュース「アマリリス」

いずれもA4判8ページ、オールカラーで発行した。

### 第157（春）号 2025年4月1日発行

- p.1 表紙 ルイ・ジャン・デプレ、フランチェスコ・ピラネージ《ポッツォーリのセラピス神殿》／上席学芸員 南 美幸
- p.2 TOPICS 静岡県立美術館の40年を振り返る 1 谷田でなきやダ／館長 木下直之
- p.3 EXHIBITION ブルックリン博物館蔵 特別展 古代エジプト／上席学芸員 新田建史
- p.4-5 新収蔵品紹介／学芸課職員
- p.6-7 研究ノート『古きフランスのピトレスクでロマンティックな旅：オーヴェルニュ編』における火山地形の描写について／上席学芸員 貴家映子
- p.7 本の窓『古代エジプト人の24時間：よみがえる3500年前の暮らし』ドナルド・P・ライアン著、河出書房新社、2020年／上席学芸員 新田建史
- p.8 美術館問わず語り 昨年度を振り返って／学芸課主任 山本勇実

### 第158（夏）号 2025年7月1日発行

- p.1 表紙 五雲亭貞秀《大日本富士山絶頂之図》／上席学芸員 浦澤倫太郎
- p.2 TOPICS 静岡県立美術館の40年を振り返る 2 ひらく？美術館を？どうやって？／館長 木下直之
- p.3 TOPICS クラウドファンディング報告 プロジェクトを終えて／静岡県立美術館クラウドファンディングチーム

- p.4 EXHIBITION 「これからの風景 世界と出会いなおす6のテーマ」／上席学芸員 貴家映子
- p.5 EXHIBITION 「本館竣工40周年記念 たてもの探訪」／上席学芸員 浦澤倫太郎、「絵から読む物語」／主任学芸員 薄田大輔
- p.6-7 研究ノート 尾竹竹坡《乳供養》について／学芸課長 石上充代
- p.7 本の窓『評伝 石崎光瑠 至高の花鳥画をもとめて』／渡邊一美著、桂書房、2024年／学芸課長 石上充代
- p.8 美術館問わず語り 美術館を訪れて感じること／副館長 滝正晴

### 第159（秋）号 2025年10月1日発行

- p.1 表紙 二見彰一《海のうた》／上席学芸員 新田建史
- p.2 TOPICS 静岡県立美術館の40年を振り返る 3 作者とは誰か／館長 木下直之
- p.3 TOPICS 令和八年度 四十周年記念展に向けて 伊藤若冲《樹花鳥獸図屏風》の秘密をさぐる／主任学芸員 薄田大輔
- p.4 TOPICS 「これからの風景 世界と出会いなおす6のテーマ」イベント報告—ゲスト・トーク・シリーズを中心に／上席学芸員 貴家映子
- p.5 EXHIBITION 金曜ロードショーとジブリ展／上席学芸員 浦澤倫太郎
- p.6-7 研究ノート 沼津美術研究所について／上席学芸員 植松 篤
- p.7 本の窓『「お静かに！」の誕生 近代日本美術の鑑賞と批評』／今村信隆著、文学通



第157(春)号



第158(夏)号



第159(秋)号



第160(冬)号

- p.8 信、二〇二五年／主任学芸員 古家満葉  
美術館問わず語り 「巡礼」からはじまった  
／主任学芸員 古家満葉

**第160（冬）号 2026年1月1日発行**

- p.1 表紙 川村清雄《波》／上席学芸員 喜多孝臣
- p.2 TOPICS 静岡県立美術館の40年を振り返る  
4 足を運ぶ人—美術館に不可欠なもの／館  
長 木下直之
- p.3 TOPICS 令和七年度のロダン館での新たな  
取り組みについて／企画総務課主事 柳田篤  
志、上席学芸員 貴家映子
- p.4 EXHIBITION 中村宏展 時代錯誤（アナ  
クロニズム）のその先へ／上席学芸員 川  
谷承子
- p.5 EXHIBITION 2000年代の絵画～静岡ゆか  
りの作家による／上席学芸員 川谷承子
- p.6-7 研究ノート 横井弘三《花籠持てる子供》と  
その県立葵文庫への収蔵経緯について／上  
席学芸員 喜多孝臣
- p.7 本の窓 『ツーアート』村上隆、ビートたけ  
し著、光文社、2008年／学芸課主任 山本勇  
実
- p.8 美術館問わず語り 残軀天所赦 不楽是如何  
／企画総務班長 山梨利之

## 新たな広報チャンネルの開拓

### 【ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト】

- ・共催である静岡第一テレビの特別広報により、テレビCM、テレビ特別番組、テレビ番組生中継を実施
- ・展覧会監修者のレクチャーと夜間貸切鑑賞がセットとなったプレミアムナイトイベントを開催
- ・展覧会オリジナルグッズ付きチケットを数量限定で販売
- ・富士山の日の企画展入場者に割引券を配布

### 【これからの風景 世界と出会いなおす6のテーマ】

- ・美術、文化関係メディアへの情報提供に特化した広報会社を利用した記者等へのプレスリリース配信
- ・近隣の小学校の夏休みに合わせ、チラシを配布
- ・イベント毎にSNSを更新
- ・展示内容に関連の深い施設への広報物の重点的な発送
- ・ロダンウィークに合わせてイベントを実施（「手でふれてみる世界」上映会&トーク）

### 【金曜ロードショーとジブリ展】

- ・共催である静岡第一テレビの特別広報により、テレビCM、テレビ特別番組、テレビ番組生中継を実施
- ・共催である静岡第一テレビの特別広報として、インフルエンサーを起用したのSNSによる広報を実施
- ・協賛企業である新静岡セノバとのタイアップイベントの実施（スタンプラリー・施設内装飾）
- ・静鉄電車「CENOVA TRAIN」の車内広告ジャック
- ・展示内容に関連の深い施設への広報物の追加発送
- ・シネマアドバタイジング広告（「もののけ姫」4Kデジタルリマスター公開ーららぽーと沼津）

### 【中村宏展 アナクロニズム(時代錯誤)のその先へ】

- ・静岡新聞の特別広報により、新聞による広報を実施
- ・前展覧会時のミュージアムショップ前通路に次回展覧会案内を掲示
- ・展示内容に関連の深い美術館への広報物の重点的な発送
- ・有名VTuberを起用した音声ガイドの制作（儒烏風亭らでん）
- ・イベント毎にSNSを更新
- ・静岡県との包括連携協定を利用した広報物の配架

### 【ロダンウィーク】

- ・当館SNSにより、イベントに関連した日記投稿(スタチューパフォーマンス)
- ・SNS企画の参加者に企画展団体料金を適用

### 【ナイトミュージアム】

- ・県広聴広報課SNSの更新
  - ・有名VTuberを起用した音声ガイドの制作（儒烏風亭らでん）
- 配信動画にて告知
- 直筆サイン、有志ファンによる生誕応援広告ポスターを館内に掲示し、当館SNSによる聖地巡礼者向け来館PRを実施
- 生誕ライブの会場として当館ロダン館を使用(バーチャル空間)

### 【その他】

- ・ロダン館において乃木坂46個人PromotionVideo撮影受入
- 乃木坂46公式YouTubeチャンネルで予告編を公開の後、当館にて撮影した映像が収録された乃木坂46 39th Single「Same numbers」TYPE-Bが発売
- 乃木坂46瀬戸口心月氏直筆サインを館内に配置し、当館SNSによる聖地巡礼者向け来館PRを実施

## 施設利用状況（年度別）

| 年度   | 県民ギャラリー入場者数 | 講堂入場者数  | 図書閲覧室利用者数 | 音声ガイド利用者数 | 託児室利用者数 |
|------|-------------|---------|-----------|-----------|---------|
| 昭和61 | 93,918      | 8,005   | 10,000    |           |         |
| 62   | 95,635      | 9,911   | 10,000    |           |         |
| 63   | 112,528     | 10,346  | 14,714    |           |         |
| 平成元  | 98,806      | 12,474  | 11,937    |           |         |
| 2    | 101,477     | 11,432  | 8,274     |           |         |
| 3    | 91,342      | 13,755  | 8,545     |           |         |
| 4    | 109,287     | 14,442  | 9,499     |           |         |
| 5    | 95,903      | 10,927  | 9,308     |           |         |
| 6    | 108,004     | 12,060  | 9,159     |           |         |
| 7    | 73,254      | 10,717  | 7,015     |           |         |
| 8    | 109,076     | 9,487   | 8,621     |           |         |
| 9    | 87,436      | 10,615  | 6,486     | 4,257     |         |
| 10   | 69,099      | 10,314  | 6,537     | 25,624    | 132     |
| 11   | 67,159      | 11,601  | 6,192     | 16,773    | 154     |
| 12   | 69,553      | 10,169  | 5,520     | 12,619    | 235     |
| 13   | 76,882      | 10,205  | 5,033     | 11,210    | 361     |
| 14   | 69,974      | 10,985  | 4,782     | 9,659     | 306     |
| 15   | 80,499      | 25,927  | 4,627     | 7,544     | 345     |
| 16   | 69,209      | 8,852   | 4,377     | 5,970     | 299     |
| 17   | 69,357      | 11,762  | 4,626     | 4,904     | 289     |
| 18   | 81,657      | 10,700  | 5,087     | 8,891     | 499     |
| 19   | 70,217      | 8,199   | 5,580     | 5,253     | 365     |
| 20   | 75,238      | 11,804  | 5,070     | 6,189     | 319     |
| 21   | 37,253      | 5,155   | 3,716     | 3,677     | 183     |
| 22   | 58,211      | 7,275   | 3,902     | 4,504     | 344     |
| 23   | 53,147      | 10,535  | 2,444     | 3,033     | 238     |
| 24   | 43,157      | 9,475   | 1,916     | 1,689     | 182     |
| 25   | 48,483      | 8,763   | 2,146     | 1,908     | 188     |
| 26   | 41,201      | 8,646   | 823       | 1,539     | 186     |
| 27   | 59,350      | 10,932  | 712       | 2,852     | 185     |
| 28   | 42,386      | 8,743   | 1,043     | 1,405     | 227     |
| 29   | 35,774      | 7,827   | 574       | 1,446     | 157     |
| 30   | 28,058      | 6,452   | 430       | 1,096     | 86      |
| 令和元  | 31,896      | 5,286   | 925       | 782       | 149     |
| 2    | 15,067      | 2,692   | 1,617     | 412       | 休止中     |
| 3    | 9,452       | 1,688   | 458       | 278       | 休止中     |
| 4    | 27,447      | 4,063   | 1,104     | 752       | 休止中     |
| 5    | 20,002      | 4,501   | 1,290     | 707       | 休止中     |
| 6    | 27,325      | 4,106   | 1,900     | 1,100     | 休止中     |
| 7    | 18,039      | 3,352   | 2,658     | 723       | ※ 9     |
| 合計   | 2,571,758   | 374,180 | 198,647   | 146,796   | 5,438   |

※令和 7 年度は企画展「これからの風景 世界と出会いなおす 6 のテーマ」で 6 日間託児室を実施。

|                                 |    |       |     |     |     |        |     |
|---------------------------------|----|-------|-----|-----|-----|--------|-----|
| 7<br>年<br>度<br>月<br>別<br>内<br>訳 | 4  | 1,547 | 567 | 177 | 75  | ↑<br>↓ | 休止中 |
|                                 | 5  | 1,527 | 345 | 425 | 53  |        |     |
|                                 | 6  | 1,389 | 240 | 169 | 31  |        |     |
|                                 | 7  | 2,050 | 70  | 158 | 58  | ↓      | 4   |
|                                 | 8  | 0     | 175 | 260 | 153 |        |     |
|                                 | 9  | 2,626 | 653 | 166 | 78  | ↑      | 5   |
|                                 | 10 | 2,158 | 150 | 225 | 0   |        |     |
|                                 | 11 | 2,839 | 180 | 302 | 0   | ↑<br>↓ | 休止中 |
|                                 | 12 | 2,560 | 265 | 336 | 0   |        |     |
|                                 | 1  | 709   | 0   | 152 | 20  |        |     |
|                                 | 2  | 0     | 169 | 146 | 58  | ↓      |     |
|                                 | 3  | 634   | 538 | 142 | 197 |        |     |

## 県民ギャラリー利用状況

| No. | 使用開始      | 使用終了      | 日数 | 区分 | 入場料 | 展覧会等の名称                                                  | 主催者名                                      | 入場者数(人) |
|-----|-----------|-----------|----|----|-----|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------|---------|
| 1   | 4 / 1 (火) | 4 / 6 (日) | 6  | AB | 無   | 第32回 2025静岡県写真愛好者芸術展                                     | 沖田完治                                      | 690     |
| 2   | 4/15(火)   | 4/20(日)   | 6  | AB | 無   | 25現代書作家展・しずおか<br>併催 富士山学生書写書道展大賞受賞作品<br>展                | 毎日新聞静岡支局                                  | 857     |
| 3   | 5/13(火)   | 5 /18(日)  | 6  | AB | 無   | 第61回 静岡県美術家連盟展                                           | 静岡県美術家連盟                                  | 1,187   |
| 4   | 5/20(火)   | 5 /25(日)  | 6  | A  | 無   | フィルム写真の杉クラブ写真展                                           | 島田市フィルム写真の「杉<br>クラブ」                      | 340     |
| 5   | 6 / 3 (火) | 6 / 8 (日) | 6  | AB | 無   | 第50回 二科静岡支部展                                             | 二科静岡支部 絵画部                                | 643     |
| 6   | 6/10(火)   | 6/15(日)   | 6  | AB | 無   | 第52回 二科会写真部静岡支部公募展                                       | 二科会写真部 静岡支部                               | 746     |
| 7   | 7 / 1 (火) | 7 / 6 (日) | 6  | AB | 無   | 第53回 静岡県油彩美術家協会展                                         | 静岡県油彩美術家協会                                | 434     |
| 8   | 7 / 8 (火) | 7 /13(日)  | 6  | A  | 無   | 第36回 静岡独立美術展                                             | 静岡独立美術協会                                  | 600     |
| 9   | 7 / 8 (火) | 7 /13(日)  | 6  | B  | 無   | 庫流 きものギャラリー25                                            | 三輪 民庫                                     | 477     |
| 10  | 7 /29(火)  | 8 / 3 (日) | 6  | AB | 無   | 第89回 静岡県版画協会展                                            | 静岡県版画協会                                   | 539     |
| 11  | 9 / 9 (火) | 9 /15(月)  | 7  | AB | 無   | 第74回静岡県水彩画協会展                                            | 静岡県水彩画協会                                  | 1,319   |
| 12  | 9 /17(水)  | 9 /21(日)  | 5  | AB | 無   | 白日会静岡支部展                                                 | 白日会静岡支部                                   | 594     |
| 13  | 9 /23(火)  | 9 /28(日)  | 6  | AB | 無   | 第51回静岡県フレミッシュ織展と第16回<br>静岡裂織公募展併催                        | 静岡県フレミッシュ織教室<br>朝原 智子                     | 713     |
| 14  | 10/11(土)  | 10/19(日)  | 9  | AB | 無   | ふじのくに芸術祭2025 美術部門写真展、<br>障害者文化芸術部門文化芸術展（同時開催）            | ふじのくに芸術祭事務局<br>（静岡県/静岡県教育委員会/<br>静岡県文化協会） | 904     |
| 15  | 10/21(火)  | 10/26(日)  | 6  | AB | 無   | ふじのくに芸術祭2025 障害者文化芸術部<br>門 「ふぁいんだー」作品公募展・文化芸<br>術展（同時開催） | ふじのくに芸術祭事務局<br>（静岡県/静岡県教育委員会/<br>静岡県文化協会） | 620     |
| 16  | 10/28(火)  | 11/ 3 (月) | 7  | AB | 無   | 第47回静岡県日本画展                                              | 静岡県日本画連盟                                  | 634     |
| 17  | 11/ 5 (水) | 11/ 9 (日) | 5  | AB | 無   | 第54回静岡独立書展                                               | 静岡県独立書人団                                  | 482     |
| 18  | 11/11(火)  | 11/16(日)  | 6  | A  | 無   | ホルスト・ヤンセン 初期ポスター展                                        | 岡村 渉                                      | 554     |
| 19  | 11/11(火)  | 11/16(日)  | 6  | B  | 無   | 矢野亮子刺しゅう教室作品展                                            | 矢野 亮子                                     | 559     |
| 20  | 11/18(火)  | 11/24(月)  | 7  | AB | 無   | 第29回静岡県すこやか長寿祭美術展<br>（日本画・彫刻・工芸・書・写真）                    | 公益財団法人 しずおか健康<br>長寿財団                     | 675     |
| 21  | 11/26(水)  | 11/30(日)  | 5  | AB | 無   | 第29回静岡県すこやか長寿祭美術展<br>（洋画）                                | 公益財団法人 しずおか健康<br>長寿財団                     | 569     |
| 22  | 12/ 2 (火) | 12/ 7 (日) | 6  | AB | 無   | 第51回静岡県工芸美術展                                             | 静岡県工芸家協会                                  | 1,022   |
| 23  | 12/ 9 (火) | 12/14(日)  | 6  | AB | 無   | 第21回アトリエ・ニケ子ども造形デザイン<br>絵画教室展覧会                          | 大森 恵                                      | 1,538   |
| 24  | 1 /27(火)  | 2 / 1 (日) | 6  | AB | 無   | サレジオ幼稚園 生活展                                              | 静岡サレジオ幼稚園                                 | 709     |
| 25  | 3 /10(火)  | 3 /15(日)  | 6  | AB | 無   | 第36回 千世の会書展                                              | 千世の会                                      | 634     |
| 合 計 |           |           |    |    |     |                                                          |                                           | 18,039  |

## アクセス環境の向上

利用交通機関について、令和7年度のアンケート集計結果によると、「自家用車」が67.9%と最も高く、次いで「JR」13.0%、「静鉄電車」8.2%、「路線バス」と「その他」4.8%の順になっている。

アクセス環境の満足度については、自家用車利用者の中で満足と回答した方の比率は64.7%、公共交通機関利用者の中で満足と回答した方の比率は79.4%であった。

自家用車利用者のアクセスについては、敷地内に無料の駐車場があるものの収容台数が約400台と限られているために、週末などに利用者が集中してしまうと近くの駐車場から順次満車になり、離れた駐車場になると美術館までの徒歩区間が長い登り坂であることがアクセスに満足できない要因になっていると思われる。来館者の多い企画展の土、日、休日には隣接する県立大学の職員駐車場を借用して美術館来館者用に充てるなど、引き続き自家用車利用者の利便性の向上に努めて行きたい。

公共交通機関の利用者については、JRの最寄り駅である草薙駅、または静鉄の最寄り駅である県立美術館前駅から当館までは上り坂となっているため、歩いて来館するのはかなりの運動量になり、アクセスに満足してもらえない主要な要因であると思われる。お客様からアクセスについて電話等で照会があった際には、路線バスを利用してもらえば最寄り駅から所要時間3分～6分、運賃200円で美術館の入口近くまで乗って来ることができることを案内しているものの、バス運行は、1時間に1本であるため利便性が高いとは言い難い。

公共交通機関利用者のアクセス利便性向上を目指し、令和6年9月13日より当館エントランス先のタクシー乗り場横に静岡市シェアサイクルPULCLEステーションを誘致した。JR草薙駅や静岡鉄道「県立美術館前駅」付近にもステーションが設置されており、交通結節点等からの来館者が利用している様子も見受けられる。

## 令和7年度主要記事

- 4月9日 収蔵品展「新収蔵品展」(～6月15日)  
 〈会期中イベント〉  
 学芸員によるフロアレクチャー(4月27日、5月4日)  
 ギャラリーツアー(5月3日、17日、6月7日)  
 講演会「作品に含まれる複数の時間ー竹村京《修復されたC.M.の1916年の睡蓮》を前に」中村ともえ氏、新藤淳氏(5月31日)
- 4月19日 企画展「ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト」(～6月15日)  
 〈会期中イベント〉  
 イベント「河江肖剰プレミアムナイト」河江肖剰氏(4月19日)  
 学芸員によるフロアレクチャー(5月10日、14日)  
 館長美術講座「オベリスク考」木下直之(5月25日)
- 7月1日 収蔵品展「本館竣工40周年記念 たてもの探訪」(～8月17日)  
 〈会期中イベント〉  
 学芸員によるフロアレクチャー(7月13日、8月3日)  
 ギャラリーツアー(7月19日、8月2日、16日)
- 7月5日 企画展「これからの風景 世界と出会いなおす6のテーマ」(～9月23日)  
 〈会期中イベント〉  
 学芸員によるフロアレクチャー(7月12日、9月21日)  
 ギャラリーツアー(7月19日、8月16日、9月20日)  
 イベント「対話でつながる風景鑑賞会」(7月20日)  
 「ゲスト・トーク・シリーズ」桂川大氏(7月26日)  
 イベント「親と子のための鑑賞会」(8月9日)  
 館長美術講座「なぜ絵は四角いのだろう」木下直之(8月10日)  
 イベント「地球家族会議@静岡県美」早川宗志氏(8月17日)  
 「ゲスト・トーク・シリーズ」青田麻未氏(8月23日)  
 「ゲスト・トーク・シリーズ」小林淳氏(8月31日)
- 「ゲスト・トーク・シリーズ」内海佐和子氏(9月7日)
- 7月17日 美術館協議会
- 7月31日 第三者評価委員会
- 8月19日 収蔵品展「絵から読む物語」(～9月28日)  
 〈会期中イベント〉  
 ギャラリーツアー(9月6日、20日)  
 学芸員によるフロアレクチャー(9月13日、28日)
- 9月19日 移動美術展「富士と水のある眺め」@富士市(～9月28日)  
 〈会期中イベント〉  
 ギャラリーツアー(9月20日)  
 学芸員によるフロアレクチャー(9月21日、27日)  
 ロダンウィーク2025(～9月23日)  
 〈期間中イベント〉  
 上映会&トーク「手でふれてみる世界」大内進氏、貴家映子(9月20日)  
 「静岡の名手たち」ロダン賞コンサート 藤井駿氏、川岸麻理氏(9月21日)  
 丘の上のロダンマルシェ(9月23日)  
 友の会広場(9月23日)  
 美術館クイズラリー(9月23日)  
 スタチュール(彫刻)パフォーマンス(9月23日)
- 10月11日 企画展「金曜ロードショーとジブリ展」(～1月4日)  
 〈会期中イベント〉  
 館長美術講座「乗物考ー人は絵の中でどのように移動してきたか」木下直之(11月24日)
- 1月20日 企画展「中村宏展 アナクロニズム(時代錯誤)のその先へ」(～3月15日)  
 〈会期中イベント〉  
 担当学芸員との鑑賞会(1月31日、2月28日)  
 学芸員によるフロアレクチャー(1月31日、2月28日)  
 イベント「伴奏付き無声映画上映会セルゲイ・エイゼンシュテイン『戦艦ポチョムキン』」鳥飼りょう氏、畠山宗明氏(2月1日)  
 ギャラリーツアー(2月7日、21日、3月7日)  
 講演会「ゲスト・トーク」大庭大介氏、小左誠一郎氏、門田光雅氏、持塚三樹氏(2月8日)

|       |                                                    |
|-------|----------------------------------------------------|
|       | 館長美術講座「セーラー服と機関車」木下直之（3月8日）                        |
|       | 収蔵品展「2000年代の絵画 ～静岡ゆかりの作家による」（～4月19日）               |
|       | ギャラリーツアー（2月21日、3月7日、21日、4月4日、18日）                  |
|       | 「出品作家によるフロアレクチャー」大庭大介氏、小左誠一郎氏、門田光雅氏、持塚三樹氏（2月22日）   |
| 1月24日 | ロダン館ナイトミュージアム（1月24日、31日、2月7日、14日、21日、28日、3月7日、14日） |
|       | 〈会期中イベント〉                                          |
|       | 学芸員によるフロアレクチャー                                     |
|       | ・ロダン館（1月24日、2月7日、28日、3月7日）                         |
|       | ・収蔵品展（1月31日）                                       |
|       | 「出品作家によるフロアレクチャー」大庭大介氏、小左誠一郎氏、門田光雅氏、持塚三樹氏（2月21日）   |
| 通年    | 創作週間（通算65日間）                                       |
|       | 実技講座（通算4日間）                                        |
|       | ロダン館デッサン会（通算24日間）                                  |
|       | ちょこっと体験（通算9日間）                                     |
|       | わくわくアトリエ（通算1日間）                                    |
|       | ねんど開放日（通算9日18回）                                    |
|       | えのぐ開放日（通算5日10回）                                    |
|       | 美術館教室（通算39日間）                                      |

ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト

4月19日(土)－6月15日(日)

| No   | 作品名                | 時代・年代                                                 | 出土地                                    | 材質                    | サイズ                                                                |
|------|--------------------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 1    | 鳥の形をした大型パレット       | 先王朝時代、ナカダⅡ期後期、前3500～前3300年頃                           | アブ・ザイダン                                | 硬砂岩                   | 高さ27.2cm 幅21.3cm<br>厚さ2.3cm                                        |
| 2    | フリント製の腕輪           | 初期王朝時代・第1～2王朝、前3000～前2675年頃                           | 出土地不詳                                  | フリント                  | 太さ0.6cm 直径6.7cm                                                    |
| 3    | 動物文の壺              | 先王朝時代、ナカダⅢ期初期、前3300～前3100年頃                           | アウラード・イエヒア(伝)                          | 土器、彩色                 | 高さ33cm 直径17.8cm                                                    |
| 4    | 歩く男性の小像            | 古王国時代・第6王朝後期、前2288～前2170年頃                            | ジェベル・エル＝アラク(伝)あるいはディオスポリス・パルヴァ(推定)     | 石灰岩、顔料                | 高さ17.5cm 幅5.8cm<br>奥行き8cm                                          |
| 5    | ニカーラーとその家族の像       | 古王国時代・第5王朝後期、前2455～前2350年頃                            | サッカラ(推定)                               | 石灰岩、顔料                | 高さ57.5cm 幅36.8cm<br>奥行き27.7cm                                      |
| 特別出品 | 貴族の男性のレリーフ         | 新王国時代・第19～20王朝、前1292～前1075年頃                          | 出土地不詳                                  | 石灰岩、顔料                | 高さ51.3cm 幅43.8cm<br>厚さ7.62cm                                       |
| 6    | 書記アメンヘテブ(ネブイリの息子)  | 新王国時代・第18王朝、アメンヘテブ2世治世、前1426～前1400年頃                  | テーベ(伝)                                 | 石灰岩                   | 高さ64.5cm 幅36.3cm<br>奥行き36.5cm                                      |
| 7    | ヒエログリフが書かれたレリーフの一部 | 古王国時代・第5王朝、前2500～前2350年頃                              | サッカラのセメンクウ・プタハ墓(MM D43)                | 石灰岩                   | 高さ42cm 幅65cm 厚さ6.5cm                                               |
| 8    | 書記と高官を務めた人物のレリーフ   | 第3中間期後期～末期王朝時代初期、第25王朝後期～第26王朝初期、前670～前650年           | テーベ西岸のメンチュエムハト墓(TT34)(推定)              | 石灰岩、顔料(エジプシャン・ブルー、藍色) | 高さ18.4cm 幅26.7cm<br>厚さ3.8cm                                        |
| 9    | 書記のパレットと葦ペン        | 末期王朝時代・第27～30王朝、前525～前343年                            | エレファンティネ島のコム(「塚」の意)                    | 木、葦、インク               | (パレット)<br>高さ3.5cm 幅12.6cm<br>奥行き1.8cm<br>(葦ペン)<br>長さ11.5cm 直径0.3cm |
| 10   | アメンエムハト3世の円筒印章     | 中王国時代～第二中間期、アメンエムハト3世治世またはそれ以降、第12～17王朝、前1818～前1539年頃 | 出土地不詳                                  | 凍石、釉薬                 | 長さ3.3cm 直径0.9cm                                                    |
| 11   | 下絵が描かれたオストラコン      | 新王国時代・第18王朝、ハトシェプストおよびトメス3世治世、前1479～前1425年頃           | デイル・エル＝バハリのメンチュヘテブ2世の参道(通称「ハトシェプストの穴」) | 石灰岩、顔料                | 高さ14.3cm 幅13.3cm<br>厚さ4.5cm                                        |
| 12   | 習書用の蠟板             | ローマ時代、後4世紀                                            | 出土地不詳                                  | 木、蠟                   | 高さ17.3cm 幅13.1cm<br>厚さ0.5cm                                        |
| 13   | 奉納場面を詳細に描いたレリーフ    | 中王国時代・第12王朝、アメンエムハト1世治世、前1938～前1909年頃                 | リシュト北、アメンエムハト1世のピラミッド複合体の北神殿(推定)       | 石灰岩、顔料                | 高さ45.8cm 幅23.3cm<br>厚さ6.99cm                                       |
| 14   | 沼地の光景のレリーフ         | 古王国時代・第5～6王朝、前2500～前2170年頃                            | ギザ                                     | 石灰岩、顔料                | 高さ38.1cm 幅88.9cm<br>厚さ5.1cm                                        |
| 15   | 水鳥を狩る人のレリーフ        | 新王国時代・第18王朝前半、前1539～前1425年頃                           | おそらくテーベ                                | 石灰岩                   | 高さ52cm 幅42cm 厚さ2.5cm                                               |
| 16   | 王宮の調理場のレリーフ        | 新王国時代・第18王朝後期、アマルナ時代、前1353～前1336年頃                    | ヘルモポリス・マグナ(推定)                         | 石灰岩、顔料                | 高さ21.5cm 幅54cm<br>厚さ3.8cm                                          |
| 17   | ナイル河畔の光景のレリーフ      | 新王国時代・第18王朝後期、アマルナ時代、前1353～前1336年頃                    | ヘルモポリス・マグナ(推定)                         | 石灰岩、顔料                | 高さ23.5cm 幅38.1cm<br>厚さ4.3cm                                        |

| No | 作品名                         | 時代・年代                                         | 出土地                            | 材質          | サイズ                                                                                                                                                                                                                                 |
|----|-----------------------------|-----------------------------------------------|--------------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 18 | 穀物を挽く書記セネヌ                  | 新王国時代・第18王朝後期、前1336～前1292年頃                   | テーベ（伝）                         | 石灰岩、顔料      | 高さ18cm 幅8cm 奥行き19.2cm                                                                                                                                                                                                               |
| 19 | ＜アメン神の農作者＞<br>＞アメンエムハトの儀式用鎌 | 新王国時代・第18王朝、前1479～前1425年頃                     | テーベ第82号墓（TT82）推定               | 木、顔料        | （外寸）<br>高さ22.9cm 幅34.3cm<br>奥行き5.1cm<br>（刃のスロット）<br>高さ0.5cm 幅0.3cm 奥行き17cm                                                                                                                                                          |
| 20 | 被葬者の寝台を整える召使いのレリーフ          | 古王国時代・第6王朝、前2350～前2170年頃                      | サッカラ（推定）                       | 石灰岩         | 高さ43.2cm 幅93.3cm 厚さ3cm                                                                                                                                                                                                              |
| 21 | 木製のローテーブル                   | 新王国時代・第18王朝、前1539～前1292年頃                     | テーベ（推定）                        | 木           | 高さ30.5cm 幅52.4cm 奥行き25.4cm                                                                                                                                                                                                          |
| 22 | 守護の神々が彫られている木製の枕            | 新王国時代・第18王朝、トトメス3世治世～アメンヘテプ2世治世、前1479～前1400年頃 | サッカラ（伝）                        | 木           | 高さ18.4cm 幅29cm 奥行き7.5cm<br>（基部）高さ7.5cm 幅29.5cm                                                                                                                                                                                      |
| 23 | 椰子のサンダル                     | ローマ時代、後3世紀～4世紀                                | 出土地不詳                          | 椰子の葉、ガラス、染料 | 長さ27.7cm 幅6.7cm 厚さ2.2cm                                                                                                                                                                                                             |
| 24 | 供物卓のレリーフ                    | 中王国時代、前2008～前1630年頃（第25王朝、前760年～656年頃に碑文が追加）  | サッカラ（伝）                        | 石灰岩         | 高さ52.7cm 幅41.9cm 厚さ4.4 cm                                                                                                                                                                                                           |
| 25 | 縛られたアイベックス形の皿               | 新王国時代・第18王朝、前1539～前1292年頃                     | 出土地不詳                          | 凍石          | 高さ11.2cm 幅17.4cm 奥行き3.2cm                                                                                                                                                                                                           |
| 26 | 青色彩文壺                       | 新王国時代・第18王朝後期、前1332～前1292年頃                   | 出土地不詳                          | 土器、彩色       | 高さ30cm 直径16.2cm                                                                                                                                                                                                                     |
| 27 | ベス神の顔をかたどった壺                | 末期王朝時代・第27～31王朝、前522～前332年                    | サッカラ（伝）                        | 粘土、泥漿       | 高さ17.2cm 直径10.4cm                                                                                                                                                                                                                   |
| 28 | ファイアンス製のパタイコス神像             | 第三中間期～末期王朝時代、前1075～前332年頃                     | 出土地不詳                          | ファイアンス      | 高さ9.3cm 幅2.6cm 奥行き4cm                                                                                                                                                                                                               |
| 29 | 葬送用のゲーム盤と駒                  | 中王国時代・第12～13王朝初期、前1938～前1630年頃                | 出土地不詳                          | ファイアンス      | （ゲーム盤）<br>高さ3.3cm 幅23.3cm 奥行き10.5cm<br>（36.3.6）高さ2.8cm 直径1.8cm<br>（36.3.7）高さ2.9cm 直径1.7cm<br>（36.3.8）高さ2.7cm 直径1.9cm<br>（36.3.9）高さ2.9cm 直径1.7cm<br>（36.3.10）高さ2.3cm 直径1.6cm<br>（36.3.11）高さ2.7cm 直径1.7cm<br>（36.3.12）高さ2.4cm 直径1.6cm |
| 30 | 上流階級の女性の小像                  | 新王国時代・第18王朝、アメンヘテプ3世治世、前1390～前1353年頃          | 出土地不詳                          | 木           | 高さ25.6cm 幅7cm 奥行き4.8cm                                                                                                                                                                                                              |
| 31 | 女性の祖先胸像                     | 新王国時代・第19王朝、前1292～前1190年頃                     | デイル・エル＝メディーナ（墓番号不詳）            | 石灰岩、顔料      | 高さ26cm 幅15.6cm 奥行き9.5cm                                                                                                                                                                                                             |
| 32 | 女性と供物を描いた墓の壁画               | 新王国時代・第18王朝初期、前1539～前1425年頃                   | 出土地不詳                          | 石灰岩、顔料、ジェッソ | 高さ25.6cm 幅29.2cm 厚さ0.4cm                                                                                                                                                                                                            |
| 33 | 王宮から出土した首飾り                 | 新王国時代・第18王朝後期、アメンヘテプ3世治世、前1332～前1353年頃        | テーベ、アメンヘテプ3世の王宮                | ファイアンス      | 長さ19.1cm ビーズの高さ（平均）1.7cm 幅（平均）0.3cm                                                                                                                                                                                                 |
| 34 | ヤグルマギク形のペンダントが付いた首飾りの一部     | 新王国時代・第18王朝、アマルナ時代、前1353～前1336年頃              | テル・エル＝アマルナの中央都市に位置する「書記の家」住宅45 | ファイアンス      | 長さ8.6cm ビーズの高さ（平均）1.1cm 幅（平均）0.3cm                                                                                                                                                                                                  |
| 35 | 髪留め                         | 新王国時代・第18王朝、前1539～前1292年頃                     | 出土地不詳                          | 青銅          | 高さ5.2cm 幅2.1cm 奥行き0.3cm                                                                                                                                                                                                             |

| No | 作品名                   | 時代・年代                                                        | 出土地                              | 材質                                   | サイズ                           |
|----|-----------------------|--------------------------------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
| 36 | 櫛                     | 新王国時代・第18王朝、<br>前1539～前1292年頃                                | 出土地不詳                            | 木                                    | 高さ8.2cm 幅4.3cm 厚<br>さ0.9cm    |
| 37 | 化粧箱                   | 新王国時代・第18王朝後<br>期、ツタンカーメン治世<br>～ホルエムヘブ治世、前1<br>336～前1292年頃   | サッカラ（伝）                          | 木、顔料（エ<br>ジプシャン・<br>ブルー）             | 高さ4cm 幅7.6cm 奥<br>行き16.2cm    |
| 38 | コホル壺                  | 中王国時代・第12～13王<br>朝、前1938～前1630年頃                             | 出土地不詳                            | エジプシャン・<br>アラバスター                    | 高さ2.3cm 直径3cm                 |
| 39 | 鏡                     | 新王国時代・第18王朝、<br>ハトシェプストメン治世～ア<br>メンヘテブ3世治世、前14<br>78～前1353年頃 | 出土地不詳                            | 青銅                                   | 高さ19.7cm 幅12cm<br>奥行き1.2cm    |
| 40 | カモ形の化粧皿               | 新王国時代・第18王朝後<br>期、前1336～前1292年頃                              | 出土地不詳                            | エジプシャン・<br>アラバスター                    | 高さ6.8cm 直径15.1cm              |
| 41 | 人型棺の右目                | 新王国時代またはそれ以<br>降、前1539～前30年頃                                 | 出土地不詳                            | 黒曜石、結晶<br>質石灰岩、ガ<br>ラス               | 高さ2.1cm 幅5.8cm 奥<br>行き2.6cm   |
| 42 | 魚形の皿                  | 新王国時代・第18王朝、<br>トトメス3世治世～アメン<br>ヘテブ2世治世、前1479～<br>前1400年頃    | 出土地不詳                            | 凍石                                   | 高さ5.8cm 幅11cm 厚<br>さ2cm       |
| 43 | ミルク壺                  | 新王国時代・第18王朝初<br>期、前1539～前1479年頃                              | サワマ91号墓                          | 土器、顔料                                | 高さ34.8cm 直径15.2c<br>m         |
| 44 | 授乳をする女性の像             | 中王国時代・第12～13王<br>朝初期、前1938～前1630<br>年頃                       | 出土地不詳                            | 石灰岩、顔料                               | 高さ11.6cm 幅6.3cm<br>奥行き8.4cm   |
| 45 | 出産の神タウエレットの<br>護符     | 新王国時代・第18王朝初<br>期、前1539～前1479年頃                              | 出土地不詳                            | ファイアンス                               | 高さ3.2cm 幅1.6cm 奥<br>行き0.3cm   |
| 46 | カエルの護符                | 新王国時代・第18王朝、<br>アメンヘテブ3世治世、前<br>1390～前1353年頃                 | 出土地不詳                            | ファイアンス                               | 高さ5.3cm 幅5cm 奥<br>行き4.7cm     |
| 47 | 王の頭部                  | 古王国時代・第3王朝後期<br>～第4王朝初期、前2650～<br>前2600年頃                    | 出土地不詳                            | 花崗岩                                  | 高さ54.3cm 幅29cm<br>奥行き33cm     |
| 48 | クフ王の名前が彫られ<br>た指輪     | 末期王朝時代・第26～27<br>王朝、前664～前404年                               | おそらくギザ                           | 金                                    | 高さ1.8cm 幅2.5cm 奥<br>行き2.1cm   |
| 49 | 取っ手の付いた石製容<br>器       | 古王国時代・第3～6王朝、<br>前2675～前2170年頃                               | 出土地不詳                            | 蛇紋岩または<br>閃緑岩                        | 高さ5cm 直径9cm                   |
| 50 | イムヘテブの小像              | 末期王朝時代～プトレマ<br>イオス朝時代・第30王朝<br>あるいはそれ以降、前381<br>～前30年        | 出土地不詳                            | 銅合金                                  | 高さ17.7cm 幅5.5cm<br>奥行き11.7cm  |
| 51 | 穀物庫の監督官イルカー<br>プタハの座像 | 古王国時代・第5王朝、ニ<br>ウセルラー治世、前2455<br>～前2425年頃                    | サッカラ、イルカープタ<br>ハ墓（伝）             | 石灰岩                                  | 高さ74.9cm 幅29.2cm<br>奥行き43.2cm |
| 52 | 高官メチェチの像              | 古王国時代・第5王朝後期<br>～第6王朝初期、前2371～<br>前2288年頃                    | サッカラ、ジェセル王墓<br>周壁の南西にあるメチェ<br>チ墓 | 木、ジュッソ、<br>顔料、アラバ<br>スター、黒曜<br>石、銅合金 | 高さ61.6cm 幅31.8cm<br>奥行き13cm   |
| 53 | 石製の男性神の小像             | 古王国時代・第4王朝、前<br>2625～前2500年頃                                 | 出土地不詳                            | 片麻岩                                  | 高さ21.3cm 幅9.2cm<br>奥行き8.9cm   |
| 54 | 王像の上半部                | 古王国時代・第5王朝、ニ<br>ウセルラー治世、前2455<br>～前2425年頃                    | 出土地不詳                            | 花崗岩、顔料                               | 高さ34cm 幅16.2cm<br>奥行き14.1cm   |
| 55 | ひざまずくペピ1世の<br>小像      | 古王国時代・第6王朝、ペ<br>ピ1世治世、前2338～前2<br>298年頃                      | 出土地不詳                            | 硬砂岩、エジ<br>プシャン・ア<br>ラバスター、<br>黒曜石、銅  | 高さ15.2 cm 幅4.6cm<br>奥行き9cm    |
| 56 | アメン神官の像               | 末期王朝時代・第30王朝、<br>ネクタネボ1世治世、前38<br>1～前362年                    | テーベ（推定）                          | 閃緑岩                                  | 高さ51cm 幅15.9cm<br>奥行き14cm     |

| No | 作品名                                     | 時代・年代                                        | 出土地                                | 材質                | サイズ                                    |
|----|-----------------------------------------|----------------------------------------------|------------------------------------|-------------------|----------------------------------------|
| 57 | 新王国時代の神殿の復元模型                           | 現代                                           | アルベルト・フェーレン<br>バッハー製作              | プラスター             | 高さ108cm 幅87.6cm<br>奥行き111.8cm          |
| 58 | オベリスクの模型の一部                             | 新王国時代・第18王朝、<br>トトメス2世治世、前1481<br>～前1479年頃   | 出土地不詳                              | エジプシャン・<br>アラバスター | 高さ7.2cm 幅2.8cm 奥<br>行き3.2cm            |
| 59 | 王子の方形彫像                                 | 第3中間期・第22王朝、前<br>874～前830年頃                  | サッカラ（伝）                            | 石灰岩               | 高さ35.4cm 幅18.5cm<br>奥行き22.2cm          |
| 60 | 奉納石碑                                    | 第3中間期、シェションク<br>3世治世の22年目、前804<br>年          | メンデス（推定）                           | 石灰岩               | 高さ52.1cm 幅32.4cm<br>厚さ6.4cm            |
| 61 | 鍬の模型（鎮壇具）                               | 新王国時代・第18王朝、<br>ハトシェプスト治世、前1478<br>～前1458年頃  | テーベ、デイル・エル＝<br>バハリ神殿の第2テラス南<br>側   | 木                 | (02.227a) 長さ31cm<br>(02.227b) 長さ31.2cm |
| 62 | ラメセス2世の名前が<br>記されたヒエログリフ<br>の模型         | 新王国時代・第19王朝、<br>ラメセス2世治世、前1279<br>～前1213年頃   | テーベ、デイル・エル＝<br>バハリ南、貴族の墓（伝）        | ファイアンス            | 高さ7.62cm 幅1.91cm<br>奥行き2.22cm          |
| 63 | 石の運搬具の模型（鎮<br>壇具）                       | 新王国時代・第18王朝、<br>ハトシェプスト治世、前1478<br>～前1458年頃  | テーベ、デイル・エル＝<br>バハリ神殿の第2テラス南<br>側   | 木                 | 高さ5.1cm 幅22.8cm<br>奥行き8.5cm            |
| 64 | 花模様の带状装飾                                | 新王国時代・第20王朝、<br>ラメセス3世治世、前1187<br>～前1156年頃   | テル・エル＝ヤフーディ<br>ヤ（推定）               | ファイアンス            | 高さ6.4cm 幅29.2cm<br>厚さ2.5cm             |
| 65 | シェションク王のスフィンクス                          | 第3中間期・第22～23王朝、<br>前945～前712年頃               | 出土地不詳                              | 青銅                | 高さ4.9cm 幅2.1cm 奥<br>行き7.3cm            |
| 66 | 青冠を被った王                                 | 末期王朝時代～プトレマイ<br>オス朝時代、前664～前<br>30年あるい近代     | 出土地不詳                              | 大理石               | 高さ14.5cm 幅9.3cm<br>奥行き10.2cm           |
| 67 | 日輪を戴く聖蛇ウラ<br>エウス                        | プトレマイオス朝時代、<br>前305～前30年                     | トゥナ・エル＝ジュベル<br>のトト神厨子（推定）          | 青銅、金              | 高さ12.6cm 幅5.1cm<br>奥行き3.8cm            |
| 68 | オシリス神像の殻笄                               | 末期王朝～プトレマイオ<br>ス朝時代、前664～前30年                | トゥナ・エル＝ジュベル<br>の回廊C                | 青銅、ガラス            | 高さ11.9cm 幅5.5cm<br>奥行き0.8cm            |
| 69 | 指輪に取り付けられた<br>トトメス3世のスカラ<br>ベ           | 新王国時代・第18王朝、<br>トトメス3世治世、前1479<br>～前1425年頃   | 出土地不詳                              | 凍石、釉薬、<br>金       | 高さ1.3cm 幅2.4cm 奥<br>行き3cm              |
| 70 | アメンヘテプ2世の名<br>前が彫られた指輪                  | 新王国時代・第18王朝、<br>アメンヘテプ2世治世、前<br>1426～前1400年頃 | サッカラ（伝）                            | 銀                 | 高さ1.3cm 幅2.2cm 奥<br>行き2.2cm            |
| 71 | オシリス神像                                  | 末期王朝時代・第26王朝、<br>前664～前525年                  | 出土地不詳                              | 硬砂岩               | 高さ20.5cm 幅12.8cm<br>奥行き6.8cm           |
| 72 | ハヤブサの棺                                  | プトレマイオス朝時代、<br>前305～前30年                     | 出土地不詳                              | 青銅                | 高さ21.8cm 幅7.5cm<br>奥行き18cm             |
| 73 | 仔ウシの頭部                                  | 末期王朝時代、前664～前<br>332年                        | サッカラ                               | 木、プラスター、<br>顔料    | 高さ17.2cm 幅7.5cm<br>奥行き12.6cm           |
| 74 | ホルス神を抱くイシス<br>女神像                       | 末期王朝時代・第26～27<br>王朝、前664～前404年               | 出土地不詳                              | 石                 | 高さ14cm 幅3.5cm 奥<br>行き7.6cm             |
| 75 | ムト女神の立像                                 | 末期王朝時代、前664～前<br>332年                        | アクミーム（伝）                           | 青銅                | 高さ18.5cm 幅3.8cm<br>奥行き3.7cm            |
| 76 | シストラム（古代エジプ<br>トの楽器）を持ちハトホル<br>女神の前に立つ王 | プトレマイオス朝時代、<br>前3世紀                          | 出土地不詳                              | 玄武岩               | 高さ19.7cm 幅22cm<br>厚さ8cm                |
| 77 | メンチュヘテプ3世の<br>レリーフ                      | 中王国時代・第11王朝、<br>前1957～前1945年頃                | アルマント、メンチュヘ<br>テプ3世の礼拝堂            | 石灰岩               | 高さ78.7cm 幅130.8cm<br>厚さ11.4cm          |
| 78 | アメン・ラー神または<br>アメンヘテプ3世の像                | 新王国時代・第18王朝、<br>アメンヘテプ3世治世、前<br>1390～前1353年頃 | 出土地不詳                              | 珪岩                | 高さ19.5cm 幅14.3cm<br>奥行き10cm            |
| 79 | スフィンクスの姿で表<br>されるアクエンアテン<br>王           | 新王国時代・第18王朝、<br>アマルナ時代、前1353～<br>前1336年頃     | テル・エル＝アマルナの<br>宮殿公式諸間、南区画の<br>中央広間 | 石灰岩、顔料            | 高さ24.8cm 幅38.1cm<br>厚さ18.4cm           |

| No  | 作品名                                 | 時代・年代                                                     | 出土地                      | 材質                     | サイズ                               |
|-----|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------|--------------------------|------------------------|-----------------------------------|
| 80  | アテン神に物を捧げる<br>アクエンアテン王とそ<br>の娘のレリーフ | 新王国時代・第18王朝後<br>期、アマルナ時代、前135<br>3～前1336年頃                | ヘルモポリス・マグナ<br>(推定)       | 石灰岩、顔料                 | 高さ22.7cm 幅51.6cm<br>厚さ3.2cm       |
| 81  | ネフェレティティ(ネフェ<br>ルティティ)王妃のレ<br>リーフ   | 新王国時代・第18王朝、<br>アマルナ時代、前1353～<br>前1336年頃                  | ヘルモポリス・マグナ<br>(推定)       | 石灰岩、顔料                 | 高さ23.5cm 幅38.1cm<br>厚さ4.4cm       |
| 82  | 王妃の頭部                               | 新王国時代・第18王朝後<br>期、アマルナ時代、前135<br>3～前1336年頃                | おそらくテル・エル＝ア<br>マルナ       | 石灰岩、顔料                 | 高さ4.5cm 幅5.2cm 奥<br>行き6.2cm       |
| 83  | 戦いの場面を描いたレ<br>リーフ                   | 新王国時代・第18王朝後<br>期、ツタンカーメン治世、<br>前1332～前1322年頃             | テーベ(伝) おそらくカ<br>ルナク神殿    | 砂岩、顔料                  | 高さ22cm 幅26cm 厚<br>さ1.8cm          |
| 84  | ラメセス2世の石碑                           | 新王国時代・第19王朝、<br>ラメセス2世治世、前1279<br>～前1213年頃                | ヌビア地域、アマーラ西<br>遺跡の神殿前庭西側 | 砂岩                     | 高さ168.5cm 幅87.2cm<br>厚さ18.5cm     |
| 85  | セティ1世の境界碑                           | 新王国時代・第19王朝、<br>前1290年頃                                   | 出土地不詳                    | 石灰岩                    | 高さ64.8cm 幅39.4cm<br>厚さ17.1cm      |
| 86  | プトレマイオス2世フィ<br>ラデルフォスのレリー<br>フ      | プトレマイオス朝時代、<br>プトレマイオス2世治世、<br>前285年または前282～前2<br>46年     | バーベイト・エル＝ハガー             | 花崗岩                    | 高さ69cm 幅60cm 厚<br>さ6cm            |
| 87  | ファラオの頭部(おそ<br>らくプトレマイオス12<br>世)     | プトレマイオス朝時代、<br>前332～前30年                                  | テーベ(伝)                   | 石灰岩                    | 高さ38.7cm 幅14cm<br>奥行き36.2cm       |
| 88  | 壁龕に配された像                            | 古王国時代・第4～5王朝、<br>前2625～前2350年頃                            | おそらくサッカラ                 | 石灰岩                    | 高さ114.9cm 幅56.2cm<br>奥行き20.3cm    |
| 89  | アメンエムハトの石碑                          | 中王国時代・第12王朝初<br>期、前1938～前1875年頃                           | 出土地不詳                    | 石灰岩                    | 高さ43.2cm 幅53.3cm<br>厚さ6.4cm       |
| 90  | ジャッカル の伏臥像                          | 末期王朝時代またはそれ<br>以降、前664～前30年頃                              | おそらくサッカラ                 | 木、顔料                   | 高さ18.7cm 幅35.2cm<br>奥行き8.3cm      |
| 91  | ヌン〈原初の海〉を表<br>した皿                   | 新王国時代・第18王朝初<br>期、前1539～前1493年頃                           | アクミーム(伝)                 | 青いファイア<br>ンス、細部は<br>黒彩 | 高さ8.8cm 直径26.3cm                  |
| 92  | 動物の棺の上に置かれ<br>たタガリネズミの像             | 末期王朝時代、前664～前<br>332年                                     | おそらくサッカラ                 | 青銅                     | 高さ2.6cm 幅8.1cm 奥<br>行き3.8cm       |
| 93  | ネコの座像                               | 末期王朝時代・第26～30<br>王朝、前664～前343年                            | 出土地不詳                    | 青銅、中空の<br>鋳造品          | 高さ13.3cm 幅4.1cm<br>奥行き9.5cm       |
| 94  | サル の像                               | 新王国時代・第18王朝後<br>期、前1353～前1336年頃                           | アマルナ(伝)                  | 青いファイア<br>ンス           | 高さ5.4cm 幅2.8cm 奥<br>行き4cm         |
| 95  | カバ の像                               | 中王国時代～第2中間期・<br>第12～17王朝、前1938～<br>前1539年頃                | 出土地不詳                    | ファイアンス                 | 高さ7.6cm 幅11.4cm<br>奥行き5.7cm       |
| 96  | 縛られたカモの供物<br>の模型                    | 第1中間期～第2中間期、<br>前2170～前1539年頃                             | 出土地不詳                    | エジプシャン・<br>アラバスター      | 高さ6.4cm 幅12.7cm<br>奥行き6.4cm       |
| 97  | 魚形のガラス容器                            | 新王国時代・第18王朝、<br>アメンヘテプ3世治世～ホ<br>ルエムヘブ治世、前1390<br>～前1292年頃 | おそらくサッカラ                 | ガラス                    | 高さ5.7cm 幅11.1cm<br>奥行き4.1cm       |
| 98  | 取っ手の付いたガラス<br>製容器                   | 新王国時代・第18王朝後<br>期、おそらくアクエンア<br>テン治世、前1353～前133<br>6年頃     | サッカラ(推定)                 | ガラス                    | 高さ8.9cm 直径7.6cm                   |
| 99  | 花柄の襟飾りが施され<br>た壺                    | 新王国時代・第19王朝、<br>前1292～前1190年頃                             | おそらくサッカラ                 | エジプシャン・<br>アラバスター      | 高さ28.5cm 幅25cm<br>奥行き28.3cm       |
| 100 | 短剣                                  | 中王国時代・第12王朝、<br>前1938～前1759年頃                             | 出土地不詳                    | 銅、黒檀、カ<br>バの牙          | 高さ24.1cm 幅4.8cm<br>奥行き1.3cm       |
| 101 | ハエのペンダント                            | 新王国時代・第18王朝、<br>前1539～前1292年頃                             | サマワ53墓                   | 銀、紐(現代)                | 高さ12.7cm 幅16.5cm<br>奥行き1.3cm      |
| 102 | 耳飾り                                 | 新王国時代・第18王朝、<br>前1539～前1292年頃                             | 出土地不詳                    | 金                      | 高さ2cm 直径2.4cm、<br>高さ2.5cm 直径2.6cm |

| No    | 作品名                       | 時代・年代                                        | 出土地                      | 材質                       | サイズ                        |
|-------|---------------------------|----------------------------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------|
| 103   | 首飾り                       | 中王国時代、前2008～前1630年頃                          | アビュドスD9墓                 | ファイアンス、アメジスト、カーネリアン（紅玉髓） | 長さ 43.8 cm                 |
| 104   | 首飾り                       | 中王国時代・第12～13王朝初期、前1938～前1630年頃               | アビュドスD303墓               | アメジスト                    | 長さ57.2 cm                  |
| 105   | 刻印のないスカラベ付き腕輪             | 中王国時代・第12王朝初期、前1938年～前1875年頃                 | アビュドス1819墓               | 緑の長石、アメジスト               | 長さ19cm 幅1.3cm              |
| 106   | ベス神とタウエレット女神のペンダントが付いた首飾り | 新王国時代・第18王朝、前1539～前1292年頃                    | 出土地不詳                    | 金、カーネリアン（紅玉髓）、ファイアンス     | 長さ37.9cm 幅2.7cm            |
| 107   | ビーズの襟飾り                   | 新王国時代・アメンヘテプ3世治世、前1390～前1352年頃               | おそらくテーベ、アメンヘテプ3世のマルカタ王宮  | ファイアンス                   | 高さ17.1cm 幅35cm             |
| 108   | 円筒形の護符                    | 中王国時代・第12王朝、前1938～前1759年頃                    | ダハシュール（伝）                | 金、アメジスト                  | 高さ7cm 直径1.3cm              |
| 109   | 中空の円筒形の護符                 | 中王国時代・第12王朝、前1938～前1759年頃                    | おそらくサッカラ                 | 金                        | 高さ4.8cm 直径0.8cm            |
| 110   | アメンエムハトのシャブティ             | 新王国時代・第18王朝、トトメス4世治世～アクエンアテン治世、前1400～前1336年頃 | テーベ西岸のアメンエムハト（TT82）墓（推定） | 石灰岩、彩色                   | 高さ24.8cm 幅9.2cm 奥行き6.4cm   |
| 111   | アメンエムハトのシャブティ・ボックス        | 新王国時代・第18王朝、トトメス4世治世～アクエンアテン治世、前1400～前1336年頃 | テーベ西岸のアメンエムハト（TT82）墓（推定） | 木                        | 高さ32.5cm 幅13.1cm 奥行き16.2cm |
| 112   | 帆船の模型                     | 中王国時代、前2008～前1759年頃またはそれ以降                   | 出土地不詳                    | 木、亜麻布、顔料                 | 高さ54.3cm 幅84.5cm 奥行き18.1cm |
| 113   | オシリス神の小像                  | 末期王朝時代・第26王朝、前664～前525年またはその少し後              | アビュドス（推定）                | 金で象嵌された青銅                | 高さ19.7cm 幅5.4cm 奥行き3.2cm   |
| 114   | イシス女神の小像                  | プトレマイオス朝時代、前332～前30年                         | 出土地不詳                    | 青銅                       | 高さ17.5cm 幅4.5cm 奥行き3.7cm   |
| 115   | ネフテュス女神像                  | 末期王朝～プトレマイオス朝時代、前664～前30年頃                   | 出土地不詳                    | 木、彩色                     | 高さ40.6cm 幅17.8cm 奥行き29.2cm |
| 116   | 泣き女のレリーフ                  | 新王国時代・第18王朝後期～第19王朝初期、前1319～前1204年頃          | サッカラ（伝）                  | 石灰岩                      | 高さ29cm 幅41.2cm 厚さ7.2cm     |
| 117   | ペセシュ・ケフ（儀式用ナイフ）           | 先王朝時代、ナカダⅢ期、前3300～前3100年頃                    | アクミーム（伝）                 | 黒曜石                      | 高さ8.9cm 幅16.5cm 厚さ0.6cm    |
| 118   | 冥界の神々のレリーフ                | 新王国時代・第18王朝後期～第19王朝初期、前1336～前1250年頃          | ギザまたはサッカラ（推定）            | 石灰岩                      | 高さ27.3cm 幅61cm 厚さ6.7cm     |
| 119_1 | カノプス壺と蓋（ジャッカルをかたどったもの）    | 末期王朝時代・第26王朝、前664～前525年またはそれ以降               | 出土地不詳                    | 石灰岩                      | 高さ29.3cm 直径13.4cm          |
| 119_2 | カノプス壺と蓋（ハヤブサをかたどったもの）     | 末期王朝時代・第26王朝、前664～前525年またはそれ以降               | 出土地不詳                    | 石灰岩                      | 高さ26cm 直径11.4cm            |
| 119_3 | カノプス壺と蓋（人間をかたどったもの）       | 末期王朝時代・第26王朝、前664～前525年またはそれ以降               | 出土地不詳                    | 石灰岩                      | 高さ26.5cm 直径11.4cm          |
| 119_4 | カノプス壺と蓋（ヒヒをかたどったもの）       | 末期王朝時代・第26王朝、前664～前525年またはそれ以降               | 出土地不詳                    | 石灰岩                      | 高さ24.8cm 直径12.1cm          |
| 120   | カルトナーージュ棺のアップリケ           | プトレマイオス朝時代～ローマ時代、前305～後395年                  | アクミーム（推定）                | 亜麻布、ジェッソ                 | 高さ17.5cm 幅27.5cm 厚さ0.3cm   |

| No      | 作品名                          | 時代・年代                               | 出土地                        | 材質                  | サイズ                                                            |
|---------|------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------|
| 121     | ジェド柱の護符                      | 末期王朝時代、前664～前332年                   | 出土地不詳                      | ファイアンス、釉薬           | 高さ9.7cm 幅3.6cm 奥行き1.5cm                                        |
| 122     | 心臓スカラベの護符                    | 末期王朝時代・第26王朝、前664～前525年             | サッカラ（伝）                    | 凍石、金箔               | 高さ2.3cm 幅3.6cm 奥行き5.3cm                                        |
| 123     | ウジャトの護符                      | ベルシア時代、前525～前404年                   | おそらくサッカラ                   | 金                   | 高さ1.9cm 幅1.3cm 奥行き0.3cm                                        |
| 124     | 人頭の鳥で表されるバーの護符               | 末期王朝時代、前664～前332年                   | サッカラ（伝）                    | 金                   | 高さ2.2cm 幅4.2cm 奥行き0.6cm                                        |
| 125     | 人頭の鳥で表されるバーの護符               | おそらくプトレマイオス朝時代、前305～前30年            | サッカラ（伝）                    | 金、ラピスラズリ、トルコ石、凍石    | 高さ3.1cm 幅6.8cm 奥行き0.9cm                                        |
| 126     | 王家の葬祭船を描いたバピルス               | 王家の葬祭船を描いたバピルス 末期王朝時代、前664～前332年    | 出土地不詳                      | バピルス、インク            | 高さ17.6cm 幅34.4cm                                               |
| 127     | ホルス神が描かれたバピルス                | プトレマイオス朝時代、前305～前30年                | メンフィス（推定）                  | バピルス、顔料             | 高さ34cm 幅22.5cm                                                 |
| 128     | ネフェレトイウ（レンベトネフェレトの子）のミイラの包帯  | プトレマイオス朝時代またはそれ以降、前332年～後1世紀        | 出土地不詳                      | 亜麻布、インク             | 高さ6cm 幅47cm                                                    |
| 129     | ウェンネフェル（タアメンの子）のミイラの包帯       | プトレマイオス朝時代またはそれ以降、前332年～後1世紀        | 出土地不詳                      | 亜麻布、インク             | 高さ6.7cm 幅51cm                                                  |
| 130     | ミイラの覆い布                      | プトレマイオス朝時代、前332～前30年                | サッカラ（推定）                   | 亜麻布、ジェッソ、塗料         | 高さ102.6cm 幅91.3cm                                              |
| 132     | ネコの棺とミイラ                     | 末期王朝時代、前664～前332年                   | おそらくサッカラ                   | 木、ジェッソ、動物の遺体        | 高さ24cm 幅7cm 奥行き11.5cm                                          |
| 133     | ネコの棺とミイラ                     | 末期王朝時代、前664～前332年                   | おそらくサッカラ                   | 木、ジェッソ、顔料、亜麻布、動物の遺体 | 高さ63.2cm 幅25.9cm 奥行き44cm                                       |
| 134     | パディアンブウの石棺の蓋                 | プトレマイオス朝時代、前305～前30年                | ハルダイ（キュノポリス）付近エル＝タルマキーヤの墓地 | 石灰岩                 | 高さ208.3cm 幅66cm 奥行き38.1cm                                      |
| 135     | 女性の木棺のパネル                    | 中王国時代・第11王朝後期～第12王朝初期、前2008～前1875年頃 | おそらくアシュート                  | 木、顔料                | 高さ44.5cm 幅181.6cm 厚さ3.2cm                                      |
| 136.1.4 | <家の女主人>ウェレトワハセトの棺と内部のカルトナージュ | 新王国時代・第19王朝、前1292～前1190年頃           | デイル・エル＝メディーナ（推定）           | 木、彩色、カルトナージュ        | 高さ（蓋含む）193.5cm 幅50cm 奥行き64.5cm                                 |
| 137.1.2 | トトイルディスの木棺                   | 末期王朝時代・第26王朝、前664～前525年             | テーベ（推定）                    | 木、彩色ブラスター           | （棺）高さ175.3cm 幅55.9cm 奥行き18.5cm<br>（蓋）高さ177.8cm 幅61cm 奥行き50.8cm |
| 138     | デメトリオスという名の男性の肖像とミイラ         | ローマ時代、後95～後100年                     | ハワラにあるローマ時代の墓地             | 彩色された布、金、人間の遺体、蠟画、板 | 高さ190cm 幅39cm 奥行き34cm                                          |
| 139     | 神官ホル（ホルス）のカルトナージュとミイラ        | 第3中間期・第25王朝後半、前760～前558年頃           | テーベ（推定）                    | 亜麻布、顔料、ジェッソ、人間の遺体   | 高さ176.5cm 幅45.7cm 奥行き33cm                                      |

## これからの風景 世界と出会いなおす 6 のテーマ

7月5日（土）－9月23日（火・祝）

- ・「※」印のある作品は個人蔵。それ以外の作品は静岡県立美術館蔵。
- ・前期 7月5日（土）－8月17日（日）／後期 8月19日（火）－9月23日（火・祝）
- 一部作品は4期展示（Ⅰ：7月5日－27日 Ⅱ：7月29日－8月17日 Ⅲ：8月19日－9月7日 Ⅳ：9月9日－23日）

| No.    | 作者                       | 作品名                                | 制作年                     | 材質                  | 寸法 (cm)                                | 展示期間             |
|--------|--------------------------|------------------------------------|-------------------------|---------------------|----------------------------------------|------------------|
| 第1章 記憶 |                          | 心にふりつもる風景                          |                         |                     |                                        |                  |
| 1      | 歌川広重                     | 東海道五拾三次（保永堂版）：<br>蒲原 夜之雪           | 1833（天保4）頃              | 紙、木版、色摺             | 24.7×37.1                              | I                |
| 2      | 歌川広重                     | 東海道五拾三次（保永堂版）：<br>由井 薩埵嶺           | 1833（天保4）頃              | 紙、木版、色摺             | 25.7×38.5                              | II               |
| 3      | 歌川広重                     | 東海道五拾三次（保永堂版）：<br>鞠子 名物茶店          | 1833（天保4）頃              | 紙、木版、色摺             | 25.8×37.5                              | III              |
| 4      | 歌川広重                     | 東海道五拾三次（保永堂版）：<br>掛川 秋葉山遠望         | 1833（天保4）頃              | 紙、木版、色摺             | 25.6×38.1                              | IV               |
| 5      | レンブラント・ファン・レイン           | 三本の木                               | 1643                    | 紙、エッチング、<br>ドライポイント | 21.1×28.0                              | 前期               |
| 6      | ジョン・コンスタブル               | ハムステッド・ヒースの木立、日没                   | 1821                    | キャンヴァスに貼<br>られた紙、油彩 | 25.2×29.2                              | 前期               |
| 7      | ジョゼフ・マロード・ウィ<br>リアム・ターナー | パッランツァ、マッジョーレ湖                     | 1846-1848 頃             | 紙、水彩                | 36.8×54.0                              | 後期               |
| 8      | ポール・セザンヌ                 | ジャ・ド・ブーファンの大樹                      | 1885-1887               | 紙、水彩、鉛筆             | 36.8×54.0                              | 後期               |
| 9      | 杉戸洋                      | 川へはいっちゃいけない                        | 2015（平成27）              | キャンヴァス、油<br>彩       | 50.0×58.0                              | 通期               |
| 10     | 狩野探幽                     | 瀟湘八景（前期：山市晴嵐、瀟湘夜雨<br>後期：洞庭秋月、江天暮雪） | 1662-1674（寛文2-<br>延宝2）  | 絹本墨画淡彩              | 各28.4×70.0                             | 2幅ずつ<br>展示替<br>え |
| 11     | 作者不詳                     | 武蔵野図屏風                             | 17世紀（江戸時代<br>前期）        | 紙本金地着色              | （右隻）155.6<br>×356.8（左隻）<br>155.6×354.8 | 前期               |
| 12     | 作者不詳                     | 富士三保松原図屏風                          | 16世紀半ば（室町<br>時代）        | 紙本金地着色              | 各137.5×<br>329.4                       | 後期               |
| 13     | 狩野伊川院栄信                  | 春秋山水花鳥図                            | 1802-1816（享和2-<br>文化13） | 絹本着色                | 各125.7×76.4                            | 前期               |
| 14     | 寺崎広業                     | 溪山春雨・湖山雪後 ※                        | 1912（明治45/大正<br>元）      | 絹本墨画淡彩              | 各171.0×81.2                            | 後期               |
| 15     | ヤーコブ・ファン・ライ<br>スダール      | 小屋と木立のある田舎道                        | 1670年代                  | キャンヴァス、<br>油彩       | 39.6×46.0                              | 通期               |
| 16     | ヤン・ファン・ホイエ               | レーネン、ライン河越しの眺め                     | 1648                    | 板、油彩                | 66.0×96.5                              | 通期               |
| 17     | パウル・ブリル                  | エルミニアと羊飼いのいる風景                     | 1620頃                   | キャンヴァス、<br>油彩       | 74.5×106.7                             | 通期               |
| 18     | ガスパール・デュゲ                | サビーニの山羊飼                           | 1669-1671               | キャンヴァス、<br>油彩       | 68.5×49.5                              | 通期               |
| 19     | ユベール・ロベール                | ユピテル神殿、ナポリ近郊ポッツォーリ                 | 1761                    | 板、油彩                | 39.1×43.8                              | 通期               |
| 20     | クロード＝ジョゼフ・ヴェ<br>ルネ       | 嵐の海                                | 1740頃                   | キャンヴァス、<br>油彩       | 89.0×167.0                             | 通期               |
| 21     | フランソワ・ブーシェ               | 水車のある風景                            | 1764                    | キャンヴァス、<br>油彩       | 61×78.8                                | 通期               |
| 22     | ヨーハン＝バルトルト・<br>ヨンキント     | オンフルール近郊の街道                        | 1866                    | キャンヴァス、<br>油彩       | 58.4×78.4                              | 通期               |
| 23     | クロード・モネ                  | ルーアンのセヌ川                           | 1872                    | キャンヴァス、<br>油彩       | 49.2×76.2                              | 通期               |
| 24     | ハイム・スーチン                 | カーニュ風景                             | 1923                    | キャンヴァス、<br>油彩       | 60.0×72.4                              | 通期               |
| 25     | ラファエル・コラン                | 想い                                 | 1904（明治37）              | キャンヴァス、<br>油彩       | 59.0×81.2                              | 通期               |
| 26     | ジャン＝バティスト＝カミ<br>ユ・コロ     | 40のガラス版画：小さな羊飼いの群 第1版              | 1921出版                  | 紙、ガラス版画             | 35.8×29.0                              | 前期               |

| No.                      | 作者                 | 作品名                                                          | 制作年                    | 材質          | 寸法 (cm)        | 展示期間 |
|--------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------|------------------------|-------------|----------------|------|
| 27                       | ジャン＝バティスト＝カミユー・コロー | 40のガラス版画：ホラティウスの庭                                            | 1921出版                 | 紙、ガラス版画     | 37.8×30.0      | 前期   |
| 28                       | シャルル＝フランソワ・ドービニー   | 40のガラス版画：山羊飼いの少女                                             | 1921出版                 | 紙、ガラス版画     | 36.3×28.8      | 前期   |
| 29                       | ジャン＝バティスト＝カミユー・コロー | 40のガラス版画：小さな羊飼いの第2版                                          | 1921出版                 | 紙、ガラス版画     | 36.2×28.9      | 後期   |
| 30                       | ジャン＝バティスト＝カミユー・コロー | 40のガラス版画：森の入口にいる若い母親                                         | 1921出版                 | 紙、ガラス版画     | 35.7×28.9      | 後期   |
| 31                       | シャルル＝フランソワ・ドービニー   | 40のガラス版画：家路をたどる羊の群れ                                          | 1921出版                 | 紙、ガラス版画     | 36.1×29.3      | 後期   |
| 32                       | ジャン＝フランソワ・ミレー      | バルビゾン近郊の羊飼いと羊たち※                                             | 1865-1868年頃            | 板、油彩        | 34.9×26.7      | 通期   |
| 33                       | サミュエル・パーマー         | ケント州、アンダーリヴァーのホップ畑                                           | 1833-1834頃             | 板、油彩、テンペラ   | 19.0×26.0      | 通期   |
| 34                       | ケル＝グザヴィエ・ルーセル      | 風景：風景の中の赤いドレスの女                                              | 1900頃                  | 紙、多色刷リトグラフ  | 40.3×52.8      | 前期   |
| 35                       | ケル＝グザヴィエ・ルーセル      | 風景：縞の外套の女                                                    | 1900頃                  | 紙、多色刷リトグラフ  | 42.9×53.4      | 後期   |
| 36                       | 入江波光               | 草園の朝                                                         | 1926 (大正15)            | 絹本着色        | 133.4×41.5     | 前期   |
| 37                       | 浦上玉堂               | 抱琴訪隠図                                                        | 1813 (文化10) 頃          | 紙本墨画淡彩      | 112.0×62.8     | 後期   |
| 38                       | 脇田和                | 作品                                                           | 制作年不詳                  | 紙、リトグラフ     | 65.0×49.7      | 前期   |
| 39                       | 山口源                | 春来る丘                                                         | 1942 (昭和17)            | 紙、多色木版      | 33.0×44.5      | 後期   |
| 40                       | 川内倫子               | Untitled                                                     | 2021 (令和3)             | ラムダプリント     | 103.0×70.0     | 前期   |
| 41                       | 川内倫子               | Untitled                                                     | 2014 (平成26)            | C プリント      | 101.6×101.6    | 後期   |
| 42                       | 中川八郎               | 松原                                                           | 1902 (明治35) 頃          | 紙、水彩        | 33.8×51.0      | 前期   |
| 43                       | 浅井忠                | 雲                                                            | 1903 (明治36) 頃          | 紙、水彩        | 28.5×44.3      | 後期   |
| 44                       | 児島虎次郎              | 酒津の庭 (水蓮)                                                    | 1924-1928 (大正13-昭和3) 頃 | キャンヴァス、油彩   | 81.0×65.0      | 通期   |
| 45                       | 福田平八郎              | 雪庭                                                           | 1958 (昭和33)            | 紙本着色        | 56.0×81.0      | 前期   |
| 46                       | 徳岡神泉               | 雨                                                            | 1964 (昭和39)            | 紙本着色        | 110.7×143.7    | 前期   |
| 47                       | 中村岳陵               | 爽秋                                                           | 1935 (昭和10)            | 絹本着色        | 64.0×101.0     | 後期   |
| 48                       | 中村岳陵               | 残照                                                           | 1961 (昭和36)            | 紙本着色        | 94.5×120.0     | 後期   |
| <b>第2章 鑑賞 さわる風景、きく風景</b> |                    |                                                              |                        |             |                |      |
| 49                       | クロード・ロラン           | 笛を吹く人物のいる牧歌的風景                                               | 1630年代後半               | キャンヴァス、油彩   | 99.7×133.3     | 通期   |
| 50                       | ジャン＝ジョゼフ＝グザヴィエ・ビドー | 山に見える牧歌的風景                                                   | 1790年代                 | キャンヴァス、油彩   | 81.5×111.7     | 通期   |
| 51                       | ギュスターヴ・クールベ        | ピュイ・ノワールの溪流                                                  | 1865                   | キャンヴァス、油彩   | 75.0×90.0      | 通期   |
| 資料分類                     |                    | 制作                                                           | 制作年                    | 材質・技法       | 時間/寸法 (cm)     | 展示期間 |
| A<br>(No.49)             | 音声                 | 音と声：棚川寛子、鈴木真理子、吉見亮 / 録音・編集：竹島知里、大拙実莉、近藤佑羽(SPAC- 静岡県舞台芸術センター) | 2025                   |             | ループ再生          | 通期   |
| B<br>(No.49)             | テキスタイル             | 制作、展示監修：庄司はるか                                                | 2025                   | カーテン生地      | サイズ可変          | 通期   |
| C<br>(No.49)             | 額縁複製               | 光造形：藤田吉臣、加藤まや、田中優歩 (3D Lab Hitoyado base/ アイセイ株式会社)          | 2025                   | レジン、3D プリント | 50.0×18.0×11.0 | 通期   |
| D<br>(No.51)             | 油彩マニエル再現           | 監修、制作：鈴木健司                                                   | 2025                   | キャンヴァス、油彩   | 31.8 × 41.0    | 通期   |

| 資料分類                | 制作                                                           | 制作年                      | 材質・技法                              | 時間/寸法 (cm)                                                      | 展示期間 |
|---------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------|
| E<br>(No.49-<br>51) | 触図制作・点訳：小川真美子(点字・触図工房B J)/ 触読監修：藤下直美(社福) 名古屋ライトハウス日々のくらし相談室) | 2025                     | 立体コピー                              | No.49<br>各36.5×48.0<br>No.50<br>36.5×49.5<br>No.51<br>36.5×43.5 | 通期   |
| No. 作者              | 作品名                                                          | 制作年                      | 材質                                 | 寸法 (cm)                                                         | 展示期間 |
| 第3章 観光              |                                                              | 見出された風景                  |                                    |                                                                 |      |
| 52 歌川広重             | 不二三十六景 東都駿河台                                                 | 1852 (嘉永5)               | 紙、木版、色摺                            | 18.1×25.5                                                       | I    |
| 53 歌川広重             | 東海道五拾三次 (隸書)：吉原                                              | 1849 (嘉永2) 頃             | 紙、木版、色摺                            | 24.1×36.5                                                       | II   |
| 54 歌川広重             | 東海道五拾三次 (保永堂版)：原 朝之富士                                        | 1833 (天保4) 頃             | 紙、木版、色摺                            | 25.5×38.7                                                       | III  |
| 55 歌川国芳             | 東海道五拾三駅：五宿名所 由井、興津、江尻、府中、鞠子                                  | 1830 (天保元) 頃             | 紙、木版、色摺                            | 24.8×36.8                                                       | IV   |
| 56 黒川翠山             | 御厨の残雪                                                        | 制作年不詳                    | ゼラチン・シルバー・プリント                     | 22.0×29.6                                                       | 前期   |
| 57 黒川翠山             | 題名不詳 (長尾峠からの富士)                                              | 制作年不詳                    | ゼラチン・シルバー・プリント                     | 22.0×29.5                                                       | 後期   |
| 58 和田英作             | 日本平望嶽台 ※                                                     | 1939 (昭和14)              | キャンヴァス、油彩                          | 45×52.8                                                         | 通期   |
| 59 ジュリアン・オピー        | 「日本八景より」国道三百号線から眺める富士山と雛菊                                    | 2007                     | コンピュータアニメーション、46インチ液晶モニター3台、コンピュータ | 110.0×220.0×12.0                                                | 通期   |
| 60 大下藤次郎            | 田子の浦                                                         | 1902 (明治35)              | 紙、水彩                               | 31.5×48.0                                                       | 前期   |
| 61 石川欽一郎            | 神域より天の香具山を望む                                                 | 1940 (昭和15) 頃            | 紙、水彩                               | 48.0×58.0                                                       | 後期   |
| 62 茨木猪之吉            | 初夏の常念岳                                                       | 1935 (昭和10)              | キャンヴァス、油彩                          | 45.7×53.0                                                       | 通期   |
| 63 吉田博              | 上高地の春                                                        | 1927 (昭和2)               | キャンヴァス、油彩                          | 80.5×116.8                                                      | 通期   |
| 64 小泉癸巳男            | 冬の猿橋                                                         | 1938-1941<br>(昭和13-昭和16) | 紙、木版                               | 32.8×25.9                                                       | 前期   |
| 65 吉田博              | 日光・荒沢                                                        | 1897-1899<br>(明治30-明治32) | 紙、水彩                               | 51.2×29.7                                                       | 後期   |
| 66 武内鶴之助            | 紀州瀨峡                                                         | 制作年不詳                    | 紙、パステル                             | 45.4×61.0                                                       | 前期   |
| 67 武内鶴之助            | 伊豆福浦海岸                                                       | 制作年不詳                    | 紙、パステル                             | 52.0×72.0                                                       | 後期   |
| 68 中澤弘光             | 風景 (秋の湖畔)                                                    | 1919 (大正8)               | キャンヴァス、油彩                          | 137.0×212.0                                                     | 通期   |
| 69 鹿子木孟郎            | 紀州勝浦                                                         | 1910 (明治43)              | キャンヴァス、油彩                          | 59.0×74.8                                                       | 通期   |
| 70 金山平三             | 千曲川 (信濃路の春)                                                  | 1956-1964<br>(昭和31-昭和39) | キャンヴァス、油彩                          | 41.0×53.0                                                       | 通期   |
| 71 児島善三郎            | 箱根                                                           | 1937 (昭和12) 頃            | キャンヴァス、油彩                          | 90.7×115.2                                                      | 通期   |
| 72 須田国太郎            | 筆石村                                                          | 1938 (昭和13)              | キャンヴァス、油彩                          | 97.0×145.5                                                      | 通期   |
| 73 田村一男             | 北越大雪                                                         | 1976 (昭和51)              | キャンヴァス、油彩                          | 145.5×89.4                                                      | 通期   |
| 74 鳥海青児             | 壁の修理                                                         | 1959 (昭和34) 頃            | キャンヴァス、油彩                          | 79.5×116.0                                                      | 通期   |
| 第4章 場所              |                                                              | 名前のない風景                  |                                    |                                                                 |      |
| 75 小林清親             | 海運橋 (第一銀行雪中)                                                 | 1876 (明治9)               | 紙、木版、色摺                            | 24.4×36.5                                                       | I    |
| 76 小林清親             | 高輪牛町朧月景                                                      | 1879 (明治12)              | 紙、木版、色摺                            | 24.5×36.7                                                       | II   |
| 77 小林清親             | 常盤橋内紙幣寮之図                                                    | 1880 (明治13)              | 紙、木版、色摺                            | 24.8×36.6                                                       | III  |

| No. 作者                       | 作品名                                               | 制作年                      | 材質                  | 寸法 (cm)    | 展示期間 |
|------------------------------|---------------------------------------------------|--------------------------|---------------------|------------|------|
| 78 小林清親                      | 虎乃門夕景                                             | 1880 (明治13)              | 紙、木版、色摺             | 24.9×36.6  | Ⅳ    |
| 79 小泉癸巳男                     | 昭和大東京百図絵：兜町取引所 ※                                  | 1937 (昭和12)              | 紙・木版                | 37.4×28.4  | 前期   |
| 80 小泉癸巳男                     | 昭和大東京百図絵：愛宕山放送局 ※                                 | 1935 (昭和10)              | 紙・木版                | 37.2×28.5  | 後期   |
| 81 小泉癸巳男                     | 昭和大東京百図絵：羽田国際飛行場 ※                                | 1937 (昭和12)              | 紙・木版                | 37.3×28.2  | 前期   |
| 82 小泉癸巳男                     | 昭和大東京百図絵：新宿街 ※                                    | 1935 (昭和10)              | 紙・木版                | 37.3×28.2  | 後期   |
| 83 ピエール＝エティエンヌ＝<br>テオドール・ルソー | ジュラ地方、草葺き屋根の家                                     | 1834頃                    | キャンヴァスに貼<br>られた紙、油彩 | 22.9×32.1  | 前期   |
| 84 アレクサンドル＝イア<br>サント・デュヌイ    | パリ、マドレーヌ大通りの窓からの眺め                                | 1798-1805                | 板、油彩                | 20.0×27.0  | 後期   |
| 85 ジャン＝バティスト＝カミー<br>ユ・コロロー   | メリ街道、ラ・フェルテ＝ス＝ジュアル付<br>近                          | 1862                     | 板、油彩                | 40.5×54.0  | 通期   |
| 86 カール・ドービニー                 | 川岸の風景                                             | 1885                     | 板、油彩                | 38.5×67.0  | 通期   |
| 87 吉田博                       | 街道                                                | 1901-1903<br>(明治34-明治36) | 紙、水彩                | 32.7×49.5  | 前期   |
| 88 石川欽一郎                     | 田舎の早春                                             | 1900-1910年代<br>(明治末頃)    | 紙、水彩                | 27.4×37.2  | 後期   |
| 89 東城鉦太郎                     | 山家の春                                              | 1910 (明治43)              | キャンヴァス、<br>油彩       | 40.5×60.5  | 通期   |
| 90 安井曾太郎                     | 森の中                                               | 1911-1913<br>(明治44-大正2)  | キャンヴァス、<br>油彩       | 38.0×45.0  | 通期   |
| 91 中川一政                      | 風景（池袋の麦畑）                                         | 1919-20 (大正8-9)          | キャンヴァス、<br>油彩       | 45.5×53.0  | 通期   |
| 92 曾宮一念                      | 芝浦埋立地                                             | 1913 (大正2)               | キャンヴァス、<br>油彩       | 53.0×72.0  | 通期   |
| 93 曾宮一念                      | 風景                                                | 1920頃<br>(大正時代中期)        | キャンヴァス、<br>油彩       | 33.4×45.5  | 通期   |
| 94 栗原忠二                      | 武蔵野                                               | 1930年代<br>(昭和時代初期)       | キャンヴァス、<br>油彩       | 73.0×90.7  | 通期   |
| 95 小糸源太郎                     | 春雪                                                | 1953 (昭和28)              | キャンヴァス、<br>油彩       | 83.0×116.0 | 通期   |
| 96 和田三造                      | 風景                                                | 1947 (昭和22)              | キャンヴァス、<br>油彩       | 50.0×60.5  | 通期   |
| 97 小栗哲郎                      | 夕陽                                                | 1934 (昭和9)               | キャンヴァス、<br>油彩       | 65.5×91.0  | 通期   |
| 98 北川民次                      | 山村初春（高草山風景）                                       | 1941 (昭和16)              | キャンヴァス、<br>油彩       | 60.5×72.5  | 通期   |
| 99 中川雄太郎                     | 版画作品集1：興津川畔                                       | 1932 (昭和7)               | 紙、木版                | 21.5×25.7  | 前期   |
| 100 中川雄太郎                    | 版画作品集1：ごみすて場                                      | 1932 (昭和7)               | 紙、木版                | 23.7×33.0  | 前期   |
| 101 中川雄太郎                    | 版画作品集3：工場へ行く道                                     | 1933 (昭和8)頃              | 紙、木版                | 39.0×46.7  | 前期   |
| 102 中川雄太郎                    | 版画作品集2：（風景）                                       | 制作年不詳                    | 紙、木版                | 15.7×23.1  | 前期   |
| 103 中川雄太郎                    | 版画作品集1：静岡駅前                                       | 1931-1933<br>(昭和6-昭和8)頃  | 紙、木版                | 19.7×23.9  | 後期   |
| 104 中川雄太郎                    | 版画作品集2：静岡国道にて                                     | 1932 (昭和7)頃              | 紙、木版                | 19.0×25.7  | 後期   |
| 105 中川雄太郎                    | 版画作品集1：巴川の夕景                                      | 1931 (昭和6)               | 紙、木版                | 19.2×28.4  | 後期   |
| 106 中川雄太郎                    | 版画作品集3：百姓家のせど                                     | 1933 (昭和8)頃              | 紙、木版                | 31.8×45.2  | 後期   |
| 107 野田哲也                     | Diary：Jan. 3rd '82, to Izumi                      | 1982 (昭和57)              | 紙、木版、シルク<br>スクリーン   | 66.5×44.5  | 前期   |
| 108 野田哲也                     | Diary：Feb. 27th '83, in Koganei                   | 1983 (昭和58)              | 紙、木版、シルク<br>スクリーン   | 66.2×45.3  | 後期   |
| 109 野田哲也                     | Diary：Sept. 22nd '87, in Kikkodai,<br>Kashiwa-shi | 1987 (昭和62)              | 紙、木版、シルク<br>スクリーン   | 56.5×119.8 | 前期   |

| No. 作者            | 作品名                                                     | 制作年             | 材質                    | 寸法 (cm)    | 展示期間 |
|-------------------|---------------------------------------------------------|-----------------|-----------------------|------------|------|
| 110 野田哲也          | Diary : March. 5th '87, at 2-12-4 Kikkodai, Kashiwa-shi | 1987 (昭和62)     | 紙、木版、シルクスクリーン         | 56.5×119.5 | 後期   |
| 111 北井一夫          | 「三里塚」より 強制収用の日 ※                                        | 1971 (昭和46)     | ゼラチンシルバープリント          | 25.3×37.7  | 前期   |
| 112 北井一夫          | 「三里塚」より 強制測量の日 ※                                        | 1970 (昭和45)     | ゼラチンシルバープリント          | 25.3×37.8  | 前期   |
| 113 北井一夫          | 「三里塚」より サトイモ畑 ※                                         | 1969 (昭和44)     | ゼラチンシルバープリント          | 37.7×25.3  | 前期   |
| 114 北井一夫          | 「三里塚」より 少年行動隊 ※                                         | 1970 (昭和45)     | ゼラチンシルバープリント          | 25.7×37.7  | 前期   |
| 115 北井一夫          | 「三里塚」より 団結小屋バリケード作り ※                                   | 1970 (昭和45)     | ゼラチンシルバープリント          | 25.8×37.6  | 後期   |
| 116 北井一夫          | 「三里塚」より 天神峰条件派移転跡 ※                                     | 1969 (昭和44)     | ゼラチンシルバープリント          | 25.3×37.7  | 後期   |
| 117 北井一夫          | 「三里塚」より ニンジン畑 ※                                         | 1969 (昭和44)     | ゼラチンシルバープリント          | 37.7×25.5  | 後期   |
| 118 北井一夫          | 「三里塚」より 強制測量の日 ※                                        | 1970 (昭和45)     | ゼラチンシルバープリント          | 25.3×37.5  | 後期   |
| 119 北井一夫          | 「村へ」より 田舎道 ※                                            | 1974 (昭和49)     | ゼラチンシルバープリント          | 25.0×37.7  | 前期   |
| 120 北井一夫          | 「村へ」より 岩手県沢内村 ※                                         | 1973 (昭和48)     | ゼラチンシルバープリント          | 25.3×37.7  | 前期   |
| 121 北井一夫          | 「村へ」より お堂 ※                                             | 1971 (昭和46)     | ゼラチンシルバープリント          | 25.3×37.8  | 前期   |
| 122 北井一夫          | 「村へ」より 稲刈りのあと ※                                         | 1975 (昭和50)     | ゼラチンシルバープリント          | 25.3×37.7  | 後期   |
| 123 北井一夫          | 「村へ」より 海辺の子ども ※                                         | 1973 (昭和48)     | ゼラチンシルバープリント          | 25.3×37.7  | 後期   |
| 124 北井一夫          | 「村へ」より 紙漉く里・冬 ※                                         | 1975 (昭和50)     | ゼラチンシルバープリント          | 18.8×28.1  | 後期   |
| 125 オノデラユキ        | Roma-Roma No.25 ・ 1/7 ※                                 | 2004 (平成16)     | ゼラチンシルバープリント、油彩、バライタ紙 | 35.5×47.0  | 通期   |
| 126 オノデラユキ        | Roma-Roma No.28 ・ 1/7 ※                                 | 2004 (平成16)     | ゼラチンシルバープリント、油彩、バライタ紙 | 35.5×47.0  | 通期   |
| 127 オノデラユキ        | Roma-Roma No.55 ・ 1/7 ※                                 | 2004 (平成16)     | ゼラチンシルバープリント、油彩、バライタ紙 | 35.5×47.0  | 通期   |
| 128 オノデラユキ        | Roma-Roma No.65 ・ 1/7 ※                                 | 2004 (平成16)     | ゼラチンシルバープリント、油彩、バライタ紙 | 35.3×47.0  | 通期   |
| 第5章 環境 地球を想像する風景  |                                                         |                 |                       |            |      |
| 129 上田耕夫          | 富士山中図巻 ※                                                | 19世紀前半 (江戸時代後期) | 紙本着色                  | 天地28.8     | 巻替え  |
| 130 石川直樹          | Mt. Fuji #41                                            | 2008 (平成20)     | Cプリント                 | 90.0×112.0 | 通期   |
| 131 石川直樹          | Mt. Fuji #55                                            | 2008 (平成20)     | Cプリント                 | 90.0×112.0 | 通期   |
| 132 ウジェーヌ・イザベイ    | 『古きフランスのピトレスクでロマンティックな旅 オーヴェルニュ編Ⅰ』：エダ湖                  | 1829-1833       | チャイナ紙、リトグラフ           | 20.7×28.0  | 前期   |
| 133 ジョン・ロバート・カズンズ | ポルティチからヴェスヴィオ山を望む                                       | 1782            | 紙、水彩・鉛筆               | 30.5×45.1  | 後期   |
| 134 ジョン・マーティン     | ミルトン作『失楽園』：火の海によこたわるサタン                                 | 1825            | 紙、メゾチント、エッチング         | 20.1×28.6  | 前期   |
| 135 ジョン・マーティン     | ミルトン作『失楽園』：光明の創造                                        | 1824            | 紙、メゾチント、エッチング         | 19.1×27.8  | 前期   |
| 136 ジョン・マーティン     | ミルトン作『失楽園』：混沌の世界に架かる橋                                   | 1826            | 紙、メゾチント、エッチング         | 19.3×26.8  | 後期   |
| 137 ジョン・マーティン     | ミルトン作『失楽園』：楽園を追放されるアダムとイヴ                               | 1827            | 紙、メゾチント、エッチング         | 19.1×27.4  | 後期   |
| 138 平塚運一          | 東京震災跡風景：ニコライ堂                                           | 1925 (大正14)     | 紙、木版                  | 28.5×21.0  | 前期   |

| No. 作者                | 作品名                  | 制作年                    | 材質                        | 寸法 (cm)     | 展示期間 |
|-----------------------|----------------------|------------------------|---------------------------|-------------|------|
| 139 平塚運一              | 東京震災跡風景：築地聖路加病院跡     | 1925 (大正14)            | 紙、木版                      | 22.5×30.7   | 後期   |
| 140 小林猶治郎             | 崖                    | 1924 (大正13)            | キャンヴァス、油彩                 | 50.0×60.7   | 通期   |
| 141 小林猶治郎             | 山峡                   | 1930 (昭和5) 頃           | キャンヴァス、油彩                 | 90.0×73.0   | 通期   |
| 142 松江泰治              | カッパドキア ※             | 1994 (平成6)             | ゼラチンシルバープリント              | 44.6×54.7   | 通期   |
| 143 松江泰治              | カッパドキア ※             | 1994 (平成6)             | ゼラチンシルバープリント              | 44.7×55.7   | 通期   |
| 144 松江泰治              | ALPS 18443           | 2012 (平成24)            | ラムダプリント                   | 95.6×127.4  | 通期   |
| <b>第6章 対話 「 」する風景</b> |                      |                        |                           |             |      |
| 145 山本森之助             | 海岸                   | 1912-1914 (明治45-大正3) 頃 | キャンヴァス、油彩                 | 60.7×80.5   | 通期   |
| 146 小糸源太郎             | 東海                   | 1975 (昭和50)            | キャンヴァス、油彩                 | 73.0×91.0   | 通期   |
| 147 平塚運一              | 伊豆梅林                 | 1933 (昭和8)             | キャンヴァス、油彩                 | 50.0×60.5   | 通期   |
| 148 野口謙蔵              | 虹の風景                 | 1941 (昭和16)            | キャンヴァス、油彩                 | 50.3×60.7   | 通期   |
| 149 野田好子              | 海辺                   | 1953 (昭和28)            | キャンヴァス、油彩                 | 91.0×72.7   | 通期   |
| 150 三岸好太郎             | 海                    | 1932-1934 (昭和8-9) 頃    | キャンヴァス、油彩                 | 38.0×45.7   | 通期   |
| 151 アンゼラム・キーファー       | 極光                   | 1978-1988              | 写真、灰・焦げ跡のついた鉛、上塗りした鉄のフレーム | 241.4×101.4 | 通期   |
| 152 マックス・エルンスト        | 博物誌：脱走者              | 1926                   | 和紙、コロタイプ                  | 25.8×42.3   | 通期   |
| 153 マックス・エルンスト        | 博物誌：海と雨              | 1926                   | 和紙、コロタイプ                  | 42.8×26.3   | 前期   |
| 154 マックス・エルンスト        | 博物誌：一瞥               | 1926                   | 和紙、コロタイプ                  | 42.8×26.2   | 前期   |
| 155 マックス・エルンスト        | 博物誌：秘密               | 1926                   | 和紙、コロタイプ                  | 42.7×25.8   | 前期   |
| 156 マックス・エルンスト        | 博物誌：地球の周りの小さなテーブル    | 1926                   | 和紙、コロタイプ                  | 42.8×26.0   | 後期   |
| 157 マックス・エルンスト        | 博物誌：彼女は秘密を守る         | 1926                   | 和紙、コロタイプ                  | 43.0×26.1   | 後期   |
| 158 マックス・エルンスト        | 博物誌：14才以下の稲妻         | 1926                   | 和紙、コロタイプ                  | 42.8×25.8   | 後期   |
| 159 植田正治              | 砂丘の男女 ※              | 制作年不詳                  | ゼラチンシルバープリント              | 25.9×23.7   | 前期   |
| 160 植田正治              | 子供の自動車 ※             | 制作年不詳                  | ゼラチンシルバープリント              | 16.2×16.3   | 前期   |
| 161 植田正治              | 妻のいる砂丘風景Ⅳ ※          | 1950 (昭和25)            | ゼラチンシルバープリント              | 22.0×23.7   | 前期   |
| 162 植田正治              | アサヒカメラ掲載 X氏の肖像・ボート ※ | 制作年不詳                  | ゼラチンシルバープリント              | 15.2×22.8   | 前期   |
| 163 植田正治              | 二人の青年 ※              | 1945 (昭和20) 頃          | ゼラチンシルバープリント              | 26.8×24.2   | 後期   |
| 164 植田正治              | パパとママと子供たち ※         | 1949 (昭和24)            | ゼラチンシルバープリント              | 20.0×28.3   | 後期   |
| 165 植田正治              | 風船を持った自画像 ※          | 1948 (昭和23)            | ゼラチンシルバープリント              | 23.9×20.7   | 後期   |
| 166 植田正治              | アサヒカメラ掲載 X氏の肖像・ハット ※ | 制作年不詳                  | ゼラチンシルバープリント              | 15.0×23.5   | 後期   |
| 167 イケムラレイコ           | u mi no ko           | 2006 (平成18)            | 紙、色鉛筆                     | 各45.8×37.8  | 通期   |

# 中村宏展 アナクロニズム（時代錯誤）のその先へ

1月20日(火)－3月15日(日)

| No.          | 作家名 | 作品名                    | 制作年         | 材質、技法                   | 寸法（c m）     | 所蔵        |
|--------------|-----|------------------------|-------------|-------------------------|-------------|-----------|
| 第Ⅰ章 社会へのまなざし |     |                        |             |                         |             |           |
| 1-01         | 中村宏 | 自画像（A）                 | 1953        | 油彩・板                    | 33.0×24.0   | 浜松市美術館    |
| 1-02         | 中村宏 | 自画像（B）                 | 1953        | 油彩・カンヴァス                | 27.5×19.5   | 練馬区立美術館   |
| 1-03         | 中村宏 | オッペン(1)(部分)            | 1953        | 油彩・カンヴァス                | 33.5×28.5   | 練馬区立美術館   |
| 1-04         | 中村宏 | オッペン(2)                | 1953        | 油彩・板                    | 22.7×15.8   | 練馬区立美術館   |
| 1-05         | 中村宏 | 機関士                    | 1954        | 油彩・板                    | 33.0×24.0   | 浜松市美術館    |
| 1-06         | 中村宏 | 足一本                    | 1955        | 油彩・カンヴァス                | 41.0×32.0   | 浜松市美術館    |
| 1-07         | 中村宏 | 石炭置場                   | 1955        | 油彩・カンヴァス                | 72.8×49.8   | 刈谷市美術館    |
| 1-08         | 中村宏 | ある肖像Ⅰ                  | 1955.4      | 墨・紙                     | 26.5×20.0   | 練馬区立美術館   |
| 1-09         | 中村宏 | ある肖像Ⅱ                  | 1955.4      | 墨・紙                     | 24.0×20.0   | 練馬区立美術館   |
| 1-10         | 中村宏 | 国鉄品川                   | 1955.9      | 油彩・カンヴァス                | 37.5×101.5  | 浜松市美術館    |
| 1-11         | 中村宏 | 《砂川五番》のためのスケッチ         | 1955        | 表：ペン・紙<br>裏：鉛筆・紙        | 35.8×25.0   | 東京都現代美術館  |
| 1-12         | 中村宏 | 《砂川五番》エスキース「グローブマスター機」 | 1955.9.25   | 鉛筆・紙                    | 24.0×34.6   | 練馬区立美術館   |
| 1-13         | 中村宏 | 砂川五番                   | 1955.12     | 油彩・合板                   | 92.5×183.0  | 東京都現代美術館  |
| 1-14         | 中村宏 | 島「《島》エスキース」            | 1956.7      | 水彩、墨、鉛筆、<br>インク・紙       | 24.5×35.9   | 郡山市立美術館   |
| 1-15         | 中村宏 | 島                      | 1956.11     | 油彩・カンヴァス                | 130.3×162.2 | 浜松市美術館    |
| 1-16         | 中村宏 | 脱線                     | 1957        | 鉛筆、コラージュ・<br>紙          | 28.8×18.3   | 板橋区立美術館   |
| 1-17         | 中村宏 | 基地                     | 1957.8      | 油彩・合板                   | 92.0×175.0  | 東京国立近代美術館 |
| 1-18         | 中村宏 | 射殺Aching               | 1957.9.15   | 油彩・カンヴァス                | 73.0×91.0   | 郡山市立美術館   |
| 1-19         | 中村宏 | 内乱期                    | 1958.5.20   | 油彩、鉛筆・合<br>板            | 92.0×184.0  | 愛知県美術館    |
| 1-20         | 中村宏 | 戦争期                    | 1958.5.23   | 油彩・板                    | 91.5×182.3  | 徳島県立近代美術館 |
| 1-21         | 中村宏 | 平和期                    | 1958.6.8    | 油彩、新聞・合<br>板            | 91.7×182.5  | 東京都現代美術館  |
| 1-22         | 中村宏 | 都市計画                   | 1958.7      | 油彩、グラフィ<br>写真、新聞・合<br>板 | 92.0×183.0  | 名古屋市美術館   |
| 1-23         | 中村宏 | 二人の背後                  | 1958        | 鉛筆、コラージュ・<br>紙          | 22.9×28.0   | 板橋区立美術館   |
| 1-24         | 中村宏 | 会議劇                    | 1958.9-59.1 | 油彩、コラージュ・<br>合板         | 91.4×182.6  | 練馬区立美術館   |
| 1-25         | 中村宏 | 蜂起せよ少女                 | 1959.1      | 油彩、コラージュ・<br>カンヴァス      | 91.0×117.0  | 練馬区立美術館   |
| 1-26         | 中村宏 | 革命首都                   | 1959        | 油彩、新聞・カ<br>ンヴァス         | 96.8×162.0  | 東京都現代美術館  |
| 1-27         | 中村宏 | 階段にて                   | 1959-60     | 油彩・合板                   | 90.5×181.5  | 宮城県美術館    |
| 1-28         | 中村宏 | 侍の飛行                   | 1960        | 油彩・カンヴァ<br>ス            | 91.0×182.5  | 練馬区立美術館   |

| No.   | 作家名        | 作品名                               | 制作年        | 材質、技法           | 寸法（c m）    | 所蔵            |
|-------|------------|-----------------------------------|------------|-----------------|------------|---------------|
| 1-29  | 中村宏        | 人面動物                              | 1960       | 鉛筆、水彩・紙         | 26.8×17.9  | 静岡県立美術館       |
| 1-30  | 中村宏        | 「議会主義との決別」ポスター                    | 1962       | 印刷（赤・黒）・紙       | 50.1×53.7  | 名古屋市美術館       |
| 1-31  | 中村宏        | 『亡命者の対話』より(1)                     | 1962       | 墨、ボールペン・紙       | 29.6×37.5  | 宮城県美術館        |
| 1-32  | 中村宏        | 『亡命者の対話』より(2)                     | 1962       | 墨、ボールペン、コラージュ・紙 | 29.5×37.5  | 宮城県美術館        |
| 1-33  | 中村宏        | 『亡命者の対話』より(3)                     | 1962       | 墨・紙             | 29.5×37.5  | 宮城県美術館        |
| 1-34  | 中村宏        | 『亡命者の対話』挿絵原画                      | 1963       | インク、墨・紙         | 29.4×37.6  | 練馬区立美術館       |
| 1-35  | 中村宏        | 「幽閉者は人口楽園を疾駆する」日本大学芸術学部祭ポスター      | 1963       | 印刷（赤）・紙         | 78.8×108.3 | 名古屋市美術館       |
| 1-36  | 中村宏        | 「奈良女子大学 学園祭」ポスター                  | 1965       | 印刷・紙            | 40.4×55.3  | 練馬区立美術館       |
| 1-37  | 中村宏        | 『早稲田大学新聞』（1966年1月6日付）「我れ幻の決戦を見たり」 | 1965       | 印刷・紙            | 27.3×39.6  | 名古屋市美術館       |
| 1-38  | 中村宏        | 第21回「早稲田祭」ポスター                    | 1974       | 印刷（青・黄）・紙       | 112.0×72.0 | 名古屋市美術館       |
| 1-39  | 中村宏        | 第22回「早稲田祭」ポスター原画                  | 1975       | インク・紙           | 52.4×36.5  | 名古屋市美術館       |
| d1-01 | 毛利ユリ（樽松栄次） | 砂川五番                              | 1955/2025  | デジタルプリントからの複製   |            | 個人蔵           |
| d1-02 |            | 『美術運動』第53号、日本美術会                  | 1957.4     |                 |            | 個人蔵           |
| d1-03 |            | 『美術運動』第54号、日本美術会                  | 1957.7     |                 |            | 東京都現代美術館美術図書室 |
| d1-04 |            | 『美術運動』第55号、日本美術会                  | 1958.4     |                 |            | 東京都現代美術館美術図書室 |
| d1-05 |            | 『日本青年美術家連合ニュース』、日本青年美術家連合機関紙      | 1953.4     |                 |            | 個人蔵           |
| d1-06 |            | 『批評運動』第12号、江島富次編、批評運動             | 1956.2.10  |                 |            | 個人蔵           |
| d1-07 |            | 『第10回 日本アンデパンダン展陳列目録』、日本美術会       | 1957.1     |                 |            | 個人蔵           |
| d1-08 |            | 『批評運動』第13号 [編者不詳]、批評運動            | 1957.5.15  |                 |            | 個人蔵           |
| d1-09 |            | 『第5回ニッポン展目録』、前衛美術会                | 1957.6     |                 |            | 個人蔵           |
| d1-10 |            | 『批評運動』第14号 [編者不詳]、批評運動            | 1957.8.15  |                 |            | 個人蔵           |
| d1-11 |            | 『批評運動』第15号、編集委員会編、批評運動            | 1957.10.25 |                 |            | 個人蔵           |
| d1-12 |            | 『サトウ画廊月報』、サトウ画廊                   | 1957.12    |                 |            | 個人蔵           |
| d1-13 |            | 毛利ユリによる中村作品の写真スクラップ               | 1957年頃     |                 |            | 個人蔵           |
| d1-14 |            | 「尾藤豊・中村宏 2人展」はがき、サトウ画廊            | 1957.12    |                 |            | 個人蔵           |
| d1-15 |            | 『批評運動』第18号、「批評運動」編集部編、批評運動        | 1960.10.20 |                 |            | 東京都現代美術館美術図書室 |
| d1-16 |            | 『形象』第4号、形象社                       | 1960.6     |                 |            | 東京都現代美術館美術図書室 |
| d1-17 |            | 『形象』第5号、形象社                       | 1962.3     |                 |            | 東京都現代美術館美術図書室 |
| d1-18 |            | 『早稲田大学新聞』第819号、早稲田大学新聞会           | 1960.11.16 |                 |            | 東京都現代美術館美術図書室 |
| d1-19 |            | 『早稲田大学新聞』第953号、早稲田大学新聞会           | 1964.11.12 |                 |            | 東京都現代美術館美術図書室 |
| d1-20 |            | 山下菊二旧蔵資料「早稲田大学抵抗と挫折展」1960年11月30日  | 1960       |                 |            | 東京文化財研究所      |

| No.              | 作家名 | 作品名                            | 制作年       | 材質、技法 | 寸法（c m） | 所蔵                     |
|------------------|-----|--------------------------------|-----------|-------|---------|------------------------|
| d1-21            |     | 『議会主義との決別』リーフレット、黒田寛一後援会       | 1962.5.26 |       |         | 個人蔵                    |
| d1-22            |     | 「反議会戦線」はがき、黒田寛一後援会             | 1962      |       |         | 個人蔵                    |
| d1-23            |     | 『6.15 われわれの現在』第1号、全学連安保被告団     | 1961.6.25 |       |         | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d1-24-01, 02     |     | 『悪魔運動』第1号、井堀茂男                 | 1961.12   |       |         | 東京文化財研究所／東京都現代美術館美術図書室 |
| d1-25-01, 02     |     | 『悪魔運動』第2号、井堀茂男                 | 1962.3    |       |         | 東京文化財研究所／東京都現代美術館美術図書室 |
| d1-26-01, 02     |     | 『悪魔運動』第3号、井堀茂男                 | 1962.9    |       |         | 東京文化財研究所／東京都現代美術館美術図書室 |
| d1-27            |     | 「奈良女子大学 学園祭」パンフレット、奈良女子大学学生自治会 | 1965.1    |       |         | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d1-28-01, 02     |     | 『藝術・國家論集』第1号、群遊同人              | 1967.6    |       |         | 東京都現代美術館美術図書室／個人蔵      |
| d1-29-01, 02     |     | 『藝術・國家論集』第2号、群遊同人              | 1969.1    |       |         | 東京都現代美術館美術図書室／個人蔵      |
| d1-30-01, 02, 03 |     | 『藝術・國家論集』第3号、群遊同人              | 1970.7    |       |         | 東京都現代美術館美術図書室／個人蔵      |
| d1-31-01, 02     |     | 『藝術・國家論集』第4号、群遊同人              | 1972.1    |       |         | 東京都現代美術館美術図書室／個人蔵      |
| d1-32            |     | 「第17回早稲田祭」パンフレット、第17回早稲田祭実行委員会 | 1970      |       |         | 個人蔵                    |
| d1-33            |     | 「第18回早稲田祭」パンフレット、第18回早稲田祭実行委員会 | 1971      |       |         | 個人蔵                    |
| d1-34            |     | 「第19回早稲田祭」パンフレット、第19回早稲田祭実行委員会 | 1972      |       |         | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d1-35            |     | 「第21回早稲田祭」パンフレット、第21回早稲田祭実行委員会 | 1974      |       |         | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d1-36            |     | 「第22回早稲田祭」パンフレット、第22回早稲田祭実行委員会 | 1975      |       |         | 東京都現代美術館美術図書室          |

## 第2章 記憶の中の風景

|      |     |          |          |          |             |         |
|------|-----|----------|----------|----------|-------------|---------|
| 2-01 | 中村宏 | 木枯らしー三方原 | 1951     | 油彩・紙     | 24.0×33.0   | 浜松市美術館  |
| 2-02 | 中村宏 | 白い路（A）   | 1955.5.3 | 油彩・カンヴァス | 40.5×53.0   | 練馬区立美術館 |
| 2-03 | 中村宏 | 白い路（B）   | 1955     | 油彩・カンヴァス | 24.2×19.3   | 練馬区立美術館 |
| 2-04 | 中村宏 | 喪の顔      | 1955     | 鉛筆、墨・紙   | 27.3×20.5   | 練馬区立美術館 |
| 2-05 | 中村宏 | 地方都市     | 1955.1.5 | 墨、鉛筆・紙   | 26.0×36.6   | 宮城県美術館  |
| 2-06 | 中村宏 | 富士二合     | 1955     | 油彩・カンヴァス | 73.0×92.0   | 板橋区立美術館 |
| 2-07 | 中村宏 | 城        | 1956     | 油彩・カンヴァス | 73.0×91.0   | 郡山市立美術館 |
| 2-08 | 中村宏 | 四世同堂     | 1957.12  | 油彩・カンヴァス | 97.3×162.2  | 宮城県美術館  |
| 2-09 | 中村宏 | 場所の兆（1）  | 1961.2   | 油彩・カンヴァス | 130.0×162.0 | 浜松市美術館  |
| 2-10 | 中村宏 | 街路       | 1961.6   | 油彩・カンヴァス | 73.1×90.7   | 練馬区立美術館 |
| 2-11 | 中村宏 | パシフィック   | 1961.11  | 油彩・カンヴァス | 130.0×162.0 | 栃木県立美術館 |
| 2-12 | 中村宏 | ある肖像     | 1962.1   | 油彩・カンヴァス | 91.0×117.0  | 栃木県立美術館 |

| No.  | 作家名 | 作品名       | 制作年    | 材質、技法         | 寸法（ｃｍ）                 | 所蔵        |
|------|-----|-----------|--------|---------------|------------------------|-----------|
| 2-13 | 中村宏 | 血井(1)     | 1962.6 | 油彩、カシュー・合板    | 92.0×182.0             | 板橋区立美術館   |
| 2-14 | 中村宏 | 血井(2)     | 1962.6 | 油彩・カンヴァス      | 80.3×65.4              | 刈谷市美術館    |
| 2-15 | 中村宏 | 血井(3)     | 1962.6 | 油彩、カシュー・カンヴァス | 80.5×65.7              | 国立国際美術館   |
| 2-16 | 中村宏 | 庭         | 1963   | 油彩・カンヴァス      | 65.0×91.1              | 刈谷市美術館    |
| 2-17 | 中村宏 | 飛行機不時着す   | 1963   | 油彩・板          | 80.3×116.4             | 練馬区立美術館   |
| 2-18 | 中村宏 | 戦下の顔      | 2020   | アクリル・カンヴァス    | 各 65.2 × 53.0<br>[3点組] | 東京都現代美術館  |
| 2-19 | 中村宏 | 空襲1945    | 2022   | アクリル・カンヴァス    | 各 65.2 × 53.0<br>[3点組] | 東京国立近代美術館 |
| 2-20 | 中村宏 | 機銃掃射 1945 | 2022   | アクリル・カンヴァス    | 各 65.2 × 53.0<br>[3点組] | 東京都現代美術館  |
| 2-21 | 中村宏 | 艦砲射撃 1945 | 2023   | アクリル・カンヴァス    | 各 65.2 × 53.0<br>[3点組] | 東京都現代美術館  |
| 2-22 | 中村宏 | 防空壕 1945  | 2024   | アクリル・カンヴァス    | 各 65.2 × 53.0<br>[3点組] | 東京都現代美術館  |

### 第3章 セーラー服と蒸気機関車

|      |     |                             |           |          |             |           |
|------|-----|-----------------------------|-----------|----------|-------------|-----------|
| 3-01 | 中村宏 | ロコ三機                        | 1955      | 油彩・カンヴァス | 16.0×26.0   | 名古屋市美術館   |
| 3-02 | 中村宏 | 機関車                         | 1957      | 墨・紙      | 13.5×36.0   | 練馬区立美術館   |
| 3-03 | 中村宏 | 機関車                         | 1957.6    | 油彩・カンヴァス | 91.0×116.1  | 豊橋市美術博物館  |
| 3-04 | 中村宏 | 機関車（1）                      | 1957.5    | インク、墨・紙  | 25.0×36.0   | 個人蔵       |
| 3-05 | 中村宏 | タイトル不詳                      | 1958.2    | インク・紙    | 12.2×18.2   | 個人蔵       |
| 3-06 | 中村宏 | 『亡命者の対話』より(プレヒト)No.4 〈少女乱舞〉 | 1963      | インク、墨・紙  | 28.7×34.9   | 郡山市立美術館   |
| 3-07 | 中村宏 | 聖火千里行                       | 1964      | 油彩・カンヴァス | 130.0×162.0 | 高松市美術館    |
| 3-08 | 中村宏 | 観光帝国                        | 1964      | 油彩・カンヴァス | 129.5×161.5 | 横浜美術館     |
| 3-09 | 中村宏 | ブーツと汽車                      | 1966      | 油彩・カンヴァス | 130.5×162.0 | 名古屋市美術館   |
| 3-10 | 中村宏 | 観光映画                        | 1966      | 油彩・カンヴァス | 111.2×161.8 | 浜松市美術館    |
| 3-11 | 中村宏 | 修学旅行                        | 1966      | 油彩・カンヴァス | 72.7×90.9   | 個人蔵       |
| 3-12 | 中村宏 | 遠足                          | 1967.4    | 油彩・カンヴァス | 80.5×116.5  | 板橋区立美術館   |
| 3-13 | 中村宏 | 円環列車・A－望遠鏡列車                | 1968.6    | 油彩・カンヴァス | 182.0×227.5 | 東京都現代美術館  |
| 3-14 | 中村宏 | 円環列車・B－飛行する蒸気機関車            | 1969.4    | 油彩・カンヴァス | 181.0×238.0 | 東京国立近代美術館 |
| 3-15 | 中村宏 | 『現代詩手帖』ポスター                 | 1969      | 印刷・紙     | 72.6×52.0   | 名古屋市美術館   |
| 3-16 | 中村宏 | セーラー服                       | 1969.1    | 色鉛筆・紙    | 30.7×34.9   | 練馬区立美術館   |
| 3-17 | 中村宏 | 飛行尻                         | 1969.7    | 色鉛筆・紙    | 21.8×36.8   | 練馬区立美術館   |
| 3-18 | 中村宏 | 性交                          | 1969      | 色鉛筆・紙    | 22.1×34.8   | 練馬区立美術館   |
| 3-19 | 中村宏 | 望遠鏡少女                       | 1964/1969 | インク、白・紙  | 27.1×39.0   | 名古屋市美術館   |
| 3-20 | 中村宏 | 風景                          | 1969      | インク・紙    | 36.3×27.0   | 名古屋市美術館   |
| 3-21 | 中村宏 | 文明失墜の図                      | 1970.3    | インク、墨・紙  | 27.3×20.0   | 練馬区立美術館   |

| No.   | 作家名 | 作品名                                       | 制作年       | 材質、技法                   | 寸法（c m）              | 所蔵            |
|-------|-----|-------------------------------------------|-----------|-------------------------|----------------------|---------------|
| 3-22  | 中村宏 | 呪物たちの低空飛行                                 | 1970.3    | インク・紙                   | 35.2×54.7            | 名古屋市美術館       |
| 3-23  | 中村宏 | 少女舟                                       | 1970      | インク、墨・紙                 | 36.7×52.4            | 名古屋市美術館       |
| 3-24  | 中村宏 | 少女列車                                      | 1970      | インク・紙                   | 36.8×52.5            | 名古屋市美術館       |
| 3-25  | 中村宏 | 乗物盡絵・表紙                                   | 1970      | インク・紙                   | 38.4×26.4            | 名古屋市美術館       |
| 3-26  | 中村宏 | 乗物盡絵・キャタピラ                                | 1970      | インク、墨・紙                 | 38.3×27.0            | 名古屋市美術館       |
| 3-27  | 中村宏 | 乗物盡絵・飛行機                                  | 1970      | インク、墨・紙                 | 38.2×26.6            | 名古屋市美術館       |
| 3-28  | 中村宏 | 乗物盡絵・船                                    | 1970      | インク、墨・紙                 | 38.4×26.8            | 名古屋市美術館       |
| 3-29  | 中村宏 | 乗物盡絵・モノレール                                | 1970      | インク・紙                   | 38.4×26.7            | 名古屋市美術館       |
| 3-30  | 中村宏 | 化物少女・表                                    | 1970      | インク、墨・紙                 | 38.1×26.8            | 名古屋市美術館       |
| 3-31  | 中村宏 | 化物少女・裏                                    | 1970      | インク、墨・紙                 | 38.2×27.0            | 名古屋市美術館       |
| 3-32  | 中村宏 | F 6 0 1 機                                 | 1970.11   | インク・紙                   | 36.5×52.3            | 名古屋市美術館       |
| 3-33  | 中村宏 | 精神地形論                                     | 1970      | インク・紙                   | 37.4×27.4            | 名古屋市美術館       |
| 3-34  | 中村宏 | 聖少女                                       | 1970      | インク・紙                   | 37.9×25.5            | 名古屋市美術館       |
| 3-35  | 中村宏 | 台風と少女                                     | 1970      | インク・紙                   | 45.5×36.6            | 名古屋市美術館       |
| 3-36  | 中村宏 | 中村式ロバチェフスキー空間モデルの図                        | 1970      | インク、色鉛筆・紙               | 33.0×26.8            | 練馬区立美術館       |
| 3-37  | 中村宏 | 少女トロッコ                                    | 1971      | インク、白・紙                 | 27.0×38.2            | 名古屋市美術館       |
| 3-38  | 中村宏 | 日本漫画風景                                    | 1971.2    | インク・紙                   | 38.2×27.0            | 名古屋市美術館       |
| 3-39  | 中村宏 | HUDSON-C622                               | 1971.6    | 油彩・カンヴァス                | 162.0×130.0          | 練馬区立美術館       |
| 3-40  | 中村宏 | 似而非機械                                     | 1971.11   | 油彩・カンヴァス                | 162.0×130.0          | 練馬区立美術館       |
| 3-41  | 中村宏 | 呪物世界地図                                    | 1972.11   | 水彩、インク、色鉛筆・紙、トレーシングペーパー | 51.9×36.8            | 名古屋市美術館       |
| 3-42  | 中村宏 | 衣服崇拜・原画                                   | 1972      | インク、墨・紙                 | 34.5×24.1            | 練馬区立美術館       |
| 3-43  | 中村宏 | 『ドラキュラ創刊号』表紙原画                            | 1973      | インク、水彩、コラージュ・紙          | 35.4×26.2            | 練馬区立美術館       |
| 3-44  | 中村宏 | 1/50000                                   | 1966-2006 | ボール紙、エナメル、木材・ブリキ製玩具     | 6.0×45.0×37.0        | 浜松市美術館        |
| 3-45  | 中村宏 | 〈Toy Object〉G・スチーブンソンの行方                  | 1967      | ミクストメディア                | 30.0×90.0×16.0       | 浜松市美術館        |
| 3-46  | 中村宏 | 〈Toy Object〉C622                          | 1984      | 透明アクリル板、アルミニウム、木ほか      | 40.0×60.0×20.0       | 浜松市美術館        |
| 3-47  | 中村宏 | 〈Toy Object〉円筒列車                          | 1984-2006 | 塩ビパイプほか                 | 15.0×12.0×240.0      | 東京ステーションギャラリー |
| 3-48  | 中村宏 | 絵図連鎖・5                                    | 2004-06   | 新聞、グラビア・紙ほか             | 各 21.4 × 30.0 [79点組] | 東京都現代美術館      |
| d3-01 |     | 『朝日ジャーナル』第9巻第50号、朝日新聞社                    | 1967.12.3 |                         |                      | 東京都現代美術館美術図書室 |
| d3-02 |     | 「千鶴一鶴物語」『芸術生活』第242号掲載、芸術生活社               | 1969.10   | コピー・紙                   | 25.7×36.4            | 練馬区立美術館       |
| d3-03 |     | 『黒の手帖』第1巻第4号、檸檬社                          | 1971.8    |                         |                      | 東京都現代美術館美術図書室 |
| d3-04 |     | 中原佑介セリフ「パフタフィジックの空をかける恋」『美術手帖』第244号、美術出版社 | 1964.11   |                         |                      | 静岡県立美術館       |

| No.          | 作家名 | 作品名                                          | 制作年         | 材質、技法                               | 寸法（c m）                                     | 所蔵               |
|--------------|-----|----------------------------------------------|-------------|-------------------------------------|---------------------------------------------|------------------|
| d3-05-01-12  |     | 『現代詩手帖』第12巻第1-12号、思潮社                        | 1969.1-12   |                                     |                                             | 個人蔵              |
| d3-06        |     | 「女学生金色の雲に乗れ！〈黄禍あるいは黄化〉」『中國』第83号、徳間書店         | 1970.1      |                                     |                                             | 東京都現代美術館美術図書室    |
| d3-07        |     | 「乗物盡絵」『別冊アサヒ芸能』第18号、徳間書店                     | 1970.8      |                                     |                                             | 東京都現代美術館美術図書室    |
| d3-08        |     | 「ブラック・イラスト傑作集 少女トロッコ」『プレイパンチ』臨時増刊号第3巻第2号、檸檬社 | 1971.1      |                                     |                                             | 東京都現代美術館美術図書室    |
| d3-09        |     | 「日本漫画風景」『COM』第5巻第4号、虫プロ商事                    | 1971.4      |                                     |                                             | 個人蔵              |
| d3-10        |     | 「化物少女」表・裏『別冊アサヒ芸能』第28号、徳間書店                  | 1971.6      |                                     |                                             | 東京都現代美術館美術図書室    |
| d3-11-01, 02 |     | 唐十郎・責任編集『ドラキュラ』創刊号、新樹書房                      | 1973.11.20  |                                     |                                             | 東京文化財研究所／練馬区立美術館 |
| 第4章 絵画と観賞者   |     |                                              |             |                                     |                                             |                  |
| 4-01         | 中村宏 | オペラグラス1                                      | 1966.4      | 油彩・カンヴァス                            | 45.5×53.0                                   | 豊橋市美術博物館         |
| 4-02         | 中村宏 | 女学生に関する芸術と国家の諸問題                             | 1967.7-1997 | 油彩・カンヴァス・ミクストメディア（マネキン・セーラー服・双眼鏡ほか） | 112.0 × 162.0<br>[絵画]                       | 高松市美術館           |
| 4-03         | 中村宏 | 造山運動あるいは「モナリザ」の背景                            | 1971.4      | 油彩・カンヴァス                            | 161.5×111.5                                 | 東京国立近代美術館        |
| 4-04         | 中村宏 | 短縮車輪                                         | 1972        | 油彩・カンヴァス                            | 112.0×163.0                                 | 名古屋市美術館          |
| 4-05         | 中村宏 | B727                                         | 1974        | 油彩・カンヴァス                            | 162.0×112.0                                 | 練馬区立美術館          |
| 4-06         | 中村宏 | 車窓篇TYPE4（VW）                                 | 1977-90     | 油彩・カンヴァス                            | 130.0×162.0                                 | 静岡県立美術館          |
| 4-07         | 中村宏 | 車窓篇TYPE5（ドリル）                                | 1978.5      | 油彩・カンヴァス                            | 130.0×162.0                                 | 練馬区立美術館          |
| 4-08         | 中村宏 | 車窓篇TYPE7（キャビン）                               | 1979.5      | 油彩・カンヴァス                            | 162.1×130.3                                 | 浜松市美術館           |
| 4-09         | 中村宏 | 車窓篇TYPE8－BRASS(A)                            | 1979        | 真鍮・真綿                               | 60.5×45.5                                   | 東京ステーションギャラリー    |
| 4-10         | 中村宏 | 車窓篇TYPE8－BRASS(B)                            | 1979        | 真鍮・真綿                               | 45.5×60.5                                   | 東京ステーションギャラリー    |
| 4-11         | 中村宏 | 車窓篇TYPE8－BRASS(C)                            | 1979        | 真鍮・真綿                               | 45.5×60.5                                   | 東京ステーションギャラリー    |
| 4-12         | 中村宏 | 車窓篇TYPE8－BRASS(D)                            | 1979        | 真鍮・真綿                               | 45.5×60.5                                   | 東京ステーションギャラリー    |
| 4-13         | 中村宏 | 車窓篇TYPE8－BRASS(E)                            | 1979        | 真鍮・真綿                               | 45.5×60.5                                   | 東京ステーションギャラリー    |
| 4-14         | 中村宏 | 車窓篇TYPE9（ズーム）                                | 1980        | 油彩・カンヴァス                            | 45.5×37.9、90.9×116.7、130.3 × 162.1<br>[3点組] | 東京都現代美術館         |
| 4-15         | 中村宏 | 車窓篇 TYPE 11?B（ローズマッターの残像）                    | 1982        | 油彩・カンヴァス                            | 72.5×585.0                                  | 東京ステーションギャラリー    |
| 4-16         | 中村宏 | タブロオ機械・1                                     | 1986        | 油彩・カンヴァス                            | 162.0×112.0                                 | 練馬区立美術館          |
| 4-17         | 中村宏 | タブロオ機械・5                                     | 1987        | 油彩・カンヴァス                            | 162.0×112.0                                 | 練馬区立美術館          |
| 4-18         | 中村宏 | 早来迎機・1                                       | 1988        | アクリル、マジックペン・カンヴァス                   | 112.0×162.0                                 | 静岡県立美術館          |
| 4-19         | 中村宏 | 早来迎機・2                                       | 1988        | アクリル、マジックペン・カンヴァス                   | 112.0×162.0                                 | 静岡県立美術館          |

| No.  | 作家名 | 作品名          | 制作年       | 材質、技法               | 寸法（c m）                                   | 所蔵       |
|------|-----|--------------|-----------|---------------------|-------------------------------------------|----------|
| 4-20 | 中村宏 | 早来迎機・3       | 1988      | アクリル、マジックペン・カンヴァス   | 112.0×162.0                               | 静岡県立美術館  |
| 4-21 | 中村宏 | 早来迎機・4       | 1988      | アクリル、マジックペン・カンヴァス・板 | 90.9×116.7                                | 練馬区立美術館  |
| 4-22 | 中村宏 | 門（4）         | 1989.10   | アクリル、マジックペン・カンヴァス   | 116.5×80.5                                | 浜松市美術館   |
| 4-23 | 中村宏 | 黄色法則（5）      | 1990      | アクリル・カンヴァス          | 161.8×112.2                               | 浜松市美術館   |
| 4-24 | 中村宏 | 限界標示・3       | 1992      | アクリル・カンヴァス          | 162.0×112.0                               | 東京都現代美術館 |
| 4-25 | 中村宏 | タブロオ機械・II-B  | 1992-2008 | アクリル・カンヴァス          | 53.0 × 650.0                              | 練馬区立美術館  |
| 4-26 | 中村宏 | 鉄道ダイヤグラムE    | 2000      | カンヴァス・アクリル          | 116.7×241.0                               | 静岡県立美術館  |
| 4-27 | 中村宏 | 絵図連鎖・2       | 2002-06   | アクリル・カンヴァスほか        | サイズ可変 [7点組]                               | 名古屋市美術館  |
| 4-28 | 中村宏 | 絵図連鎖・7       | 2005-06   | アクリル・カンヴァス          | サイズ可変 [4点組]                               | 浜松市美術館   |
| 4-29 | 中村宏 | 図鑑1・五芒星      | 2006      | アクリル・カンヴァス          | 224.0 × 235.0 [2点組]                       | 浜松市美術館   |
| 4-30 | 中村宏 | 図鑑2・背後       | 2006      | アクリル・カンヴァス          | 228.0 × 117.0 [3点組]                       | 練馬区立美術館  |
| 4-31 | 中村宏 | 図鑑3・台車       | 2007      | アクリル・カンヴァス          | 116.5×91.0                                | 浜松市美術館   |
| 4-32 | 中村宏 | 図鑑5・蝙蝠       | 2007      | アクリル・合板             | 30.0×60.0                                 | 浜松市美術館   |
| 4-33 | 中村宏 | 図鑑7・ライフル（正面） | 2007      | アクリル・カンヴァス          | 73.0×91.0                                 | 浜松市美術館   |
| 4-34 | 中村宏 | 図鑑8・隊列       | 2007      | アクリル・カンヴァス          | 73.0×91.0                                 | 浜松市美術館   |
| 4-35 | 中村宏 | 図鑑9・梓        | 2007      | アクリル・カンヴァス          | 117.0×91.0                                | 浜松市美術館   |
| 4-36 | 中村宏 | 図鑑 窓A        | 2009      | アクリル・カンヴァス          | 91.0×117.0                                | 浜松市美術館   |
| 4-37 | 中村宏 | 一点消失・B       | 2011      | アクリル・カンヴァス          | 80.5×116.5                                | 浜松市美術館   |
| 4-38 | 中村宏 | 二点消失         | 2012      | アクリル・カンヴァス          | 182.0×227.3                               | 浜松市美術館   |
| 4-39 | 中村宏 | 三点消失・制服      | 2013      | アクリル・カンヴァス          | 116.7×80.3                                | 浜松市美術館   |
| 4-40 | 中村宏 | 三点消失・劔岳      | 2013      | アクリル・カンヴァス          | 80.3×116.7                                | 浜松市美術館   |
| 4-41 | 中村宏 | 三点消失・タトリン    | 2014      | アクリル・カンヴァス          | 116.7×80.3                                | 浜松市美術館   |
| 4-42 | 中村宏 | 明暗法からの視線     | 2015-16   | アクリル・カンヴァス          | 各 91.0 × 65.2 (5点)、91.0 × 72.7 (1点) [6点組] | 東京都現代美術館 |
| 4-43 | 中村宏 | 4 半面の反復(1)   | 2019      | アクリル・カンヴァス          | 33.2×24.1                                 | 静岡県立美術館  |
| 4-44 | 中村宏 | 4 半面の反復(2)   | 2019      | アクリル・カンヴァス          | 33.1×24.1                                 | 静岡県立美術館  |
| 4-45 | 中村宏 | 4 半面の反復(3)   | 2019      | アクリル・カンヴァス          | 33.1×24.1                                 | 静岡県立美術館  |
| 4-46 | 中村宏 | 4 半面の反復(5)   | 2019      | アクリル・カンヴァス          | 33.1×24.1                                 | 静岡県立美術館  |
| 4-47 | 中村宏 | 4 半面の反復(6)   | 2019      | アクリル・カンヴァス          | 33.1×24.1                                 | 静岡県立美術館  |
| 4-48 | 中村宏 | 4 半面の反復(8)   | 2019      | アクリル・カンヴァス          | 33.1×24.1                                 | 静岡県立美術館  |

| No.            | 作家名                     | 作品名                                                                         | 制作年    | 材質、技法             | 寸法（c m）       | 所蔵            |
|----------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------|-------------------|---------------|---------------|
| 4-49           | 中村宏                     | 4 半面の反復(9)                                                                  | 2019   | アクリル・カンヴァス        | 33.1×24.1     | 静岡県立美術館       |
| 4-50           | 中村宏                     | 4 半面の反復(10)                                                                 | 2019   | アクリル・カンヴァス        | 33.1×24.1     | 静岡県立美術館       |
| 4-51           | 中村宏                     | 4 半面の反復(11)                                                                 | 2019   | アクリル・カンヴァス        | 65.2×53.0     | 静岡県立美術館       |
| 4-52           | 中村宏                     | 4 半面の反復(12)                                                                 | 2019   | アクリル・カンヴァス        | 116.8×80.3    | 静岡県立美術館       |
| 第5章 同時代芸術家との交流 |                         |                                                                             |        |                   |               |               |
| 5-01           | 中村宏                     | 「トロツキー選集全巻完結記念講演会」現代思潮社ポスタ                                                  | 1966   | 印刷（赤・青）・紙         | 37.3×53.7     | 名古屋市美術館       |
| 5-02           | 中村宏                     | 水滴                                                                          | 1974   | 油彩・カンヴァス          | 116.5×90.2    | 練馬区立美術館       |
| 5-03           | 中村宏                     | 芦川羊子第1回リサイタル「D53264機にのる友達ビオレット・ノジェイルの方へつねに遠のいてゆく風景」PACIFIC231機にのる舞踏嬢羊子」ポスター | 1968   | 印刷（青、赤、金）・紙       | 72.3×51.5     | 名古屋市美術館       |
| 5-04           | 土方巽                     | あんま目録 土方巽舞踏展詩画集『あんま』より                                                      | 1968   | 鉛筆、色鉛筆、墨、マーカー・紙   | 38.0×66.1     | 神奈川県立近代美術館    |
| 5-05           | 飯島耕一                    | 質問 土方巽舞踏展詩画集『あんま』より                                                         | 1968   | 厚紙、凹版・紙           | 38.0×66.1     | 神奈川県立近代美術館    |
| 5-06           | 池田満寿夫；加藤郁乎              | HOMMAGE A TATSUMI；土方巽舞踏展詩画集『あんま』より                                          | 1968   | メゾチント、エッチング・紙     | 38.0×66.1     | 神奈川県立近代美術館    |
| 5-07           | 加納光於                    | 肉體あるいは燐から硫黄へ 土方巽舞踏展詩画集『あんま』より                                               | 1968   | エッチング、フィロム・紙      | 38.0×66.1     | 神奈川県立近代美術館    |
| 5-08           | 三木富雄；澁澤龍彦               | ヘリオガバルス 土方巽舞踏展詩画集『あんま』より                                                    | 1968   | リトグラフ、エンボス・紙      | 38.0×66.1     | 神奈川県立近代美術館    |
| 5-09           | 瀧口修造；田中一光               | 自在諺抄 土方巽舞踏展詩画集『あんま』より                                                       | 1968   | オフセット・紙           | 38.0×66.1     | 神奈川県立近代美術館    |
| 5-10           | 中西夏之                    | 土方巽の肖像 土方巽舞踏展詩画集『あんま』より                                                     | 1968   | エッチング・紙           | 38.0×66.1     | 神奈川県立近代美術館    |
| 5-11           | 中村宏；三好豊一郎               | 土方巽氏の精神地形學的圓環圖 串戯考 土方巽舞踏展詩画集『あんま』より                                         | 1968   | エンボス、銅凸版・紙        | 38.0×66.1     | 神奈川県立近代美術館    |
| 5-12           | 野中ユリ                    | 彷徨引力 土方巽舞踏展詩画集『あんま』より                                                       | 1968   | 凹版・紙              | 38.0×66.1     | 神奈川県立近代美術館    |
| 5-13           | 吉岡実                     | 青い柱はどこにあるか 土方巽の秘儀によせて 土方巽舞踏展詩画集『あんま』より                                      | 1968   | オフセット・紙           | 38.0×66.1     | 神奈川県立近代美術館    |
| 5-14           | 加納光於；三木富雄；中西夏之；中村宏；野中ユリ | 〔サイン〕 詩画集『あんまー愛慾をささえる劇場の話』より                                                | 1968   | 鉛筆、パステル、スタンプ・色紙ほか | 38.0×66.1     | 神奈川県立近代美術館    |
| 5-15           |                         | 地を匍う飛行機と飛行する蒸気機関車                                                           | 1969   | インク・紙             | 19.5×106.5    | 名古屋市美術館       |
| 5-16           | 中村宏                     | 微粒子のタルホ像                                                                    | 1969   | 印刷（ピンク）・紙         | 50.1×37.9     | 名古屋市美術館       |
| 5-17           | 中村宏                     | 『機械学宣言-地を匍う飛行機と飛行する蒸気機関車』挿絵原画                                               | 1969   | インク・紙             | 27.0×19.2     | 練馬区立美術館       |
| 5-18           | 中村宏                     | 『機械学宣言』挿絵原画                                                                 | 1970   | 鉛筆、木炭・紙           | 44.8×32.0     | 練馬区立美術館       |
| 5-19           | 中村宏                     | 総銅製機甲本イカルス                                                                  | 1973   | 銅版・銅凸版            | 30.0×21.0×8.5 | 静岡県立美術館       |
| d5-01-01, 02   |                         | 「中村宏★観念絵画」展パンフレット、内科画廊                                                      | 1964   |                   |               | 個人蔵           |
| d5-02          |                         | 「中村宏★観念絵画」展リーフレット、内科画廊                                                      | 1964   |                   |               | 個人蔵           |
| d5-03          | 観光芸術研究所（中村宏・立石紘一）       | 「観光芸術研究所」設立はがき                                                              | 1964.3 |                   |               | 東京都現代美術館美術図書室 |

| No.         | 作家名     | 作品名                                        | 制作年       | 材質、技法                               | 寸法（c m）                                      | 所蔵                     |
|-------------|---------|--------------------------------------------|-----------|-------------------------------------|----------------------------------------------|------------------------|
| d5-04       | 観光芸術研究所 | 「観光芸術研究所」名刺                                | 1964      |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-05       | 観光芸術研究所 | 「第1回観光芸術展」ちらし                              | 1964.3    |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-06       | 観光芸術研究所 | 観光芸術多摩川展（DAS KAPITAL）                      | 1964      | 8mm フィルム（VHS / DVD / デジタルデータに変換）15分 |                                              | 作家蔵                    |
| d5-07       | 観光芸術研究所 | 観光芸術多摩川展パノラマ図                              | 1964      |                                     |                                              | 東京文化財研究所               |
| d5-08-01-04 | 平田実     | 「路上歩行展」と通勤者たち（中村宏・立石紘一作）：東京駅～京橋かいわい（1）-（4） | 1964      | ゼラチンシルバープリント                        | (1)：32.0×25.3、(2)：33.5×22.2、(3)(4)：22.2×33.5 | 東京ステーションギャラリー          |
| d5-09       | 観光芸術研究所 | 「第14回和泉祭 明治大学和泉校舎」ポスター                     | 1964      | セリグラフ（またはシルクスクリーン）・紙                | 52.0×72.0                                    | 埼玉県立近代美術館              |
| d5-10       | 観光芸術研究所 | 「第14回和泉祭 明治大学和泉校舎」パンフレット                   | 1964.5    |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-11       | 観光芸術研究所 | 「第2回観光芸術展」案内はがき                            | 1964.8    |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-12       |         | 『アンデパンダン'64展』アンデパンダン'64展委員会                | 1964      |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-13-01、02 |         | 『機關』第9号別刷、海鳥社                              | 1964      |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室／東京文化財研究所 |
| ◇d5-14      |         | 「マニフェスト」、前衛美術会                             | 1958.2.20 |                                     |                                              | 個人蔵                    |
| d5-15       |         | 『芸術ノート（前衛美術会機関誌）』第1号、前衛美術会                 | 1961.4    |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-16       |         | 『芸術ノート（前衛美術会機関誌）』第2号、前衛美術会                 | 1961.6    |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-17       |         | 『芸術ノート（前衛美術会機関誌）』第3号、前衛美術会                 | 1962.6    |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-18-01-04 |         | 「芸術と革命研究会」第578回案内はがき、前衛美術会                 | 1968      |                                     |                                              | 東京文化財研究所               |
| d5-19       |         | 「東京芸術柱展」招待状                                | 1965      |                                     |                                              | 東京文化財研究所               |
| d5-20       |         | 「東京芸術柱展」展示風景                               | 1965      |                                     |                                              | 東京文化財研究所               |
| d5-21       |         | 山下菊二旧蔵資料「東京芸術柱展」                           | 1966      |                                     |                                              | 東京文化財研究所               |
| d5-22       |         | 「東京芸術会議展」ちらし・応募用紙（コピー）[部分]                 | 1966      |                                     |                                              | 東京文化財研究所               |
| d5-24       |         | 『第四宣言』第1号、前衛美術会                            | 1969.6.10 |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-25       |         | 『第四宣言』第2号、前衛美術会                            | 1970.1.31 |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-26       |         | 『第四宣言』第3号、前衛美術会                            | 1970.6.18 |                                     |                                              | 東京文化財研究所               |
| d5-27       |         | 「第2回駒展」ちらし（コピー）、前衛美術会                      | 1971      |                                     |                                              |                        |
| d5-28       |         | ベルトルト・ブレヒト著、野村修訳『亡命者の対話』現代思潮社              | 1963.9    |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-29       |         | アンドレ・ブルトン著、稲田三吉訳『通底器』第1版、現代思潮社             | 1963.12   |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-30       |         | アンドレ・ブルトン著、稲田三吉訳『通底器』第2版、現代思潮社             | 1969.4    |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-31       |         | ジョルジュ・バタイユ著、森本和夫訳『エロスの涙』現代思潮社              | 1964.7    |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |
| d5-32       |         | ロー・デュカ著、出口裕弘訳『エロティシズムの歴史』現代思潮社             | 1964.11   |                                     |                                              | 東京都現代美術館美術図書室          |

| No.                     | 作家名 | 作品名                                                                                            | 制作年       | 材質、技法 | 寸法（c m）    | 所蔵                             |
|-------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|------------|--------------------------------|
| d5-33                   |     | ルネ・カナック著、佐々木孝次訳『ネチャーフ：ニヒリズムからテロリズムへ』現代思潮社                                                      | 1964.10   |       |            | 東京都現代美術館美術図書室                  |
| d5-34                   |     | ベルトルト・ブレヒト著、岩淵達治訳『ブレヒト詩論集』現代思潮社                                                                | 1965.6    |       |            | 東京都現代美術館美術図書室                  |
| d5-35                   |     | モーリス・メルロー＝ポンティ著、森本和夫訳『ヒューマニズムとテロル』改訂版、現代思潮社                                                    | 1965.7    |       |            | 東京都現代美術館美術図書室                  |
| d5-36                   |     | ガストン・バシュラール著、渋谷孝輔訳『蠟燭の焰』現代思潮社                                                                  | 1966.6    |       |            | 東京都現代美術館美術図書室                  |
| d5-37                   |     | ポール・ヴァレリー著、栗津則雄訳『テスト氏・未完の物語』現代思潮社                                                              | 1967.5    |       |            | 東京都現代美術館美術図書室                  |
| d5-38                   |     | ロラン・バルト著、篠沢秀夫訳『神話作用』現代思潮社                                                                      | 1967.7    |       |            | 東京都現代美術館美術図書室                  |
| d5-39                   |     | リサガレー著、喜安朗・長部重康訳『バリ・コミュニケーション（上）』現代思潮社                                                         | 1968.11   |       |            | 東京都現代美術館美術図書室                  |
| d5-40                   |     | リサガレー著、喜安朗・長部重康訳『バリ・コミュニケーション（下）』現代思潮社                                                         | 1969.3    |       |            | 東京都現代美術館美術図書室                  |
| d5-41                   |     | ウィルヘルム・ライヒ著、小野泰博・藤沢敏雄訳『セクシュアル・レボリューション：文化革命における性』現代思潮社                                         | 1970.7    |       |            | 東京都現代美術館美術図書室                  |
| d5-42                   |     | メアリー・ヒギンスほか編、小野泰博訳『宇宙・生命・エゴ：ライヒは語る』現代思潮社                                                       | 1972.3    |       |            | 東京都現代美術館美術図書室                  |
| d5-43-01, 02            |     | 中村宏著『望遠鏡からの告示 中村宏〇画集』現代思潮社                                                                     | 1968.2    |       |            | 東京都現代美術館美術図書室／個人蔵              |
| d5-44                   |     | 澁澤龍彦著「エロティックの現象学?性の復権のために?女のエロティシズム」『潮流ジャーナル』第1巻第4号、恒文社                                        | 1967.5.28 |       |            | 東京都現代美術館美術図書室                  |
| d5-45                   |     | 『血と薔薇』第2号、天声出版                                                                                 | 1969.1    |       |            | 個人蔵                            |
| d5-46                   |     | 澁澤龍彦著「万博を嫌悪する」『日本読書新聞』1539号、日本出版協会                                                             | 1970.3.30 |       |            | 東京都現代美術館美術図書室                  |
| d5-47                   |     | 「1968年 現代思潮社」新刊案内                                                                              | 1968      |       |            | 美学校                            |
| d5-48                   |     | 「1969-70春 現代思潮社」新刊案内                                                                           | 1969-70   |       |            | 美学校                            |
| d5-49                   |     | 「1969年度 美学校」生徒募集ポスター                                                                           | 1969      |       | 103.0×72.8 | ポスターハリスカンパニー                   |
| d5-50                   |     | 「1969年度 美学校」ちらし                                                                                | 1969      |       |            | 美学校                            |
| d5-51                   |     | 「美学校 中村宏アトリエ、中西夏之アトリエ展示」リーフレット                                                                 | 1970      |       |            | 美学校                            |
| d5-52                   |     | 「1970年度 美学校」生徒募集ポスター                                                                           | 1970      |       | 84.1×59.4  | 美学校                            |
| d5-53                   |     | 「1970年度 美学校」ちらし                                                                                | 1970      |       |            | 美学校                            |
| d5-54                   |     | 「1970年度 美学校」生徒募集要項「中村宏 絵画教場」                                                                   | 1970      |       |            | 美学校                            |
| d5-55                   |     | 「中村宏絵画教場課題 記憶画帳制作について」（コピー）、美学校                                                                | 1970.7.10 |       |            | 美学校                            |
| d5-56                   |     | 「1971年度 美学校」生徒募集要項「美学校基本構想」                                                                    | 1971      |       |            | 美学校                            |
| d5-57                   |     | 「1973年度 美学校」生徒募集ポスター                                                                           | 1973      |       | 72.8×51.5  | 美学校                            |
| d5-58                   |     | 「1974年度 美学校」生徒募集要項「中村宏 油彩画工房」                                                                  | 1974      |       |            | 美学校                            |
| d5-59                   |     | 中村宏 授業資料 カラーズライド（水滴）                                                                           | 1974      |       |            | 美学校                            |
| d5-60-01-03<br>d5-60-03 |     | 中谷忠雄<br>芦川羊子第1回リサイタル「D53264機にのる友達バイオレット・ノジェイルの方へ<br>つねに遠のいてゆく風景 PACIFIC231<br>機にのる舞踏嬢芦川羊子」記録写真 | 1968.8.3  |       |            | 慶應義塾大学アート・センター／NPO法人<br>舞踏創造資源 |

| No.          | 作家名 | 作品名                                                | 制作年       | 材質、技法       | 寸法（c m） | 所蔵                          |
|--------------|-----|----------------------------------------------------|-----------|-------------|---------|-----------------------------|
| d5-61        |     | 中村宏「風景考」、「芦川羊子第1回リサイタル」リーフレット                      | 1968      |             |         | 慶應義塾大学アート・センター／NPO法人 舞踏創造資源 |
| d5-62        |     | 「芦川羊子第1回リサイタル」ちらし                                  | 1968      |             |         | 慶應義塾大学アート・センター／NPO法人 舞踏創造資源 |
| d5-63        |     | 「芦川羊子第1回リサイタル」チケット                                 | 1968      |             |         | 慶應義塾大学アート・センター／NPO法人 舞踏創造資源 |
| d5-64        |     | 「芦川羊子第1回リサイタル」封筒                                   | 1968      |             |         | 慶應義塾大学アート・センター／NPO法人 舞踏創造資源 |
| d5-65        |     | 土方異「アスベスト館の妖精」、澁澤龍彦訳「アルダを讃える」、「芦川羊子第1回リサイタル」リーフレット | 1968      |             |         | 慶應義塾大学アート・センター／NPO法人 舞踏創造資源 |
| d5-66-01, 02 |     | 中谷忠雄「あんま・愛慾をささえる劇場の話」制作風景写真                        | 1968      |             |         | 慶應義塾大学アート・センター／NPO法人 舞踏創造資源 |
| d5-67        |     | 撮影：中村宏 土方異「肉体の叛乱」映像記録                              | 1968      |             | 13分     | 慶應義塾大学アート・センター／NPO法人 舞踏創造資源 |
| d5-68        |     | 『the high school life：高校生のための書店』No.25、MAC          | 1969.6.15 |             |         | 東京都現代美術館美術図書室               |
| d5-69        |     | 『the high school life：高校生のための書店』No.26、MAC          | 1969.7.15 |             |         | 東京都現代美術館美術図書室               |
| d5-70        |     | 『the high school life：高校生のための書店』No.27、MAC          | 1969.8.15 |             |         | 東京都現代美術館美術図書室               |
| d5-71-01, 02 |     | 『the high school life：高校生のための書店』No.28、MAC          | 1969.9.15 |             |         | 東京都現代美術館美術図書室／東京文化財研究所      |
| d5-72-01, 02 |     | 稲垣足穂・中村宏著『機械学宣言：地を匍う飛行機と飛行する蒸気機関車』[普通版] 仮面社        | 1970.7    |             |         | 東京都現代美術館美術図書室／個人蔵           |
| d5-73-01, 02 |     | 清水昶著『詩集 少年』永井出版企画                                  | 1969.10   |             |         | 東京都現代美術館美術図書室／橘川英規氏蔵        |
| d5-74        |     | 稲垣足穂・中村宏著『機械学宣言：地を匍う飛行機と飛行する蒸気機関車』のための東見本（表紙部）、仮面社 | 1970.7    | 銅凸版         |         | 東京都現代美術館                    |
| d5-75        |     | 『機械学宣言：地を匍う飛行機と飛行する蒸気機関車』広報用ちらし、仮面社                | 1970      |             |         | 橘川英規氏蔵                      |
| d5-76        |     | 「イカルス展示案内状」紀伊國屋（東京、新宿）画廊前展示場、呪物研究所                 | 1973      |             |         | 東京都現代美術館美術図書室               |
| d5-77        |     | 稲垣足穂・中村宏著『機械学宣言：地を匍う飛行機と飛行する蒸気機関車』[特装版] 仮面社        | 1970.7    |             |         | 橘川英規氏蔵                      |
| d5-78        |     | イカルス（印刷）[7点組] 文：稲垣足穂、刷り：生嶋順理                       | 1973/2024 | リトグラフ、拓刷り・紙 |         | 東京造形大学附属美術館                 |
| de-01        |     | 「中村宏展」はがき、1956、タケミヤ画廊                              |           |             |         | 東京都現代美術館美術図書室               |
| de-02        |     | 「超現実絵画の展開」展招待状、1960、東京国立近代美術館                      |           |             |         | 慶應義塾大学アート・センター              |
| de-03        |     | 「超現実絵画の展開」展図録、テキスト：瀧口修造、1960、東京国立近代美術館             |           |             |         | 慶應義塾大学アート・センター              |
| de-04        |     | 「池田龍雄 中村宏 山下菊二」展パンフレット、テキスト：安部公房、1963、青木画廊         |           |             |         | 慶應義塾大学アート・センター              |
| de-05        |     | 「クリティカルアート（評画）」展パンフレット、企画・テキスト：石子順造、1965、梅花亭ギャラリー  |           |             |         | 慶應義塾大学アート・センター              |
| de-06        |     | 「中村宏   図画事件1953?2007」図録、2007、東京都現代美術館編・東京新聞        |           |             |         | 東京都現代美術館美術図書室               |
| de-07        |     | 「タブロオ・マシン [図画機械] 中村宏の絵画と模型」パンフレット、2010.7、練馬区立美術館   |           |             |         | 東京都現代美術館美術図書室               |

| No.      | 作家名 | 作品名                                        | 制作年   | 材質、技法 | 寸法（c m） | 所蔵            |
|----------|-----|--------------------------------------------|-------|-------|---------|---------------|
| de-08    |     | 『絵画者 中村宏展』図録、2015、浜松市美術館                   |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-01    |     | 中村宏著『呪物記』1973.12、大和書房                      |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-02    |     | 中村宏著『中村宏作品集★車窓篇』1980.6、深夜叢書社               |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-03    |     | 『機關』第15号、1990.6、海鳥社                        |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-04    |     | 中村宏著『中村宏画集 1953-1994 タブロオ機械』1995.7、美術出版社   |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-05    |     | 中村宏著『図画蜂起 1955-2000』2000.9、美術出版社           |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-06    |     | 中村宏著『絵画者 1957-2002』2003.8、美術出版社            |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-07    |     | 中村宏著、嶋田美子編『応答せよ！ 絵画者 中村宏インタビュー』2021.10、白順社 |       |       |         | 個人蔵           |
| db-08    |     | ヴェスコ・プラトリーニ著、大久保昭男訳『現代の英雄』1962.10、三一書房     |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-09    |     | 大島渚著『戦後映画／破壊と創造』1963.7、三一書房                |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-10    |     | 『朝日ジャーナル』9巻50号（459号）、1967.12.3、朝日新聞社       |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-11    |     | 埴谷雄高著『架空と現実：埴谷雄高対話集』1968.7、南北社             |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-12    |     | 夢野久作著、中島河太郎・谷川健一編『夢野久作全集1』1969.6、三一書房      |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-13    |     | 毛利ユリ著『連帯と孤死』1970.7、深夜叢書社                   |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-14    |     | 『文芸』1972.3、河出書房新社                          |       |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| db-15    |     | 『どるめん』1973.9、萩書房                           |       |       |         | 個人蔵           |
| ds-01    |     | 〔スクラップブック〕 本・評論1                           | 制作年不明 |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| ds-02-04 |     | 〔スクラップブック〕 戦争・事件・事故1, 2, 3                 | 制作年不明 |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| ds-05-08 |     | 〔スクラップブック〕 女学生1, 2, 3, 4                   | 制作年不明 |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| ds-09-11 |     | 〔スクラップブック〕 鉄道1, 2, 3                       | 制作年不明 |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| ds-12-15 |     | 〔スクラップブック〕 地形・海・山1, 2, 3, 4                | 制作年不明 |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| ds-16-19 |     | 〔スクラップブック〕 機械・乗もの1, 2, 3, 4                | 制作年不明 |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| ds-20    |     | 〔スクラップブック〕 自然                              | 制作年不明 |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |
| ds-21    |     | 〔スクラップブック〕 制作資料                            | 制作年不明 |       |         | 東京都現代美術館美術図書室 |

## 収蔵品展

※「所蔵」欄が空欄の作品は当館所蔵品

### 新収蔵品展

4月9日(水)～6月15日(日)

| No. | 作者名             | 作品名                            | 所蔵 |
|-----|-----------------|--------------------------------|----|
| 1   | 狩野探信守政          | 雑画貼交屏風                         |    |
| 2   | 松林桂月            | 松竹梅                            |    |
| 3   | 平山郁夫            | 祇園祭                            |    |
| 4   | 平山郁夫            | 秋天東寺五重塔                        |    |
| 5   | 八木幾朗            | グダンスク                          |    |
| 6   | 八木幾朗            | 朝をむかえる富士                       |    |
| 7   | 石川欽一郎           | ロンドン                           |    |
| 8   | 栗原忠二            | ヴェニスの港                         |    |
| 9   | 飯田昭二            | タイトル不詳（平面にて）                   |    |
| 10  | 飯田昭二            | 時空変位                           |    |
| 11  | 鈴木慶則            | 『フェニックス2号』より〈国連<br>よ永遠なれ〉原画    |    |
| 12  | 鈴木慶則            | 鳥                              |    |
| 13  | 赤瀬川原平           | 『漫画主義』No.6ポスター／Q<br>UA         |    |
| 14  | 池田満寿夫           | バラ模様の寝台                        |    |
| 15  | 木村秀樹            | Pencil 2-15                    |    |
| 16  | 長船恒利            | 〈在るもの〉より 清水1978                |    |
| 17  | 小山田二郎           | 狂女                             |    |
| 18  | 松江泰治            | JP-22 12                       |    |
| 19  | 川内倫子            | Untitled                       |    |
| 20  | 長島有里枝           | 黄色い野生の花〈SWISS〉より               |    |
| 21  | 野口里佳            | ロケットの丘（#5）                     |    |
| 22  | 竹村京             | 修復されたC.M.の1916年の睡蓮             |    |
| 23  | エレナ・トゥタッチ<br>コワ | 手のひらの木                         |    |
| 24  | エレナ・トゥタッチ<br>コワ | 歩き、歩き、歩き、走り、立ち<br>止まり、飛ぶ       |    |
| 25  | エレナ・トゥタッチ<br>コワ | 音の地図:クレマチスガーデン、作家蔵<br>2022.2.5 |    |
| 26  | 持塚三樹            | Vonto                          |    |

|    |      |          |
|----|------|----------|
| 27 | 持塚三樹 | LILL     |
| 28 | 杉戸洋  | refrain2 |
| 29 | 杉戸洋  | refrain3 |

### 本館竣工40周年記念 たてもの探訪

7月1日(火)～8月17日(日)

| No. | 作者名   | 作品名        | 所蔵  |
|-----|-------|------------|-----|
| 1   | 作者不詳  | 鯛川図巻       |     |
| 2   | 狩野益信  | 楼閣図屏風      | 個人蔵 |
| 3   | 狩野惟信  | 山水図押絵貼屏風   |     |
| 4   | 狩野栄信  | 楼閣山水図屏風    |     |
| 5   | 狩野探玄  | 近江八景図屏風    | 個人蔵 |
| 6   | 作者不詳  | 三保松原・厳島図屏風 |     |
| 7   | 高嵩谷   | 隅田川春景図     | 個人蔵 |
| 8   | 作者不詳  | 都鄙図屏風      |     |
| 9   | 作者不詳  | 東海道図屏風     | 個人蔵 |
| 10  | 作者不詳  | 洛中洛外図屏風    | 個人蔵 |
| 11  | 英一峰   | 雨宿図        | 個人蔵 |
| 12  | 長谷川玉峰 | 四条夕涼図      | 個人蔵 |
| 13  | 原在正   | 富士山図巻 第一巻  | 個人蔵 |

### 絵から読む物語

8月19日(火)～9月28日(日)

| No. | 作者名  | 作品名                    | 所蔵  |
|-----|------|------------------------|-----|
| 1   | 作者未詳 | 富士巻狩・仇討図屏風             |     |
| 2   | 狩野探幽 | 一ノ谷合戦・二度之懸図屏風          |     |
| 3   | 狩野典信 | 伊勢物語図屏風(六曲一双の内、<br>右隻) | 個人蔵 |
| 4   | 鈴木松年 | 神武天皇・素戔鳴尊図屏風           | 個人蔵 |
| 5   | 菊池容斎 | 日蓮上人波題目之図              |     |
| 6   | 橋本雅邦 | 三井寺                    |     |

|    |      |         |     |
|----|------|---------|-----|
| 7  | 下村観山 | 南泉斬猫図   |     |
| 8  | 今村紫紅 | 宇津の山路   |     |
| 9  | 土佐光起 | 山路図     | 個人蔵 |
| 10 | 山本探川 | 宇津の山図屏風 |     |
| 11 | 都路華香 | 松風村雨図   | 個人蔵 |
| 12 | 中村岳陵 | かきつばた   |     |

# 2000年代の絵画 静岡ゆかりの作家による

1月20日(火)～4月19日(日)

| No. | 作者名  | 作品名             | 所蔵 |
|-----|------|-----------------|----|
| 1   | 石田徹也 | ピアガーデン発         |    |
| 2   | 石田徹也 | クラゲの夢           |    |
| 3   | 石田徹也 | (無題6)           |    |
| 4   | 持塚三樹 | Dusk approaches |    |
| 5   | 大庭大介 | RING            |    |

1月20日(火)～3月15日(日)

|    |       |                |                    |
|----|-------|----------------|--------------------|
| 6  | 石田徹也  | 飛べなくなった人       |                    |
| 7  | 石田徹也  | 燃料補給のような食事     |                    |
| 8  | 持塚三樹  | Sand cloud(砂雲) | 作家蔵                |
| 9  | 門田光雅  | 色彩のドローイング 2    | 大石大成氏蔵             |
| 10 | 門田光雅  | camphor        | 株式会社<br>フライミー<br>蔵 |
| 11 | 門田光雅  | 鈿女(うずめ)        | 作家蔵                |
| 12 | 門田光雅  | 猿田彦            | 作家蔵                |
| 13 | 大庭大介  | Daisuke OHBA   | 作家蔵                |
| 14 | 大庭大介  | M              | 作家蔵                |
| 15 | 大庭大介  | M              | 作家蔵                |
| 16 | 小左誠一郎 | 百合             | 作家蔵                |
| 17 | 小左誠一郎 | 百合             | 作家蔵                |
| 18 | 小左誠一郎 | 百合             | 作家蔵                |

3月17日(火)～4月19日(日)

|    |      |       |  |
|----|------|-------|--|
| 19 | 石田徹也 | 居酒屋発  |  |
| 20 | 石田徹也 | (無題1) |  |

|    |      |                  |  |
|----|------|------------------|--|
| 21 | 石田徹也 | 兵士               |  |
| 22 | 石田徹也 | 引き出し             |  |
| 23 | 石田徹也 | 市場               |  |
| 24 | 石田徹也 | (無題3)            |  |
| 25 | 石田徹也 | (無題8)            |  |
| 26 | 持塚三樹 | Untitled         |  |
| 27 | 持塚三樹 | Vonto            |  |
| 28 | 持塚三樹 | LILL             |  |
| 29 | 大庭大介 | LOG (Icefall)    |  |
| 30 | 大庭大介 | THE BATTLE STAGE |  |
| 31 | 大庭大介 | 0 NE             |  |

# 名品コーナー

4月9日(水)～6月15日(日)

| No. | 作者名       | 作品名             | 所蔵 |
|-----|-----------|-----------------|----|
| 1   | イケムラレイコ   | 「うさぎ観音」のマケット(1) |    |
| 2   | 鳥海青児      | はにわ             |    |
| 3   | ポール・ゴーギャン | 家畜番の少女          |    |

7月1日(火)～8月17日(日)

|   |             |                   |  |
|---|-------------|-------------------|--|
| 1 | 柳原義達        | 道標・鳩              |  |
| 2 | 岡鹿之助        | 観測所               |  |
| 3 | リチャード・ウィルソン | リン・ナントルからスノードンを望む |  |

8月19日(火)～9月28日(日)

|   |            |         |  |
|---|------------|---------|--|
| 1 | 竹川宣彰       | セミ      |  |
| 2 | 坂田一男       | 祭壇の男    |  |
| 3 | フランソワ・ブーシェ | 石橋のある風景 |  |

1月20日(火)～4月19日(日)

|   |           |           |  |
|---|-----------|-----------|--|
| 1 | ジョルジュ・ピゴー | 富士(沼津江浦)  |  |
| 2 | 丹羽勝次      | 箱シリーズ '68 |  |

1月20日(火)～3月1日(日)

|   |                 |         |  |
|---|-----------------|---------|--|
| 3 | 賛：田中大秀<br>絵：渡辺清 | 清少納言故事図 |  |
|---|-----------------|---------|--|

3月3日(火)～4月19日(日)

|   |      |          |     |
|---|------|----------|-----|
| 4 | 松林桂月 | 夜桜(春宵花影) | 個人蔵 |
|---|------|----------|-----|

## 移動美術展

### 「富士と水のある眺め」

9月19日（金）～9月28日（日）

| No. 作者名              | 作品名                          | 制作年                | 素材・技法     | 寸法（cm）                           |
|----------------------|------------------------------|--------------------|-----------|----------------------------------|
| 伊藤若冲                 |                              |                    |           |                                  |
| 1 伊藤若冲               | 樹花鳥獸図屏風（複製）                  | 18世紀（原本）           | 紙本着色（原本）  | （右）137.5×355.6<br>（左）137.5×366.2 |
| 富士の眺め                |                              |                    |           |                                  |
| 2 歌川広重               | 東海道五拾三次（保永堂版）：吉原 左富士         | 1833頃（天保4頃）        | 紙、木版、色摺   | 25.7×38.0                        |
| 3 チャールズ・ワーグマン        | 富士遠望図                        | 1876（明治9）以降        | キャンヴァス、油彩 | 41.2×76.2                        |
| 4 小林清親               | 駿河湖日没の富士                     | 1879（明治12）         | 紙、木版、色摺   | （右）36.5×24.7 （左）36.6×24.7        |
| 5 平木政次               | 富士                           | 1897（明治30）         | キャンヴァス、油彩 | 44.0×67.0                        |
| 6 五姓田義松              | 富士                           | 1908（明治38）         | キャンヴァス、油彩 | 46.8×101.5                       |
| 7 和田英作               | 富士                           | 1918（大正7）          | キャンヴァス、油彩 | 60.6×80.2                        |
| 8 近藤浩一路              | 富士山                          | 1940～50（昭和10～20）年代 | 紙本墨画      | 65.1×72.2                        |
| 9 梅原龍三郎              | 暁天（富士山・大仁）                   | 1944～1956（昭和19～31） | 紙本着色      | 46.3×33.0                        |
| 10 東山魁夷              | 秋富士                          | 1955（昭和31）         | 絹本着色      | 66.6×88.1                        |
| 日本の水辺                |                              |                    |           |                                  |
| 11 石川欽一郎             | 海辺（早川海岸）                     | 1935（昭和10）頃        | キャンヴァス、油彩 | 53.2×72.8                        |
| 12 島戸 繁              | びわ湖の舟                        | 1957（昭和32）頃        | キャンヴァス、油彩 | 145.0×97.0                       |
| 13 島戸 繁              | 静かな漁港                        | 1959（昭和34）頃        | キャンヴァス、油彩 | 53.0×45.7                        |
| 14 高島達四郎             | 伊豆下田港                        | 1976（昭和51）         | キャンヴァス、油彩 | 53.0×65.3                        |
| 外国の水辺                |                              |                    |           |                                  |
| 15 ヤン・ボト             | ポンテ・モッレ[『ローマ周辺の眺め』（全6点）のひとつ] | 1640年代初頭           | 紙、エッチング   | 19.3×27                          |
| 16 ヨーハン＝バルトールト・ヨンキント | オランダ風景銅版画集：運河                | 1862               | 紙、エッチング   | 16.1×20.4                        |
| 17 ヨーハン＝バルトールト・ヨンキント | オランダ風景銅版画集：繫留された船            | 1862               | 紙、エッチング   | 16.6×20.5                        |
| 18 ヨーハン＝バルトールト・ヨンキント | オランダ風景銅版画集：二隻の帆船             | 1862               | 紙、エッチング   | 16.7×20.7                        |
| 19 シャルル＝フランソワ・ドービニー  | アトリエ舟で行く：舟での昼食               | 1862               | 紙、エッチング   | 16.0×10.6                        |
| 20 シャルル＝フランソワ・ドービニー  | アトリエ舟で行く：見習い水夫の出発を喜ぶ魚たち      | 1862               | 紙、エッチング   | 10.0×16.0                        |
| 21 田中保               | セーヌの宵                        | 1920（大正9）          | キャンヴァス、油彩 | 54.5×65.4                        |
| 22 清水登之              | セーヌ河畔                        | 1924（大正13）         | キャンヴァス、油彩 | 65.0×53.8                        |
| 23 原勝郎               | セーヌ河畔                        | 1935（昭和10）         | キャンヴァス、油彩 | 45.8×60.3                        |

| No. 作者名 | 作品名         | 制作年        | 素材・技法 | 寸法（cm）      |
|---------|-------------|------------|-------|-------------|
| 24 秋野不矩 | ガンガー（ガンジス河） | 1979（昭和54） | 紙本着色  | 148.0×266.5 |

## 考える水辺

|    |                  |                      |                     |                 |                 |
|----|------------------|----------------------|---------------------|-----------------|-----------------|
| 25 | アドリアーン・ファン・オスターデ | 釣り人たち                | 1647－1653           | 紙、エッチング、ドライポイント | 11.2×16.3       |
| 26 | ジャン＝ヴィクトル・ベルタン   | ディアナと水浴するニンフのいる古典的風景 | 1797                | ガラス、油彩          | 12.0（直径）        |
| 27 | ジャン＝ヴィクトル・ベルタン   | ナルキッソスのいる古典的風景       | 1797                | ガラス、油彩          | 12.0（直径）        |
| 28 | オーギュスト・ロダン       | 考える人                 | 1880                | ブロンズ            | 37.2×28.6×23.6  |
| 29 | パブロ・ピカソ          | ダヴィデとバテシバ            | 1949                | 紙、リトグラフ         | 61.1×48.2       |
| 30 | 駒井哲郎             | 岩礁にて                 | 1970（昭和45）          | 紙、エッチング         | 24.0×35.5       |
| 31 | 二見彰一             | 海のうた                 | 1969（昭和44）          | 紙、アクアチント        | 22.9×15.6       |
| 32 | 二見彰一             | 海への回帰                | 1976（昭和51）          | 紙、アクアチント        | 30.1×21.2       |
| 33 | 高山辰雄             | 水の頃                  | 1977－1978（昭和52－53）頃 | 紙本着色            | 46.2×65.1       |
| 34 | 福岡道雄             | 湯原湖で（2）              | 1978（昭和53）          | 黒色強化ポリエステル、木    | 48.0×110.0×90.0 |

## 富士市ゆかりの作家：山口源

|    |     |        |             |      |           |
|----|-----|--------|-------------|------|-----------|
| 35 | 山口源 | 能役者    | 1958（昭和33）  | 紙、木版 | 86.5×47.0 |
| 36 | 山口源 | 失題［水門］ | 1945（昭和20）頃 | 紙、木版 | 18.1×24.3 |
| 37 | 山口源 | 湧玉池    | 制昨年不詳       | 紙、木版 | 24.5×18.1 |

## 現代の美術

|    |      |      |      |             |    |
|----|------|------|------|-------------|----|
| 38 | 志村信裕 | pool | 2009 | 映像（デジタルデータ） | 6分 |
|----|------|------|------|-------------|----|

## 関係法規

### ■静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例

昭和60年12月23日

条例第38号

改正 平成元年3月29日条例第43号  
平成3年3月19日条例第2号  
平成4年3月25日条例第14号  
平成8年3月28日条例第11号  
平成11年3月19日条例第16号  
平成13年7月24日条例第45号  
平成15年3月12日条例第2号  
平成17年7月15日条例第49号  
平成22年3月26日条例第23号  
平成24年3月23日条例第1号  
平成26年3月28日条例第29号  
平成31年3月26日条例第18号  
令和5年3月29日条例第14号  
令和7年3月27日条例第19号  
令和7年12月25日条例第56号

静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例  
をここに公布する。

### 静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、静岡県立美術館の設置、管理及び  
使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 美術の振興を図り、もって県民の文化の発展に  
寄与するため、静岡県立美術館（以下「美術館」とい  
う。）を静岡市に設置する。

(一部改正〔平成3年条例2号〕)

(観覧料)

第3条 美術館に展示されている美術品を観覧しようと  
する者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなけれ  
ばならない。

(特別観覧)

第4条 知事は、美術館に収蔵されている美術品につい  
て学術研究等のために必要があると認めるときは、当  
該美術品の模写、模造、撮影等（以下「特別観覧」と  
いう。）をしようとする者に対して、当該特別観覧を承  
認することができる。

2 前項の承認には、美術館の管理のために必要な限度  
において条件を付することができる。

(一部改正〔平成3年条例2号〕)

(特別観覧料)

第5条 特別観覧をしようとする者は、別表第2に定め

る額の特別観覧料を前納しなければならない。

(使用の承認)

第6条 県民ギャラリー又は講堂（以下「県民ギャラリー  
等」という。）を使用しようとする者は、知事の承認を  
受けなければならない。

2 前項の承認には、県民ギャラリー等の管理のために  
必要な限度において、条件を付することができる。

(一部改正〔平成3年条例2号〕)

(使用の不承認)

第7条 知事は、次の各号の一に該当するときは、県民  
ギャラリー等の使用を承認しないことができる。

(1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認  
めるとき。

(2) 管理及び運営上支障があると認めるとき。

(3) その他その使用を不適当と認めるとき。

(一部改正〔平成3年条例2号〕)

(使用の承認の取消し等)

第8条 知事は、第6条第1項の承認を受けた者（以下  
「使用者」という。）が次の各号の一に該当するときは、  
その承認を取り消し、又は使用を制限することができ  
る。

(1) 前条各号に掲げる理由が生じたとき。

(2) 第6条第2項の規定により付された条件に違反し  
たとき。

(3) 偽りその他不正の手段により使用の承認を受けた  
とき。

2 前項の場合において、使用者に損害を生ずることが  
あつても、県はその賠償の責めを負わない。

(一部改正〔平成3年条例2号〕)

(使用料)

第9条 県民ギャラリー等を使用しようとする者は、別  
表第3に定める額の使用料を前納しなければならない。

(観覧料等の減免)

第10条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観  
覧料、特別観覧料又は使用料（以下「観覧料等」とい  
う。）を減免することができる。

(観覧料等の不還付)

第11条 既納の観覧料等は還付しない。ただし、知事が  
特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(職員)

第12条 美術館に事務職員その他の必要な職員を置く。

(協議会の設置)

第13条 博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第1項  
の規定に基づき、美術館に静岡県立美術館協議会（以  
下「協議会」という。）を置く。

(一部改正〔令和5年条例14号〕)

(協議会の委員の任命の基準)

第13条の2 協議会の委員(以下「委員」という。)の任命の基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

(追加〔平成24年条例1号〕)

(協議会の委員)

第14条 委員の定数は、15人以内とする。

2 委員の任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(一部改正〔平成24年条例1号〕)

(委任)

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(一部改正〔平成3年条例2号・17年49号〕)

附 則

この条例は、昭和61年1月1日から施行する。ただし、第3条から第16条までの規定は、同年4月1日から施行する。

附 則(平成元年3月29日条例第43号)

1 この条例は、平成元年4月1日から施行する。

2 この条例の施行前に承認した静岡県立美術館の使用に係る使用料の額は、改正後の静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成3年3月19日条例第2号)

1 この条例は、平成3年4月1日から施行する。

2 この条例の施行の際現に改正前の静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例第4条第1項又は第6条第1項の規定により承認を受けている者は、改正後の静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例第4条第1項又は第6条第1項の規定により承認を受けた者とみなす。

附 則(平成4年3月25日条例第14号)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。

2 この条例の施行前に承認した静岡県立美術館の使用に係る使用料の額は、改正後の静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成8年3月28日条例第11号)

1 この条例は、平成8年4月1日から施行する。

2 この条例の施行前に承認した静岡県立美術館の使用に係る使用料の額は、改正後の静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成11年3月19日条例第16号)

1 この条例は、平成11年4月1日から施行する。

2 この条例の施行前に承認した静岡県立美術館の使用

に係る使用料の額は、改正後の静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成13年7月24日条例第45号)

この条例は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成15年3月12日条例第2号)

この条例は、平成15年4月1日より施行する。

附 則(平成17年7月15日条例第49号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成22年3月26日条例第23号)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月23日条例第1号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月28日条例第29号)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

2 この条例の施行前に承認した静岡県立美術館の使用に係る使用料の額は、改正後の静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成31年3月26日条例第18号)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

2 この条例の施行前に承認した静岡県立美術館の使用に係る使用料の額は、改正後の静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(令和5年3月29日条例第14号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

附 則(令和7年3月27日条例第19号)

この条例は、令和7年4月1日から施行する。

附 則(令和7年12月25日条例第56号)

1 この条例は、令和8年4月1日から施行する。

2 この条例の施行前に承認した静岡県立美術館の使用に係る使用料の額は、改正後の別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1(第3条関係)

(一部改正〔平成22年条例23号・令和7年19号・56号〕)

(1) 常設展示

| 利 用 区 分 | 観 覧 料      |
|---------|------------|
| 個 人     | 500円       |
| 団 体     | 1人につき 400円 |

備考

1 個人とは、満15歳以上の者であつて、中学校、高等学校及び大学の在学者並びにこれらに準ずる者以外のものをいう。

2 団体とは、20人以上をいう。

3 企画展示と常設展示を併せて観覧する場合の常設展示の観覧料は、減額し、又は無料とすることができる。

(2) 企画展示  
所要経費等を勘案して知事がその都度定める額  
別表第2（第5条関係）

| 利用区分 | 特別観覧料          |
|------|----------------|
| 模写   | 1点1日につき 2,000円 |
| 模造   | 1点1日につき 2,000円 |
| 撮影   | 1点1回につき 4,000円 |
| 熟覧   | 1点1日につき 1,000円 |
| 原板使用 | 1点1回につき 3,000円 |

別表第3（第9条関係）  
（一部改正〔平成元年条例43号・4年14号・8年11号・11年16号・13年45号・15年2号・26年29号・31年18号・令和7年56号〕）

(1) 県民ギャラリー

| 利用区分        | 使用料           |         |
|-------------|---------------|---------|
|             | 10時から17時30分まで |         |
| 入場料を徴収する場合  | 県民ギャラリーA      | 18,300円 |
|             | 県民ギャラリーB      | 13,800円 |
| 入場料を徴収しない場合 | 県民ギャラリーA      | 12,200円 |
|             | 県民ギャラリーB      | 9,200円  |

(2) 講堂

| 使用料           |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 午前            | 午後            | 全日            |
| 10時から12時30分まで | 13時から17時30分まで | 10時から17時30分まで |
| 8,100円        | 14,700円       | 22,800円       |

■静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例  
施行規則

平成3年3月26日  
規則第24号  
改正 平成5年3月25日規則第13号  
平成6年3月10日規則第5号  
平成9年3月28日規則第51号  
平成12年3月31日規則第17号  
平成13年7月24日規則第59号  
平成20年3月31日規則第19号  
令和元年7月1日規則第4号  
令和3年3月26日規則第5号  
令和7年3月27日規則第16号

静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例  
施行規則をここに制定する。

静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例  
施行規則

（趣旨）  
第1条 この規則は、静岡県立美術館の設置、管理及び  
使用料に関する条例（昭和60年静岡県条例第38号。以

下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定める  
ものとする。

（開館時間及び休館日）  
第2条 静岡県立美術館（以下「美術館」という。）の開  
館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、美  
術館の長（以下「館長」という。）が特に必要と認める  
場合には、開館時間を変更し、又は休館日に開館し、  
若しくは休館日以外の日に休館することができる。  
(1) 開館時間 午前10時から午後5時30分まで。ただ  
し、入館時間は、午後5時までとする。  
(2) 休館日  
ア 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭  
和23年法律第178号）に規定する休日にあたるとき  
は、その翌日以降の最初の休日でない日）  
イ 12月27日から翌年の1月3日までの日  
（一部改正〔平成9年規則51号・13年59号〕）

（観覧手続）  
第3条 常設展示又は企画展示を観覧しようとする者は、  
条例第3条に規定する観覧料を納付し、観覧券の交付  
を受けなければならない。ただし、館長が認めた団体  
については、観覧後に観覧料を納めることができる。

（特別観覧手続）  
第4条 条例第4条第1項に規定する特別観覧をしよう  
とする者は、あらかじめ、様式第1号による特別観覧  
承認申請書を館長に提出しなければならない。  
2 館長は、特別観覧を承認したときは、特別観覧承認  
書を当該申請をした者に交付するものとする。

（県民ギャラリー等の使用手続）  
第5条 条例第6条第1項に規定する県民ギャラリー等  
を使用しようとする者は、あらかじめ、様式第2号に  
よる県民ギャラリー等使用承認申請書を館長に提出し  
なければならない。  
2 館長は、県民ギャラリー等の使用を承認したときは、  
県民ギャラリー等使用承認書を当該申請をした者に交  
付するものとする。

（使用の制限）  
第6条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対  
して、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。  
(1) 館内の風紀若しくは秩序を乱し、又は設備を損傷  
するおそれのある者  
(2) 館内の諸規程に違反し、又は管理運営上支障があ  
ると認められる者  
(3) その他館長の指示等に違反した者  
（譲渡等の禁止）

第7条 第4条第2項又は第5条第2項の規定による承  
認を受けた者（以下「使用権利者」という。）は、その  
権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。  
（原状回復）

第8条 使用権利者は、その使用を終わったときは、速

やかに、県民ギャラリー等を原状に復しなくてはならない。条例第8条第1項の規定により使用の承認の取消し等の処分を受けたときも、同様とする。

(損害賠償)

第9条 美術館の利用者は、自己の責めに帰すべき理由により、美術館の施設若しくは設備を損傷し、又は美術品等を亡失し、若しくは損傷したときは、その損害を賠償しなければならない。

(観覧料等の減免)

第10条 条例第10条の規定による観覧料等の減免は、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとし、その減免する額は、当該各号に定める額とする。

- (1) 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳若しくは難病の患者に対する医療等に関する法律(平成26年法律第50号)第7条第4項に規定する医療受給者証の交付又は同法第28条第2項の規定による指定難病にかかっている旨の証明を受けている者(以下「障害者」という。)が常設展示又は企画展示を観覧する場合 観覧料の全額
- (2) 障害者が常設展示又は企画展示を観覧するときに現に付き添って介護をしている者(障害者1人につき1人に限る。)が常設展示又は企画展示を観覧する場合 観覧料の全額
- (3) 70歳以上の者が常設展示を観覧する場合 観覧料の全額
- (4) 70歳以上の者が企画展示を観覧する場合 観覧料(団体で利用する場合の観覧料が定められている場合であって当該観覧料の適用を受けるときは当該観覧料をいい、観覧料が2以上定められている場合にあっては一般の観覧料(小学校就学の始期に達するまでの者並びに小学校、中学校、高等学校及び大学の在学者並びにこれらに準ずる者に適用される観覧料以外の観覧料をいう。)をいう。)の2分の1の額(当該額に100円未満の端数があるときは、これを100円に切り上げた額)
- (5) 幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教育課程に基づく教育活動(これらに準ずるものを含む。)として常設展示を観覧する幼児、児童、生徒等を引率する者が常設展示を観覧する場合 観覧料の全額
- (6) 幼稚園、小学校又は中学校の教育課程に基づく教育活動(これらに準ずるものを含む。)として企画展示を観覧する幼児、児童、生徒等を引率する者が企画展示を観覧する場合 観覧料の全額
- (7) その他館長が特別の理由があると認める場合 館長が別に定める額

2 観覧料等の減免を受けようとする者は、あらかじめ、様式第3号による観覧料等減免申請書を館長に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、前項第1号から第4号までに規定する者が常設展示若しくは企

画展示を観覧するとき、又は前項第7号に該当する場合であって館長がその必要がないと認めるときは、この限りでない。

3 館長は、観覧料等の減免を承認したときは、観覧料等減免承認書を当該申請をした者に交付するものとする。

(一部改正〔平成5年規則13号・9年51号・12年17号・20年19号・令和7年 号〕)

(観覧料等の還付)

第11条 条例第11条ただし書の規定による観覧料等の還付は、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとする。

(1) 観覧者、特別観覧者又は県民ギャラリー等の使用者の責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧又は県民ギャラリー等の使用ができなくなったとき。

(2) その他館長が特別の理由があると認めるとき。

2 観覧料等の還付を受けようとする者は、観覧券又は様式第4号による特別観覧料(使用料)還付申請書を館長に提出しなければならない。ただし、前項第1号に規定する理由に該当する特別観覧料及び県民ギャラリー等使用料の還付については、この限りでない。

(委任)

第12条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成5年3月25日規則第13号)

この規則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則(平成6年3月10日規則第5号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成9年3月28日規則第51号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月31日規則第17号)

1 この規則は、平成12年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際改正前の静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例施行規則の様式(以下「旧様式」という。)により提出されている申請書は、改正後の静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例施行規則の相当する様式により提出された申請書とみなす。

3 この規則の施行の際旧様式により作成されている用紙は、当分の間、調整して使用することができる。

附 則(平成13年7月24日規則第59号)

この規則は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成20年3月31日規則第19号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(令和元年7月1日規則第4号)

1 この規則は、不正競争防止法等の一部を改正する法

- 律（平成30年法律第33号）の施行の日（令和元年7月1日）から施行する。
- 2 この規則の施行の際現に改正前のそれぞれの規則の様式により提出されている申請書等は、改正後のそれぞれの規則の相当する様式により提出された申請書等とみなす。
- 3 この規則の施行の際現に改正前のそれぞれの規則の様式により作成されている用紙は、当分の間、調整して使用することができる。

**附 則（令和3年3月26日規則第5号）**

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現に改正前のそれぞれの規則の規定及び様式により提出されている申請書等は、改正後のそれぞれの規則の相当する規定及び様式により提出されたものとみなす。
- 3 この規則の施行の際現に改正前のそれぞれの規則の様式により作成されている用紙は、当分の間、調整して使用することができる。

**附 則（令和7年3月27日規則第16号）**

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

**様式第1号（第4条関係）**

（用紙 日本産業規格A4縦型）  
（一部改正〔平成6年規則5号・12年17号・令和元年4号〕）

**特別観覧承認申請書**

年 月 日

静岡県立美術館長 様

住所

氏名

電話番号

次のとおり特別観覧の承認を受けたいので、申請します。

| 美術品の名称        |      | 作者名 |    |            | 点数           |  |
|---------------|------|-----|----|------------|--------------|--|
|               |      |     |    |            |              |  |
| 特別観覧<br>の 目 的 |      |     |    |            |              |  |
| 区分            | 模写   | 模造  | 撮影 | 熟覧         | 原板使用         |  |
| 日時            | 年    | 月   | 日  | 時から<br>時から | 時まで<br>時まで   |  |
| 内訳            | 模 写  | 点   | 日  | 円          | 合 計<br><br>円 |  |
|               | 模 造  | 点   | 日  | 円          |              |  |
|               | 撮 影  | 点   | 回  | 円          |              |  |
|               | 熟 覧  | 点   | 日  | 円          |              |  |
|               | 原板使用 | 点   | 回  | 円          |              |  |
| 備考            |      |     |    |            |              |  |

**様式第2号（第5条関係）**

（用紙 日本産業規格A4縦型）  
（一部改正〔平成6年規則5号・12年17号・令和元年4号〕）

**県民ギャラリー等使用承認申請書**

年 月 日

静岡県立美術館長 様

住所 〔法人にあっては、その主たる事務所の所在地〕  
氏名 〔法人にあっては、その名称及び代表者の氏名〕

次のとおり県民ギャラリー等の使用の承認を受けたいので、申請します。

|            |              |   |      |    |     |
|------------|--------------|---|------|----|-----|
| 展覧会、講演等の名称 |              |   |      |    |     |
| 展覧会、講演等の内容 |              |   |      |    |     |
| 使 用 区 分    | 県民ギャラリー（Ａ・Ｂ） |   |      | 講堂 |     |
| 使 用 期 間    | 年            | 月 | 日（ ） | 時  | 分から |
|            | 年            | 月 | 日（ ） | 時  | 分まで |
|            |              |   |      | 日間 |     |
| 入場料等の徴収の有無 | 有・無          |   | 円    |    |     |
| 主 催 者 名    |              |   |      |    |     |
| 連絡責任者及び電話  |              |   |      |    |     |
| 後 援 者 名    |              |   |      |    |     |

（注）展覧会、講演等の詳細な内容を記載した書類を添えてください。

**様式第3号（第10条関係）**

（用紙 日本産業規格A4縦型）  
（一部改正〔平成6年規則5号・令和元年4号・3年5号〕）

**観覧料等減免申請書**

年 月 日

静岡県立美術館長 様

住所 〔法人にあっては、その主たる事務所の所在地〕  
氏名 〔法人にあっては、その名称及び代表者の氏名〕

次のとおり観覧料等の減免の承認を受けたいので、申請します。

|                           |     |       |       |   |     |
|---------------------------|-----|-------|-------|---|-----|
| 減 免 申 請 の 区 分             | 観覧料 | 特別観覧料 | 使用料   |   |     |
| 申 請 の 理 由                 |     |       |       |   |     |
| 日                         | 年   | 月     | 日 ( ) | 時 | 分から |
| 時                         | 年   | 月     | 日 ( ) | 時 | 分まで |
| 観 覧 人 員                   | 人   |       |       |   |     |
| 県民ギャラリー等使用の<br>場合は、推定入場人員 | 人   |       |       |   |     |
| 責 任 者 氏 名                 |     |       |       |   |     |
| 責 任 者 電 話 番 号             |     |       |       |   |     |
| 観 覧 料 等                   | 円   |       |       |   |     |
| 減 免 申 請 額                 | 円   |       |       |   |     |

様式第 4 号（第11条関係）  
（用紙 日本産業規格A 4 縦型）  
（一部改正（平成 6 年規則 5 号・令和元年 4 号・3 年 5 号））

特別観覧料  
使 用 料

還付申請書

年 月 日

静岡県立美術館長 様

住所 〔法人にあっては、その  
主たる事務所の所在地〕  
氏名 〔法人にあっては、その  
名称及び代表者の氏名〕

次のとおり特別観覧料の還付を受けたいので、申請します。  
使 用 料

|                        |   |
|------------------------|---|
| 特別観覧承認書等の<br>年月日及び文書番号 |   |
| 還付を受けようとする理由           |   |
| 還付を受けようとする金額           | 円 |

（静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例  
施行規則第10条の表中に掲げる特別の理由及び別に定め  
る額の範囲について）

静岡県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例  
施行規則（平成3年静岡県規則第24号）第10条の表中「そ  
の他館長が特別な理由があると認めるとき。」は、次の表  
の左欄に該当する場合とし、同条の表中「減免する額」  
は次の表の右欄に掲げる額とする。

| 観覧料等を減免する場合                                                  | 減免する額                      |
|--------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 大学等の教員、美術館等の学芸員及びその<br>他の研究者が学術研究のために特別観<br>覧するとき。           | 特別観覧料の全額                   |
| 小学校、中学校、高等学校及び特殊教育<br>諸学校の教諭が教科研究のために特別観<br>覧するとき。           | 特別観覧料の全額                   |
| 新聞社及び出版社等が掲載する記事のた<br>めに特別観覧する場合であって、美術館<br>の宣伝に役立つと認められるとき。 | 特別観覧料の全額                   |
| 静岡県立美術館と実質共催で事業を行う<br>ために県民ギャラリー等を使用するとき。                    | 使 用 料 の 全 額                |
| 静岡県立美術館と名義共催で事業を行う<br>ために県民ギャラリー等を使用するとき。                    | 使用料の 2 分の 1<br>に 相 当 す る 額 |
| その他館長が特別な理由があると認め<br>るとき。                                    | 館長が別に定める<br>額              |

附則

この規程は、平成3年4月1日より施行する。

■静岡県立美術館県民ギャラリー利用規程

（目的）

第 1 条 静岡県立美術館の組織及び管理に関する条例施  
行規則（平成3年静岡県規則第24号）第 5 条及び第12条  
に基づき、県民ギャラリーの管理を適正に行うため、  
次のとおりこの規程を定める。

（利用範囲）

第 2 条 県民ギャラリーは、美術に関する展覧会を開催  
する場合に利用できる。

2 美術に関する展覧会であっても、収益を目的とする  
場合は利用できない。

（使用期間）

第 3 条 使用期間は、原則として 1 週間（月曜日13時～  
翌週月曜日12時30分）を単位とし、引き続き使用する  
場合は最大4週間とする。

2 使用期間は、搬出入を含めて10時から17時30分まで  
とする。

（申込期間）

第 4 条 申込期間は使用希望する月の 6 ヶ月前の 1 から 15  
日とする。ただし、使用希望日が月をまたがる場合は、  
翌月使用の申込とする。

2 優先予約を希望する場合は、使用希望する月の 7 ヶ月  
前の 1 日から 15 日とする。

| 使用希望月 | 申込期間             | 優先予約申込期間           |
|-------|------------------|--------------------|
| 4 月   | 前年10月 1 日～10月15日 | 前年 9 月 1 日～ 9 月15日 |
| 5 月   | 前年11月 1 日～11月15日 | 前年10月 1 日～10月15日   |
| 6 月   | 前年12月 1 日～12月15日 | 前年11月 1 日～11月15日   |
| 7 月   | 1 月 1 日～ 1 月15日  | 前年12月 1 日～12月15日   |
| 8 月   | 2 月 1 日～ 2 月15日  | 1 月 1 日～ 1 月15日    |
| 9 月   | 3 月 1 日～ 3 月15日  | 2 月 1 日～ 2 月15日    |
| 10月   | 4 月 1 日～ 4 月15日  | 3 月 1 日～ 3 月15日    |
| 11月   | 5 月 1 日～ 5 月15日  | 4 月 1 日～ 4 月15日    |
| 12月   | 6 月 1 日～ 6 月15日  | 5 月 1 日～ 5 月15日    |
| 1 月   | 7 月 1 日～ 7 月15日  | 6 月 1 日～ 6 月15日    |
| 2 月   | 8 月 1 日～ 8 月15日  | 7 月 1 日～ 7 月15日    |
| 3 月   | 9 月 1 日～ 9 月15日  | 8 月 1 日～ 8 月15日    |

（申込方法）

第 5 条 使用しようとする者は、インターネットにより、  
静岡県施設予約システム「とれるnet」から申し込む。

（設備取り付け等）

第 6 条 使用者が、施設に特別の設備を取り付け、又は、  
備え付け以外の備品を使用する場合は、許可を必要と  
する。

（物品等の販売）

第 7 条 物品の販売を行うときは、あらかじめ館長の許  
可を必要とする。

2 展示品の販売は、一切許可しない。

（展示品等の管理）

第8条 使用期間中の展示品等の管理については、主催者が責任を持って行うものとする。

（現状回復義務）

第9条 搬出時には、搬入した作品をすべて搬出すると共に、施設等を現状に復し、美術館職員の点検を受けなければならない。残留された物品等に関しては、美術館職員は一切責任を負わない。

（職員の立ち入り）

第10条 管理上必要があると認めたときは、美術館職員が貸出施設に立ち入ることができる。

附 則

この規程は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成13年10月1日より施行する。

附 則

この改正は、平成15年4月1日より施行する。

附 則

この改正は、平成21年4月1日より施行する。

附 則

この改正は、令和元年12月25日から施行する。

## ■静岡県立美術館講堂利用規程

（目的）

第1条 静岡県立美術館の組織及び管理に関する条例施行規則（平成3年静岡県規則第24号）第5条及び第12条に基づき、講堂の管理を適正に行うため、次のとおりこの規定を定める。

（利用範囲）

第2条 講堂は、芸術文化の発表と普及の目的以外での使用は認めない。

2 芸術文化の発表の目的で使用する場合であっても、入場料を徴収する場合は利用できない。

（使用期間）

第3条 使用期間は、1日もしくは半日とする。

2 使用時間は、1日の場合は午前10時から17時30分までとし、半日の場合、午前は、10時から12時30分まで、午後は、13時から17時30分までとする。

（申込期間）

第4条 申込期間は、使用希望する月の6ヶ月前の1日から15日とする。

2 県民ギャラリーにおいて優先予約を申請する場合のみ、講堂の優先予約を認めるものとする。なお、優先予約の申込期間は、使用希望する月の7ヶ月前の1日から15日とする。

（申込方法）

第5条 使用しようとする者は、インターネットにより、静岡県施設予約システム「とれるnet」から申し込む。

（設備取り付け等）

第6条 使用者が、施設に特別の設備を取り付け、又は、備え付け以外の備品を使用する場合は、許可を必要とする。

（物品等の販売）

第7条 物品の販売を行うときは、あらかじめ館長の許可を必要とする。

（備品の管理）

第8条 使用中の備品等の管理については、主催者が責任を持って行うものとする。

（現状回復義務）

第9条 退出時には施設等を原状に復し、美術館の点検を受けなければならない。残留された物品に関しては、美術館は一切責任を負わない。

（職員の立ち入り）

第10条 管理上必要があると認めたときは、美術館職員が貸出施設に立ち入ることができる。

附則

この規程は、平成21年4月1日より施行する。

## ■静岡県立美術館専門委員設置要綱

（設置）

第1条 静岡県立美術館（以下「美術館」という。）の美術品収集等専門的事項を適切に処理するため、美術館に静岡県立美術館専門委員（以下「委員」という。）を置く。

（職務）

第2条 委員は次に掲げる事項について意見を述べる。

（1）美術品の選定に関すること。

（2）その他美術に関する専門的事項に関すること。

（組織）

第3条 委員は6名以内とする。

2 特別の事項を調査する必要があるときは、美術館長は臨時委員を委嘱することができる。

3 美術品の選定については、物件ごとに3人以上の委員又は臨時委員とする。

（委嘱）

第4条 委員及び臨時委員は美術に関する専門的知識を有する者の中から美術館長が委嘱する。

（任期）

第5条 委員の任期は2年とする。

2 委員は再任することができる。

3 臨時委員は当該特別事項の調査が終了したときは退任するものとする。

（委任）

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員に関し必要な事項は、美術館長が別に定める。

附則

この要綱は、昭和61年10月1日から施行する。

- 2 静岡県立美術館顧問設置要綱（昭和57年9月1日施行）及び静岡県立美術館資料選定委員設置要綱（昭和57年9月1日施行）は廃止する。

## ■静岡県立美術館協議会設置要綱

（設置）

第1条 静岡県立美術館の運営を円滑に進めるため、美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、静岡県立美術館協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（協議会の委員）

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、知事が任命する。

- 2 委員の定数は、15人以内とする。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、その委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 4 委員は、再任することができる。

（協議会の会長等）

第3条 協議会に、会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 5 会長及び副会長とともに事故があるとき、又は会長及び副会長がともに欠けたときは、あらかじめ会長が指定した委員がその職務を代理する。

（協議会の会議）

第4条 協議会は、会長が召集する。

- 2 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

（協議会の庶務）

第5条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

（その他）

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。

## 附 則

- 1 この要綱は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 第2条第1項の規定にかかわらず、この要綱施行の際現に県立美術館の設置、管理及び使用料に関する条例（昭和60年12月23日条例第38号）第13条に規定する静岡県立美術館協議会の委員に任命されている者は、協議会の委員に任命されたものとみなす。
- 3 前項の規定により協議会の委員に任命されたものとみなされた者の任期は、平成4年7月31日までとする。

## 附 則

- 1 この要綱は、平成20年12月17日から施行する。

## ■静岡県立美術館資料評価委員会要綱

（設置）

第1条 静岡県立美術館に収蔵する資料を適正に評価するため、静岡県立美術館に資料評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（職務）

第2条 委員会は、委員5人以内で組織する。

- 2 委員会は、別表にある者をもってこれに充てる。
- 3 委員会に会長及び副会長を置く。
- 4 会長にはスポーツ・文化観光部長、副会長には、部長代理をもってこれに充てる。
- 5 会長は、会務を総理する。
- 6 副会長は会長を補佐し、会長に事故のあるときはその職務を代理する。

（会議）

第3条 委員会は、会長が召集する。

（専門評価員）

第4条 委員会に、専門評価員を置く。

- 2 専門評価員は、美術館長がこれを委嘱する。
- 3 専門評価員は、物件ごとに3人以上とする。
- 4 専門評価員は、会長の求めに応じて個々に独立して物件の価格評価を行い、評価の結果を会長に報告するものとする。
- 5 専門評価員は、静岡県立美術館の専門委員を兼ねることができない。
- 6 専門評価員は、任務が終了したときは解嘱されるものとする。

（庶務）

第5条 委員会に関する庶務は、静岡県立美術館において行う。

（その他）

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

## 附 則

この要綱は、平成3年9月1日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成7年4月1日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成10年4月1日から施行する。

## 附 則

この改正は、平成11年4月1日から施行する。

## 附 則

この改正は、平成12年4月1日から施行する。

## 附 則

この改正は、平成13年4月1日から施行する。

## 附 則

この改正は、平成14年4月1日から施行する。

## 附 則

この改正は、平成19年4月1日から施行する。

## 附 則

この改正は、令和2年4月1日から施行する。

## 附 則

この改正は、令和7年4月1日から施行する。

別表

|                                      |
|--------------------------------------|
| スポーツ・文化観光部長 部長代理 参事<br>文化政策課長 美術館副館長 |
|--------------------------------------|

## ■静岡県立美術館協議会傍聴要領

### 1 傍聴する場合の手続

- (1) 会議の傍聴を希望する方は、会議の開催予定時刻までに、受付で氏名、住所を記入し、事務局の指示に従って会場に入室してください。
- (2) 傍聴の受付は先着順で行います。定員になり次第、受付を終了します。

### 2 傍聴に当たって守るべき事項

傍聴者は次の事項を守ってください。

- (1) 会議開催中は、静粛に傍聴すること。発言、拍手その他の方法による可否の表明等をしないこと。
- (2) 会場内での飲食、喫煙はしないこと。
- (3) 会場内での写真撮影、録画、録音等を行わないこと。ただし、会長の許可を得た場合はこの限りではない。
- (4) その他、会議の支障となる行為はしないこと。

### 3 秩序の維持

- (1) 傍聴者は係員の指示に従ってください。
- (2) 傍聴者が2の規定に違反したときは、退場していただく場合があります。

## ■静岡県立美術館第三者評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 静岡県立美術館（以下「美術館」という。）では、より良いサービスの提供を図るため、事業の運営等の効果について、多面的かつ客観的な測定・評価を行う自己評価活動を実施しているが、美術館の自律的かつ継続的な運営改善を推進するため、美術館の自己評価及び県庁の支援体制等を第三者の視点から評価する「静岡県立美術館第三者評価委員会」（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所管する。

- (1) 美術館の自己評価に対する2次評価

(2) 県庁の支援体制等に関する評価

(3) 評価結果の報告及びそれに基づく美術館の運営改善に向けた提言

(4) その他、この委員会の目的達成に関すること  
(委員)

第3条 委員は、知事が委嘱する。

2 委員の人数は、10名以内とする。

3 委員の任期は2年とする。ただし、その委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。  
(委員長)

第4条 委員会に、委員長1人を置く。

2 委員長は、知事が指名する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。  
(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は公開とし、その傍聴に関して必要な事項は、別に定める。

3 委員会は、必要に応じて個別課題検討のための分科会を置くことができる。

4 委員会及び分科会には、委員以外の者に出席を求めることができる。

(事務局)

第6条 委員会の事務を処理するため、事務局を静岡県スポーツ・文化観光部文化政策課内に置く。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

## 附 則

1 この要綱は、平成18年9月21日から施行する。

2 この要綱の施行の日に委嘱する委員の任期は、第3条第3項の規定にかかわらず、平成20年3月31日までとする。

(最終改正 令和2年9月30日)

## ■静岡県立美術館第三者評価委員会運営要領

(趣旨)

第1 この要領は、「静岡県立美術館第三者評価委員会」（以下「委員会」という。）の運営に関し、静岡県立美術館第三者評価委員会設置要綱（以下「要綱」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。  
(報償費及び旅費)

第2 委員会及び要綱第5条の委員会及び分科会へ出席した委員には、次のとおり報償費及び旅費を支給する。

(1) 報償費

|        |         |
|--------|---------|
| 委員長    | 12,500円 |
| その他の委員 | 11,500円 |

要綱第5条第4項の規定に基づき会議に出席した者

11,500円

(2) 旅費

県の旅費計算方法に準じて計算した額

- 2 前項に規定するもののほか、委員会及び分科会における検討に必要な作業、打合せ等を行った委員には、別に定める報償費及び旅費を支給することができる。

(文書等の記号及び番号)

第3 施行する文書等には、次に定めるところにより、記号及び番号を付するものとする。

(1) 記号は「三評」とする。

(2) 番号は、別紙文書収発簿により付するものとする。

ただし、軽易な文書等については番号を省略し、号外で処理することができる。

(雑則)

第4 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要領は、平成18年9月21日から施行する。

(最終改正 令和7年4月30日)

## 組織・名簿

|     | 館長  | 副館長 | 総務課 | 学芸課 | 計   |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 常 勤 |     | 1 人 | 8 人 | 11人 | 20人 |
| 非常勤 | 1 人 |     |     | 4 人 | 5 人 |

### ■美術館協議会委員

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 日比野 秀 男 | 掛川市二の丸美術館館長                     |
| 堀 切 正 人 | 掛川市ステンドグラス美術館館長                 |
|         | 常葉大学教育学部教授                      |
|         | 常葉ギャラリー館長                       |
| 松 永 由弥子 | 静岡産業大学スポーツ科学部教授                 |
| 上 原 広 彦 | (株)静岡新聞社編集局長兼CMS導入準備室長          |
| 加 藤 種 男 | 静岡文化財団アーツカウンシルしずおか アーツカウンシル長    |
| 石 井 康 義 | 静岡市校長会図工・美術部部長（静岡市立南薬科小学校校長）    |
| 鬼 頭 宏   | 静岡県文化協会会長                       |
| 曾 根 正 弘 | 静岡県立美術館友の会会長                    |
| 富 沢 壽 勇 | 地域連携機関（ムセイオン）代表（静岡県立大学副学長）      |
| 二 宮 徹   | NHK静岡放送局長                       |
| 富 澤 かな  | 東京大学大学院人文社会系研究科准教授              |
| 鈴 木 雅 道 | 高等学校美術・工芸教育研究会会長（県立浜松江之島高等学校校長） |
| 神 戸 重 敏 | （社）静岡県観光協会 専務理事                 |

### ■専門委員

|         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 榊 原 悟   | 岡崎市美術博物館館長・おかざき世界子ども美術博物館特任館長 |
|         | 群馬県立女子大学名誉教授                  |
| 栗 田 秀 法 | 跡見学園女子大学文学部教授                 |
| 潮 江 宏 三 | 京都市立芸術大学名誉教授                  |
| 建 畠 哲   | 埼玉県立近代美術館館長                   |
|         | 京都芸術センター館長                    |
| 山 梨 絵美子 | 千葉市美術館長                       |

### ■資料評価委員

|         |                   |
|---------|-------------------|
| 都 築 直 哉 | 静岡県スポーツ・文化観光部長    |
| 平 塚 晴 利 | 静岡県スポーツ・文化観光部部長代理 |
|         |                   |
| 松 田 有 紀 | 静岡県スポーツ・文化観光部参事   |
| 鈴 木 亜紀子 | 静岡県文化政策課長         |
| 滝 正 晴   | 静岡県立美術館副館長        |

### ■職 員

|           |         |
|-----------|---------|
| 館 長       | 木 下 直 之 |
| 副 館 長     | 滝 正 晴   |
| 企画総務課長    | 稲 葉 寿 久 |
| 企画総務班長    | 山 梨 利 之 |
| 主 査       | 一 條 直 子 |
| 主 任       | 落 合 芳 彦 |
| 主 任       | 伊 藤 圭   |
| 主 事       | 柳 田 篤 志 |
| 主 事       | 佐々木 萌   |
| 主 事       | 川 口 真 歩 |
| 学 芸 課 長   | 石 上 充 代 |
| 上 席 学 芸 員 | 新 田 建 史 |
| 上 席 学 芸 員 | 川 谷 承 子 |
| 上 席 学 芸 員 | 喜 多 孝 臣 |
| 上 席 学 芸 員 | 植 松 篤   |
| 上 席 学 芸 員 | 貴 家 映 子 |
| 上 席 学 芸 員 | 浦 澤 倫太郎 |
| 主 任 学 芸 員 | 薄 田 大 輔 |
| 主 任 学 芸 員 | 古 家 満 葉 |
| 主 任       | 南 美 幸   |
| 主 任       | 山 本 勇 実 |

（スポーツ・文化観光部参与（県立美術館駐在）和田誉雄）

### ■会計年度任用職員

|                     |
|---------------------|
| 中 島 友 絵             |
| 馬 場 夢 乃             |
| 中 村 紀代美             |
| 岡 崎 あさ乃（～令和7年8月14日） |

## 歳入・歳出決算

### ■歳入決算

(単位：千円)

| 項 目          | 金 額     |
|--------------|---------|
| 美術館観覧料       | 16,351  |
| 共催展収入        | 141,630 |
| 県民ギャラリー等使用料  | 3,123   |
| 財産売却・貸付・運用収入 | 5,632   |
| 助成金等         | 15,165  |
| その他          | 2,367   |
| 企業寄附金        | 0       |
| 計            | 184,268 |

### ■歳出決算

(単位：千円)

| 項 目      | 金 額     |
|----------|---------|
| 管理費      | 283,741 |
| 運営費      | 54,701  |
| 施設管理費    | 229,040 |
| 事業費      | 137,973 |
| 企画展事業費   | 113,389 |
| 常設展事業費   | 4,774   |
| 資料・普及事業費 | 19,810  |
| 館蔵品取得費   | 1,100   |
| 施設整備費    | 0       |
| 基金積立     | 3,069   |
| 計        | 425,883 |

## 建築・設備概要

### ■建築概要

| 区 分                       | 本 館                                                                                                         | ロ ダ ン 館                                                                                                                                    |
|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所 在 地<br>敷 地<br>構 造 ・ 規 模 | 静岡市駿河区谷田53番2号<br>県文化センター内（約130,000㎡）<br>鉄骨鉄筋コンクリート造、地上2階建<br>建築面積：6,624.07㎡<br>延床面積：9,238.51㎡               | 同左<br>同左<br>鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、2階建<br>建築面積：2,391.25㎡<br>延床面積：3,024.36㎡                                                                       |
| 仕 上                       | 外壁：湿式磁器炉器質無釉タイル貼<br>屋根：緑青銅板大和葺アスファルト断熱防水<br>床：花崗岩高熱粗面仕上、タイルカーペット、<br>長尺塩化ビニールシート貼、フローリング<br>壁：安山岩「由良赤石」半磨仕上 | 外壁：花崗岩ジェットバーナー仕上、タイル貼、タ<br>イル打込P C板、吹付タイル<br>屋根：カラスステンレス葺、トップライト（アルミ、<br>複層ガラス）<br>床：タイルカーペット<br>壁：大理石、インド砂岩、クロス貼<br>天井：石綿吸音板、クロス貼、アルミルーバー |
| 工 期                       | 昭和59年3月～昭和60年8月                                                                                             | 平成4年3月～平成5年11月                                                                                                                             |

### ■設備概要

| 区 分         | 本 館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ロ ダ ン 館                                                                                                                                                                                                              |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 電 気 設 備     | 受変電設備 受電電圧6,600V60Hz 変圧器1φ<br>300KVA、3φ400KVAモールド型<br>発 電 設 備 ディーゼル機関4サイクル6気筒、<br>1,800rpm出力375KVA3φ3W6,600V<br>10KW×2台<br>太陽光発電設備<br>蓄電池設備 キュービクル式直流電源装置、充電<br>サイリスタ全自動整流器<br>弱 電 設 備 舞台調光、舞台音響、ITV監視、入<br>館者表示、映像資料（ビデオ）、電<br>話、放送、電気時計、テレビ共聴<br>防災、防犯設備 警備センター集中監視複合盤（自火<br>報、防排煙）、防犯非常錠制御盤、<br>防災アンプ（360W）、ITV監視装置、<br>地図式表示版 | 受変電設備 受電電圧6,600V60Hz 変圧器1φ280K<br>VA、3φ350KVA 契約電力620KW<br>発 電 設 備 ディーゼル機関4サイクル6気筒、1,800<br>rpm出力225KVA3φ3W220V<br>蓄電池設備 屋外キュービクル式直流電源装置<br>弱 電 設 備 ITV監視、入館者表示、ハイビジョン、<br>電話、放送、トイレ呼出表示、調光、<br>テレビ共聴<br>防災、防犯設備 同 左 |
| 空 気 調 和 設 備 | 熱 源 機 器 直焚吸収冷温水発生機（150USRT、<br>40USRT）、温水焚吸収冷温水機（30<br>USRT）、空気熱源回収型スクルー<br>式ヒートポンプ冷凍機（100USRT）、<br>プレート式熱交換機（396,300Kcal/h）<br>蓄 熱 層 冷温水槽550㎡・55㎡、ソーラー用<br>20㎡<br>ソーラーパネル 平板型672枚<br>空気調和機 収蔵庫3系統、展示室2系統、県民<br>ギャラリー1系統、その他4系統及び<br>パッケージ型1台、ファンコイルユニッ<br>ト46台、他空冷ヒートポンプパッケー<br>ジエアコン、ルームエアコン                                    | 熱 源 機 器 直焚吸収冷温水発生機（80USRT）<br>2基、蒸気ボイラー（250Kg/h）2基、<br>空冷チラーユニット（3.77USRT）ブ<br>レート式熱交換機（86,000Kcal/h）<br>冷温水クッションタンク 5㎡<br>冷水クッションタンク 0.75㎡<br>空気調和機 収蔵庫3系統、展示室4系統、全熱交<br>換機（3台）                                     |
| 衛 生 設 備     | 排 煙 機 ロビー系統他3系統3台<br>給 水 設 備 受水槽30㎡（二槽式）、高架水槽12㎡<br>（二槽式）<br>排 水 設 備 公共下水道に放流<br>消 火 設 備 展示室、収蔵庫、ハロン消火設備そ<br>の他屋内消火栓                                                                                                                                                                                                              | 排 煙 機 メイン展示室他2系統4台<br>給 水 設 備 空調用自動給水装置受水槽 5㎡<br>排 水 設 備 公共下水道に放流<br>消 火 設 備 展示室、収蔵庫、ハロン消火設備そ<br>の他屋外消火栓                                                                                                             |
| 昇 降 機 設 備   | 乗 用 ロープ式11人乗750kg<br>荷 物 用 油圧式3,000kg                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 乗 用 油圧式23人乗1,500kg                                                                                                                                                                                                   |

## ■建設工事費

| 区 分    | 本館           | ロダン館         |
|--------|--------------|--------------|
| 建 築    | 3,802,838 千円 | 3,415,995 千円 |
| 外 構    | 397,162      | —            |
| プロムナード | 173,300      | —            |
| 周辺環境整備 | —            | 268,509      |
| 合 計    | 4,373,300    | 3,684,504    |

## ■諸室概要

### ・本館

#### 実技室（114㎡）

絵画彫刻等実技を伴う学習の場となる。その利用は、通年毎週3～4日の自由工房と不定期に行う技法セミナーや実技講座、ワークショップ等である。

#### 図書閲覧室（約20席）

当館は図書資料の整備にも力を入れているが、これを一般の人々にも利用していただこうと設けられたものである。

学芸の書庫と隣接している。

閲覧室には、2台の端末が設置されており、パソコンを使った美術鑑賞ができるようになっている。

#### 情報コーナー（92.3㎡）

全国的美術館や、県内イベントのパンフレットを配架している。令和6年3月より自動販売機を設置した。

#### レストラン（70席 198㎡）

レストラン「Rodin TERRACE」は、㈱なすびが運営している。

#### ミュージアムショップ

展覧会図録、絵ハガキ、館蔵品目録等の美術館の刊行物、美術書等を販売する場所で、2階ロビー内にある。R6年7月より株式会社オークコーポレーションが運営している。

### 諸室の配置

機能性を最重点に考慮して、学芸関係諸室の配置を考えた。まず、学芸員室と図書室が近いこと、次に搬入、収蔵、展示活動に便利な場所に学芸員室が配置されていることなどである。当然、写真撮影室や燻蒸室も学芸員室を中心として配置され、機能性を重視している。

#### 展示室（7室 1,777㎡）

展示室は2階にあり、連続した7つの部屋から構成され、一部を常設展、一部を企画展とし、企画展の規模によって、自由に部屋を間仕切りして使用している。

展示室は、すべて壁付固定ガラスケースが配されている。また、このケースのすべての前面に移動パネルを設置できるようになっている。これにより全室ガラスケース展示が可能であり、逆に全室パネル展示も可能となる。自由に展示構成が考えられ、部屋の雰囲気が一変する。

このガラスケースには、ケース上部にLED照明があり、壁ごとに調光可能となっている。

令和3年度の改修工事において、天井に配置してあるライティング・ダクトの位置を見直すとともに、LED照明に

更新し、より機能的な照明環境となった。

#### 県民ギャラリー（2室 490㎡）

県民の創作活動の発表の場として、個展やグループ展に利用できる。上記展示室同様、可変照明設備、移動展示パネルが設けられている。

#### 講堂（262席 305㎡）

来館者のオリエンテーション、講演会、映画会、小音楽会等、多目的に利用できる。

R7年2月に調光、プロジェクター、音響調整の設備を更新した。

#### 講座室（約30席 71㎡）

美術に関する講座を行う。常設展では展示室ごとに各学芸員がテーマを持って各担当の展示をしているので、それに関連した内容の講座を行っている。企画展開催中は担当学芸員が企画展に関する講座を通常行っている。

画像・映像映写設備、音響設備がある。

#### 授乳室（15.21㎡）

乳児を同伴しているため、十分に美術鑑賞ができない人の利便を図り、より多くの人に芸術文化に親しむ機会を提供するよう、授乳室を開設している。

授乳室 開館日全て

10：00～17：30（夜間開館日は19時まで）

### ・ロダン館

#### ロダンフロア（1,461㎡）

高さ20m天井部にはトップライトを設け、十分な自然光を取り入れることにより室内でありながら、さながら広場のような印象を与えるよう工夫されている。また、高低差のあるスキップ・フロアはあらゆる角度から鑑賞が可能であり、その周囲には高齢者や車椅子利用者が自由に移動できるよう、スロープを巡らしてある。冬季には空調による暖房に加え、電気ヒーター及び温水による床暖房も行っている。

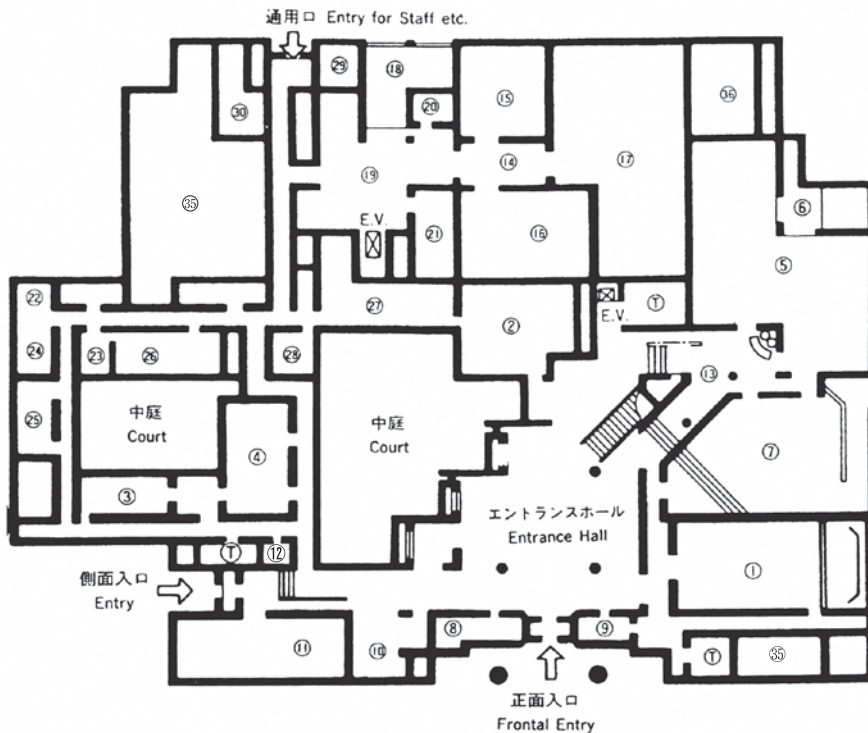
#### 展示室（149㎡）

ロダンに関する様々な情報を提供する部屋として、1階エントランスホールに設けられている。構造的には、ロダンフロアと異なり天井高は標準的で、暖房は空調のみである。展示室にはロダン以前の彫刻等が展示されている。

#### ブリッジ・ギャラリー（276㎡）

本館とロダン館を接続するための通路を兼ねたブリッジ状の展示室で、ロダン以降、現代までの彫刻13点が展示されている。

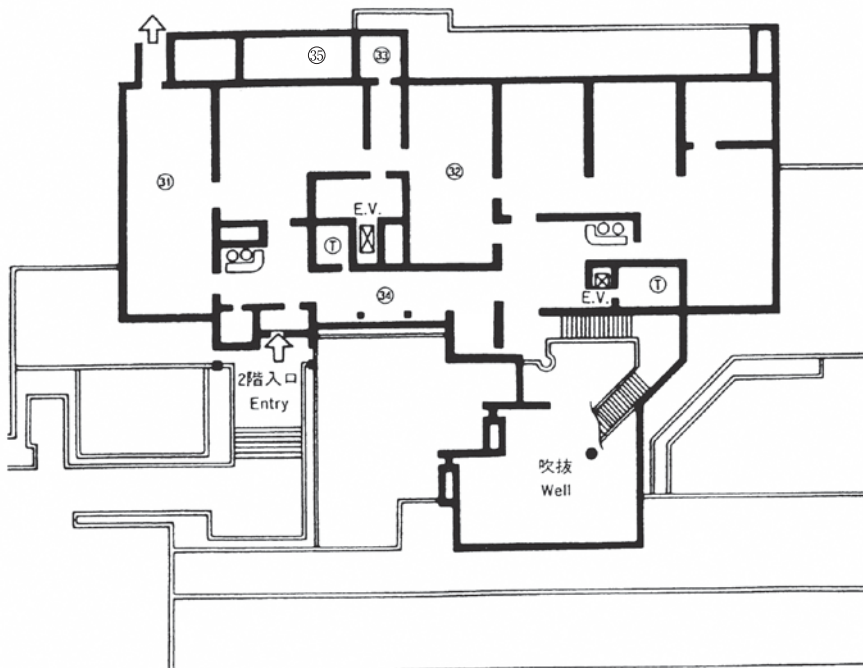
## 1階 First Floor



- ① 講堂 Auditorium
- ② 図書閲覧室 Library
- ③ 講座室 Lecture Room
- ④ 実技室 Atelier
- ⑤ 県民ギャラリー Gallery for Lending
- ⑥ ギャラリー搬入口 Delivery Room
- ⑦ 展示テラス Terrace for Sculpture
- ⑧ ボランティア室 Volunteer's Room
- ⑨ ロッカールーム Cloak Room
- ⑩ 情報コーナー Information Corner

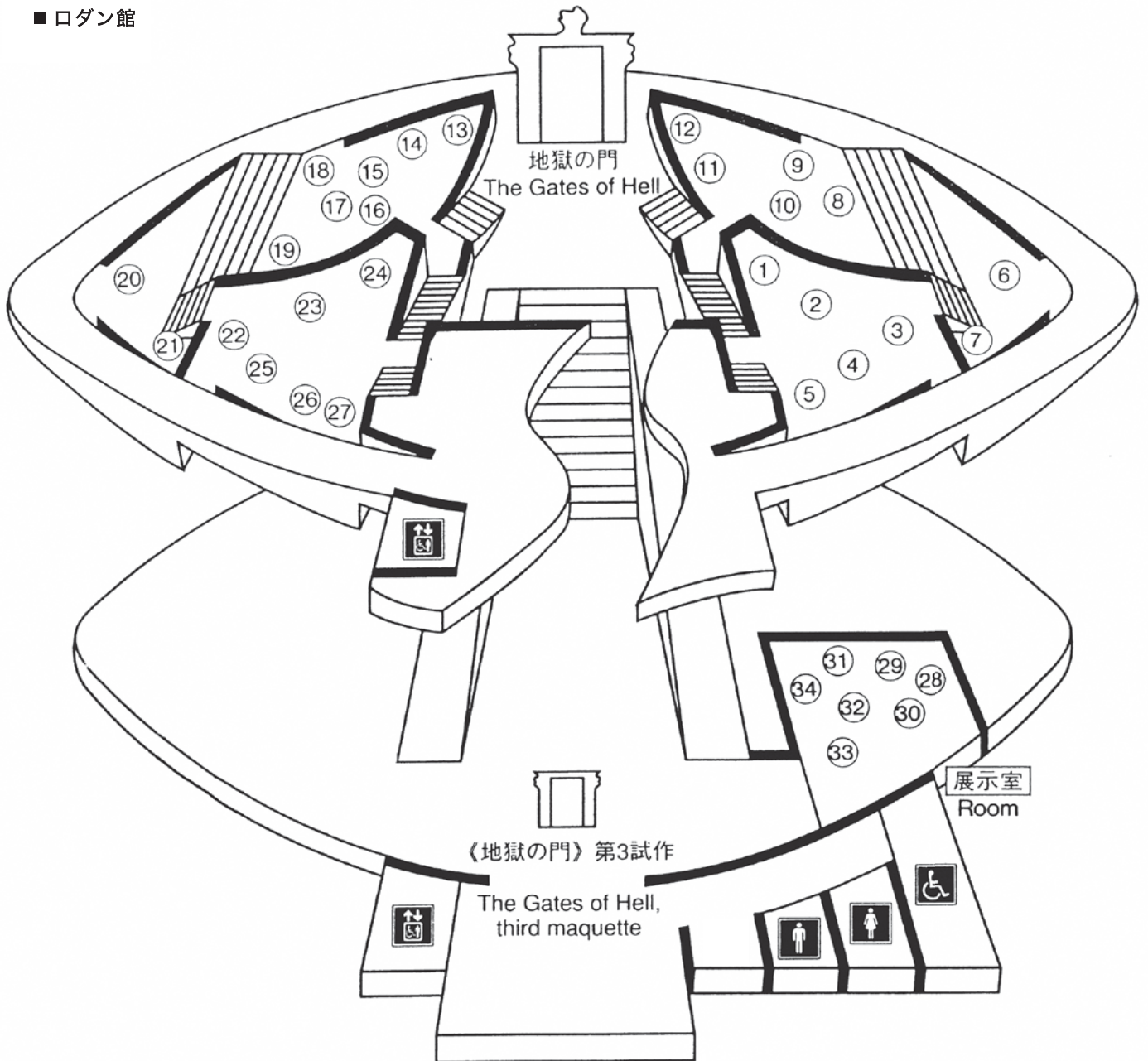
## 2階 Second Floor

⑩ (次頁へ)



- ⑪ レストラン Restaurant
- ⑫ 授乳室 Nursing Room
- ⑬ ギャラリー前ロビー Lobby
- ⑭ 収蔵庫前室 Storage Front
- ⑮ 収蔵庫 1 Storage (1)
- ⑯ 収蔵庫 2 Storage (2)
- ⑰ 収蔵庫 3 Storage (3)
- ⑱ 搬入口 Delivery Room
- ⑲ 荷受室 Packing Room
- ⑳ 燻蒸室 Fumigation Room
- ㉑ 写真撮影室 Photo Studio
- ㉒ 館長室 Director's Room
- ㉓ 副館長室 Vice-Director's Room
- ㉔ 応接室 Reception Room
- ㉕ 会議室 Council Room
- ㉖ 事務室 General Affairs Section
- ㉗ 学芸員室 Curatorial Section
- ㉘ 修復室 Restoration Room
- ㉙ 警備員室 Guards Room
- ㉚ 中央監視室 Central Monitor Room
- ㉛ 常設展示室 Gallery for Permanent Collection
- ㉜ 企画展示室 Gallery for Loan Exhibition
- ㉝ ラウンジ Lounge
- ㉞ ミュージアムショップ Museum Shop
- ㉟ 機械室 Machinery Room
- ㊱ ブリッジ・ギャラリー Bridge Gallery
- ㊲ トイレ W. C.
- E. V. エレベーター Elevator

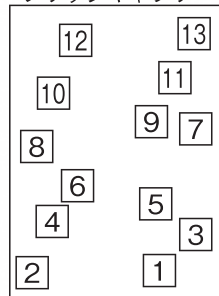
■ ロダン館



ロダン, A

- ① 《カレーの市民》ジャン・デール
- ② 《カレーの市民》ジャン・ド・フィエンス
- ③ 《カレーの市民》ピエール・ド・ヴィッサン
- ④ 《カレーの市民》ジャック・ド・ヴィッサン
- ⑤ 《カレーの市民》アンドリュウ・ダンドル
- ⑥ 《カレーの市民》ユスターシュ・ド・サン＝ピエール
- ⑦ 《カレーの市民》第一試作
- ⑧ ホイッスラーのためのミューズ
- ⑨ 裸のバルザック
- ⑩ バルザックの頭部
- ⑪ 永遠の休息の精
- ⑫ 《永遠の休息の精》のトルソ
- ⑬ 《影》のトルソ
- ⑭ パオロとフランチェスカ
- ⑮ フギット・アモール
- ⑯ 《影》の頭部
- ⑰ 壺をもつカリアティード
- ⑱ シベール
- ⑲ 女のケンタウロスのトルソと絶望する若者  
女のケンタウロスと女のトルソ  
女のケンタウロスとイリスのためのトルソ
- ⑳ 考える人

ブリッジギャラリー



- ㉑ バッカス祭
- ㉒ 《ラ・フランス》習作
- ㉓ バスティアン＝ルパージュ
- ㉔ ヴィクトリア・アンド・アルバートと  
呼ばれる女のトルソ
- ㉕ クロード・ロラン
- ㉖ ボードレーの頭部
- ㉗ 花子のマスク

展示室

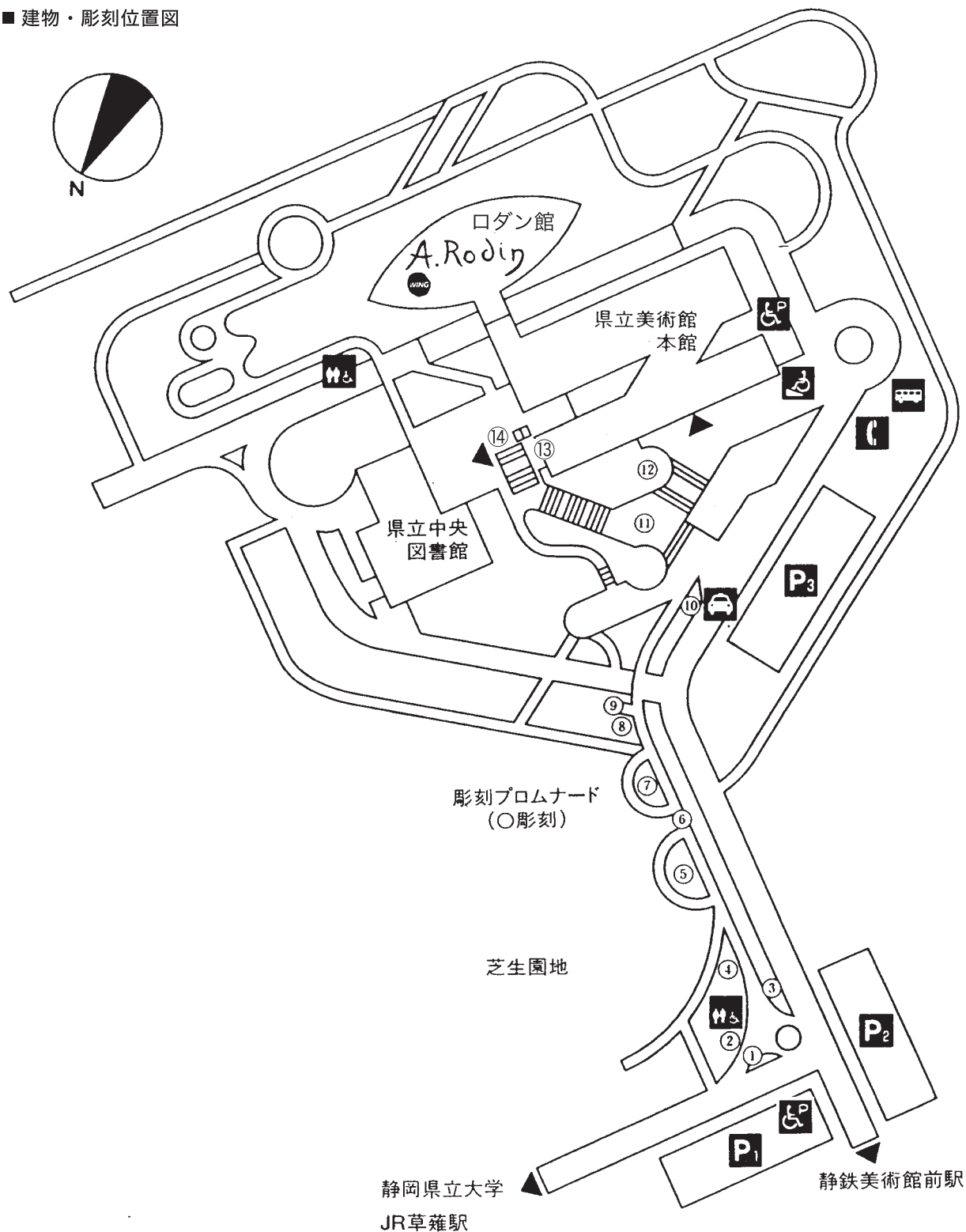
- ㉘ カルポー, J.B. / ナボリの漁師の少年

- ㉙ カリエ＝ベルーズ, A.E. /  
ニンフを連れ去るサテュロス
- ㉚ ロダン, A. / パラの髪飾りの少女
- ㉛ カルポー, J.B. / 悲しみの聖母
- ㉜ ダルー, A.J. / 乳を与えるパリの女
- ㉝ フレミエ, E. / 蛇使い
- ㉞ バリー, A.L. / ライオンと蛇

ブリッジ・ギャラリー

- ① ゴーギャン, P. / オヴィリ
- ② バルラッハ, E. / 読書する僧たちⅢ
- ③ ムーア, H. / 横たわる人体
- ④ レームブルック, W. / 女のトルソ
- ⑤ ジャコメッティ, A. / 横たわる女
- ⑥ アーキベンコ, A. / 《化粧する女》習作
- ⑦ ブランクーシ, C. / ボガニー嬢Ⅱ
- ⑧ リブシッツ, J. / 母と子
- ⑨ ロッソ, M. / 病める男
- ⑩ ブールデル, E.A. / アポロンの首
- ⑪ ブールデル, E.A. / ロダンの肖像
- ⑫ マイヨール, A. / 《イル・ド・フランス》  
のトルソ
- ⑬ クローデル, C. / 波

■ 建物・彫刻位置図



- ① 杉村孝《しゃぐじんシリーズによる》
- ② J. ロザティ《アークⅡ》
- ③ 舟越保武《杏》
- ④ 山口牧生《四角柱と丸い石》
- ⑤ 清水九兵衛《地簪》
- ⑥ 掛井五郎《蝶》
- ⑦ 大西清澄《涛の塔》
- ⑧ 鈴木久雄《風化儀式Ⅴ－相関体》
- ⑨ 佐藤忠良《みどり》
- ⑩ 柳原義達《道標・鳩》
- ⑪ T. スミス《アマリリス》
- ⑫ G. リッキー《四つの旋回する斜線－菱形Ⅱ》
- ⑬ 増田幸雄《風に吹かれて》
- ⑭ 内田晴之《異・空間》

# 利用案内

■開館時間 午前10時～午後5時30分  
(展示室への入室は午後5時まで)  
[夜間開館] 令和7年10月11日(土)、12日(日)、18日(土)、25日(土)、11月1日(土)、2日(日)、8日(土)、15日(土)、22日(土)、23日(日)、29日(土)、12月6日(土)、13日(土)、20日(土)、27日(土)、令和8年1月2日(金)～4日(日)は午後8時まで開館(入室は午後7時まで)

■休館日 毎週月曜日(但し、月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌日休館。5月6日(火)、10月14日(火)、11月4日(火)、25日(火)は開館。)  
年末・年始、その他館内整備等のための休館日

■収蔵品展観覧料  
一般300円(団体200円)  
大学生以下・70歳以上の方は無料

| 展覧会名                    | 当日                                              | 前売・団体                           |
|-------------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------|
| ブルックリン博物館所蔵特別展 古代エジプト   | 一般 1,500円<br>70歳以上・高校生・大学生 800円                 | 一般 1,300円<br>70歳以上・高校生・大学生 700円 |
| これからの風景 世界と出会いなおす6のテーマ  | 一般 1,000円<br>70歳以上 500円                         | 一般 800円<br>70歳以上 400円           |
| 金曜ロードショーとジブリ展           | 一般・大学生 1,900円<br>中学生・高校生 1,500円<br>70歳以上 1,000円 | —                               |
| 中村宏展 アナクロニズム(時代錯誤)のその先へ | 一般 1,400円<br>70歳以上 700円                         | 一般 1,200円<br>70歳以上 600円         |

\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証・指定難病登録者証の交付を受けている方と添付者1名は、企画展、収蔵品展とも無料でご覧いただけます。

## 施設利用料

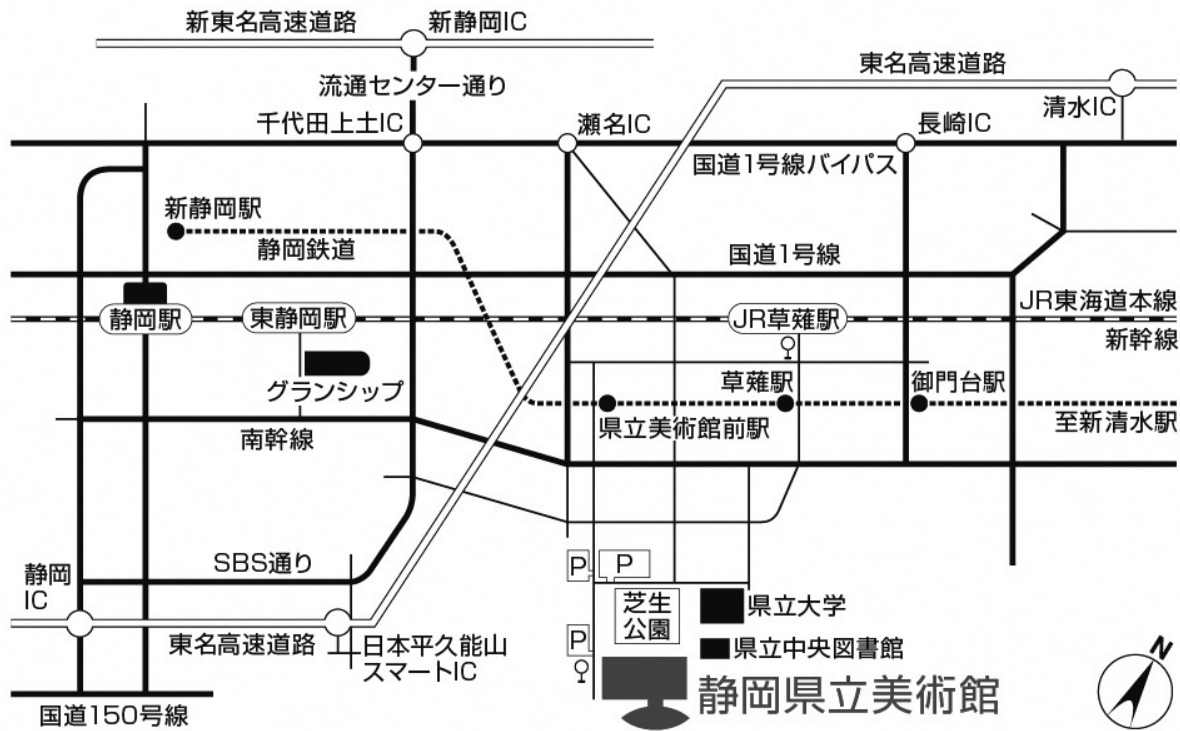
(1) 県民ギャラリー

| 利用区分        |          | 使用料        |
|-------------|----------|------------|
|             |          | 10時～17時30分 |
| 入場料を徴収する場合  | 県民ギャラリーA | 17,350円    |
|             | 県民ギャラリーB | 13,050円    |
| 入場料を徴収しない場合 | 県民ギャラリーA | 11,550円    |
|             | 県民ギャラリーB | 8,700円     |

(2) 講堂

| 使用料        |            |            |
|------------|------------|------------|
| 午前         | 午後         | 全日         |
| 10時～12時30分 | 13時～17時30分 | 10時～17時30分 |
| 7,750円     | 14,050円    | 21,800円    |

交通案内 JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分  
静鉄「県立美術館前駅」から徒歩で約15分または静鉄バスで約3分  
JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分または北口から静鉄バスで約30分  
東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で15分、新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分  
美術館所在地 〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2  
電話番号 企画総務課(TEL) 054-263-5755  
“(FAX) 054-263-5767  
学芸課(TEL) 054-263-5857  
“(FAX) 054-263-5742  
美術館友の会事務局 054-264-0897  
ミュージアムショップ 054-262-1960



令和 7 年度  
静岡県立美術館年報

編集・発行：静岡県立美術館©

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 TEL 054(263)5755

印 刷：有限会社橋本印刷所

〒422-8046 静岡県静岡市駿河区中島390

Annual Report of Shizuoka Prefectural Museum of Art, 2025

Edited and Published by Shizuoka Prefectural Museum of Art ©

Printed by HASHIMOTO Printing Co., Ltd., Shizuoka

Printed in Japan 2026